

令和6年度 みどりの市民意識調査

－調査結果報告書－

令和7年1月

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課

<目 次>

I	調査概要	1
II	回答者の属性	5
	(1) 年齢	5
	(2) 職業等	5
	(3) 居住地区	6
	(4) 現在の住まい	6
	(5) 居住年数	7
	(6) 家族構成	7
	(7) 小学生以下の子どもの同居者の有無	8
III	調査結果の総括	9
	1 身近なみどりについて	9
	2 「杜の都」という言葉について	9
	3 これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて	10
	3-1 樹林地などの自然のみどりの保全について	10
	3-2 市街地の緑化について	10
	3-3 公園について	11
	3-4 「都心部」と「住宅地」の街路樹について	11
	3-5 河川について	11
	4 みどり豊かなまちづくりへの参加について	12
	5 「グリーンインフラ」について	12
IV	調査結果の分析	13
	1 身近なみどりについて	13
	1-1 身近なみどり	13
	1-2 身近なみどりの満足度	18
	1-3 欲しいと思う身近なみどり	24
	1-4 身近なみどりに期待する機能	28
	2 「杜の都」という言葉について	31
	2-1 「杜の都」を代表するみどり	31
	2-2 「杜の都」という言葉から思い描くみどり	37
	2-3 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度	41
	3 これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて	45
	3-1 樹林地などの自然のみどりの保全について	45
	3-1-1 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性	45
	3-1-2 私有地のみどりの保全方法	47
	3-1-3 屋敷林(居久根)や社寺林の保全の方向性	49
	3-1-4 自然のみどりの活用のために特に必要なこと	51
	3-2 市街地の緑化について	54

3-2-1	重点を置くべき緑化箇所	54
3-2-2	みどりの増加に必要な行政の取り組み	57
3-2-3	緑化活動に必要な行政の支援	59
3-3	公園について	61
3-3-1	住まいの近くの公園の利用頻度	61
3-3-2	住まいの近くの公園の役割	65
3-3-3	住まいの近くの公園の満足度	71
3-3-4	公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと	77
3-3-5	仙台市内で増やして欲しい公園	81
3-3-6	公園が子どもの遊び場として利用されるために特に重要だと思うこと	85
3-4	「都心部」と「住宅地」の街路樹について	89
3-4-1	街路樹の満足度	89
3-4-2	街路樹に期待する機能	96
3-4-3	高木の街路樹の管理	102
3-5	河川について	107
3-5-1	河川の身近さ	107
3-5-2	水辺空間の利用に特に必要なもの	110
4	みどり豊かなまちづくりへの参加について	114
4-1	みどり豊かなまちづくりのために実践している活動	114
4-2	みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動	118
4-3	みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件	123
4-4	みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的	126
4-5	みどりに関する活動団体の認知度	132
4-6	みどり豊かなまちづくりのために最も必要なこと	136
4-7	市の施策やイベントについて活用している情報源	138
5	「グリーンインフラ」について	141
5-1	グリーンインフラという言葉の認知度	141
5-2	グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり	144
6	「みどり」に関する意見・要望	146
V	資料	147
1	調査票	147

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、市民アンケートにより、市民のみどりに関する満足度やみどりの施策に対する評価等を把握するとともに、みどりの基本計画の成果目標の達成状況を把握し、計画の見直しや施策の検討の一助とすることを目的に行うものである。

2 調査項目

調査項目	前回調査（R1） との比較が可能
1 身近なみどりについて	
1-1 身近なみどり	○
1-2 身近なみどりの満足度	○
1-3 欲しいと思う身近なみどり	○
1-4 身近なみどりに期待する機能	○
2 「杜の都」という言葉について	
2-1 「杜の都」を代表するみどり	○
2-2 「杜の都」という言葉から思い描くみどり	○
2-3 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度	○
3 これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて	
3-1 樹林地などの自然のみどりの保全について	
3-1-1 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性	○
3-1-2 私有地のみどりの保全方法	○
3-1-3 屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性	○
3-1-4 自然のみどりの活用のために特に必要なこと	-
3-2 市街地の緑化について	
3-2-1 重点を置くべき緑化箇所	○
3-2-2 みどりの増加に必要な行政の取り組み	○
3-2-3 緑化活動に必要な行政の支援	○
3-3 公園について	
3-3-1 住まいの近くの公園の利用頻度	○
3-3-2 住まいの近くの公園の役割	○
3-3-3 住まいの近くの公園の満足度	○
3-3-4 公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと	-
3-3-5 仙台市内で増やして欲しい公園	○
3-3-6 公園が子どもの遊び場として利用されるために特に重要だと思うこと	-

I 調査概要

3-4 「都心部」と「住宅地」の街路樹について	
3-4-1 街路樹の満足度	○
3-4-2 街路樹に期待する機能	○
3-4-3 高木の街路樹の管理	○
3-5 河川について	
3-5-1 河川の身近さ	○
3-5-2 水辺空間の利用に特に必要なもの	○
4 みどり豊かなまちづくりへの参加について	
4-1 みどり豊かなまちづくりのために実践している活動	○
4-2 みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動	○
4-3 みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件	○
4-4 みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的	-
4-5 みどりに関する活動団体の認知度	-
4-6 みどり豊かなまちづくりのために最も必要なこと	○
4-7 市の施策やイベントについて活用している情報源	-
5 「グリーンインフラ」について	
5-1 グリーンインフラという言葉の認知度	○
5-2 グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり	○

3 調査仕様

調査地域	仙台市全域
調査対象	仙台市に居住する満18歳以上の男女
調査対象数	5,000人
抽出方法	令和6年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	無記名の質問紙調査（郵送による配布・回収、WEB回答も可とする）

4 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
令和6年9月30日	令和6年10月18日	令和6年10月28日

5 回収率

(1) 全体の回収率

対象者数	有効回収数	有効回収率
5,000 人	2,288 票	45.8%

(2) 属性別の回収率

①年代別回収率

		対象者数	有効回収数	有効回収率
全体	全体	5,000 人	2,288 票	45.8%
	10代	104 人	22 票	21.2%
	20代	646 人	139 票	21.5%
	30代	692 人	214 票	30.9%
	40代	864 人	347 票	40.2%
	50代	869 人	434 票	49.9%
	60代	643 人	392 票	61.0%
	70代	688 人	452 票	65.7%
	80代以上	494 人	274 票	55.5%
	無回答	-	14 票	-

②地区別回収率

		対象者数	有効回収数	有効回収率
全体	全体	5,000 人	2,288 票	45.8%
	青葉区	1,391 人	634 票	45.6%
	宮城野区	883 人	376 票	42.6%
	若林区	649 人	263 票	40.5%
	太白区	1,101 人	508 票	46.1%
	泉区	976 人	494 票	50.6%
	無回答	-	13 票	-

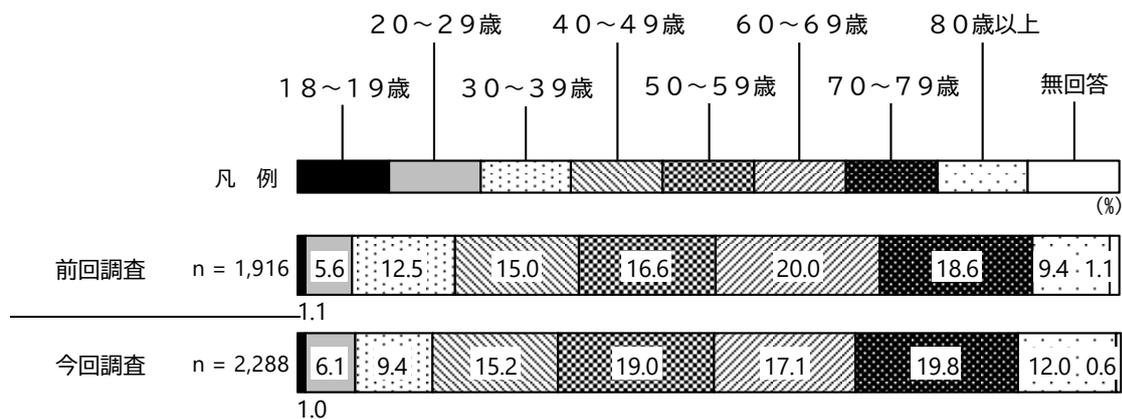
6 報告書の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表している。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合がある。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合がある。
- WEB回答で、同一の方から複数回の回答があった場合、最新の回答（最も後に回答されたもの）を正として集計に含めた。
- 「有効回収数」は、総回収数から無効回答（調査全体を通じて回答が無かったもの）を除いた有効回答の件数を表している。
- 「無回答」は、有効回答のうち、当該設問への回答が無いもの及び回答制限数（あてはまる番号1つに○、主にあてはまる番号3つまでに○等）よりも多くの回答があるものの件数を表している。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記している。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合がある。
- 調査数(n)が少ない場合、一部のクロス軸の掲載を省略している場合がある。
- 前回調査との比較が可能な設問では、前回調査（令和元年度実施）の調査結果も掲載している。

II 回答者の属性

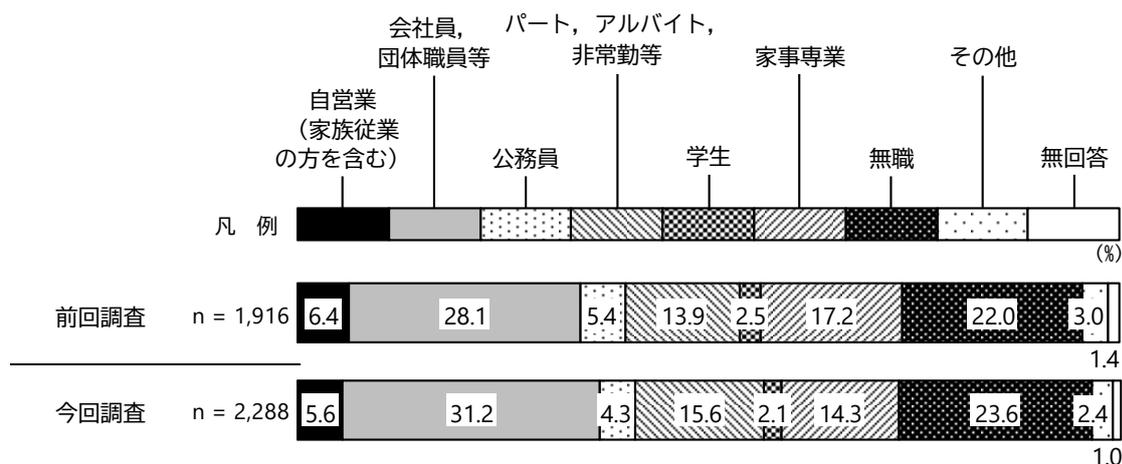
(1) 年齢

問1 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)



(2) 職業等

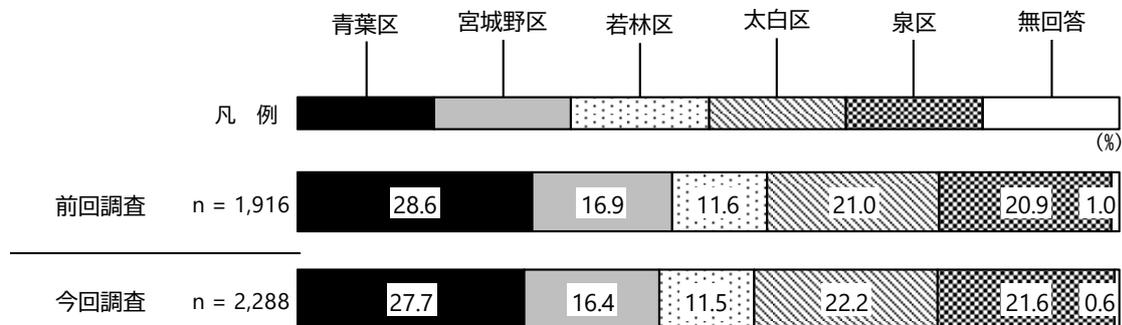
問2 あなたの職業等を教えてください。(あてはまる番号1つに○)



II 回答者の属性

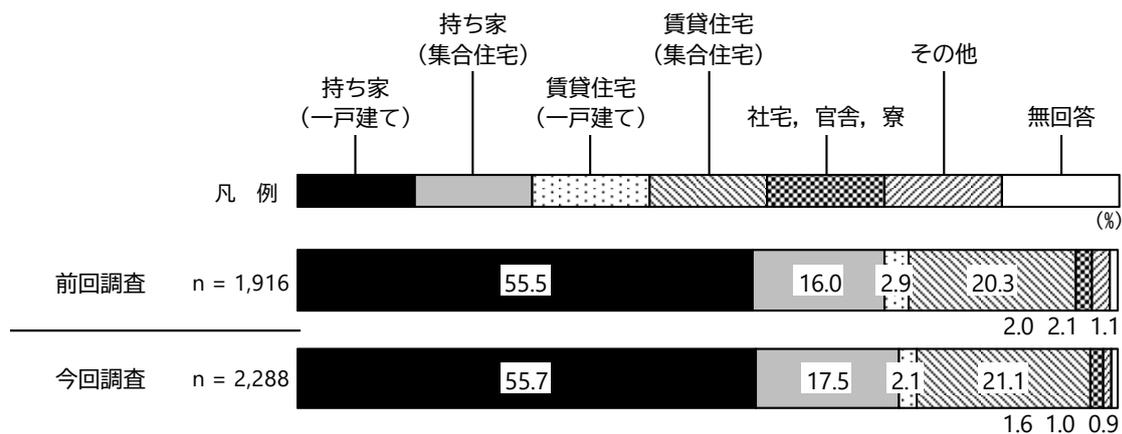
(3) 居住地区

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○)



(4) 現在の住まい

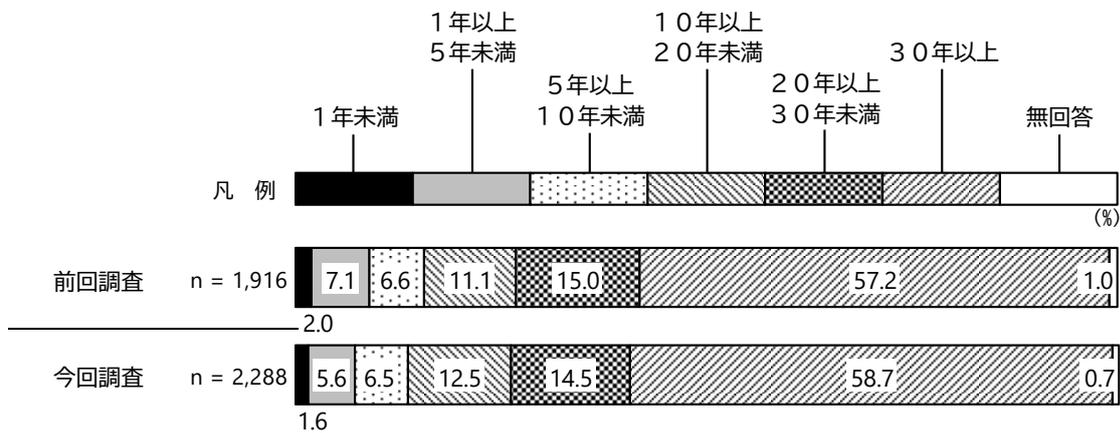
問4 あなたの現在のお住まいについて教えてください。(あてはまる番号1つに○)



(5) 居住年数

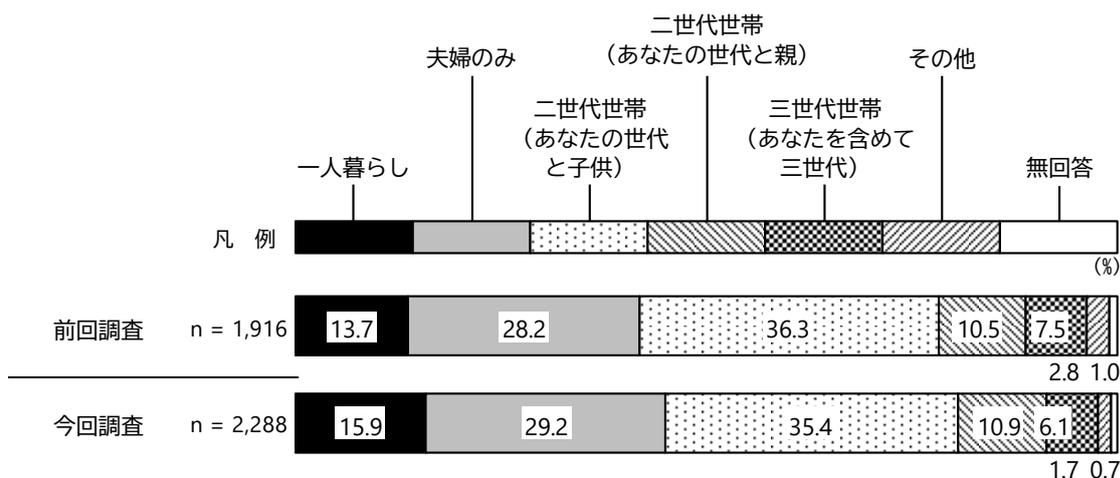
問5 仙台市にお住まいになってからの年数について教えてください。一度市外に転出して、また転入した方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)



(6) 家族構成

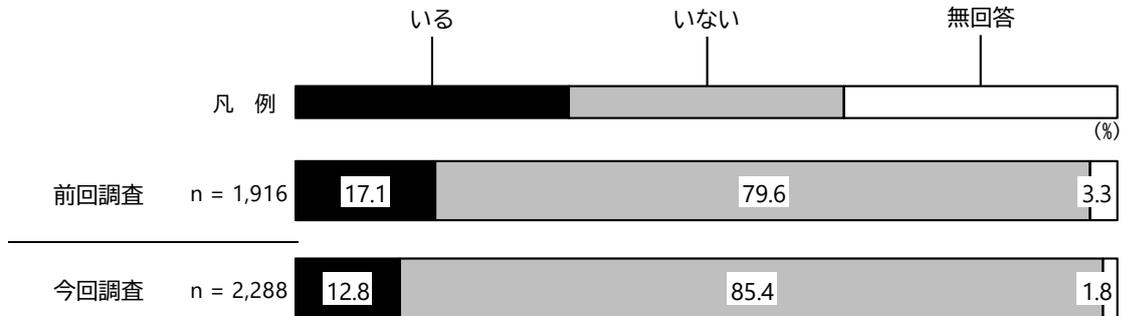
問6 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○)



(7) 小学生以下の子どもの同居者の有無

問7 あなたと同居している方で、小学生以下の子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)



Ⅲ 調査結果の総括

1 身近なみどりについて

- ▶ 身近なみどりとして、前回調査と同様に、概ね8割前後の方が公園・緑地や街路樹などのみどりを選んでいる（13ページ、問8）。
- ▶ 身近なみどりの満足度については、量・質ともに十分であると感じる人が4割以上となっており、前回調査（令和元(2019)年度）と比べ上昇している。量と質の満足度は、量が十分であると感じる人が約7割となっているのに対して、質が十分であると感じる人は約5割と、量に対しての満足度が高くなっている（18ページ、問9）。
- ▶ 身近なみどりに期待する機能については、前回調査と同様に、都市の気温上昇をやわらげる機能、生活にうるおいを与え、心をなごませる機能が注目されており、日常の生活環境の改善に関わる機能を持つような身近なみどりの創出が必要とされている（28ページ、問11）。

2 「杜の都」という言葉について

- ▶ 杜の都を代表するみどりとして、前回調査と同様に、約6割の方が定禅寺通を選んでいる（31ページ、問12）。
- ▶ 杜の都という言葉から思い描くみどりとしては、前回調査と同様に、街路樹などの道路のみどりとの回答が約8割、公園・緑地が約6割と高い一方で、屋敷林（居久根）との回答はごく僅かとなっている（37ページ、問13）。なお、街路樹は、杜の都を表現するみどり、身近なみどりともに、約8割と高く認識されている（40ページ、身近なみどりと杜の都のみどりの比較）。
- ▶ 杜の都という言葉からみるみどりの満足度については、量・質ともに十分であると感じる人は、身近なみどりと同様に約4割となっており、前回調査に比べ上昇している（41ページ、問14）。

3 これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて

3-1 樹林地などの自然のみどりの保全について

- ▶ 前回調査と比較すると、いずれの設問でも、全体的に大きな傾向の変化はみられない。
- ▶ 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性については、みどりを残すべき又は回復させるべきという回答が合わせて9割以上を占めている（45 ページ、問 15）。
- ▶ 私有地のみどりについては、保全すべきだという回答が7割以上を占めている（47 ページ、問 16）。
- ▶ 屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性については、残すべき又は回復させるべきだという回答が合わせて8割台半ばを占めている（49 ページ、問 17）。
- ▶ 今回調査で新たに聴取した、自然のみどりの活用については、歩きやすく安全な散歩路の整備が必要との回答が約半数を占めている。ほか、ベンチやあずまや、トイレなどの施設の充実が必要との回答が2割以上となっている（51 ページ、問 18）。

3-2 市街地の緑化について

- ▶ 前回調査と比較すると、いずれの設問でも、全体的に大きな傾向の変化はみられない。
- ▶ 市街地で重点を置くべき緑化箇所は、公園・緑地又は道路（街路樹など）がそれぞれ5割以上と高くなっている（54 ページ、問 19）。
- ▶ みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化又は補助金支給や苗木配布などの助成制度が合わせて約6割を占めている（57 ページ、問 20）。
- ▶ 緑化活動に必要な行政の支援については、緑化技術や緑化制度などの情報提供又は緑化イベントの開催がそれぞれ2割以上となっている（59 ページ、問 21）。

3-3 公園について

- ▶ 前回調査と比較すると、いずれの設問でも、全体的に大きな傾向の変化はみられない。
- ▶ 住まいの近くの公園の利用頻度については、定期的にご利用しているとの回答が、前回調査と比べて僅かに上昇しているものの、4割を下回っている。一方、小学生以下の子どもの同居者がいる人でみると、定期的にご利用しているとの回答が6割以上を占めている（61及び64ページ、問22）。
- ▶ 住まいの近くの公園の役割については、子どもを遊ばせる場所との回答が6割以上と最も高くなっており、以降、運動や憩いの場所などの日常的な役割を持つ場所との回答が続いている（65ページ、問23）。
- ▶ 住まいの近くの公園の満足度については、量・質ともに十分であるとの回答が3割台半ばとなっており、前回調査と比べて僅かに上昇している。量が十分であるとの回答が6割以上となっているのに対して、質が十分であると感じるとの回答は約4割にとどまっており、量に対しての満足度が高くなっている（71ページ、問24）。
- ▶ 公園の「質」の向上のために特に必要だと思うことは、定期的除草や清掃が行われ、トイレやベンチなどの施設の手入れがされていることとの回答が5割以上を占めている（77ページ、問25）。
- ▶ 仙台市内で増やしてほしい公園は、日常的な憩いの場となる公園や防災機能が充実した公園との回答が高くなっており、常時と災害時の両面で利用できる公園の整備が求められている（81ページ、問26）。
- ▶ 公園が子どもの遊び場として利用されるために重要だと思うことは、安全性が高いことが4割以上を占めている（85ページ、問27）。

3-4 「都心部」と「住宅地」の街路樹について

- ▶ 都心部では住宅地に比べて街路樹の満足度が高い傾向にあり、前回調査と比較すると、都心部、住宅地ともに満足度が上昇している（89ページ、問28）。
- ▶ 街路樹に期待する機能は都心部と住宅地で異なり、都心部では気候緩和など都市環境を改善するような機能が最も高くなっている。一方、住宅地では紅葉や開花などにより季節感を与える機能が最も高くなっている（96ページ、問29）。
- ▶ 高木の街路樹の管理方法については、前回調査と同様に、数年に1回程度の強い剪定で現在植栽されている樹種を活かすべきとの回答が2割台半ばと、最も高くなっている（102ページ、問30）。

3-5 河川について

- ▶ 前回調査と比較すると、いずれの設問でも、全体的に大きな傾向の変化はみられない。
- ▶ 仙台市の河川の身近さについては、身近に感じるとの回答が約5割を占めているものの、うち非常に身近に感じるとの回答は約1割にとどまっている（107ページ、問31）。
- ▶ 水辺空間の利用に特に必要なものは、駐車場やトイレ・手洗い場などの便益施設、散策路やあずまやなど日常的に利用する施設整備となっている一方、自然環境の配慮についても求められている（110ページ、問32）。

4 みどり豊かなまちづくりへの参加について

- ▶ いずれの設問でも、前回調査と全体的に大きな変化はみられない。
- ▶ みどり豊かなまちづくりのために実践している活動及び実践したい活動は、ともに自宅のバルコニー等を花で飾ることが最も高く、次いで、家庭菜園づくりや、自宅の塀の生垣化や庭木の増加など、自宅等での緑化活動が上位を占めている。ほか、身近な公園等の清掃やみどりに関する基金への協力なども挙げられている（114 ページ、問 33 及び 118 ページ、問 34）。
- ▶ みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は、「活動のための時間や期間を自由に選べること」が約 6 割と、最も高くなっている（123 ページ、問 35）。みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的については、植物・自然に親しみ、学ぶことが 4 割台半ばと最も高くなっている（126 ページ、問 36）。
- ▶ みどりに関する活動団体については、いずれも知らない人が 7 割以上を占めている（132 ページ、問 37）。
- ▶ みどり豊かなまちづくりのために最も必要なことは、緑化に取り組みやすくなるような政策づくりとの回答が約 3 割と最も高くなっている（136 ページ、問 38）。また、市の施策やイベントについては、約 6 割の人が市政だよりを情報源として活用しており、年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている（138 及び 139 ページ、問 39）。

5 「グリーンインフラ」について

- ▶ いずれの設問でも、前回調査と全体的に大きな変化はみられない。
- ▶ グリーンインフラという言葉を知っている人は 1 割台にとどまっている。（141 ページ、問 40）。言葉としての認知度は低い一方で、グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくりを推進すべきと考える人が 8 割以上を占めている（144 ページ、問 41）。

IV 調査結果の分析

1 身近なみどりについて

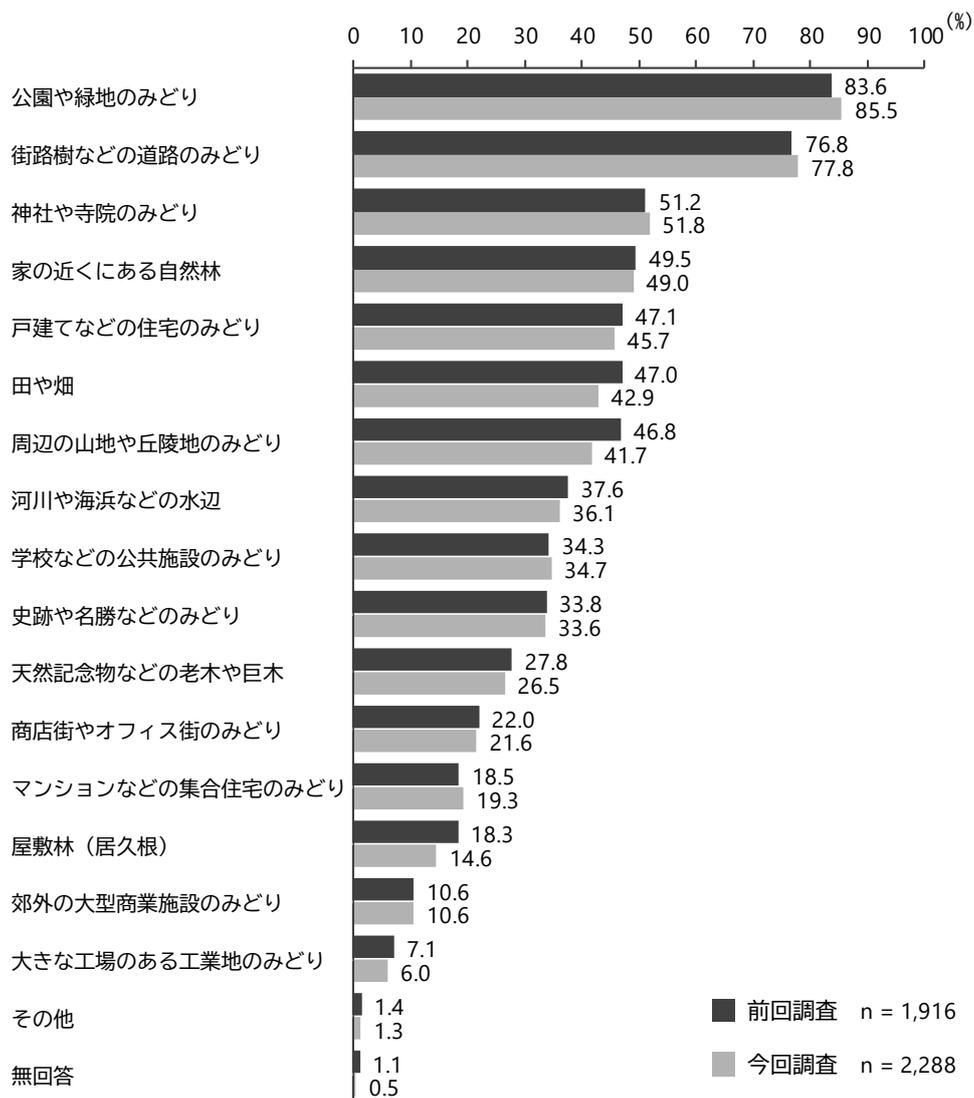
1-1 身近なみどり

- ▶ 身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」が85.5%と最も高く、次いで、「街路樹などの道路のみどり」(77.8%)、「神社や寺院のみどり」(51.8%)、「家の近くにある自然林」(49.0%)となっている。
- ▶ 令和元年度実施のみどりの市民意識調査(以下「前回調査」という。)と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問8 あなたにとっての身近なみどりとは何ですか。

※「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなたが身近だと感じているみどりも含めます。

(あてはまる番号すべてに○)



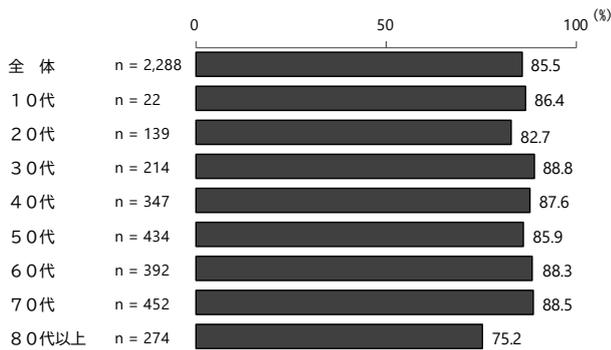
※屋敷林(居久根)：^{いぐね}屋敷の周囲に防風や防火のために植えた林

IV 調査結果の分析

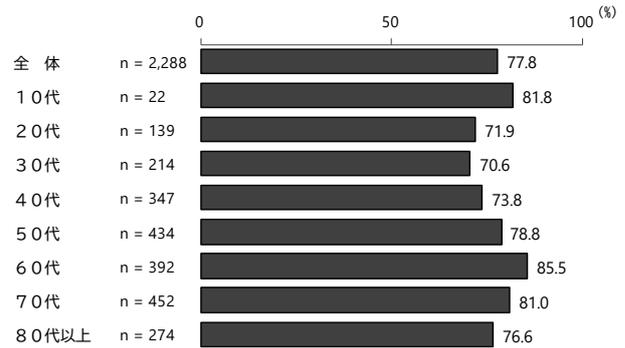
【年代別／身近なみどり】

- ▶ 年代別にみると、上位項目である「公園や緑地のみどり」や「街路樹などの道路のみどり」は、概ねどの年代においても全体に近い回答割合となっている。それ以外の項目では、概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなる項目が多くなっており、特に「神社や寺院のみどり」、「戸建てなどの住宅のみどり」、「史跡や名勝などのみどり」などで年代間の差が目立つ。

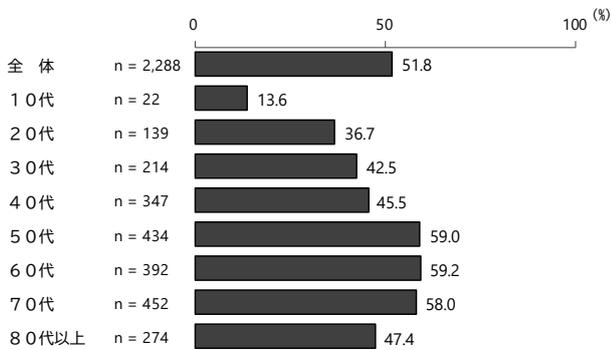
〈公園や緑地のみどり〉



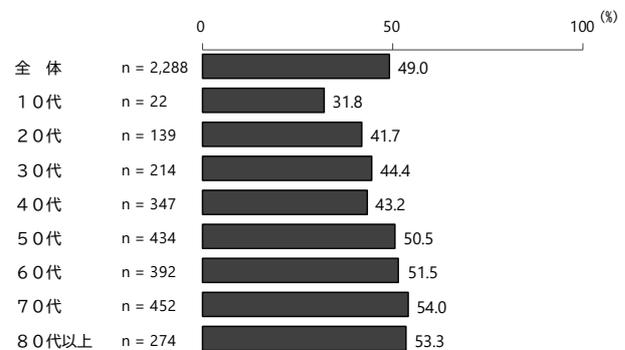
〈街路樹などの道路のみどり〉



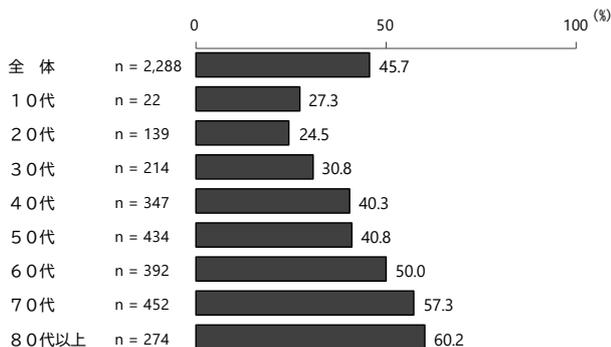
〈神社や寺院のみどり〉



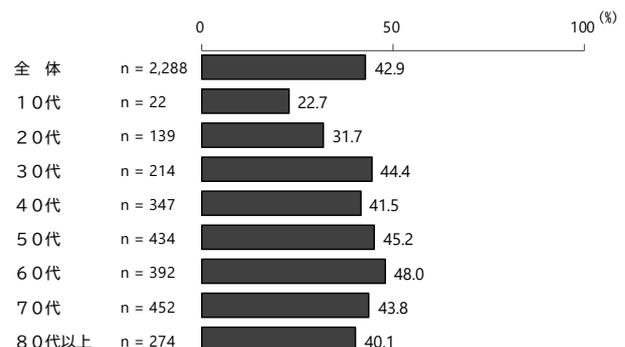
〈家の近くにある自然林〉



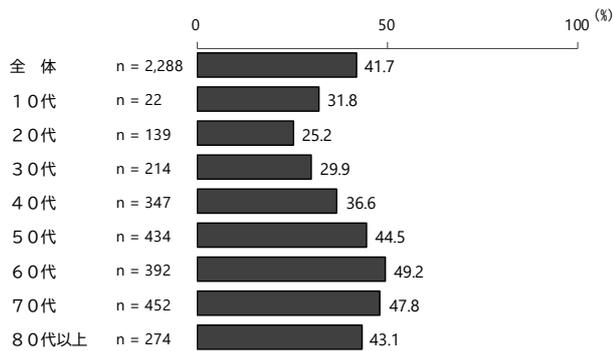
〈戸建てなどの住宅のみどり〉



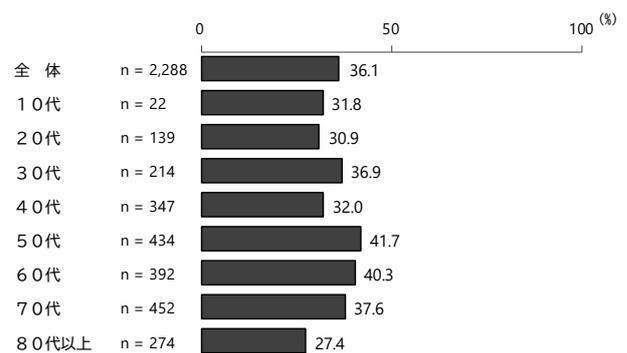
〈田や畑〉



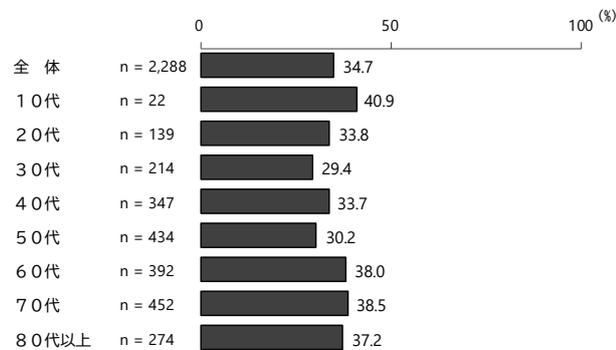
〈周辺の山地や丘陵地のみどり〉



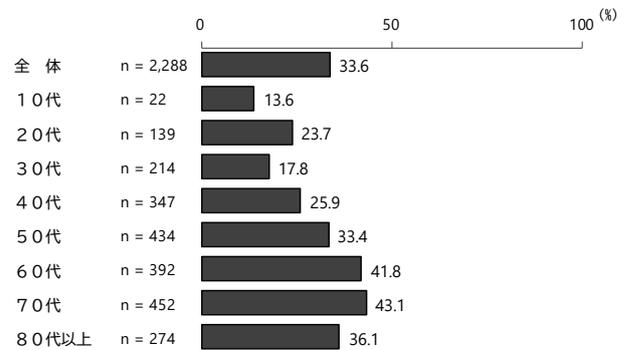
〈河川や海浜などの水辺〉



〈学校などの公共施設のみどり〉



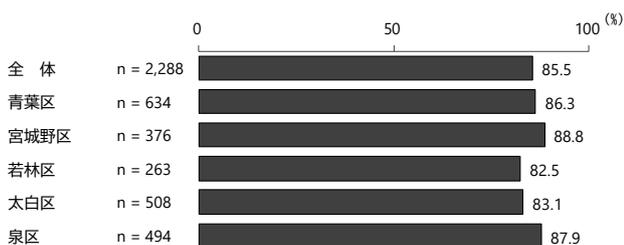
〈史跡や名勝などのみどり〉



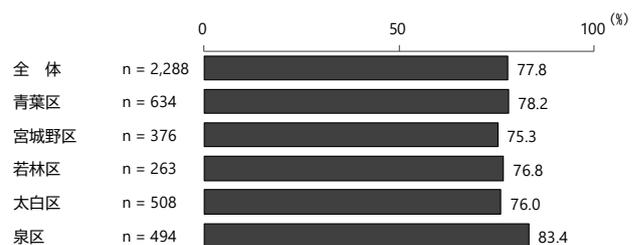
【居住地区別／身近なみどり】

- ▶ 居住地区別にみると、【泉区】では「街路樹などの道路のみどり」や「家の近くにある自然林」など多くの項目において、他の区に比べ高くなっている。一方、【宮城野区】及び【若林区】では「家の近くにある自然林」や「周辺の山地や丘陵地のみどり」が、他の区に比べ低くなっている。

〈公園や緑地のみどり〉

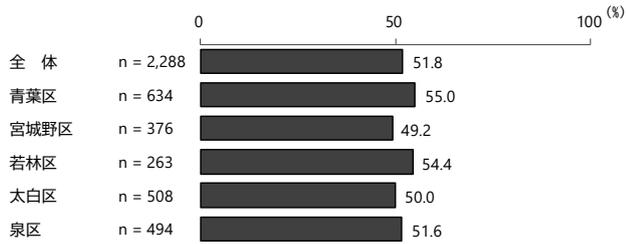


〈街路樹などの道路のみどり〉

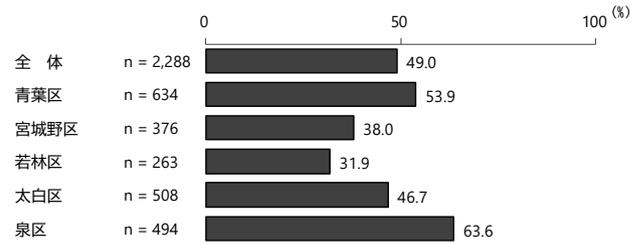


IV 調査結果の分析

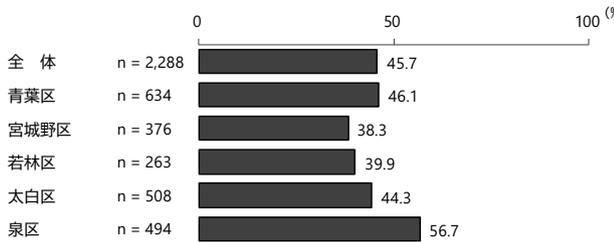
〈神社や寺院のみどり〉



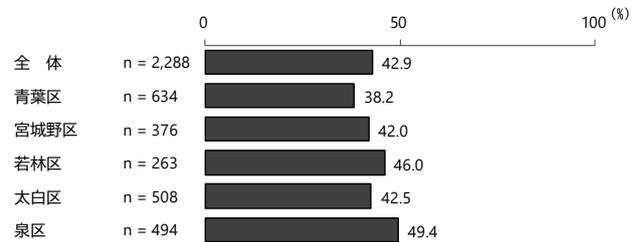
〈家の近くにある自然林〉



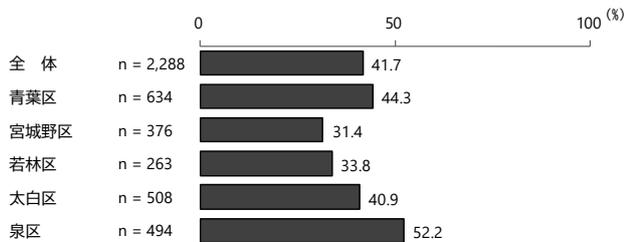
〈戸建てなどの住宅のみどり〉



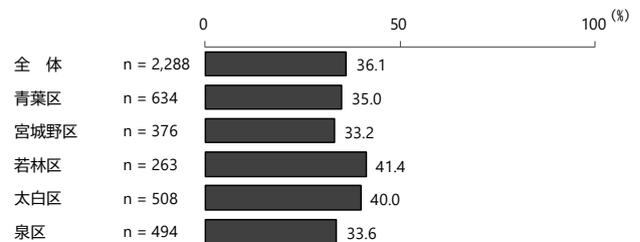
〈田や畑〉



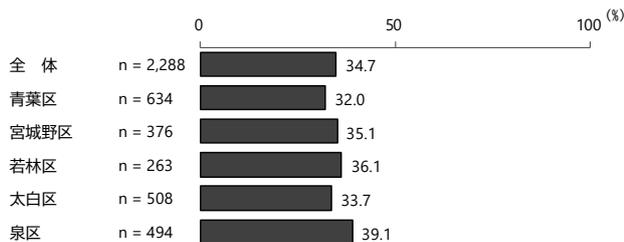
〈周辺の山地や丘陵地のみどり〉



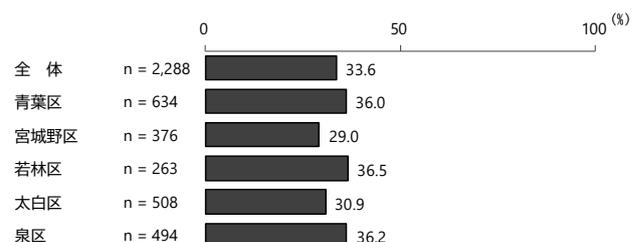
〈河川や海浜などの水辺〉



〈学校などの公共施設のみどり〉



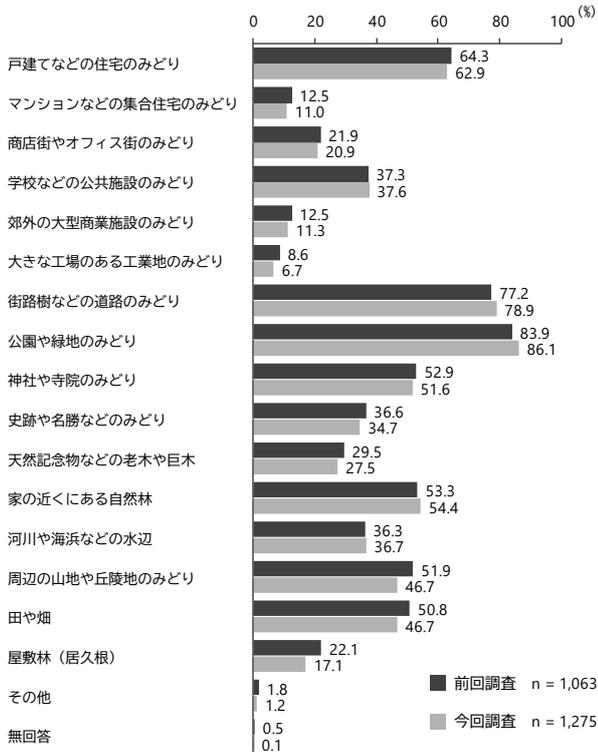
〈史跡や名勝などのみどり〉



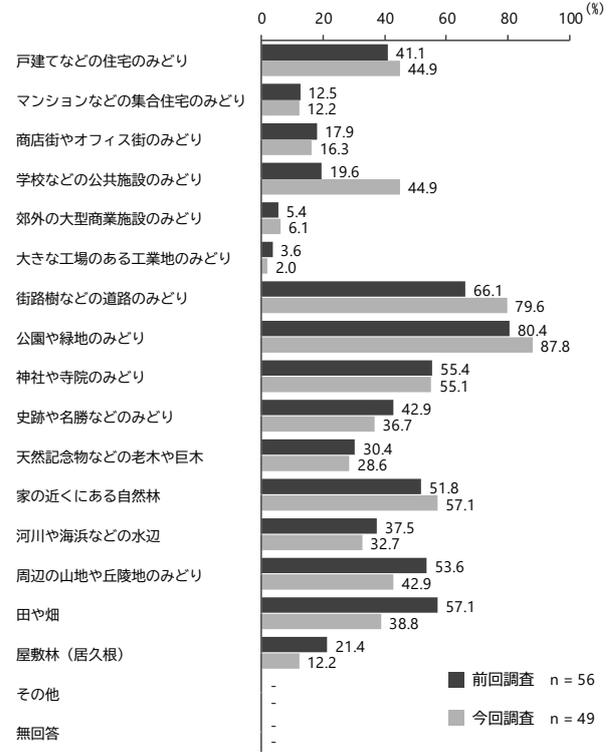
【前回調査との比較：現在の住まい別／身近なみどり】

▶ 現在の住まい別の結果を前回調査と比較すると、【賃貸住宅（一戸建て）】で前回調査からの変動幅が大きくなっており、「学校などの公共施設のみどり」は約 25 ポイント上昇、「街路樹などの道路のみどり」は約 14 ポイント上昇している一方、「周辺の山地や丘陵地のみどり」「田や畑」は 10 ポイント以上下降している。

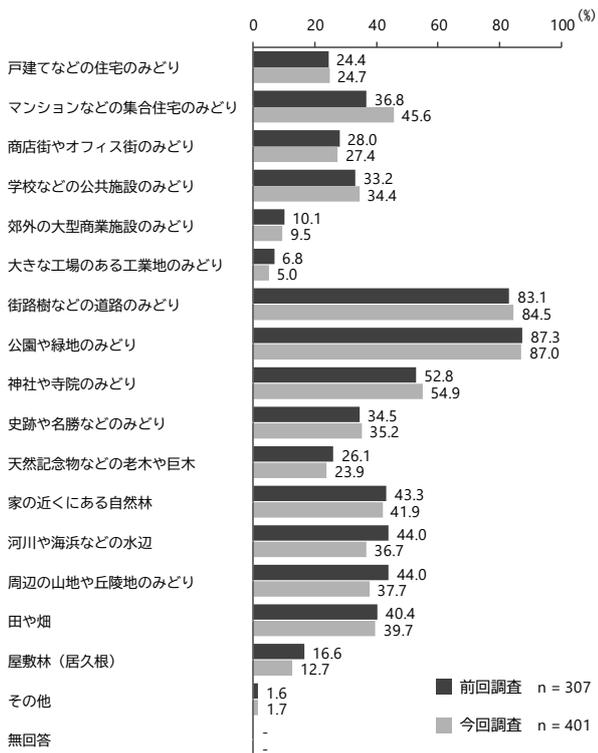
〈持ち家（一戸建て）〉



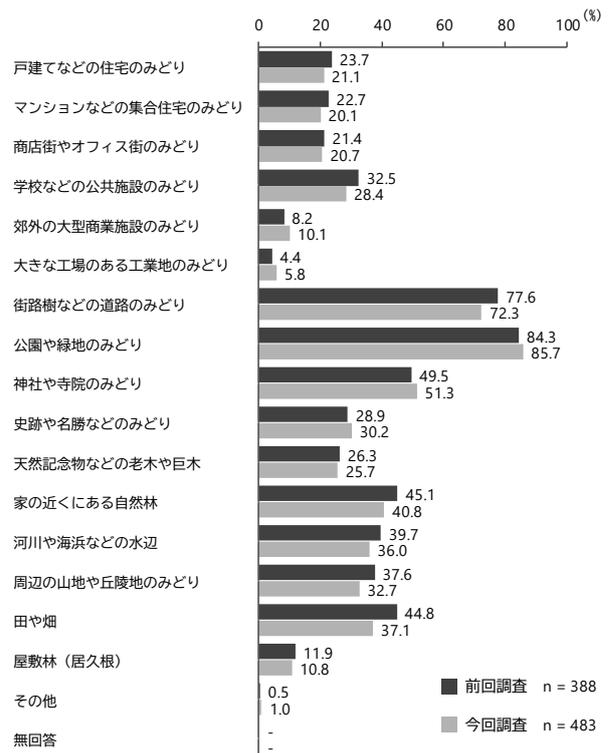
〈賃貸住宅（一戸建て）〉



〈持ち家（集合住宅）〉



〈賃貸住宅（集合住宅）〉



IV 調査結果の分析

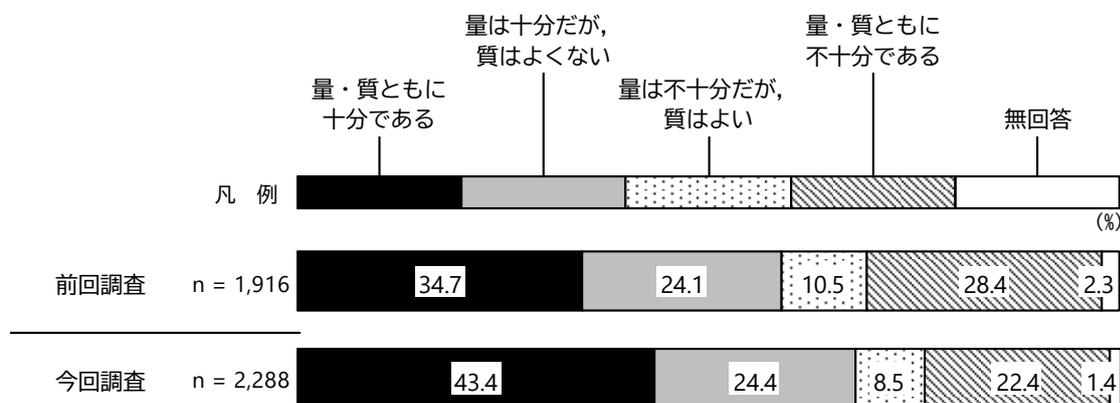
1-2 身近なみどりの満足度

- ▶ 身近なみどりの満足度については、「量・質ともに十分である」が43.4%と最も高く、次いで、「量は十分だが、質はよくない」(24.4%)、「量・質ともに不十分である」(22.4%)、「量は不十分だが、質はよい」(8.5%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、「量・質ともに十分である」が約9ポイント上昇、「量・質ともに不十分である」が6ポイント下降しており、身近なみどりの満足度が上昇していることがうかがえる。

問9 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

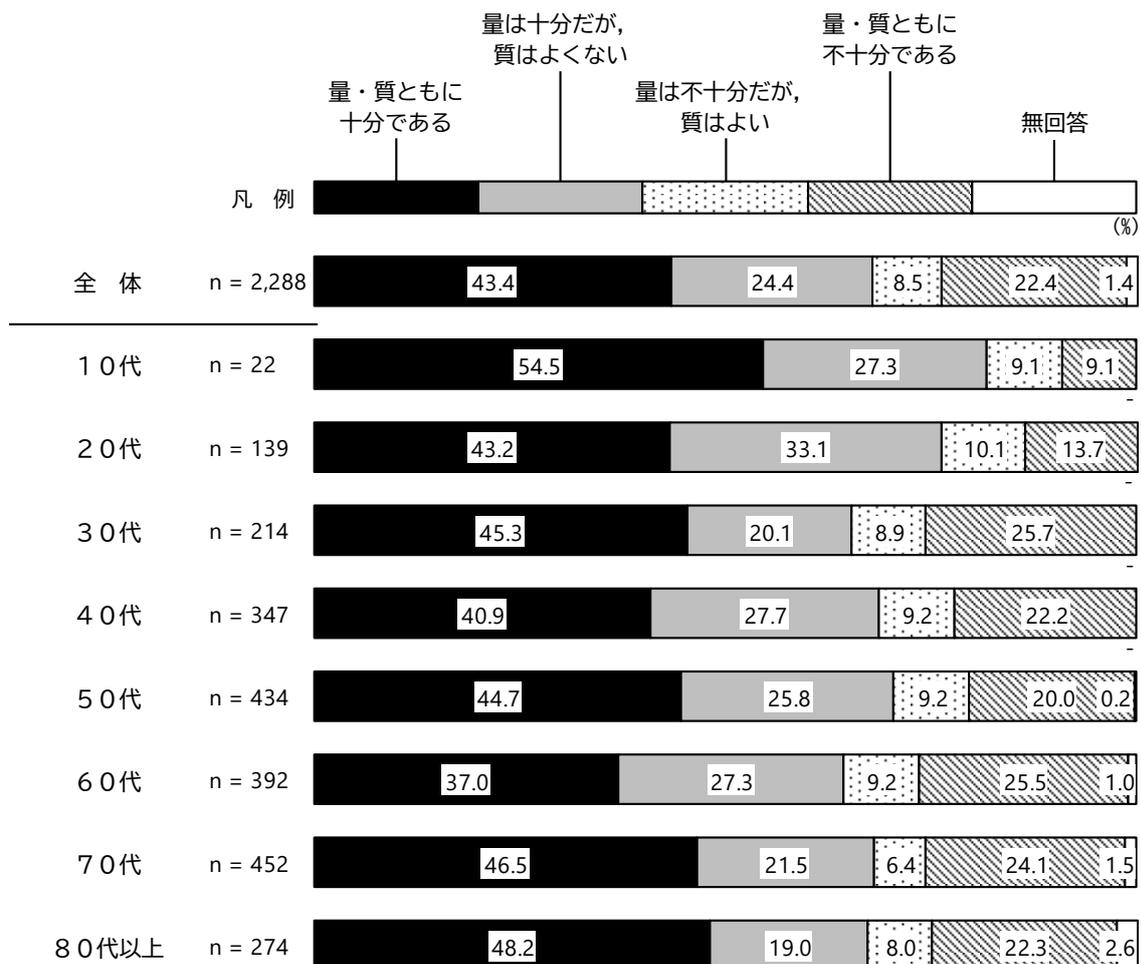
(あてはまる番号1つに○)



【年代別／身近なみどりの満足度】

- ▶ 年代別にみると、【10代】では「量・質ともに十分である」(54.5%)が5割以上を占める一方、「量・質ともに不十分である」(9.1%)は1割を下回り、他の年代に比べ満足度が高くなっている。

また、【60代】では「量・質ともに十分である」(37.0%)が4割を下回り、身近なみどりに対して何らかの不満を抱えている割合が高くなっている。

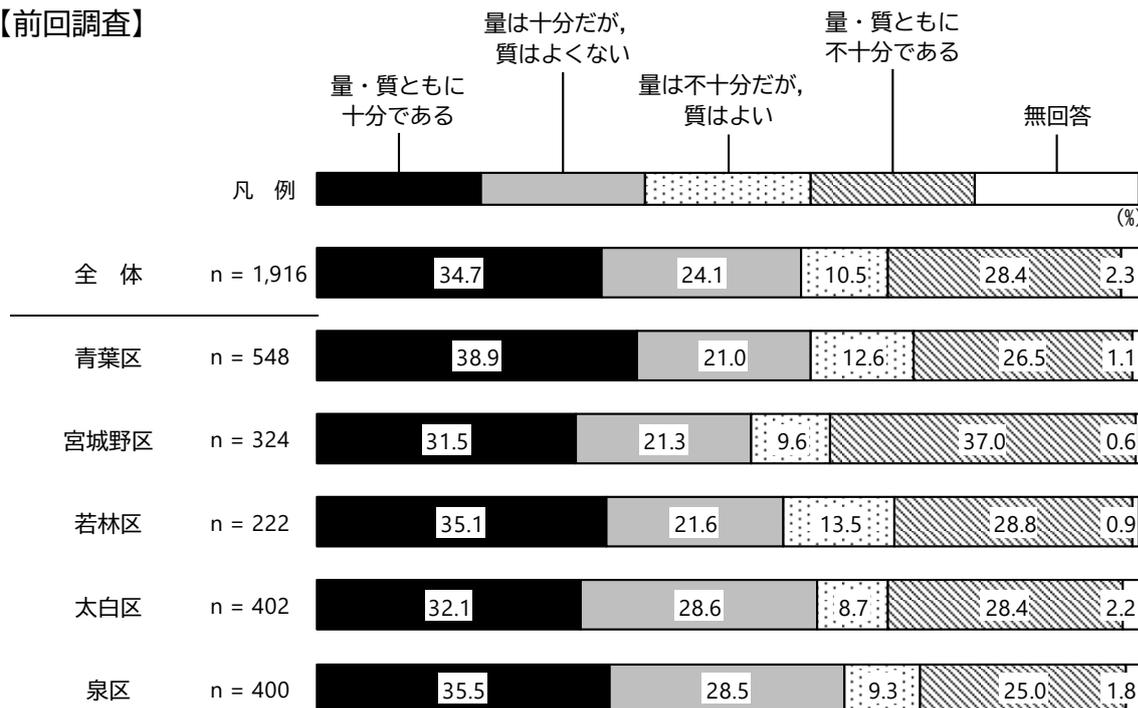


IV 調査結果の分析

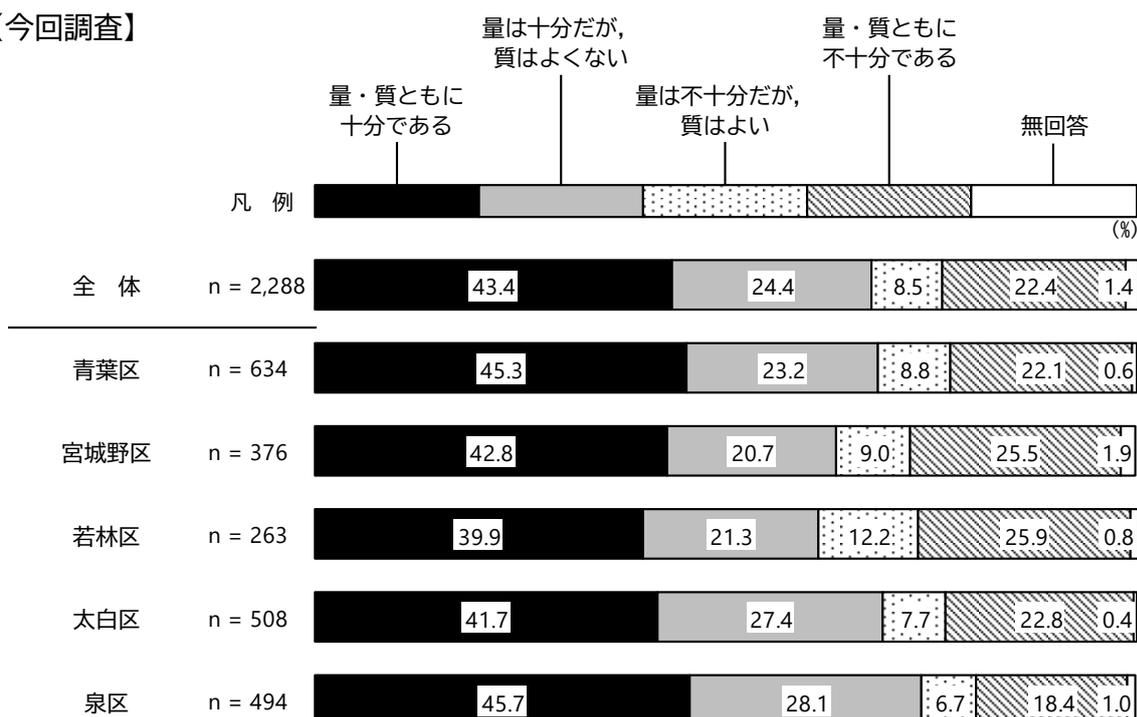
【居住地区別／身近なみどりの満足度】

- ▶ 居住地区別にみると、【宮城野区】及び【若林区】で「量・質ともに不十分である」が25%以上と、他の区に比べ僅かに高くなっているものの、全体的にはいずれの区においても概ね同様の傾向となっている。
- ▶ この結果を前回調査と比較すると、いずれの区においても「量・質ともに十分である」が上昇、「量・質ともに不十分である」が下降している。特に、【宮城野区】では「量・質ともに十分である」が約11ポイント上昇、「量・質ともに不十分である」が約12ポイント下降しており、前回調査からの変動幅が大きくなっている。

【前回調査】



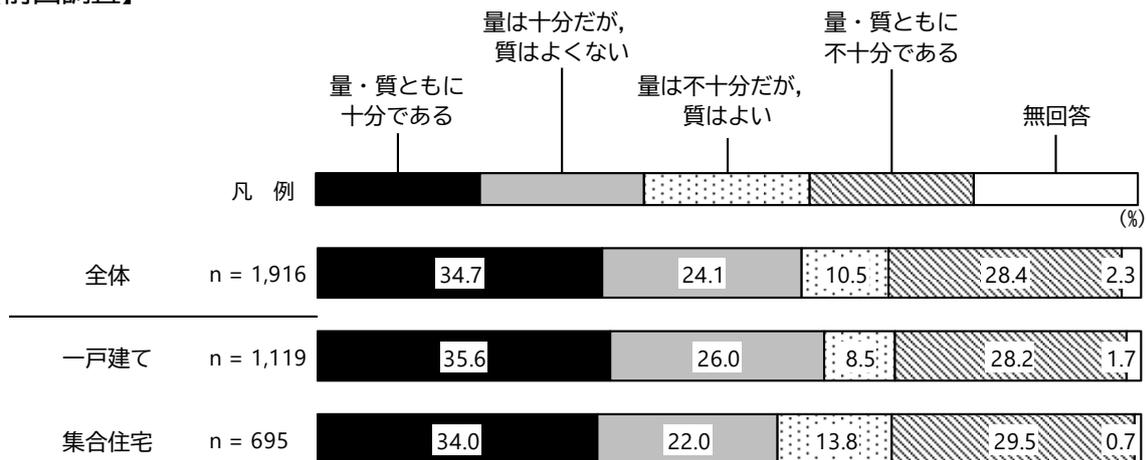
【今回調査】



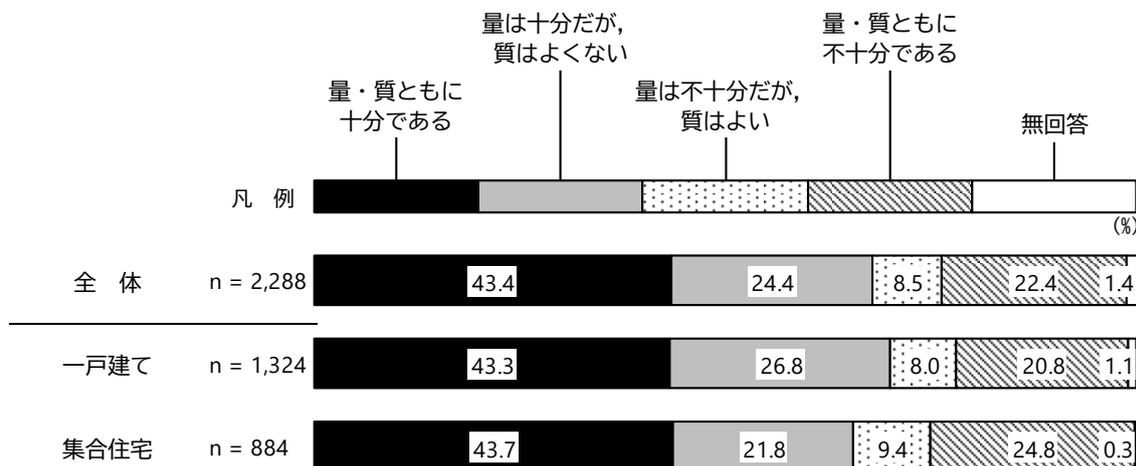
【現在の住まい別／身近なみどりの満足度】

- ▶ 現在の住まい別にみると、【一戸建て】、【集合住宅】ともに、「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を上回っている。
- ▶ この結果を前回調査と比較すると、【一戸建て】、【集合住宅】ともに、「量・質ともに十分である」が上昇、「量・質ともに不十分である」が下降している。

【前回調査】



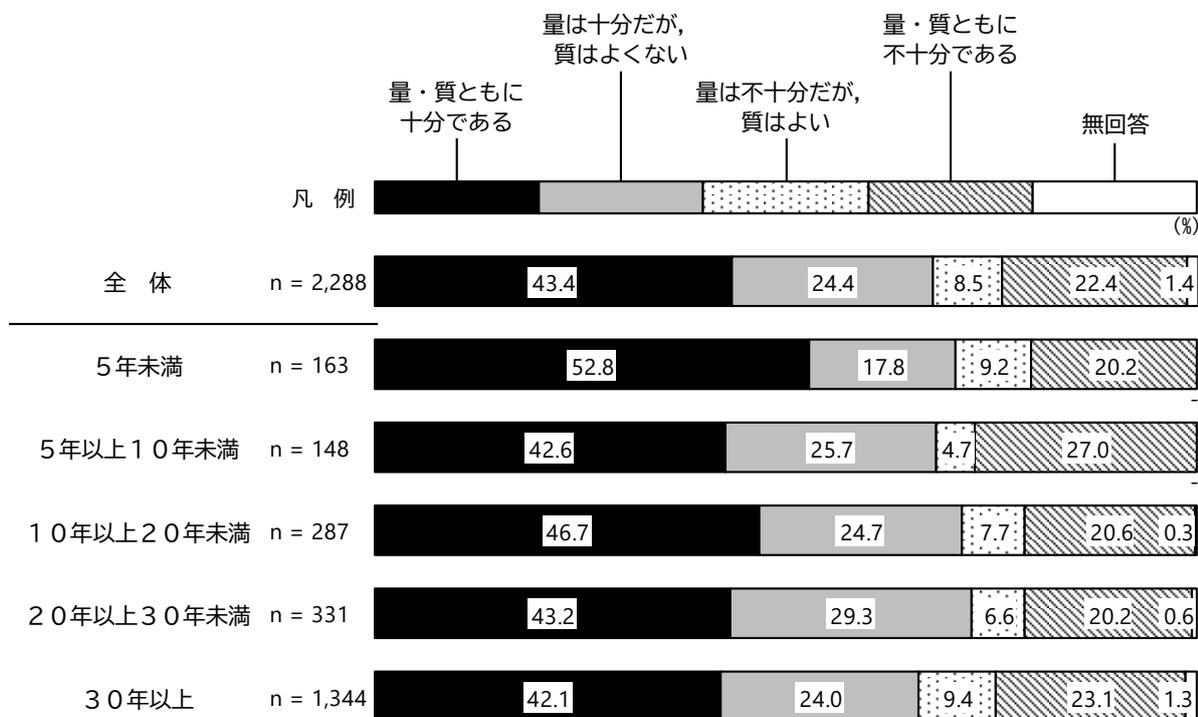
【今回調査】



IV 調査結果の分析

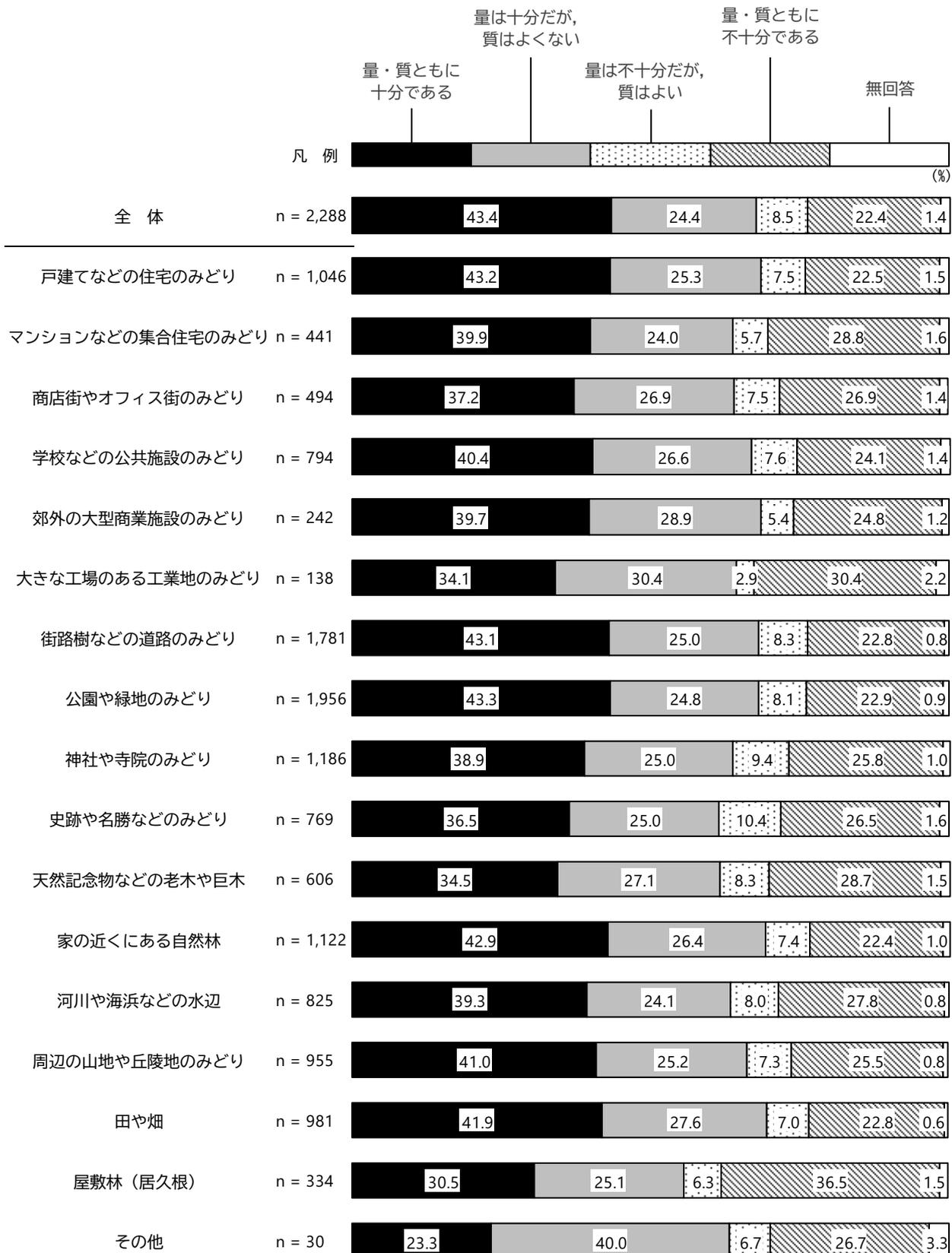
【居住年数別／身近なみどりの満足度】

- ▶ 居住年数別にみると、【5年未満】では「量・質ともに十分である」(52.8%)が5割以上を占め、他の年数に比べ高くなっている。



【身近なみどり（問8）別／身近なみどりの満足度】

- ▶ 身近なみどり（問8）別にみると、「量・質ともに十分である」は【その他】を除く全項目で3割以上となっている。
- 一方、「量・質ともに不十分である」は【大きな工場のある工業地のみどり】（30.4%）及び【屋敷林（居久根）】（36.5%）で3割以上となっている。



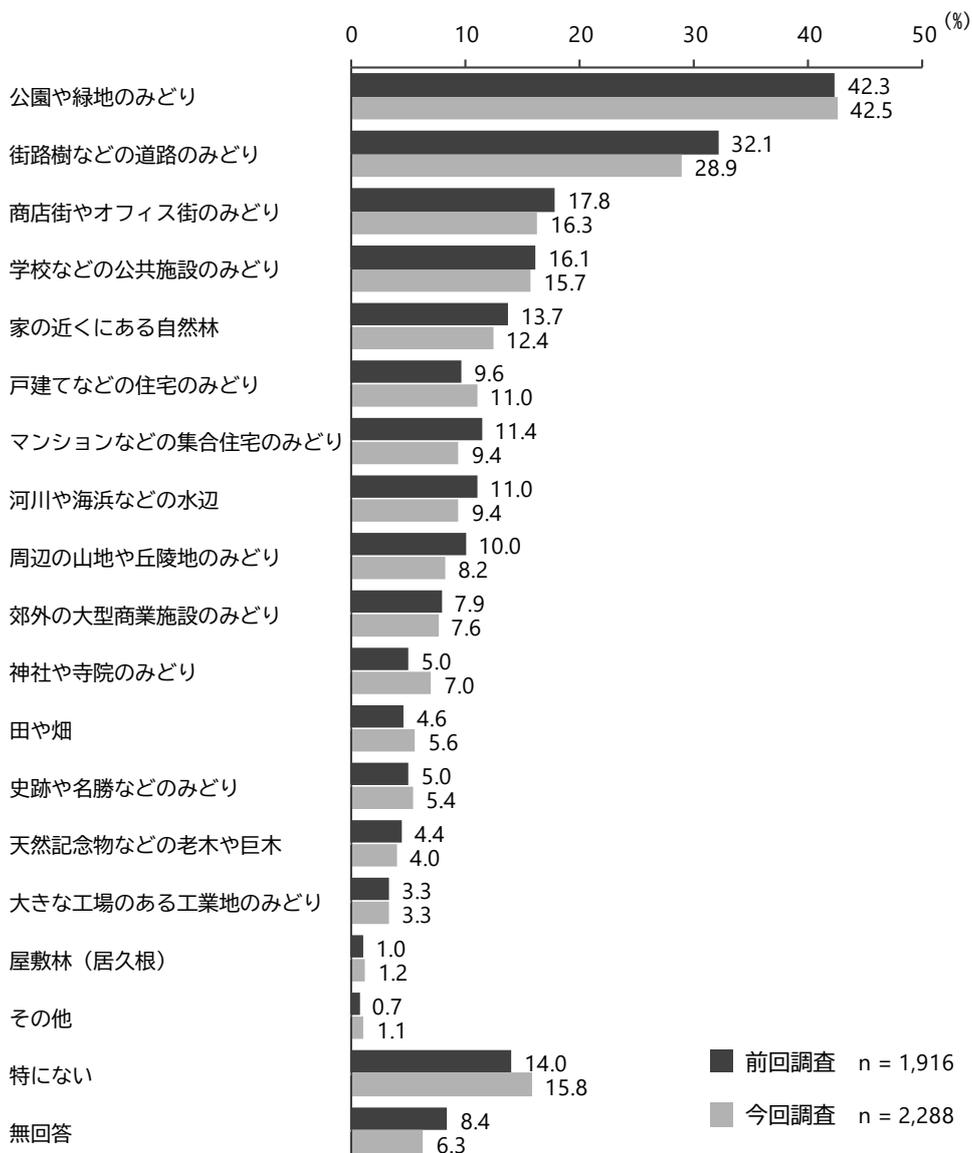
IV 調査結果の分析

1-3 欲しいと思う身近なみどり

- ▶ 欲しいと思う身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」が42.5%と最も高く、次いで、「街路樹などの道路のみどり」(28.9%)、「商店街やオフィス街のみどり」(16.3%)、「学校などの公共施設のみどり」(15.7%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問10 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。

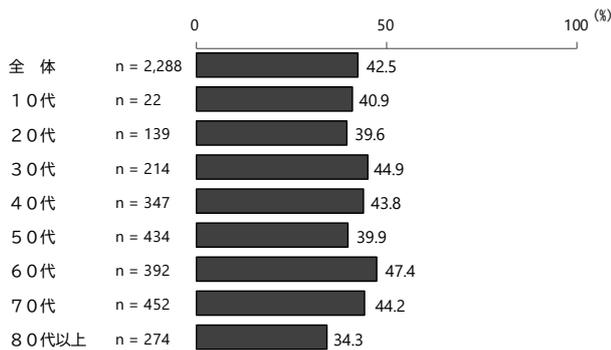
(主にあてはまる番号3つまでに○)



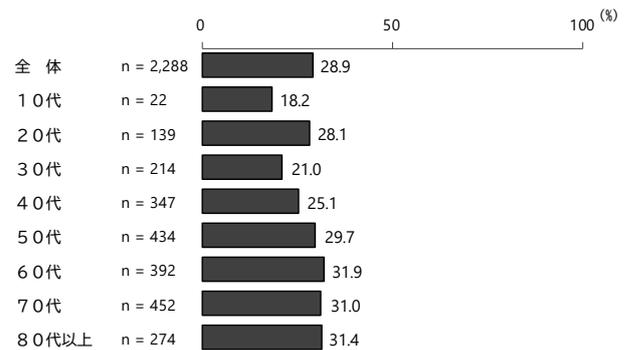
【年代別／欲しいと思う身近なみどり】

- ▶ 年代別にみると、「公園や緑地のみどり」は【80代以上】を除く全年代で約4～5割となっている。
このほか、「商店街やオフィス街のみどり」は【20代】～【60代】で2割前後となっているものの、【10代】、【70代】、【80代以上】では1割程度となっている。

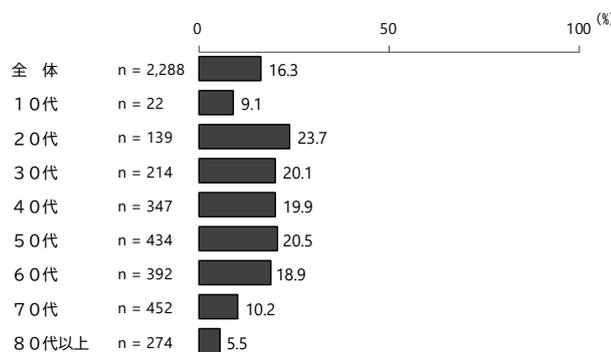
〈公園や緑地のみどり〉



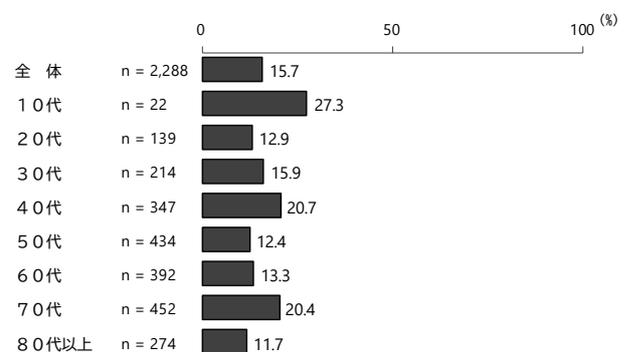
〈街路樹などの道路のみどり〉



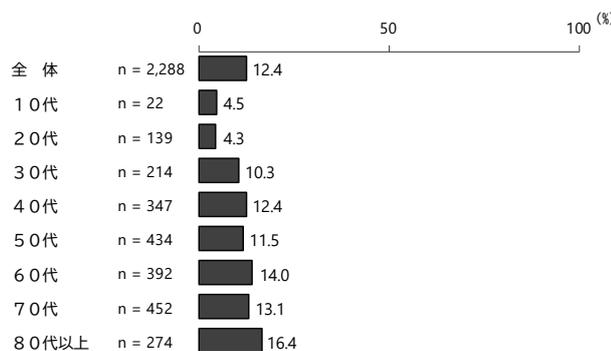
〈商店街やオフィス街のみどり〉



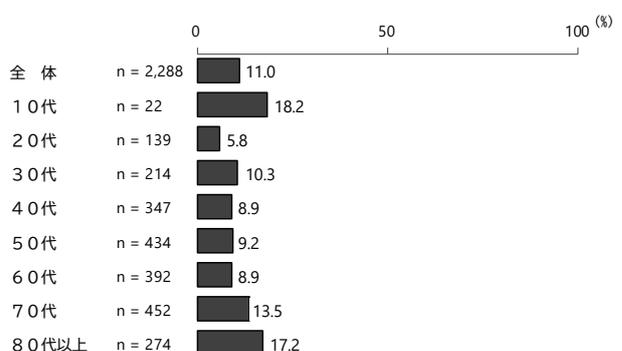
〈学校などの公共施設のみどり〉



〈家の近くにある自然林〉

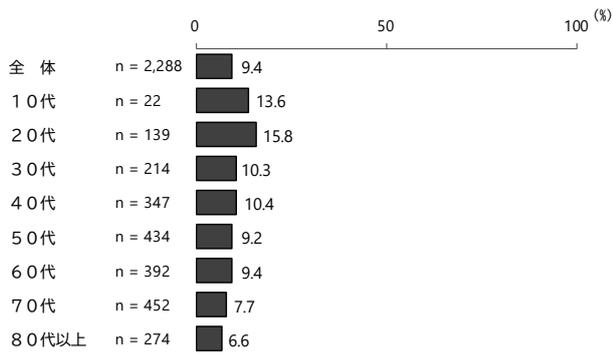


〈戸建てなどの住宅のみどり〉

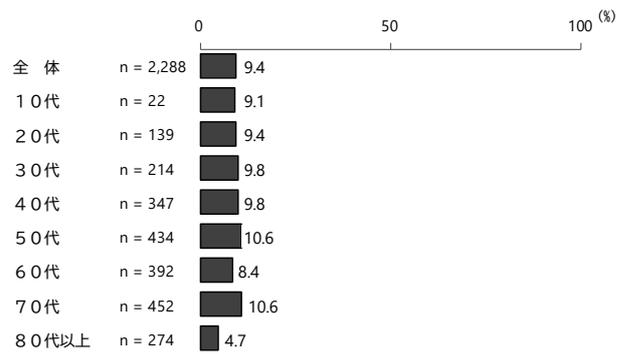


IV 調査結果の分析

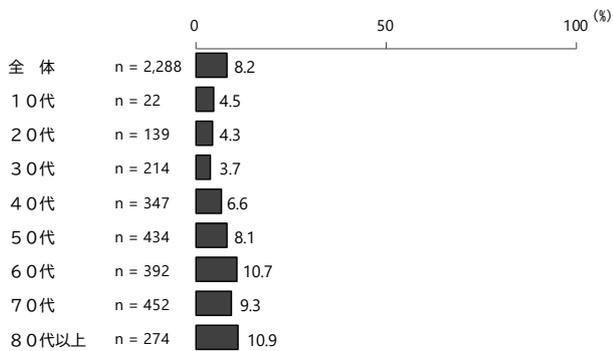
〈マンションなどの集合住宅のみどり〉



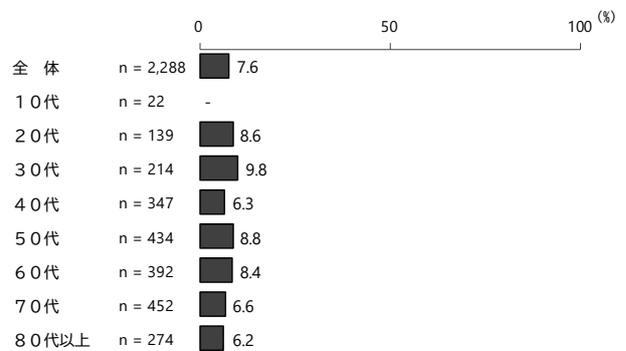
〈河川や海浜などの水辺〉



〈周辺の山地や丘陵地のみどり〉



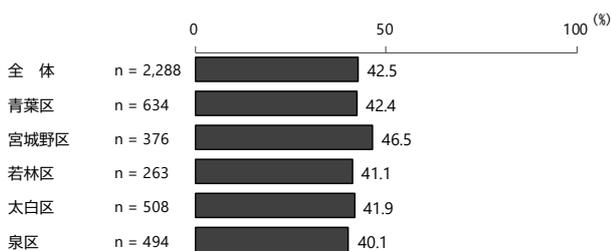
〈郊外の大型商業施設のみどり〉



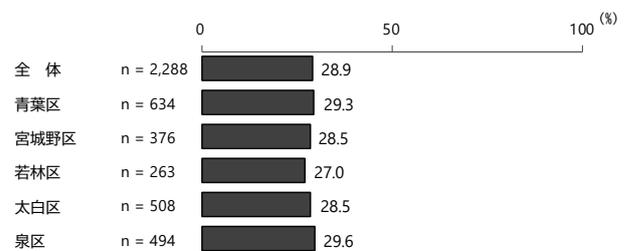
【居住地区別／欲しいと思う身近なみどり】

- ▶ 居住地区別にみると、「公園や緑地のみどり」では【宮城野区】が46.5%と、他の区に比べやや高くなっている。「家の近くにある自然林」では【若林区】が6.1%と、他の区に比べやや低くなっている。

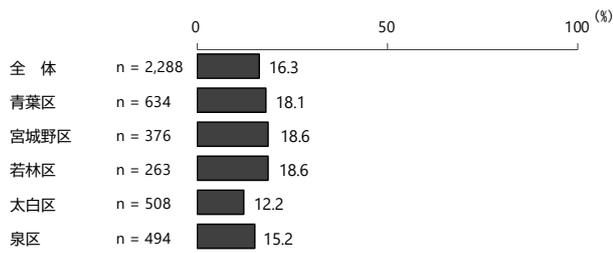
〈公園や緑地のみどり〉



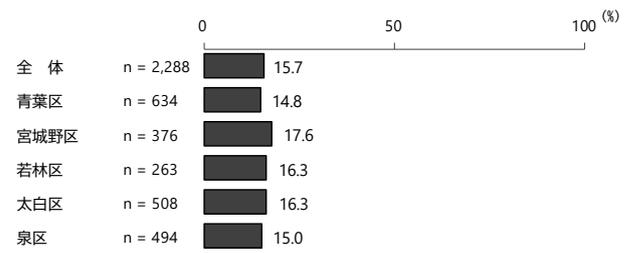
〈街路樹などの道路のみどり〉



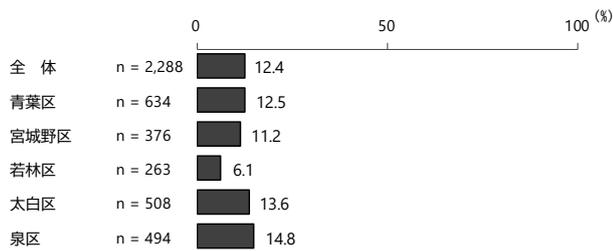
〈商店街やオフィス街のみどり〉



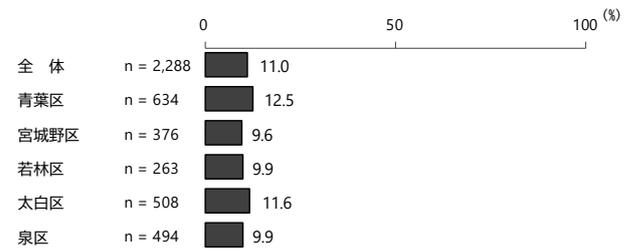
〈学校などの公共施設のみどり〉



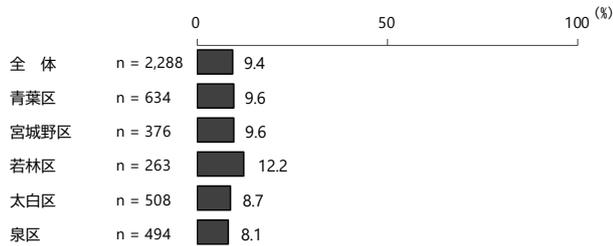
〈家の近くにある自然林〉



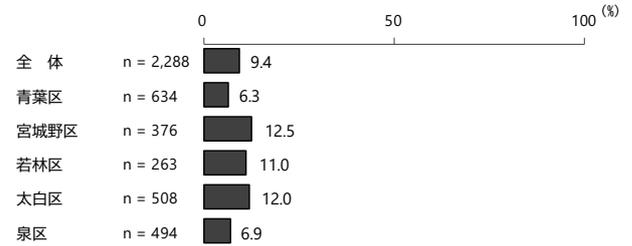
〈戸建てなどの住宅のみどり〉



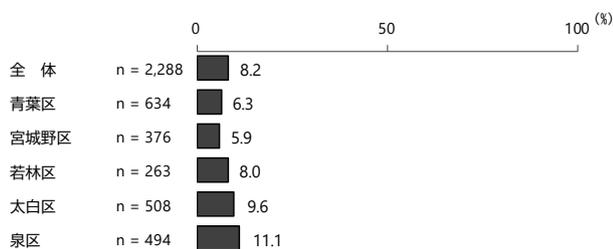
〈マンションなどの集合住宅のみどり〉



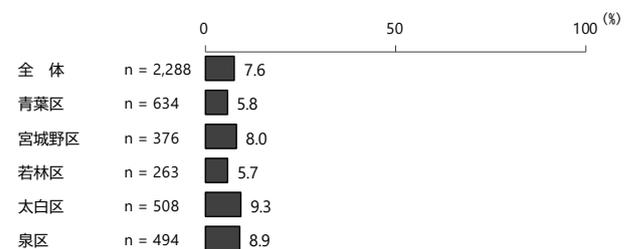
〈河川や海浜などの水辺〉



〈周辺の山地や丘陵地のみどり〉



〈郊外の大型商業施設のみどり〉



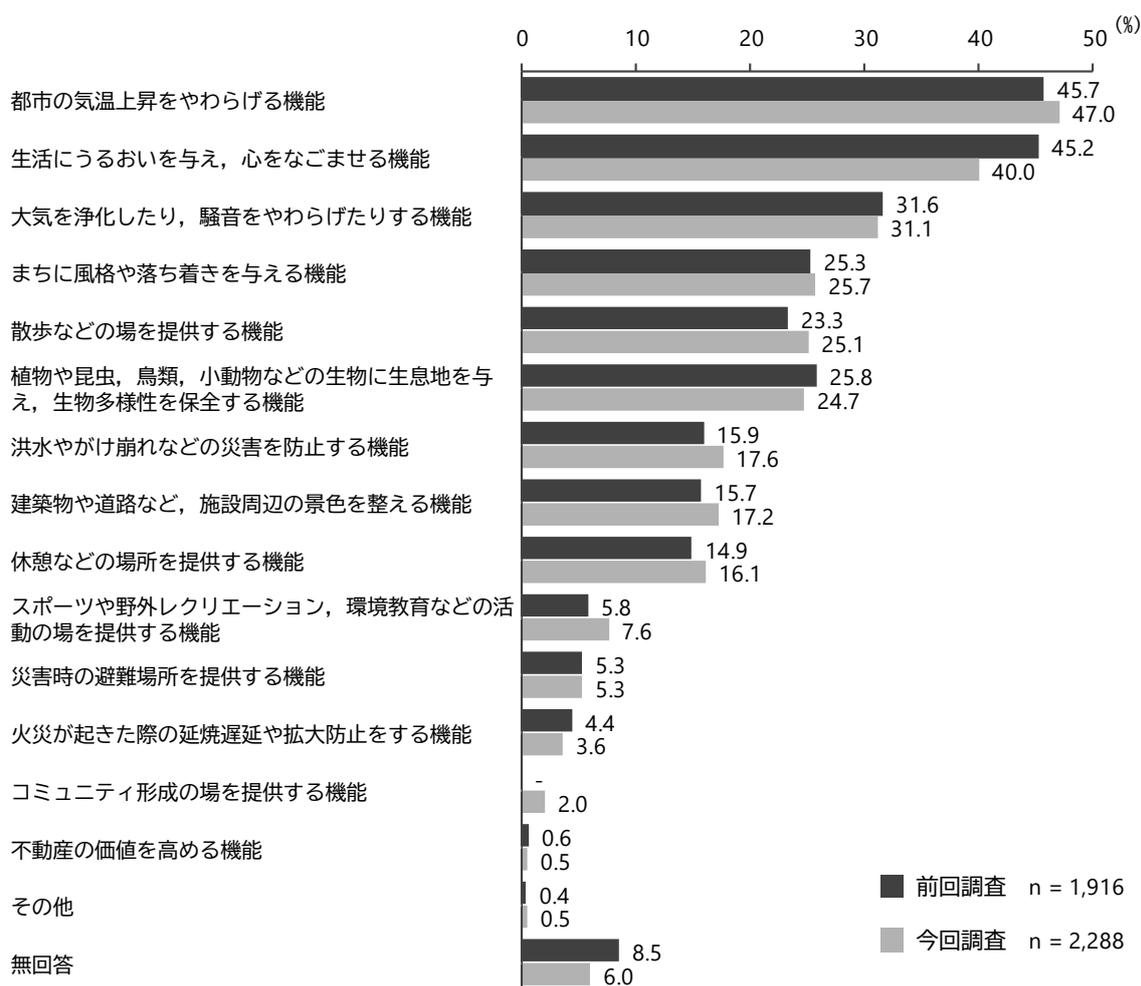
IV 調査結果の分析

1-4 身近なみどりに期待する機能

- ▶ 身近なみどりに期待する機能については、「都市の気温上昇をやわらげる機能」が47.0%と最も高く、次いで、「生活にうるおいを与え、心をなごませる機能」(40.0%)、「大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする機能」(31.1%)、「まちに風格や落ち着きを与える機能」(25.7%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 11 身近なみどりは皆さんの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)



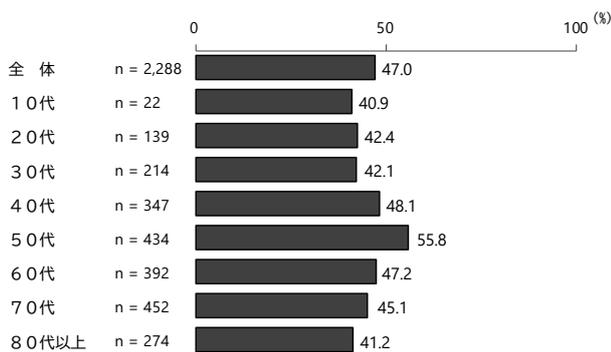
※「スポーツや野外レクリエーション、環境教育などの活動の場を提供する機能」は、前回調査では「スポーツや野外レクリエーション、環境教育などの活動の場を提供する機能」として聴取

※「コミュニティ形成の場を提供する機能」は、前回調査では未聴取

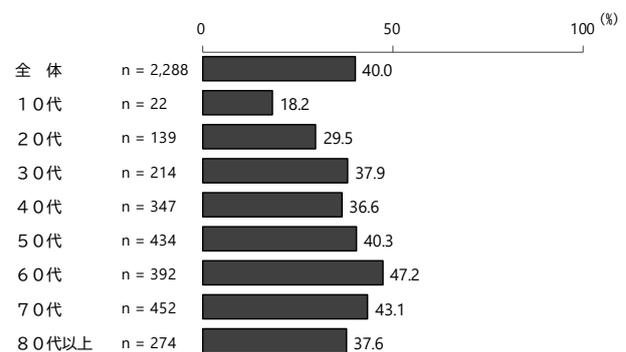
【年代別／身近なみどりに期待する機能】

- ▶ 年代別にみると、「生活にうるおいを与え、心をなごませる機能」、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」、「洪水やがけ崩れなどの災害を防止する機能」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。
- 一方、「まちに風格や落ち着きを与える機能」、「建築物や道路など、施設周辺の景色を整える機能」、「スポーツや野外レクリエーション、環境教育などの活動の場を提供する機能」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

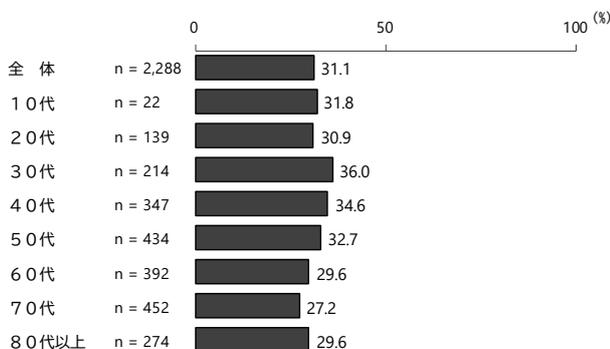
〈都市の気温上昇をやわらげる機能〉



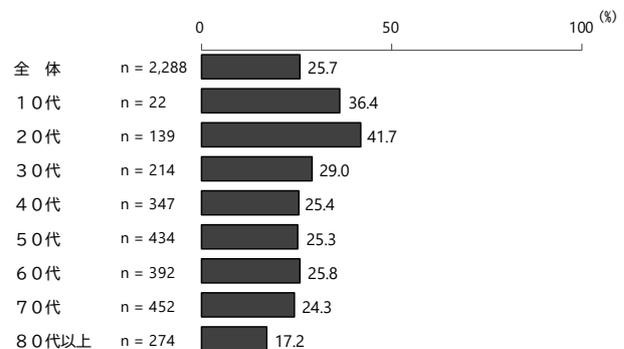
〈生活にうるおいを与え、心をなごませる機能〉



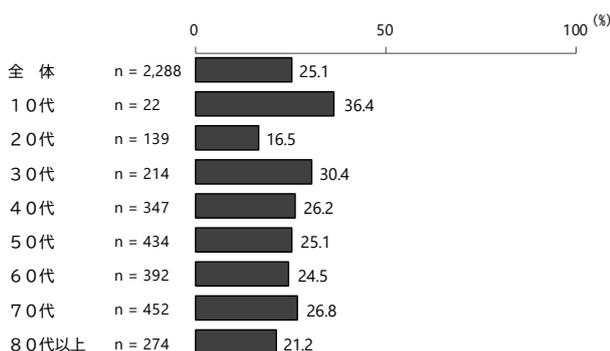
〈大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする機能〉



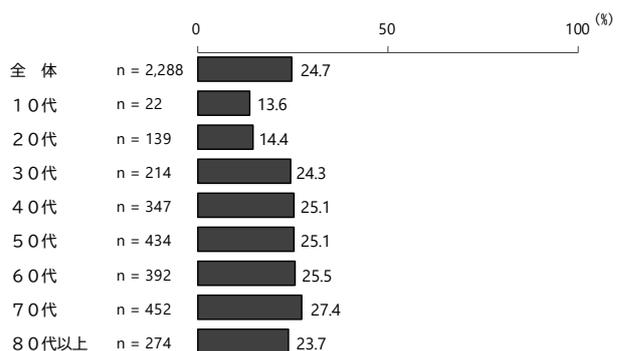
〈まちに風格や落ち着きを与える機能〉



〈散歩などの場を提供する機能〉

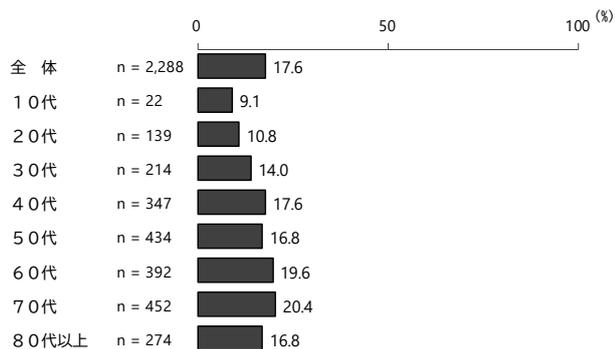


〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能〉

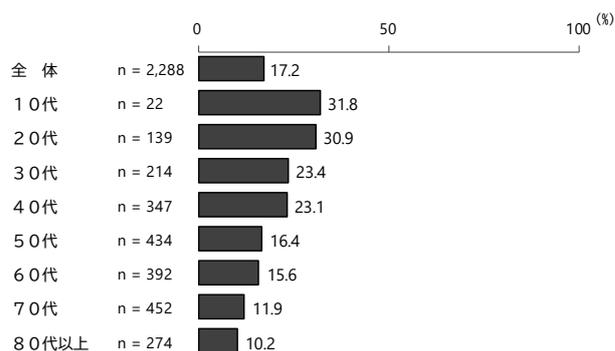


IV 調査結果の分析

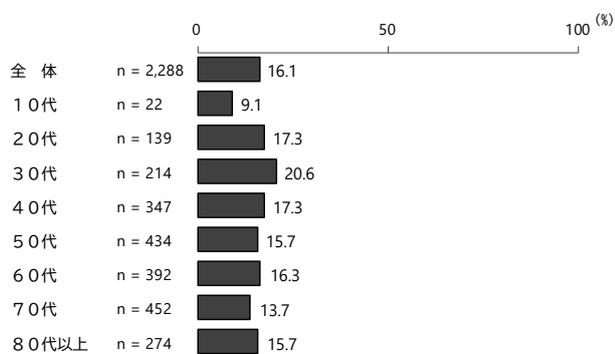
〈洪水やがけ崩れなどの災害を防止する機能〉



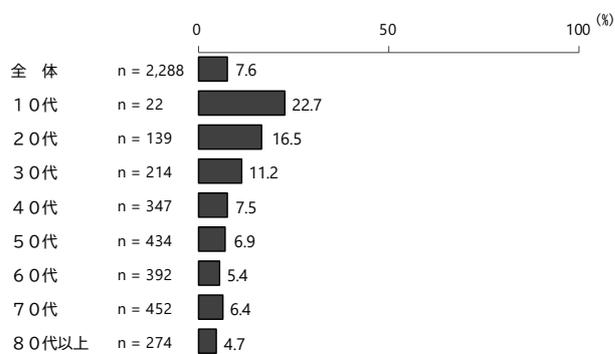
〈建築物や道路など、施設周辺の景色を整える機能〉



〈休憩などの場所を提供する機能〉



〈スポーツや野外レクリエーション、環境教育などの活動の場を提供する機能〉



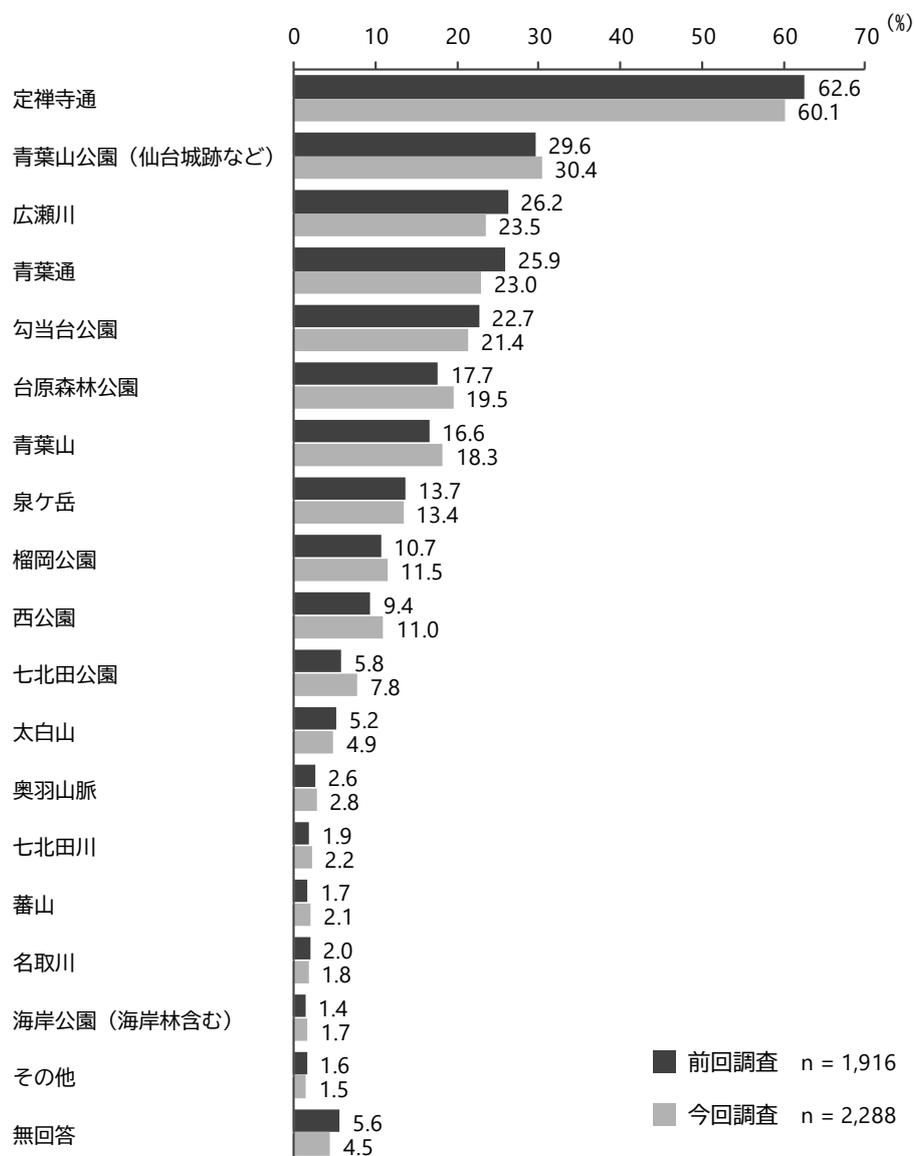
2 「杜の都」という言葉について

2-1 「杜の都」を代表するみどり

- ▶ 「杜の都」を代表するみどりについては、「定禅寺通」が60.1%と最も高く、次いで、「青葉山公園（仙台城跡など）」（30.4%）、「広瀬川」（23.5%）、「青葉通」（23.0%）となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問12 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。

（主にあてはまる番号3つまでに○）



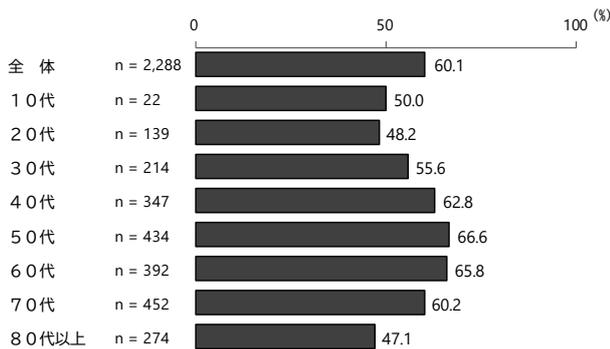
IV 調査結果の分析

【年代別／「杜の都」を代表するみどり】

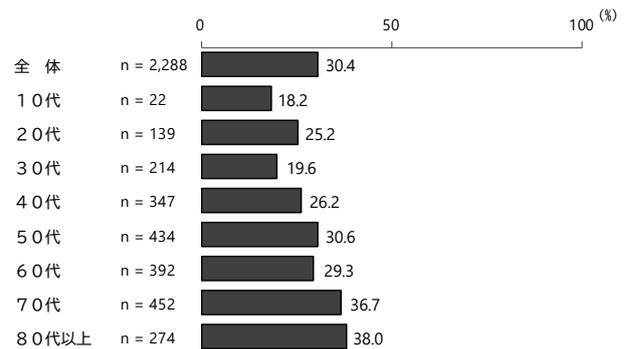
- ▶ 年代別にみると、「定禅寺通」は【40代】～【70代】で6割以上と、他の年代に比べ高くなっているが、一方で【20代】（48.2%）及び【80代以上】（47.1%）では5割を下回っている。

また、「青葉山公園（仙台城跡など）」、「青葉通」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

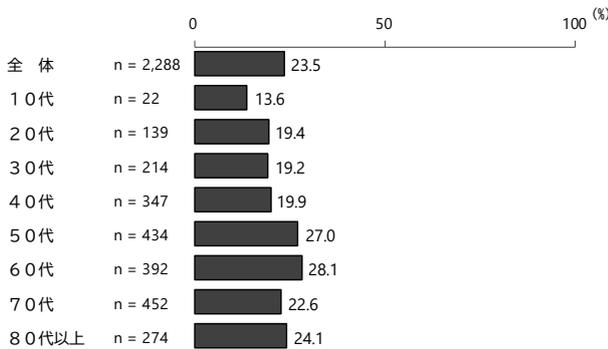
〈定禅寺通〉



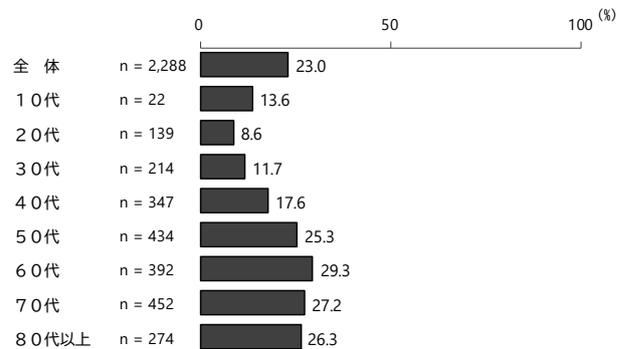
〈青葉山公園（仙台城跡など）〉



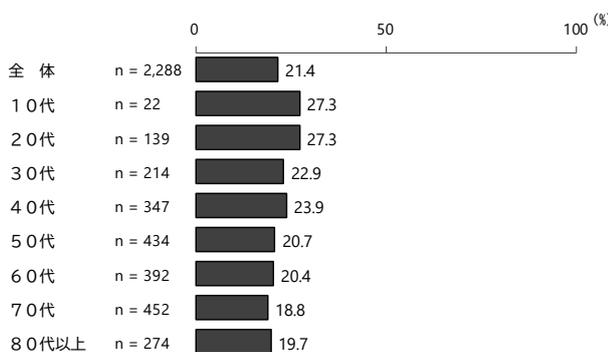
〈広瀬川〉



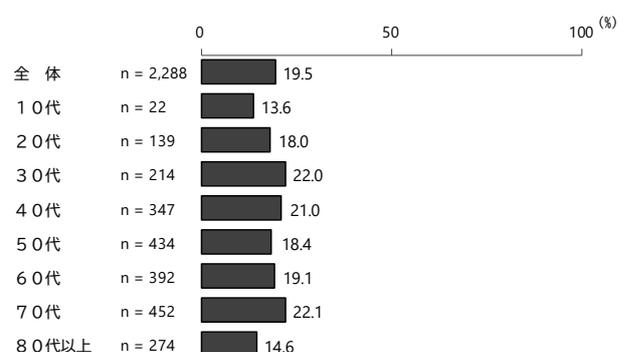
〈青葉通〉



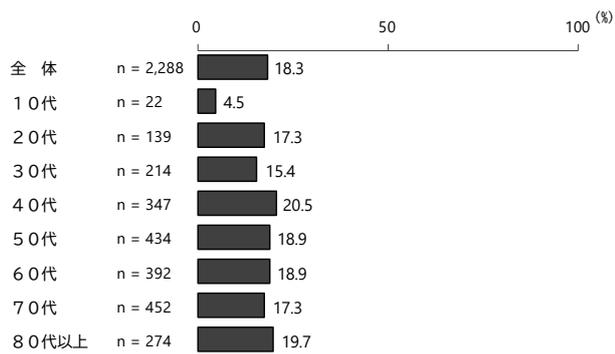
〈勾当台公園〉



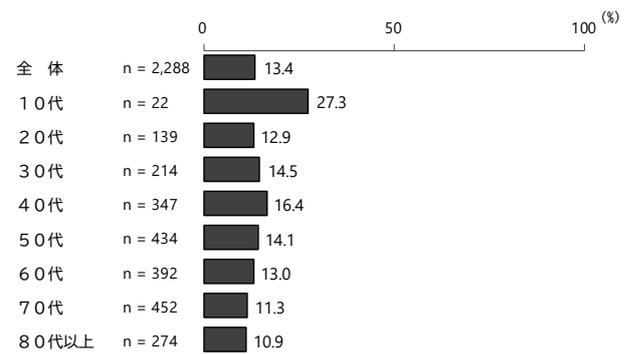
〈台原森林公園〉



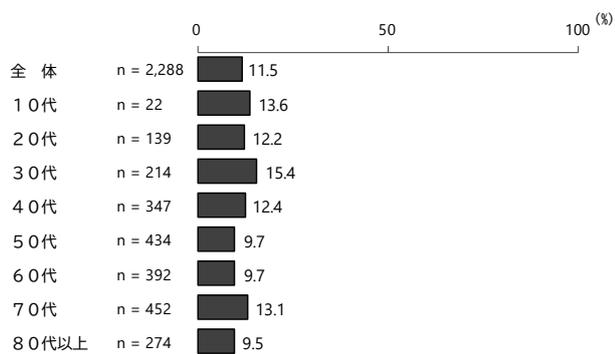
〈青葉山〉



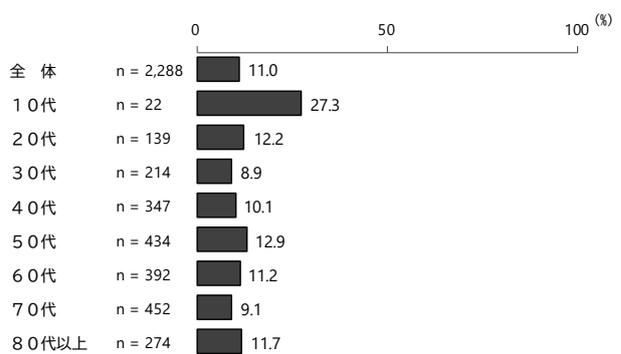
〈泉ヶ岳〉



〈榴岡公園〉



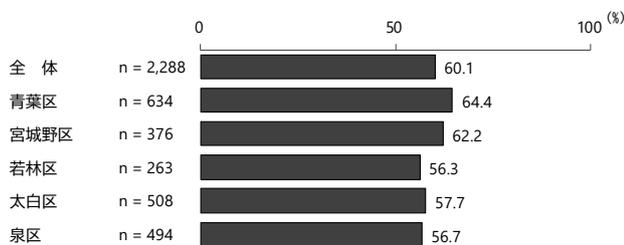
〈西公園〉



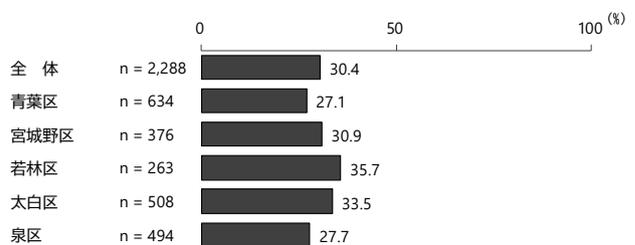
【居住地区別／「杜の都」を代表するみどり】

- ▶ 居住地区別にみると、「泉ヶ岳」では【泉区】(27.5%)が、「榴岡公園」では【宮城野区】(27.4%)が、それぞれ他の区に比べ高くなっている。

〈定禅寺通〉

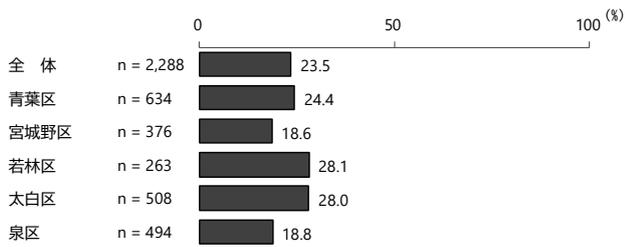


〈青葉山公園（仙台城跡など）〉

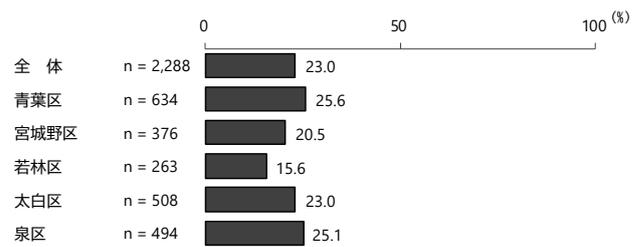


IV 調査結果の分析

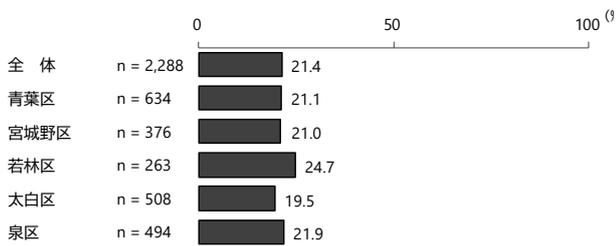
〈広瀬川〉



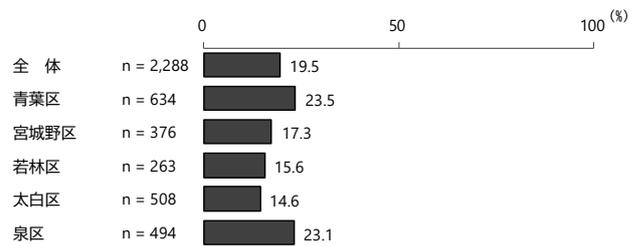
〈青葉通〉



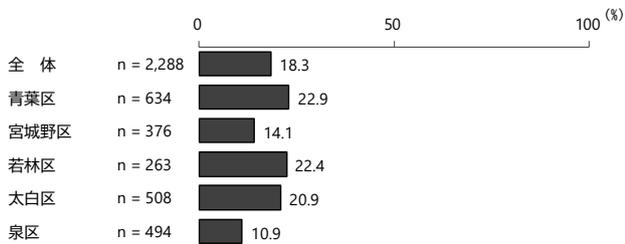
〈勾当台公園〉



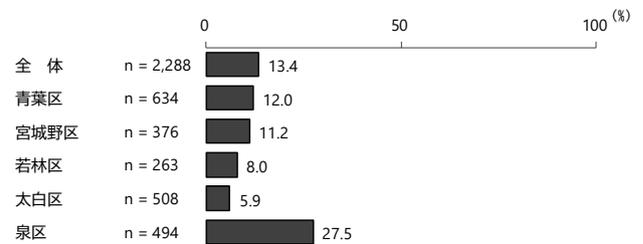
〈台原森林公園〉



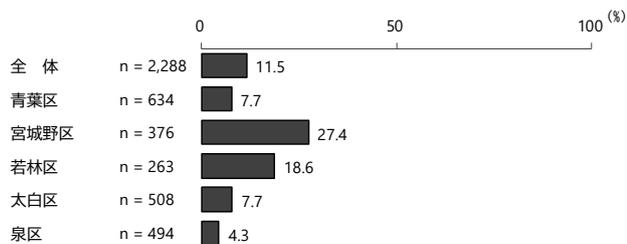
〈青葉山〉



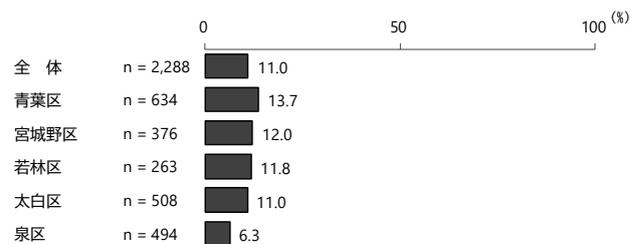
〈泉ヶ岳〉



〈榴岡公園〉



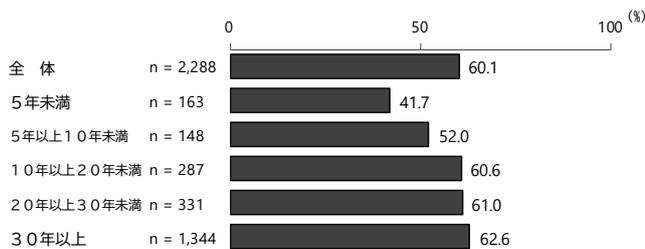
〈西公園〉



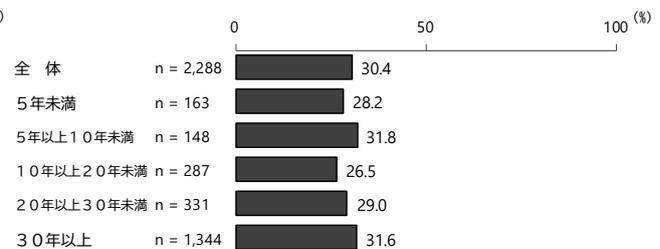
【居住年数別／「杜の都」を代表するみどり】

- ▶ 居住年数別にみると、全体の上位項目である「定禅寺通」、「広瀬川」、「青葉通」はいずれも、概ね年数が上がるにつれて回答割合が高くなっている。「勾当台公園」、「榴岡公園」は【5年未満】～【5年以上10年未満】が他の年数に比べやや高くなっている。

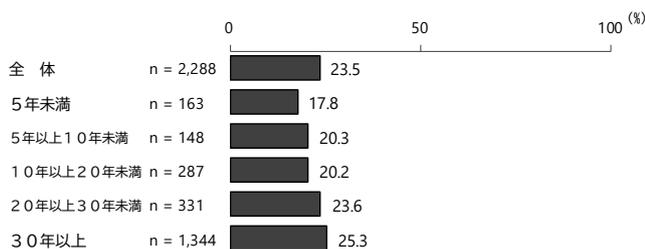
〈定禅寺通〉



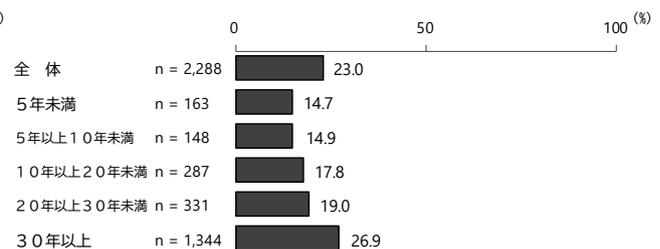
〈青葉山公園（仙台城跡など）〉



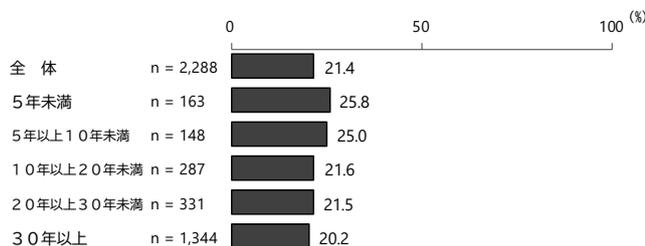
〈広瀬川〉



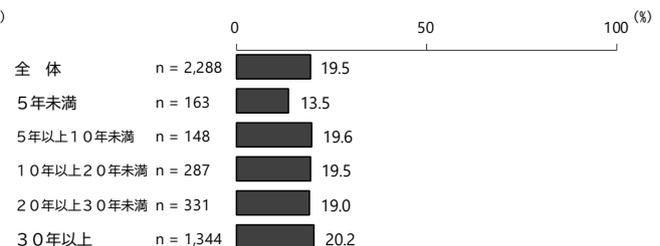
〈青葉通〉



〈勾当台公園〉

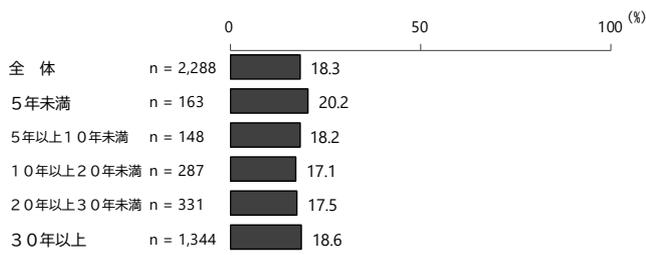


〈台原森林公園〉

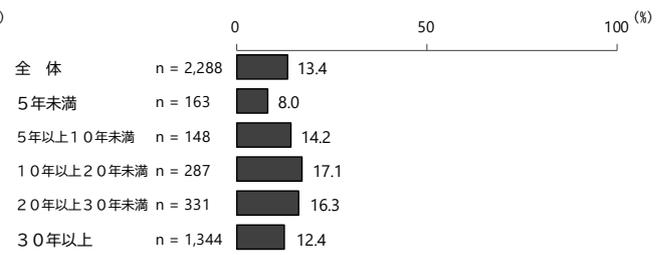


IV 調査結果の分析

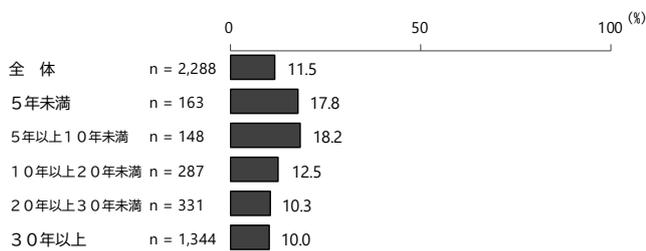
〈青葉山〉



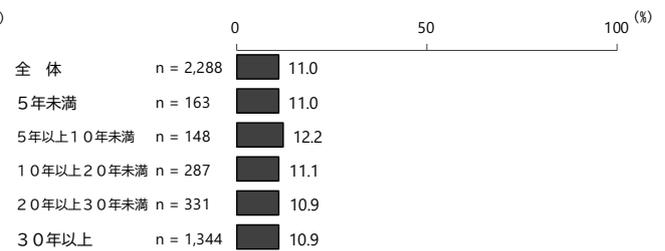
〈泉ヶ岳〉



〈榴岡公園〉



〈西公園〉

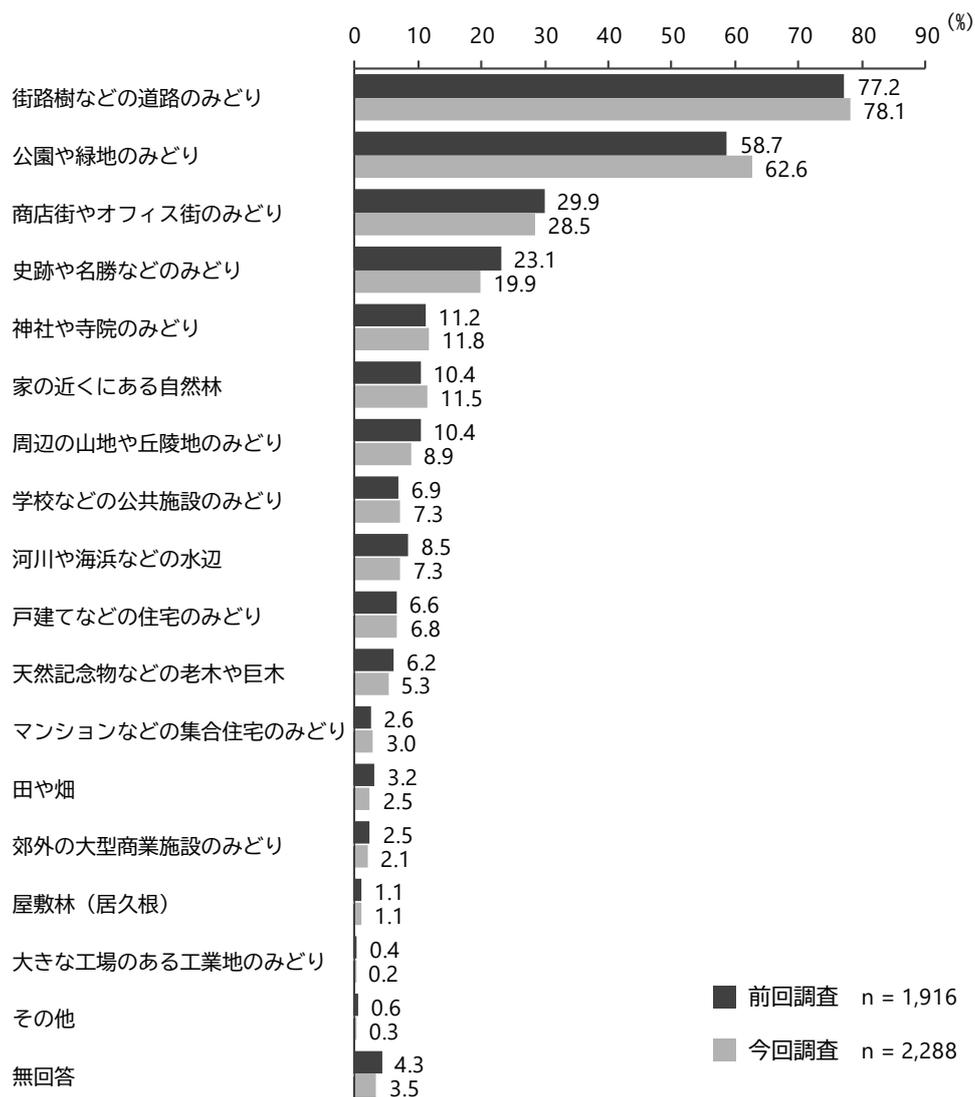


2-2 「杜の都」という言葉から思い描くみどり

- ▶ 「杜の都」という言葉から思い描くみどりについては、「街路樹などの道路のみどり」が78.1%と最も高く、次いで、「公園や緑地のみどり」(62.6%)、「商店街やオフィス街のみどり」(28.5%)、「史跡や名勝などのみどり」(19.9%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 13 「杜の都」という言葉からどのようなみどりが沢山ある街を思い描きますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

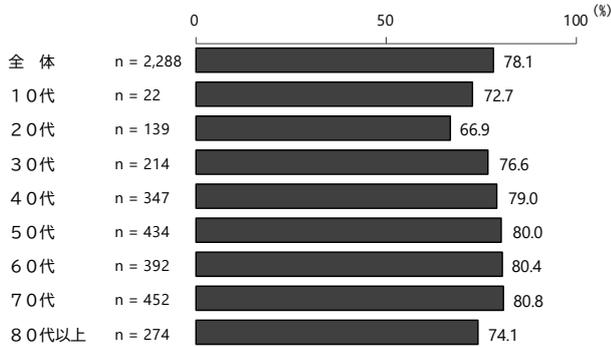


IV 調査結果の分析

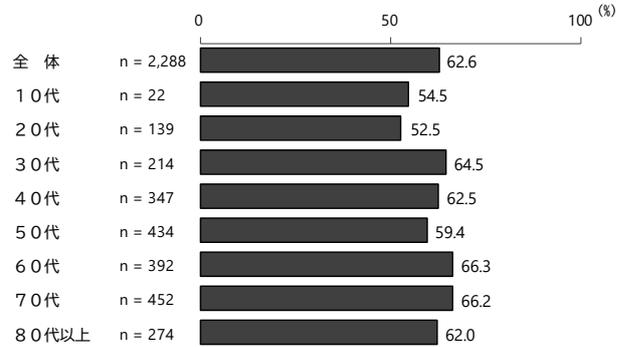
【年代別／「杜の都」という言葉から思い描くみどり】

- ▶ 年代別にみると、「商店街やオフィス街のみどり」は【20代】～【50代】で3割台となっているものの、【60代】以降では下降し、【80代以上】(12.0%)では全年代で最も低くなっている。

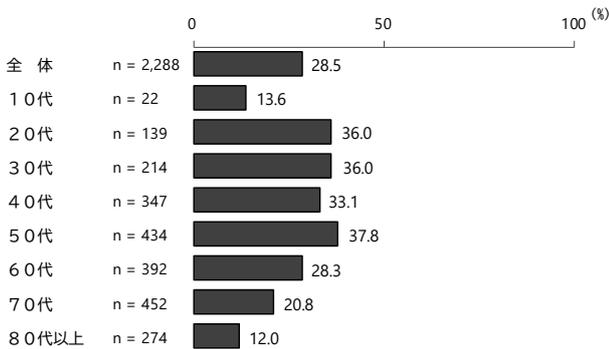
〈街路樹などの道路のみどり〉



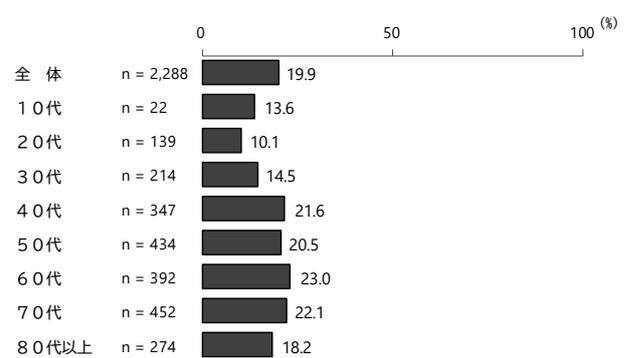
〈公園や緑地のみどり〉



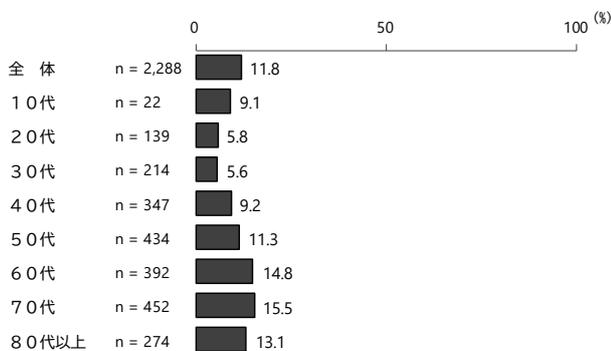
〈商店街やオフィス街のみどり〉



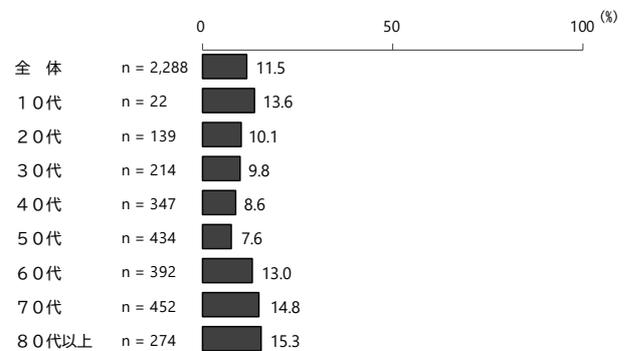
〈史跡や名勝などのみどり〉



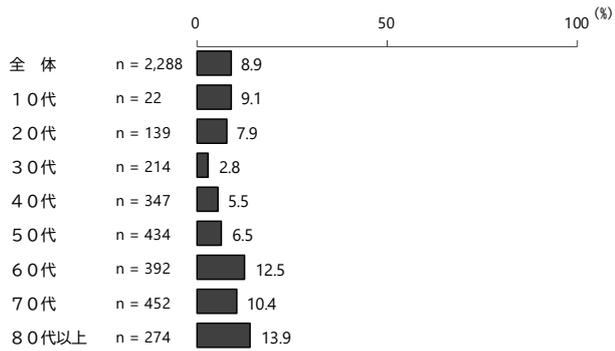
〈神社や寺院のみどり〉



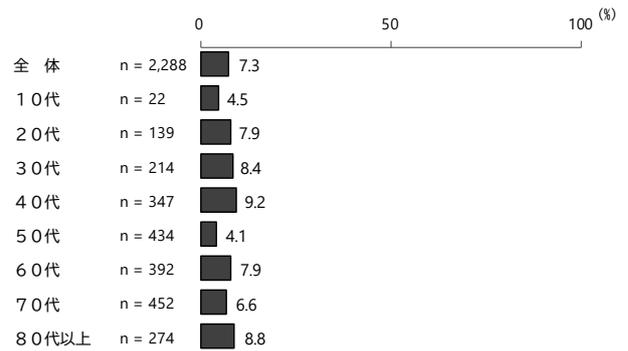
〈家の近くにある自然林〉



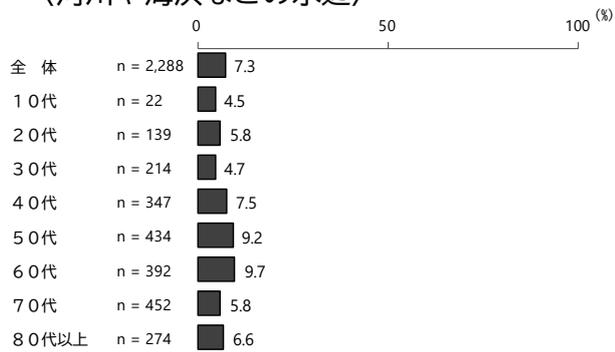
〈周辺の山地や丘陵地のみどり〉



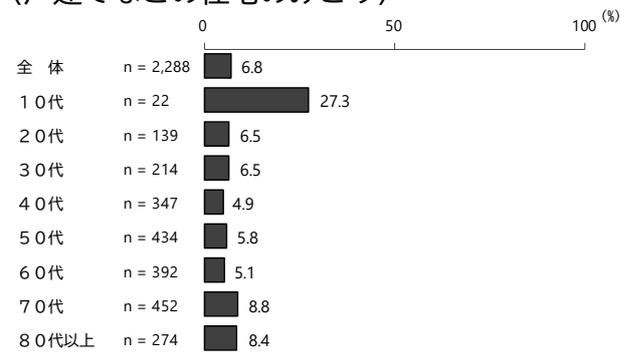
〈学校などの公共施設のみどり〉



〈河川や海浜などの水辺〉



〈戸建てなどの住宅のみどり〉



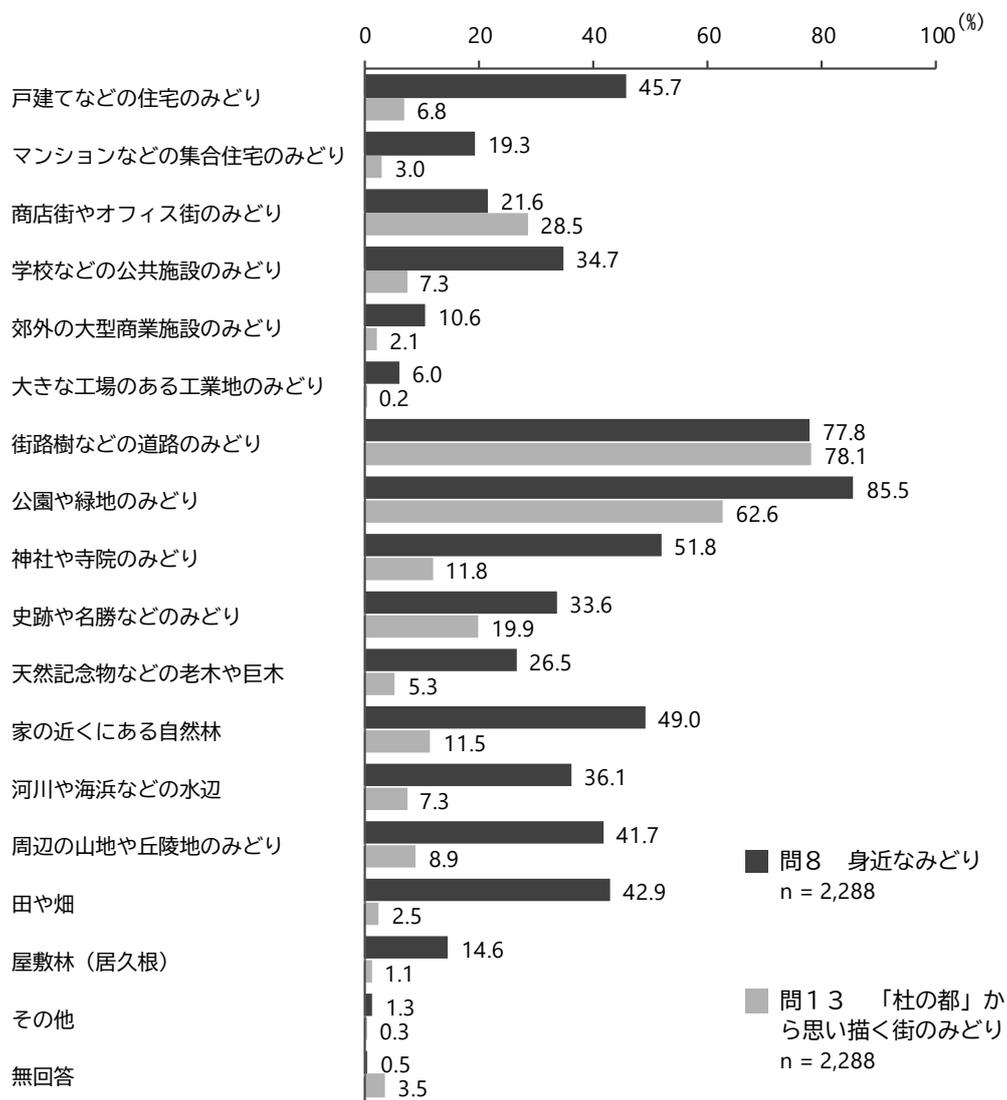
IV 調査結果の分析

【身近なみどりと「杜の都」のみどりの比較】

- ▶ 【身近なみどり】（問8）と【「杜の都」という言葉から思い描くみどり】（問13）を比較すると、「街路樹などの道路のみどり」、「公園や緑地のみどり」はいずれも6割以上となっている。

特に「戸建てなどの住宅のみどり」、「神社や寺院のみどり」、「家の近くにある自然林」などは、4割台半ば～5割ほどの人から【身近なみどり】として認識されているものの、【「杜の都」という言葉から思い描くみどり】としては1割程度にとどまる。

一方、「商店街やオフィス街のみどり」は、【「杜の都」という言葉から思い描くみどり】の回答割合が【身近なみどり】を上回っている。



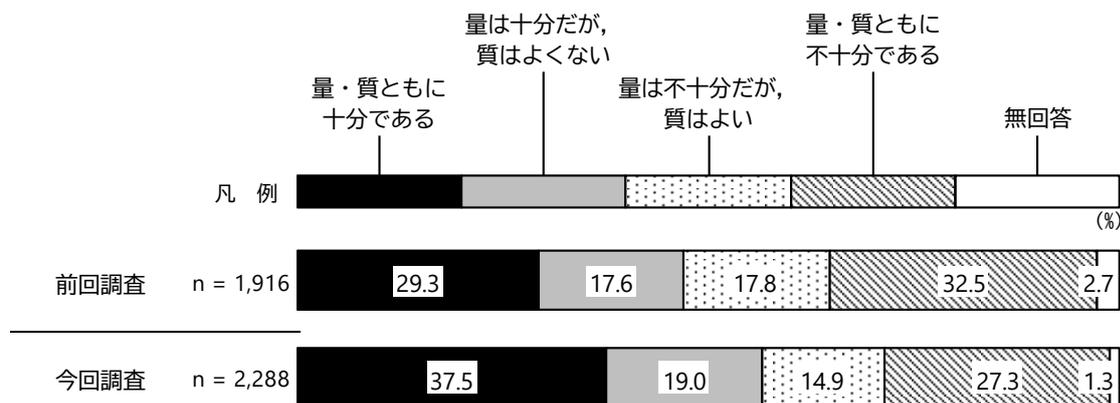
2-3 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度

- ▶ 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度については、「量・質ともに十分である」が37.5%と最も高く、次いで、「量・質ともに不十分である」(27.3%)、「量は十分だが、質はよくない」(19.0%)、「量は不十分だが、質はよい」(14.9%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、「量・質ともに十分である」が約8ポイント上昇、「量・質ともに不十分である」が約5ポイント下降しており、「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度が上昇していることがうかがえる。

問14 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

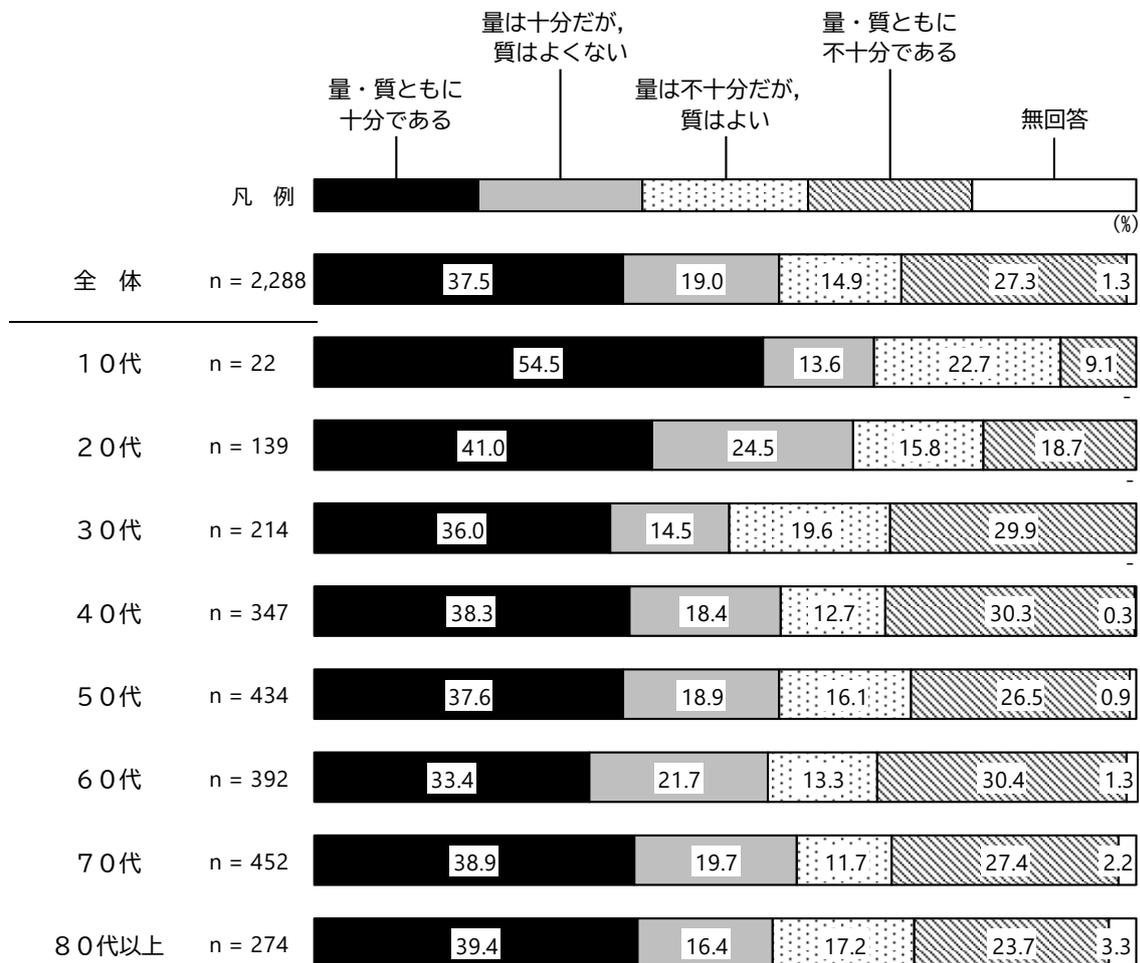
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

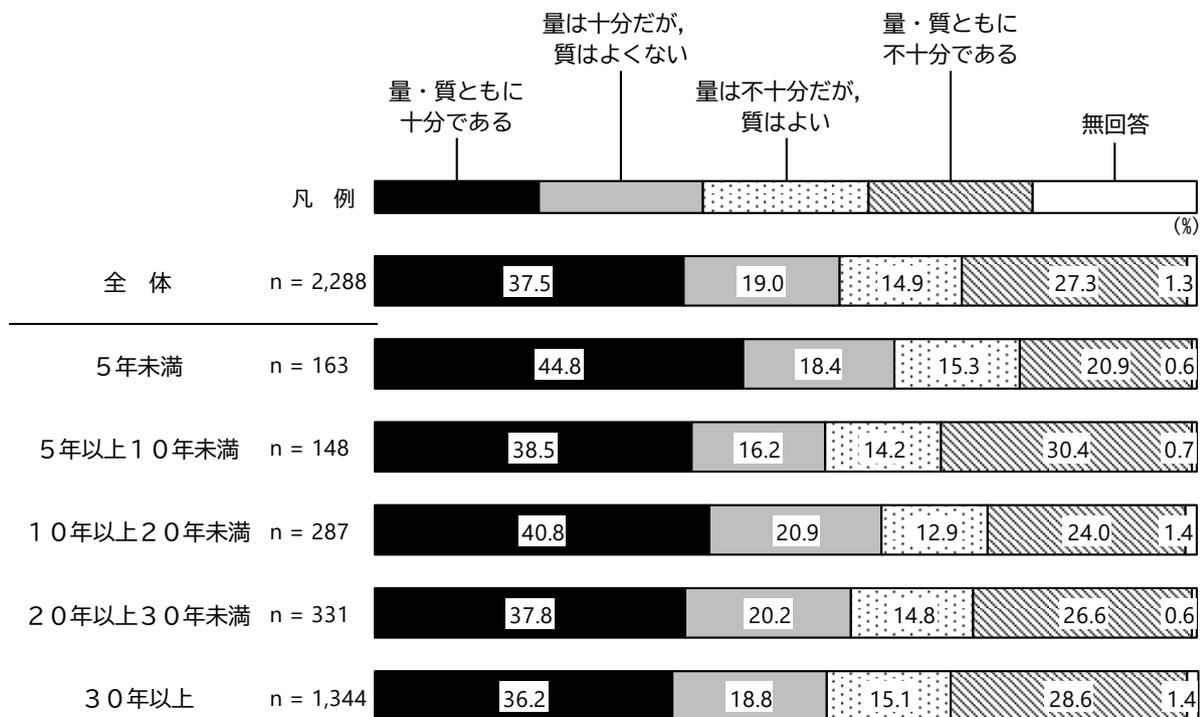
【年代別／「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度】

- ▶ 年代別にみると、【10代】では「量・質ともに十分である」(54.5%)が5割以上を占める一方、「量・質ともに不十分である」(9.1%)は1割を下回り、他の年代に比べ満足度が高くなっている。



【居住年数別／「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度】

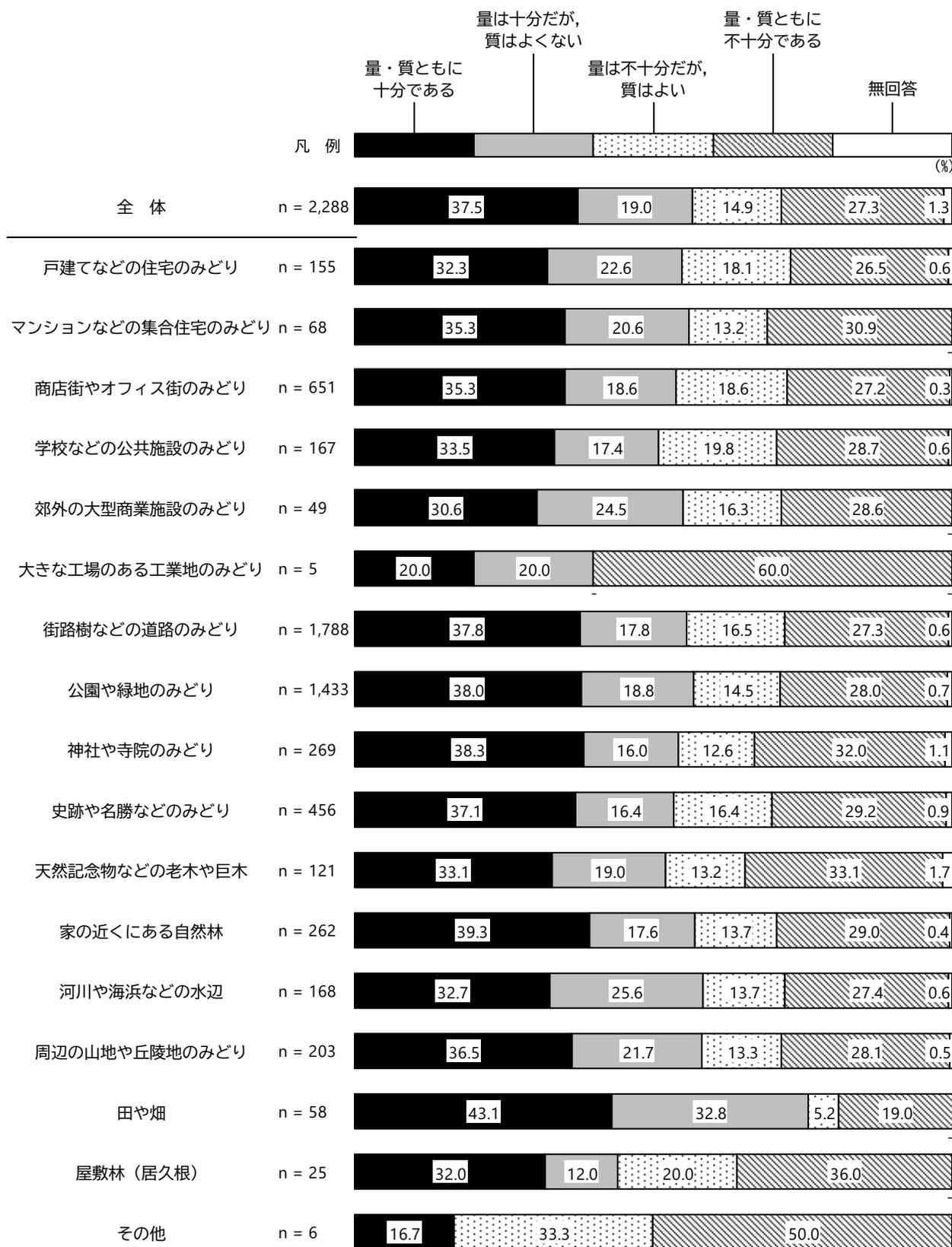
- ▶ 居住年数別にみると、【5年未満】では「量・質ともに十分である」(44.8%)が4割台半ばを占める一方、「量・質ともに不十分である」(20.9%)は約2割となり、他の年数に比べ満足度が高くなっている。



IV 調査結果の分析

【「杜の都」という言葉から思い描くみどり（問13）別／ 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度】

- ▶ 「杜の都」という言葉から思い描くみどり（問13）別にみると、「量・質ともに十分である」はほとんどの項目で3割以上となり、特に【田や畑】では唯一4割以上となっている。



3 これから先の仙台市のみどりのまちづくりについて

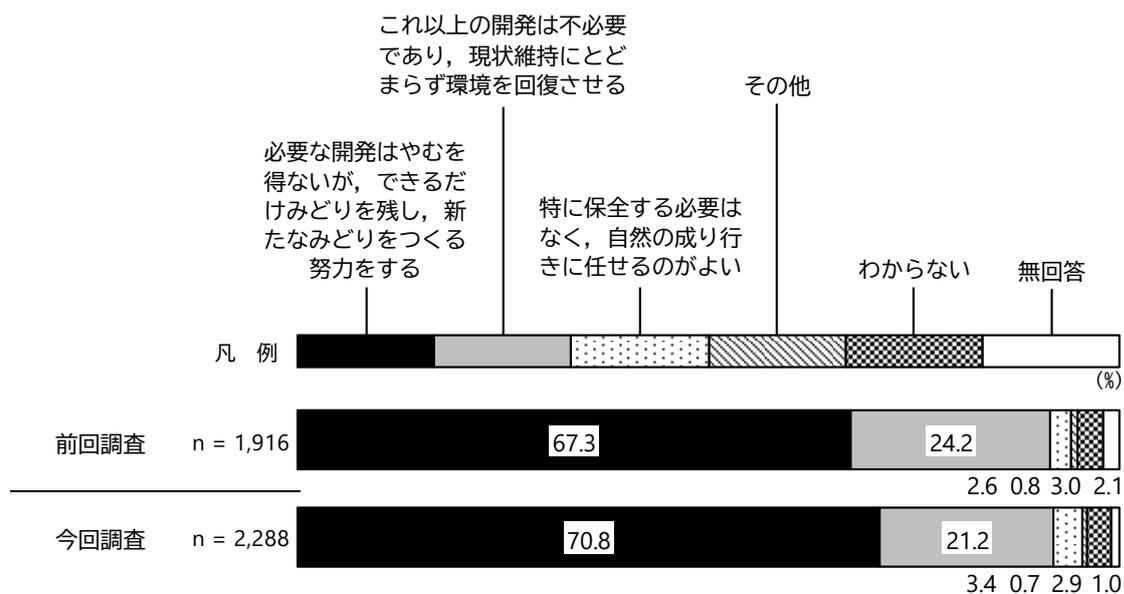
3-1 樹林地などの自然のみどりの保全について

3-1-1 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性

- ▶ 自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性については、「必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする」が70.8%と7割以上を占め、次いで、「これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる」が21.2%となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 15 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

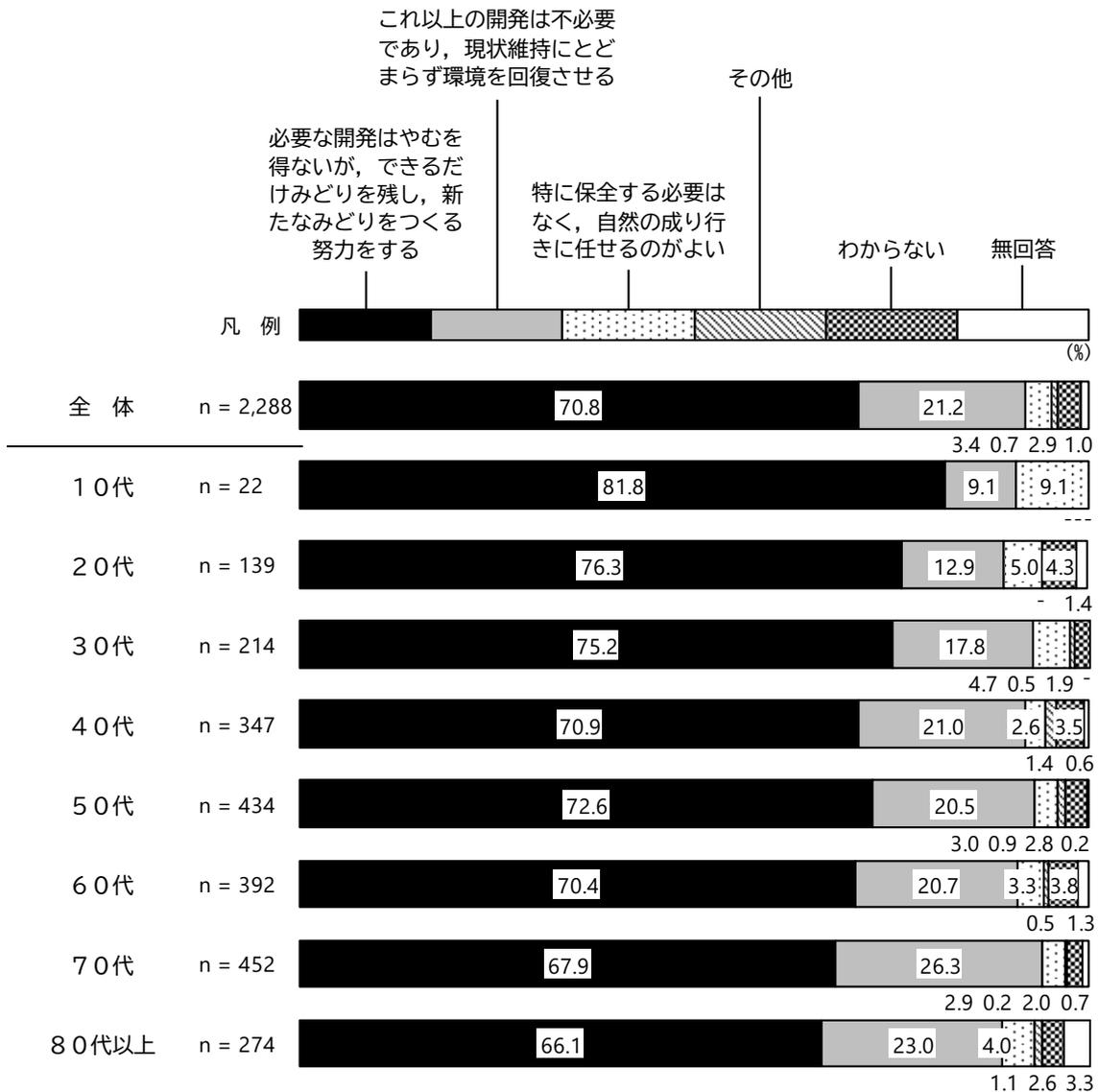


IV 調査結果の分析

【年代別／自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性】

- ▶ 年代別にみると、「必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなり、【70代】（67.9%）及び【80代以上】（66.1%）では6割台であるのに対し、【10代】（81.8%）では8割以上を占める。

一方、「これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

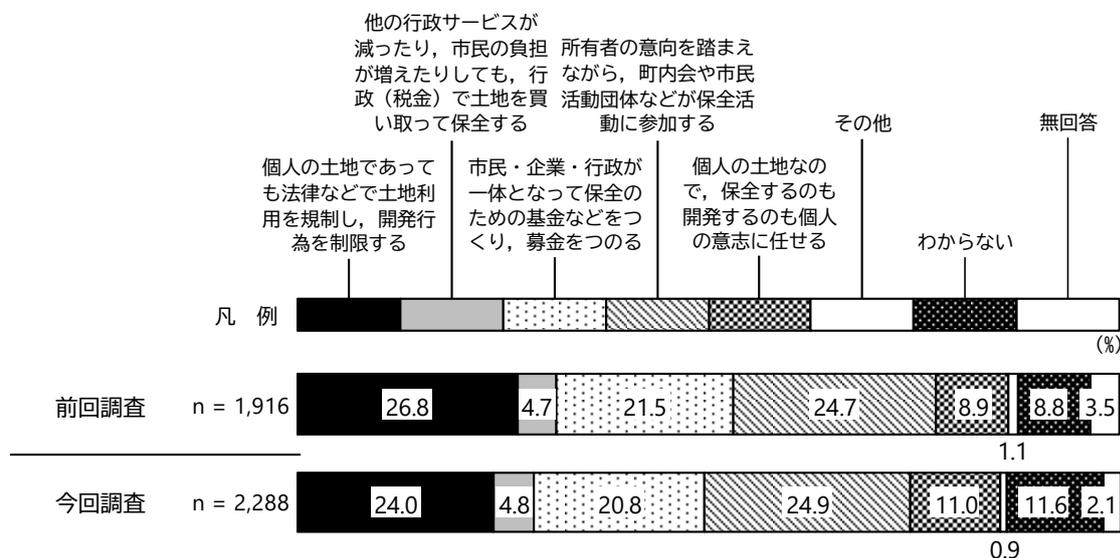


3-1-2 私有地のみどりの保全方法

- ▶ 私有地のみどりの保全方法については、「所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する」が 24.9%と最も高く、次いで、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」(24.0%)、「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」(20.8%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

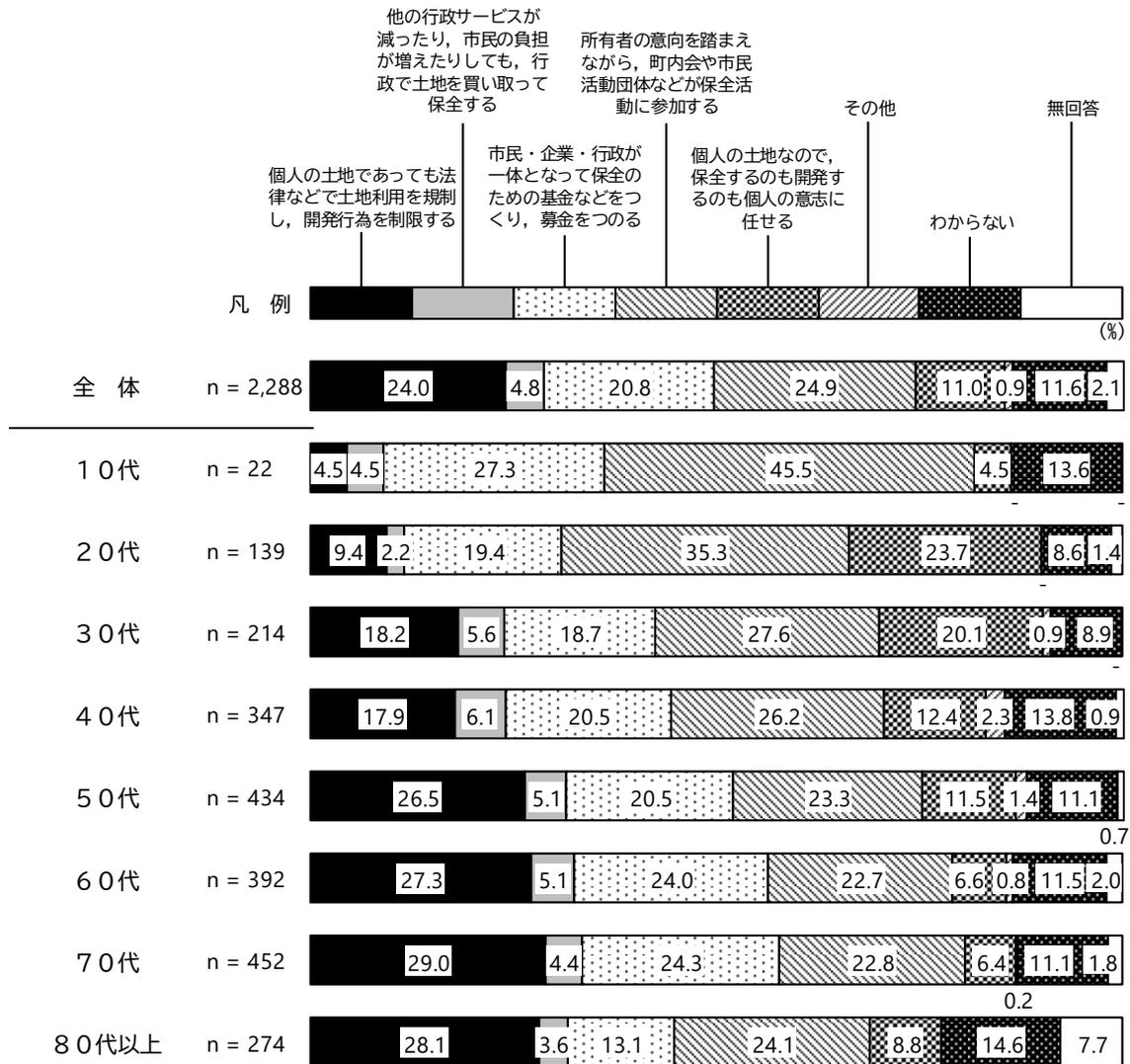
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

【年代別／私有地のみどりの保全方法】

- ▶ 年代別にみると、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。
- 一方、「所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなり、また「個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志に任せる」は【10代】を除き、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

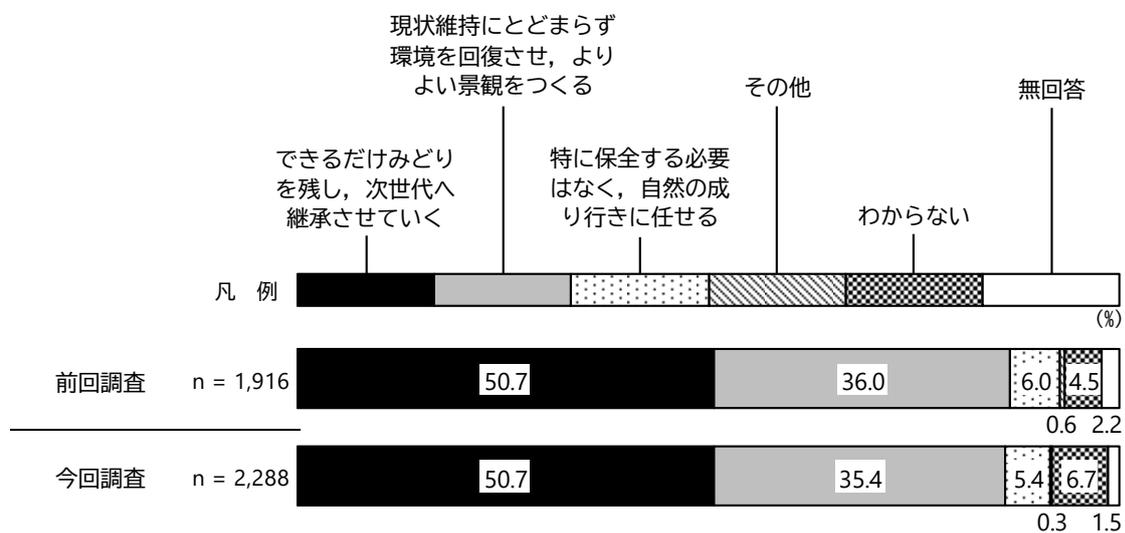


3-1-3 屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性

- ▶ 屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性については、「できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく」が 50.7%と最も高く、次いで、「現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる」(35.4%)、「特に保全する必要はなく、自然の成りに任せる」(5.4%) となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 17 市街地や田園地帯に点在する屋敷林（居久根）や社寺林の保全について、どのようにしていくべきだと思いますか。

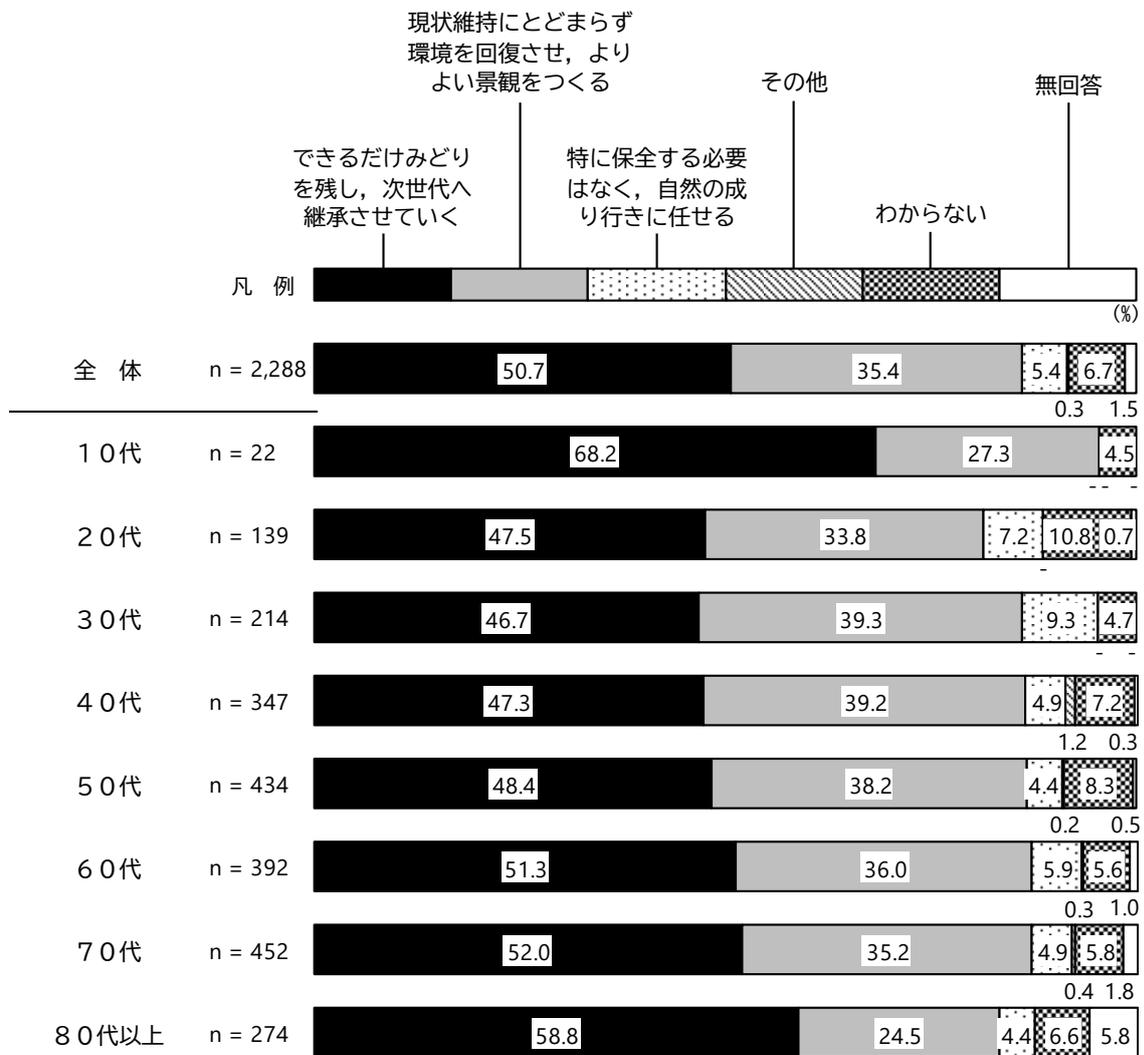
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

【年代別／屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性】

- ▶ 年代別にみると、【10代】及び【80代以上】では「できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく」が他の年代に比べ高く、「現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる」が他の年代に比べ低くなっている。それ以外の年代は、概ね全体に近い回答割合となっている。

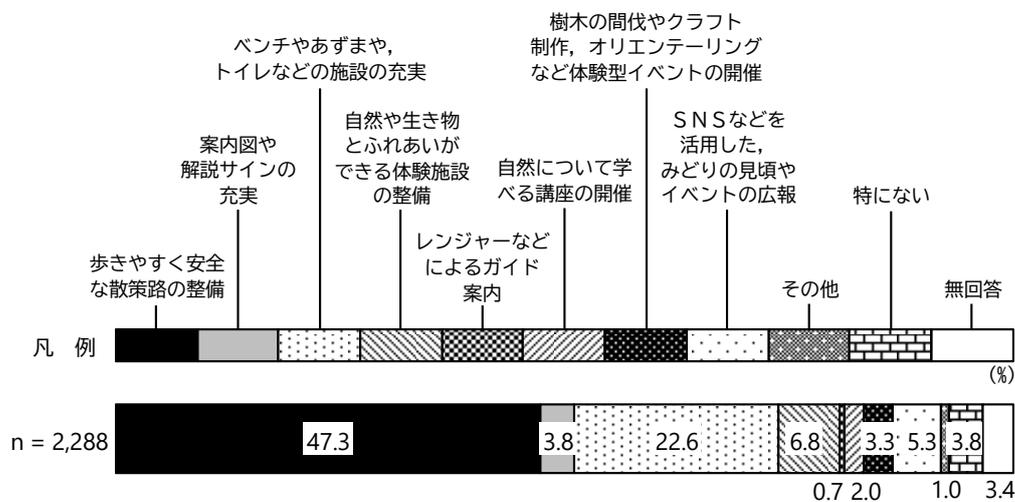


3-1-4 自然のみどりの活用のために特に必要なこと

- ▶ 自然のみどりの活用のために特に必要なことは、「歩きやすく安全な散策路の整備」が47.3%と最も高く、次いで、「ベンチやあずまや、トイレなどの施設の充実」(22.6%)、「自然や生き物とふれあいができる体験施設の整備」(6.8%)、「SNSなどを活用した、みどりの見頃やイベントの広報」(5.3%)となっている。

問18 市街地周辺にある自然のみどり（森・川・公園や緑地）とふれあい、自然のみどりを活用するために、特に必要なことは何だと思いませんか。

(あてはまる番号1つに○)

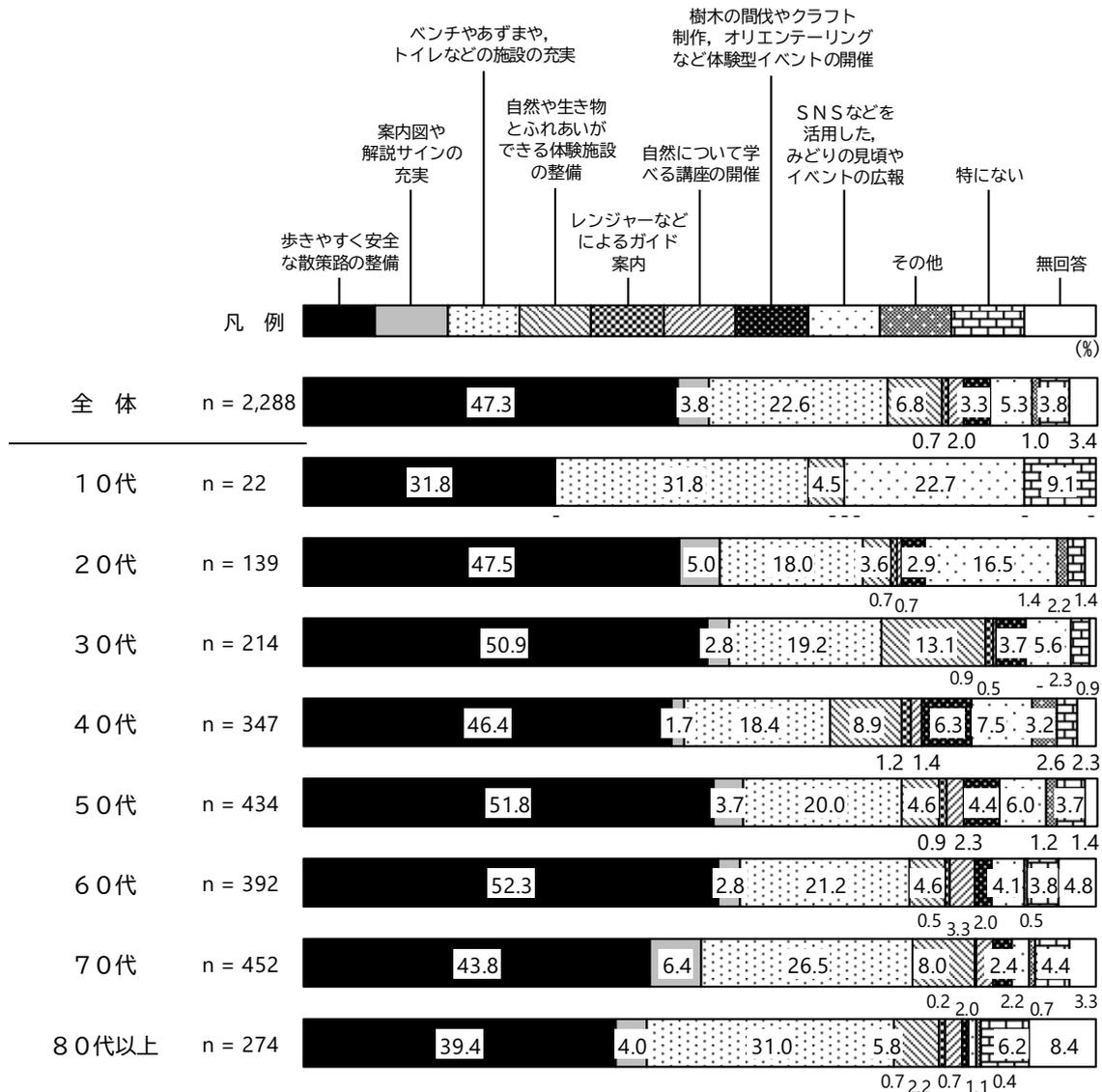


IV 調査結果の分析

【年代別／自然のみどりの活用の方向性】

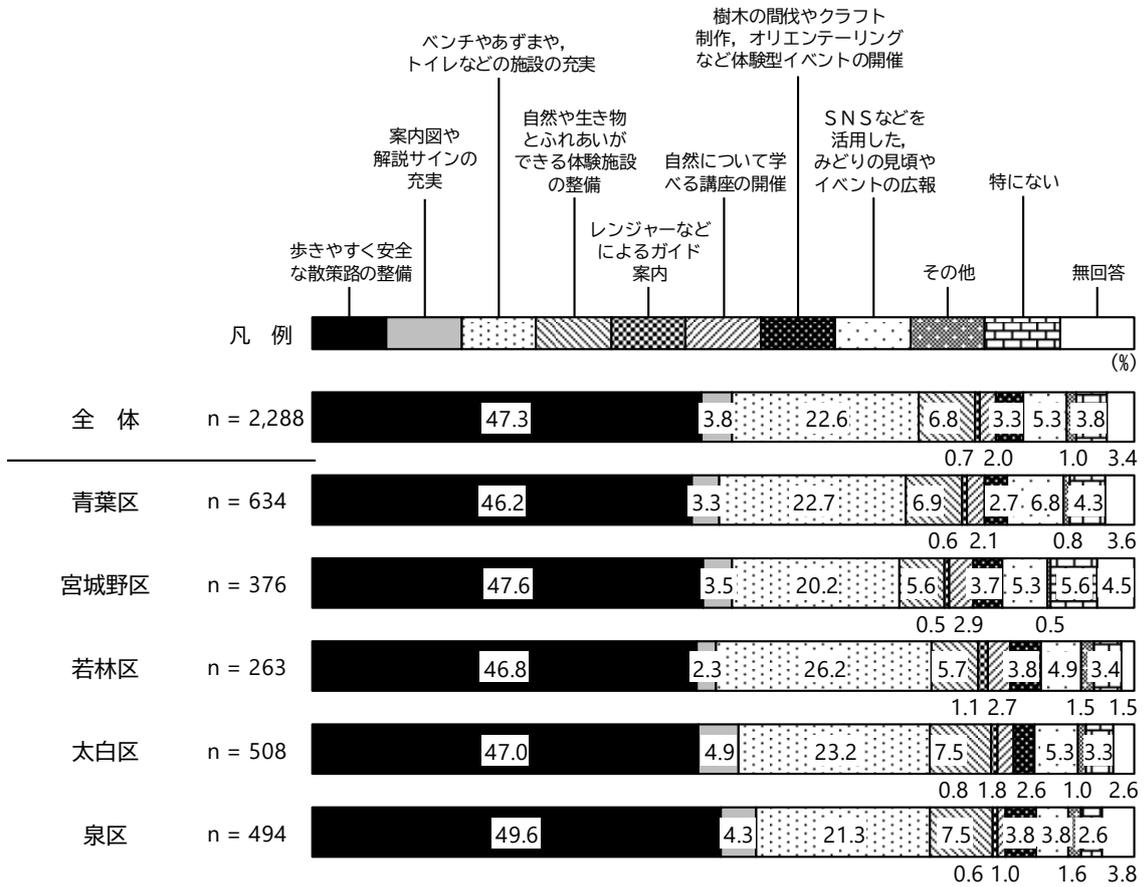
▶ 年代別にみると、「SNSなどを活用した、みどりの見頃やイベントの広報」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

また、【10代】及び【80代以上】では「ベンチやあずまや、トイレなどの施設の充実」が3割以上と他の年代に比べ高いものの、一方で「歩きやすく安全な散策路の整備」は4割を下回っている。



【居住地区別／自然のみどりの活用の方向性】

- ▶ 居住地区別にみると、いずれの区においても「歩きやすい安全な散策路の整備」が4割以上を占め、「ベンチやあずまや、トイレなどの施設の充実」が2割以上となっている。



IV 調査結果の分析

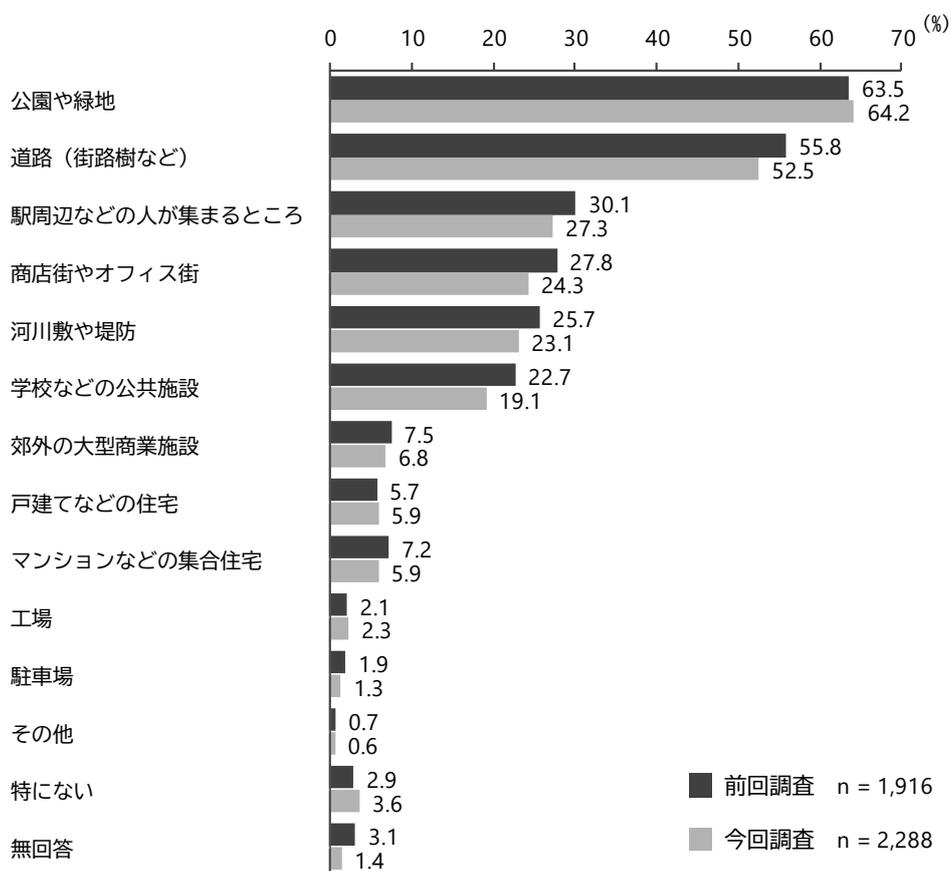
3-2 市街地の緑化について

3-2-1 重点を置くべき緑化箇所

- ▶ 重点を置くべき緑化箇所については、「公園や緑地」が64.2%と最も高く、次いで、「道路（街路樹など）」（52.5%）、「駅周辺などの人が集まるところ」（27.3%）、「商店街やオフィス街」（24.3%）となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問19 市街地の緑化を進めるにあたり、どこの緑化に重点を置くべきだと思いますか。

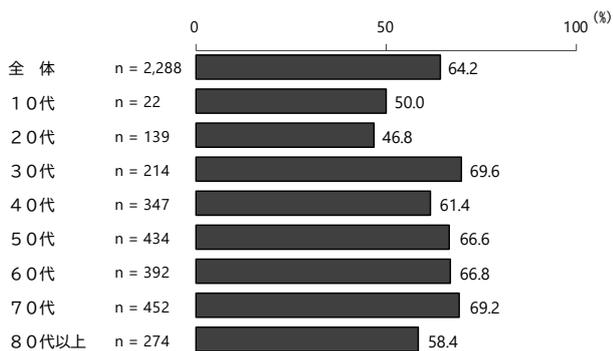
(主にあてはまる番号3つまでに○)



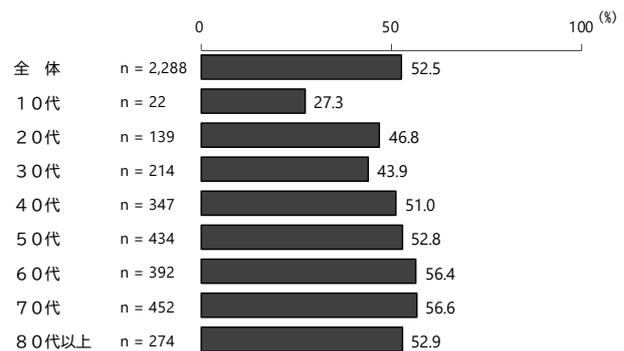
【年代別／重点を置くべき緑化箇所】

- ▶ 年代別にみると、「公園や緑地」は【10代】及び【20代】が約5割にとどまる一方、【30代】以上では約6～7割となっている。
- また、「道路（街路樹など）」、「河川敷や堤防」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなり、「駅周辺などの人が集まる場所」、「商店街やオフィス街」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

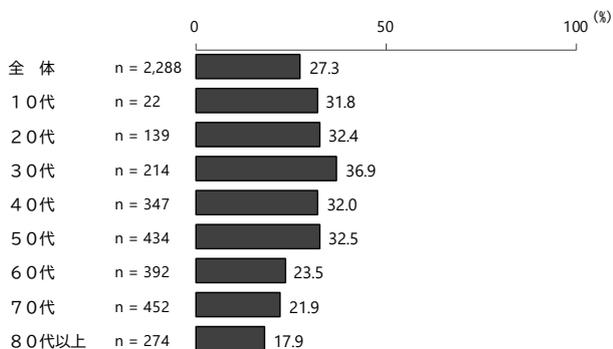
〈公園や緑地〉



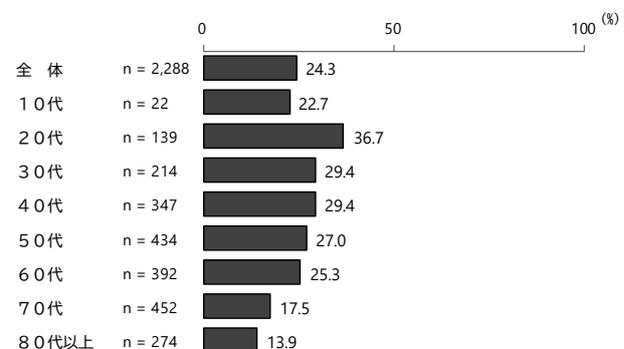
〈道路（街路樹など）〉



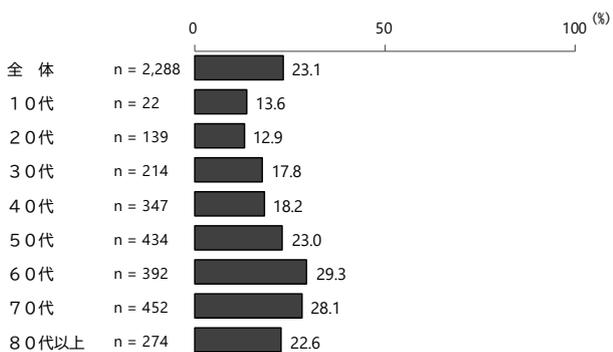
〈駅周辺などの人が集まる場所〉



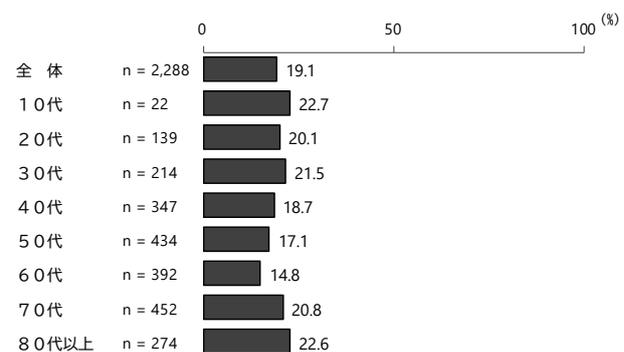
〈商店街やオフィス街〉



〈河川敷や堤防〉

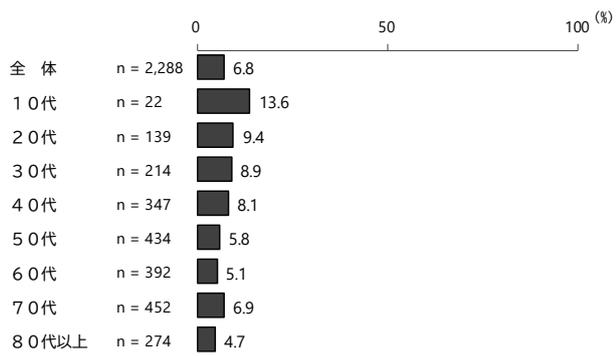


〈学校などの公共施設〉

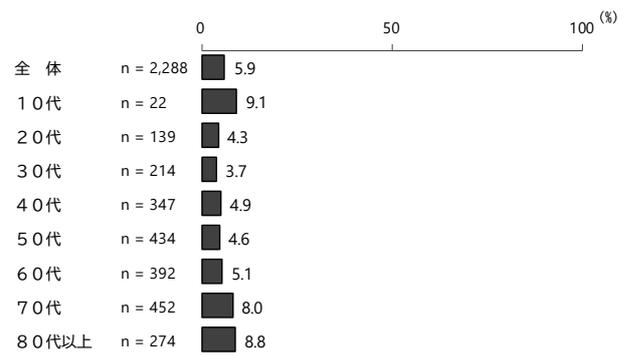


IV 調査結果の分析

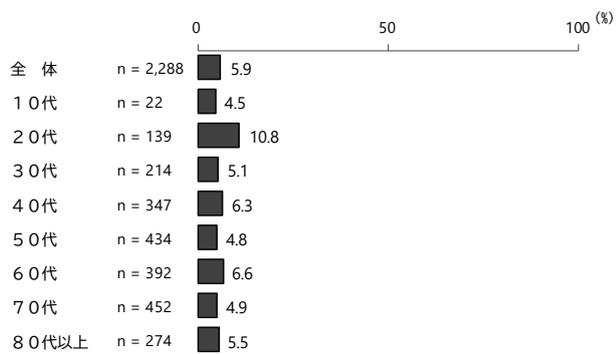
〈郊外の大型商業施設〉



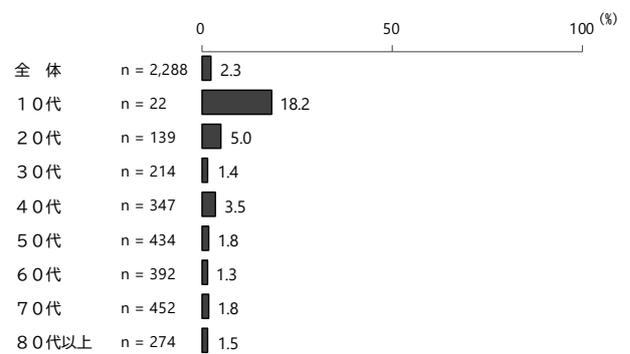
〈戸建てなどの住宅〉



〈マンションなどの集合住宅〉



〈工場〉

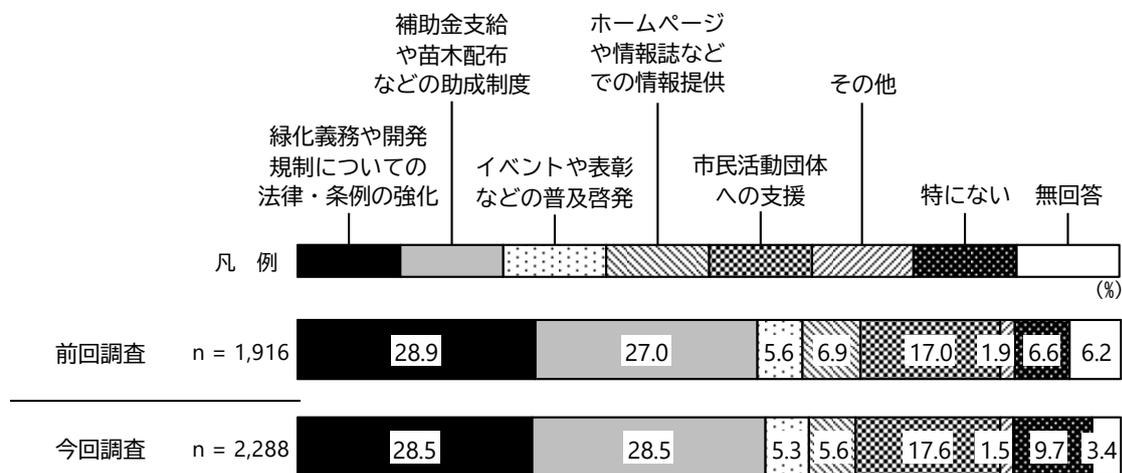


3-2-2 みどりの増加に必要な行政の取り組み

- ▶ みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」及び「補助金支給や苗木配布などの助成制度」がともに28.5%と最も高く、次いで、「市民活動団体への支援」(17.6%)、「ホームページや情報誌などでの情報提供」(5.6%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 20 公園や街路樹等の整備の他に、都市の緑化を進めるにあたり、行政の取り組みで特に必要なものは何ですか。

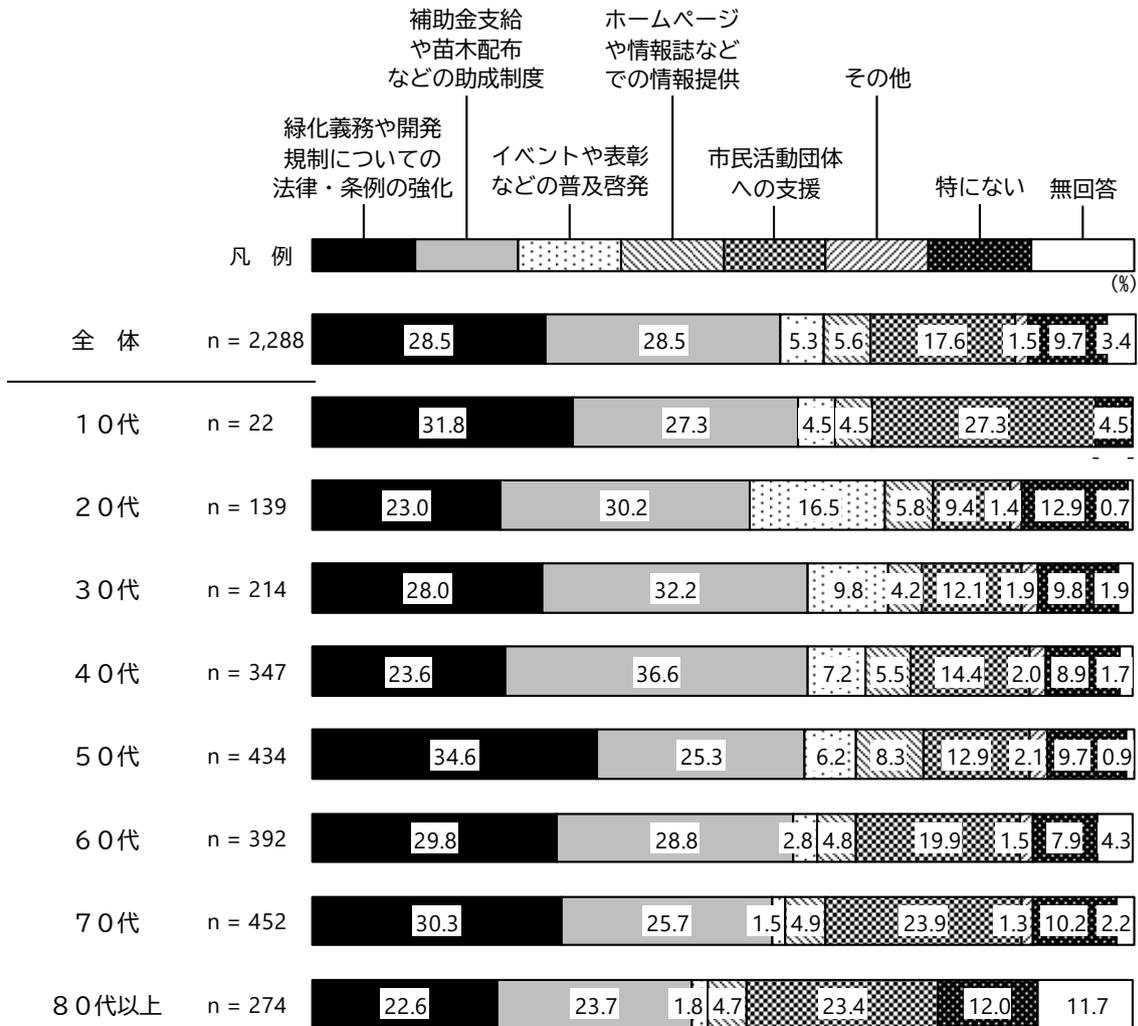
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

【年代別／みどりの増加に必要な行政の取り組み】

- ▶ 年代別にみると、【10代】及び【50代】～【70代】では「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」が最も高く、【20代】～【40代】及び【80代以上】では「補助金支給や苗木配布などの助成制度」が最も高くなっている。

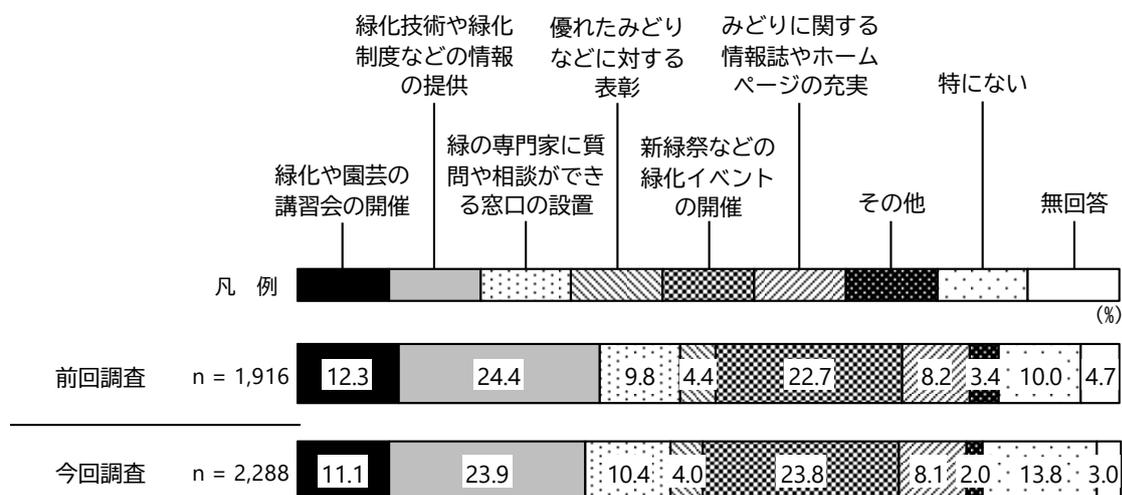


3-2-3 緑化活動に必要な行政の支援

- ▶ 緑化活動に必要な行政の支援については、「緑化技術や緑化制度などの情報の提供」が23.9%と最も高く、次いで、「新緑祭などの緑化イベントの開催」(23.8%)、「緑化や園芸の講習会の開催」(11.1%)、「緑の専門家に質問や相談ができる窓口の設置」(10.4%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 21 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。

(あてはまる番号1つに○)

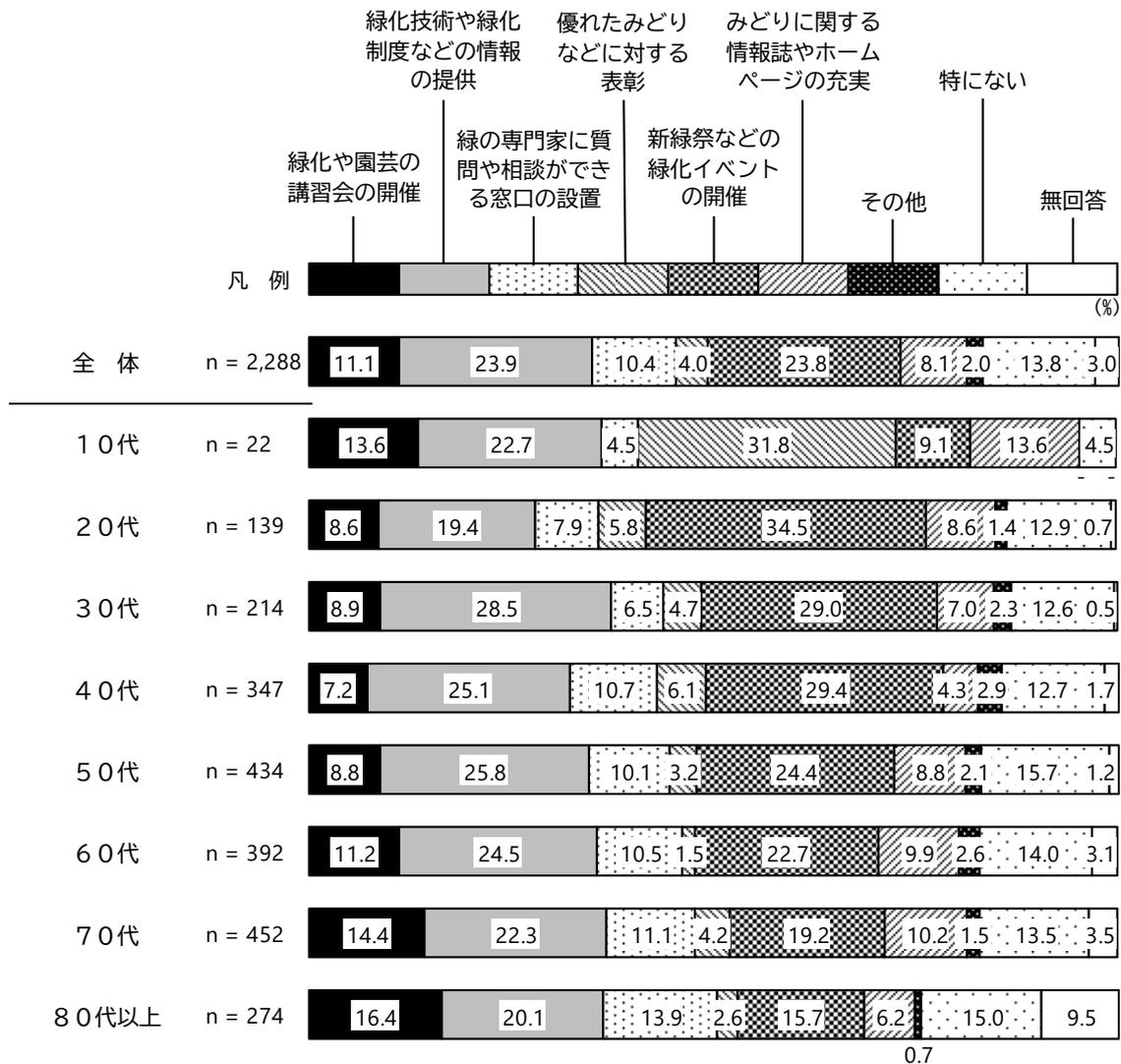


IV 調査結果の分析

【年代別／緑化活動に必要な行政の支援】

- ▶ 年代別にみると、【10代】では「優れたみどりなどに対する表彰」(31.8%)が全体(4.0%)に比べ大幅に高い一方、「新緑祭などの緑化イベントの開催」(9.1%)は全体(23.8%)に比べ低くなっている。

【20代】以降では、「新緑祭などの緑化イベントの開催」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。



3-3 公園について

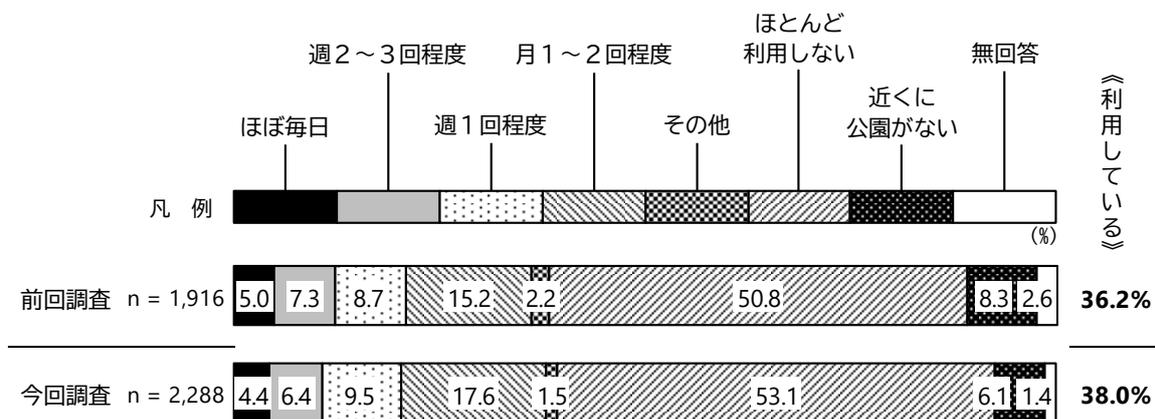
3-3-1 住まいの近くの公園の利用頻度

- ▶ 住まいの近くの公園の利用頻度については、「ほぼ毎日」から「月1～2回程度」までを合算した《利用している》が約4割となっている。
なお、「ほとんど利用しない」は53.1%となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 22 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。

※「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて10分以内の場所にある公園のことです。

(あてはまる番号1つに○)



※グラフ右の割合は、以下のとおり二つの選択肢の回答割合を合算したもの

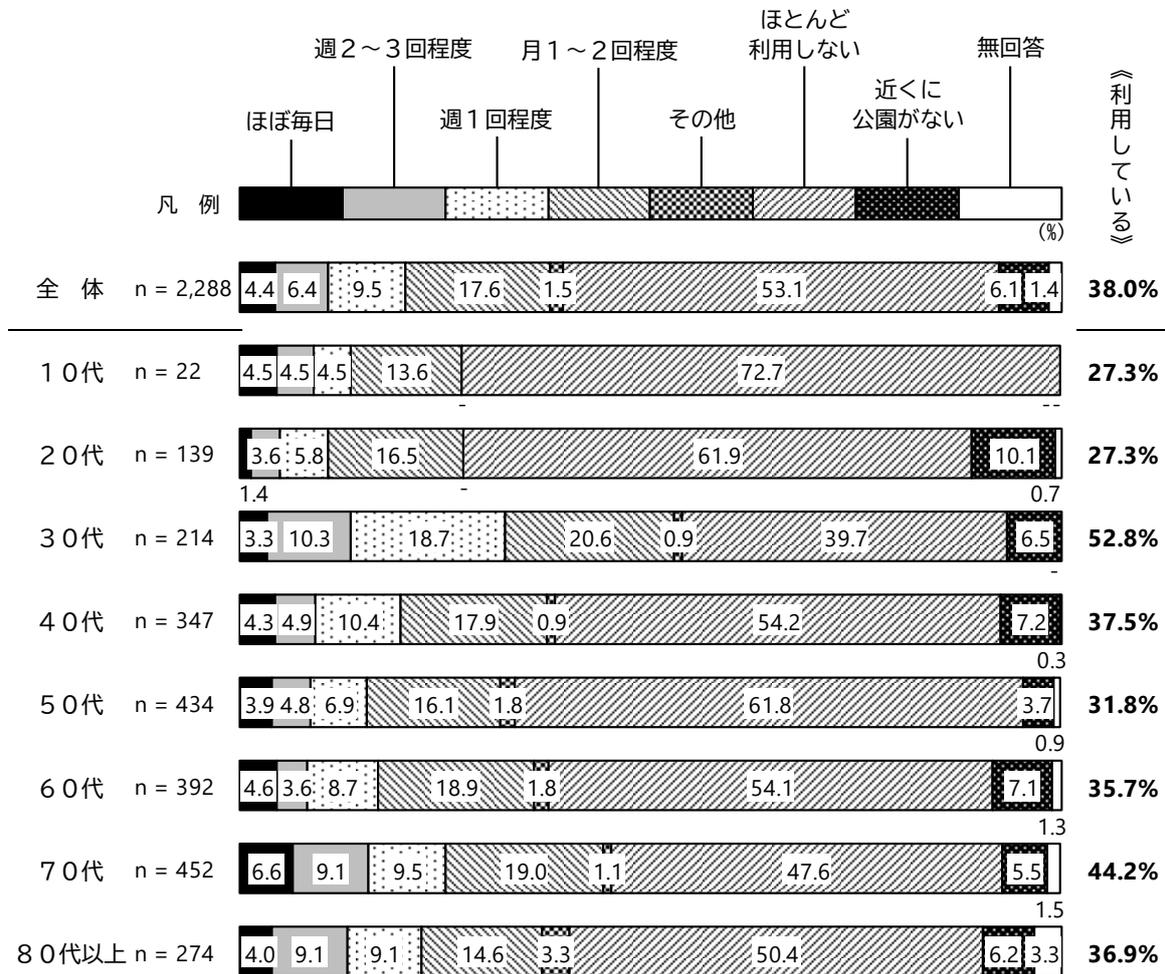
《利用している》＝「ほぼ毎日」＋「週2～3回程度」＋「週1回程度」＋「月1～2回程度」

図表及びコメント内における回答割合の合算値は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

IV 調査結果の分析

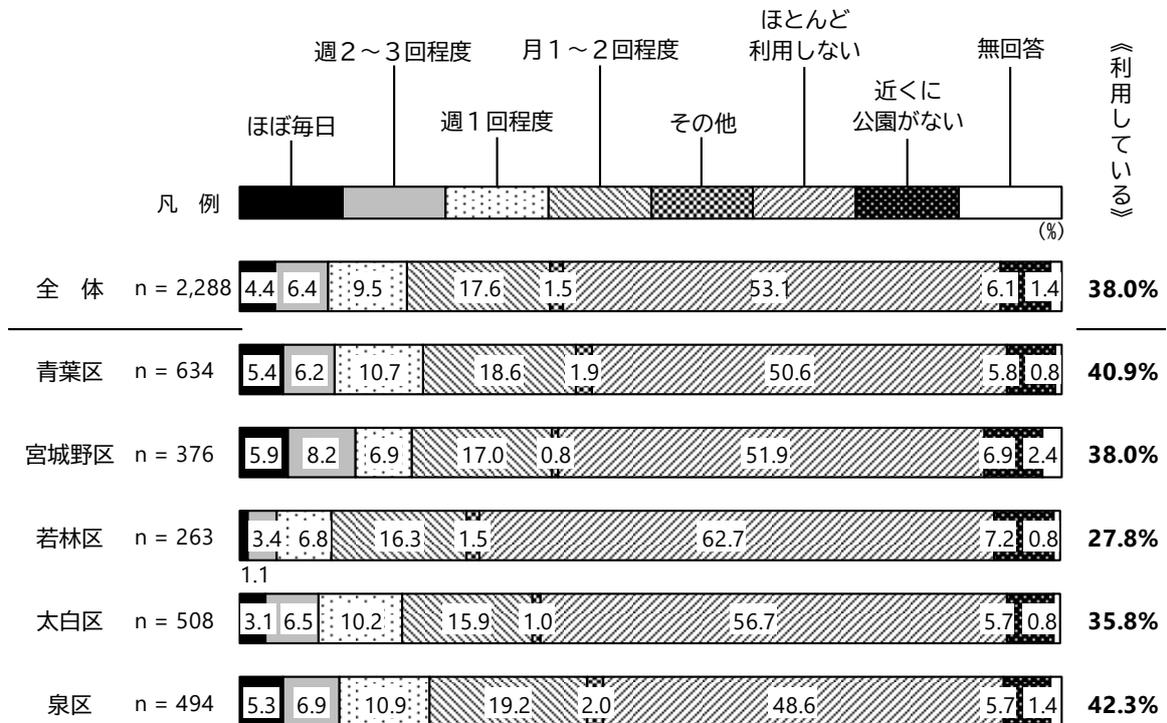
【年代別／住まいの近くの公園の利用頻度】

- ▶ 年代別にみると、《利用している》は【30代】(52.8%)で約5割、【70代】(44.2%)で4割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。



【居住地区別／住まいの近くの公園の利用頻度】

▶ 居住地区別にみると、【若林区】では《利用している》(27.8%)が3割以下と、他の区に比べやや低くなっている。



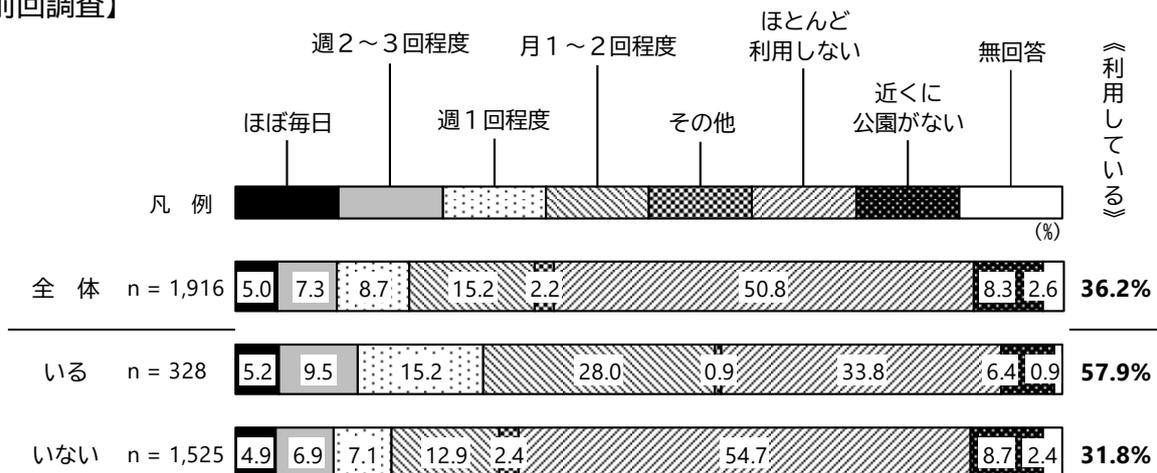
IV 調査結果の分析

【小学生以下の子どもの同居者の有無別／住まいの近くの公園の利用頻度】

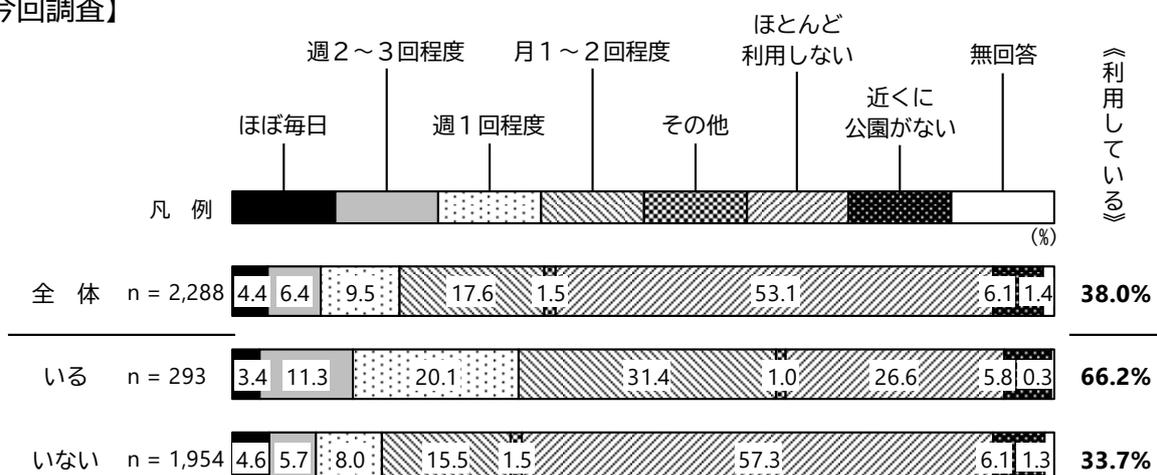
- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、《利用している》は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が66.2%、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人が33.7%となっている。

この結果を前回調査と比較すると、【同居者の中に子どもがいる】と答えた人の《利用している》が約8ポイント上昇している。

【前回調査】



【今回調査】



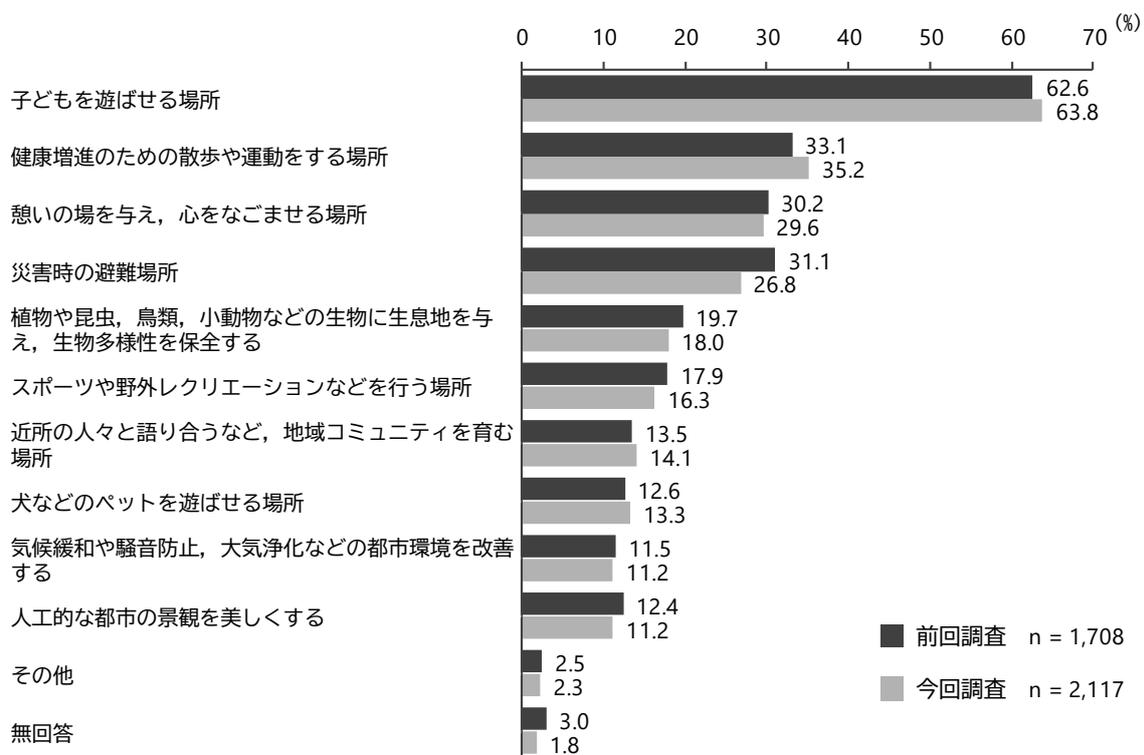
3-3-2 住まいの近くの公園の役割

- ▶ 住まいの近くの公園の役割については、「子どもを遊ばせる場所」が63.8%と最も高く、次いで、「健康増進のための散歩や運動をする場所」(35.2%)、「憩いの場を与え、心をなごませる場所」(29.6%)、「災害時の避難場所」(26.8%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

【問22で「近くに公園がない」以外を選択した方におたずねします。】

問23 あなたの住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていると思いますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)



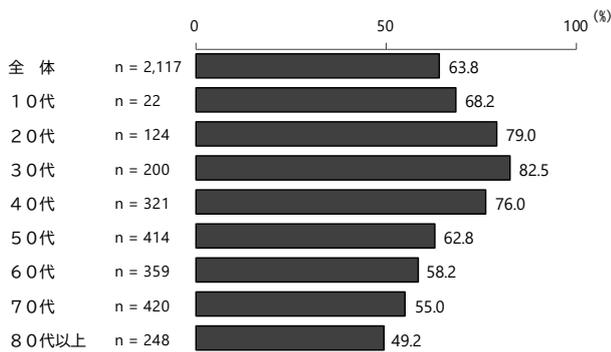
IV 調査結果の分析

【年代別／住まいの近くの公園の役割】

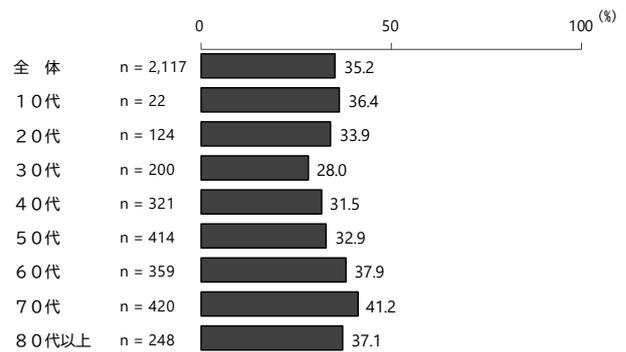
▶ 年代別にみると、「子どもを遊ばせる場所」は【20代】～【40代】の子育て世代で8割前後と高くなっている。

また、「災害時の避難場所」、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなり、「スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所」、「犬などのペットを遊ばせる場所」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

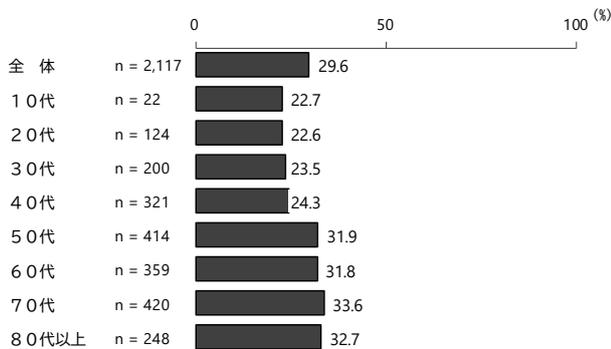
〈子どもを遊ばせる場所〉



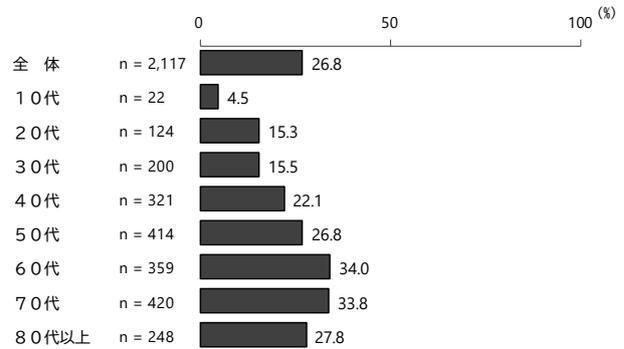
〈健康増進のための散歩や運動をする場所〉



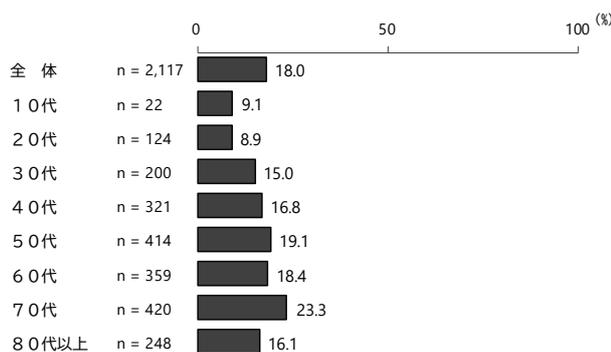
〈憩いの場を与え、心をなごませる場所〉



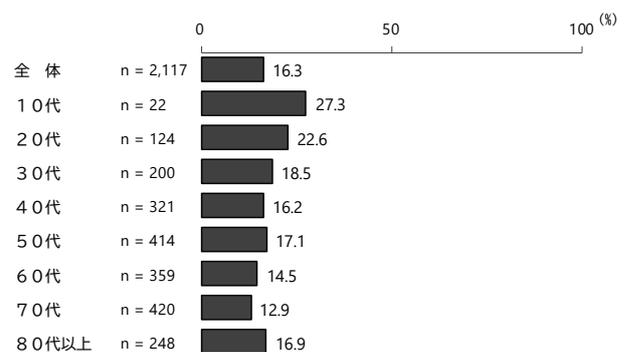
〈災害時の避難場所〉



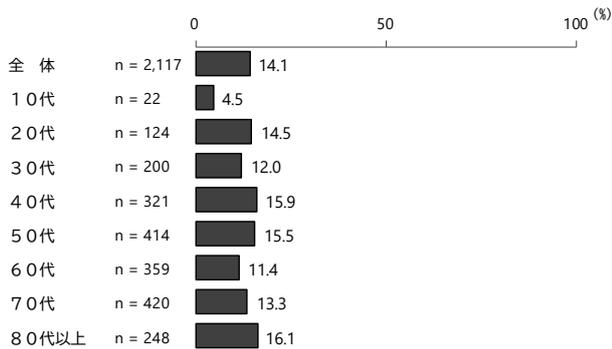
〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する〉



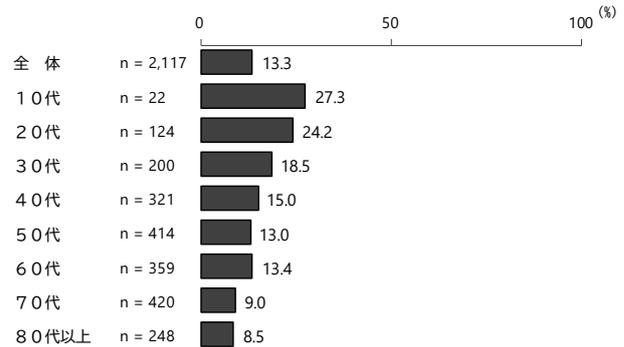
〈スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所〉



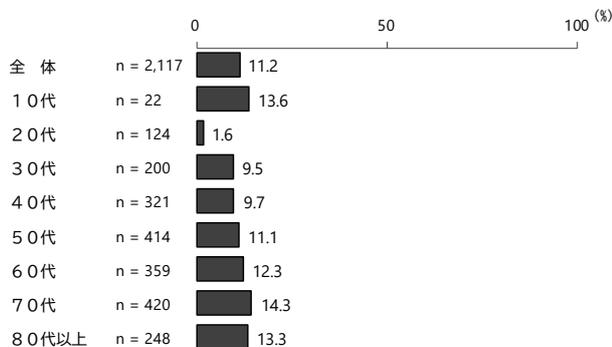
〈近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所〉



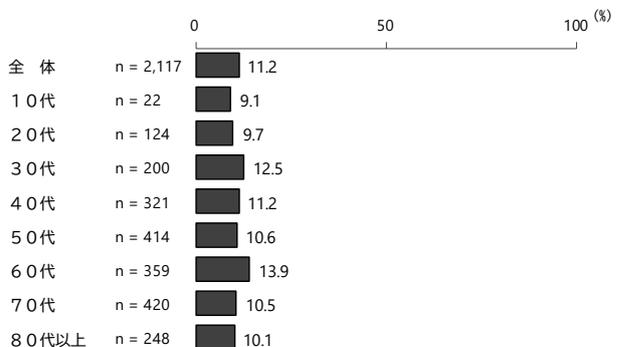
〈犬などのペットを遊ばせる場所〉



〈気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する〉



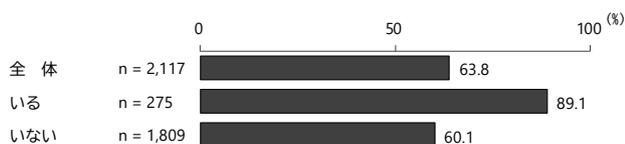
〈人工的な都市の景観を美しくする〉



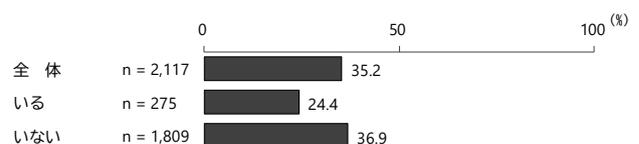
【小学生以下の子どもの同居者の有無別／住まいの近くの公園の役割】

- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、「子どもを遊ばせる場所」は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 89.1%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人 (60.1%) に比べ 30 ポイント近く高くなっている。

〈子どもを遊ばせる場所〉

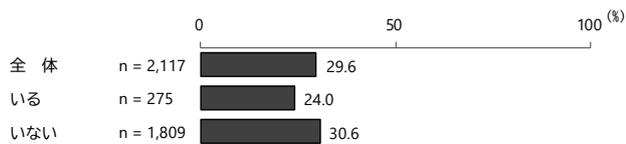


〈健康増進のための散歩や運動をする場所〉



IV 調査結果の分析

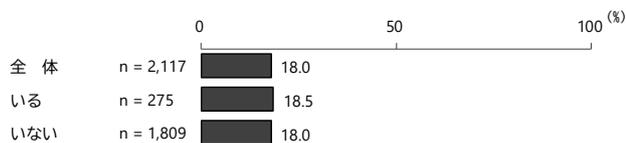
〈憩いの場を与え、心をなごませる場所〉



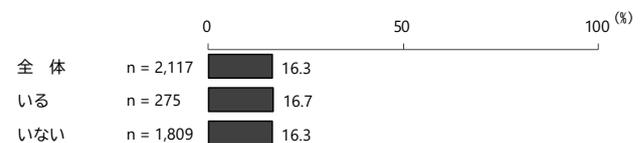
〈災害時の避難場所〉



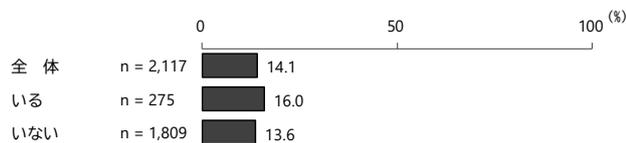
〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する〉



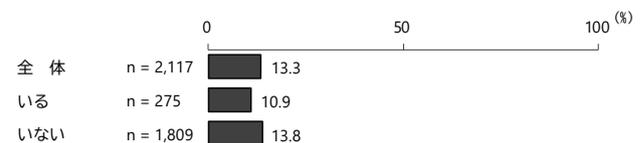
〈スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所〉



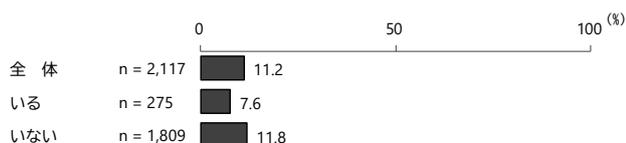
〈近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所〉



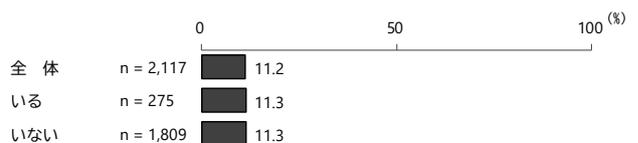
〈犬などのペットを遊ばせる場所〉



〈気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する〉



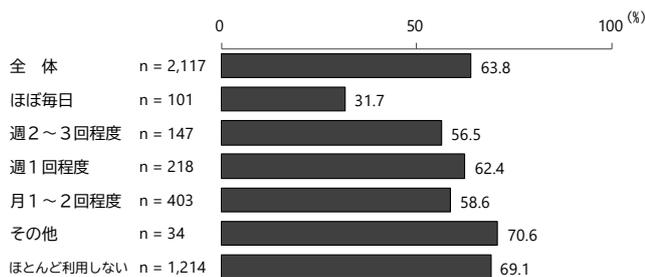
〈人工的な都市の景観を美しくする〉



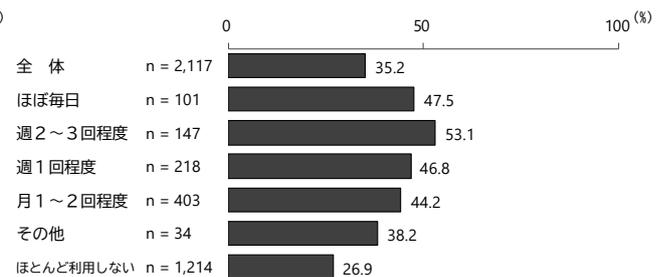
【住まいの近くの公園の利用頻度（問 22）別／住まいの近くの公園の役割】

- ▶ 住まいの近くの公園の利用頻度（問 22）別にみると、「子どもを遊ばせる場所」は概ね利用頻度が下がるにつれて回答割合が高くなっている。
- 一方、「健康増進のための散歩や運動をする場所」、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する」は概ね利用頻度が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

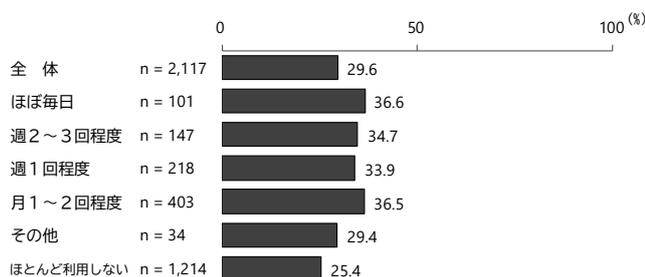
〈子どもを遊ばせる場所〉



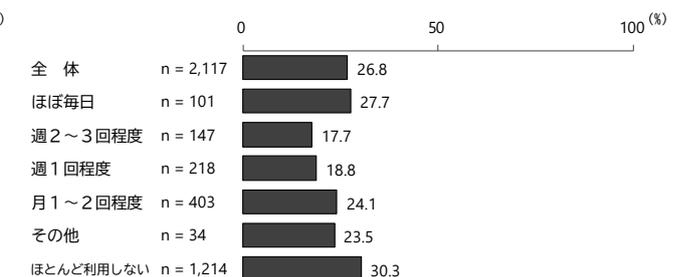
〈健康増進のための散歩や運動をする場所〉



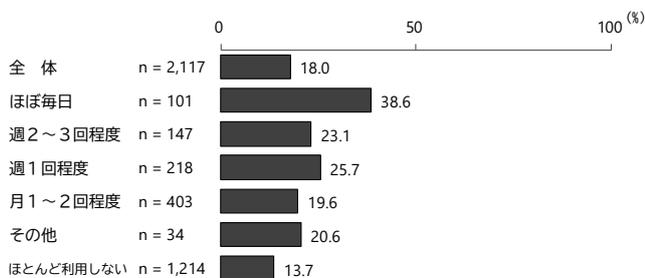
〈憩いの場を与え、心をなごませる場所〉



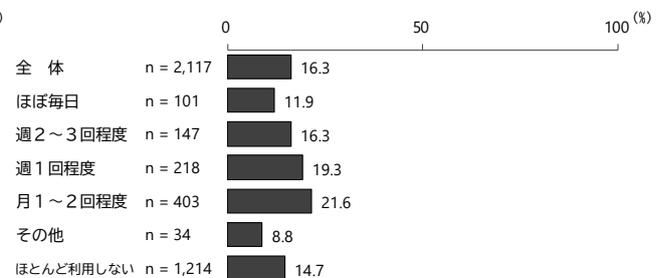
〈災害時の避難場所〉



〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する〉

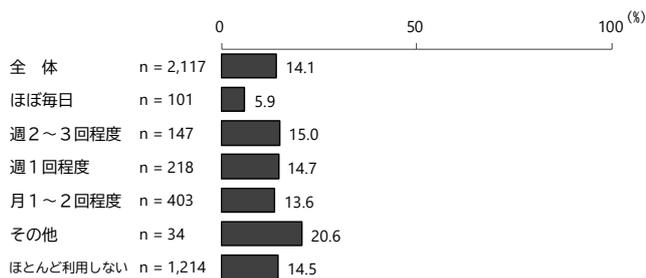


〈スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所〉

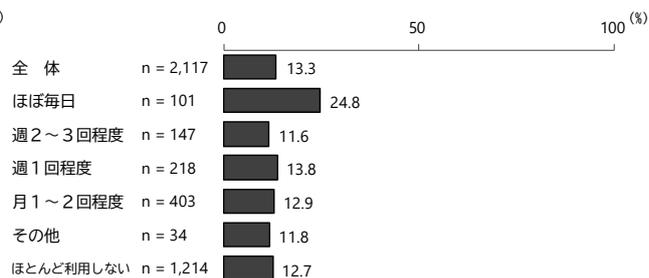


IV 調査結果の分析

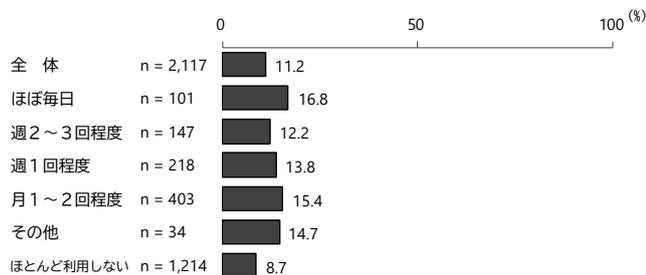
〈近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所〉



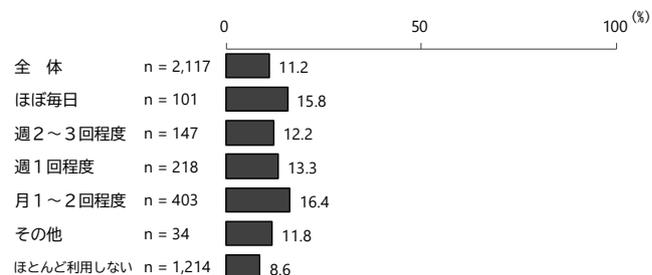
〈犬などのペットを遊ばせる場所〉



〈気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する〉



〈人工的な都市の景観を美しくする〉



3-3-3 住まいの近くの公園の満足度

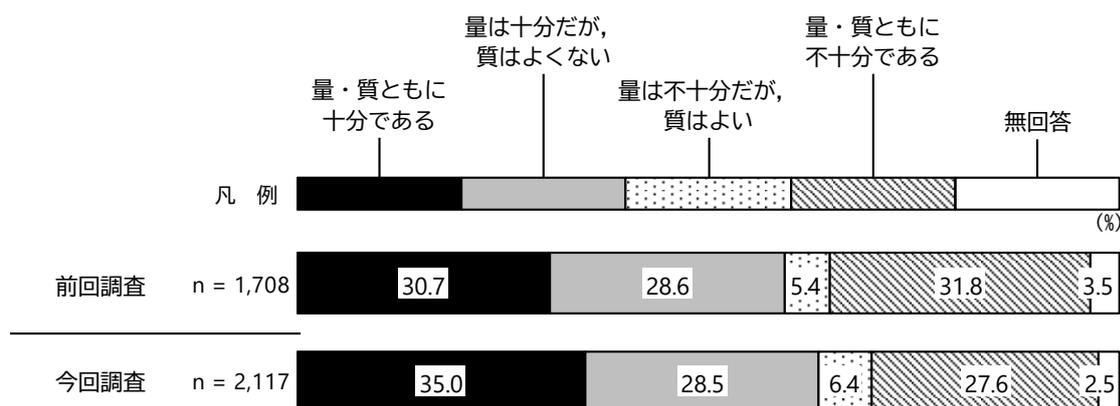
- ▶ 住まいの近くの公園の満足度については、「量・質ともに十分である」が35.0%と最も高く、次いで、「量は十分だが、質はよくない」(28.5%)、「量・質ともに不十分である」(27.6%)、「量は不十分だが、質はよい」(6.4%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、全体的に大きな傾向の変化はみられないが、「量・質ともに十分である」が約4ポイント上昇、「量・質ともに不十分である」が約4ポイント下降しており、住まいの近くの公園の満足度がやや上昇していることがうかがえる。

【問22で「近くに公園がない」以外を選択した方におたずねします。】

問24 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

※公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や公園の管理・運営の状況のことです。

(あてはまる番号1つに○)

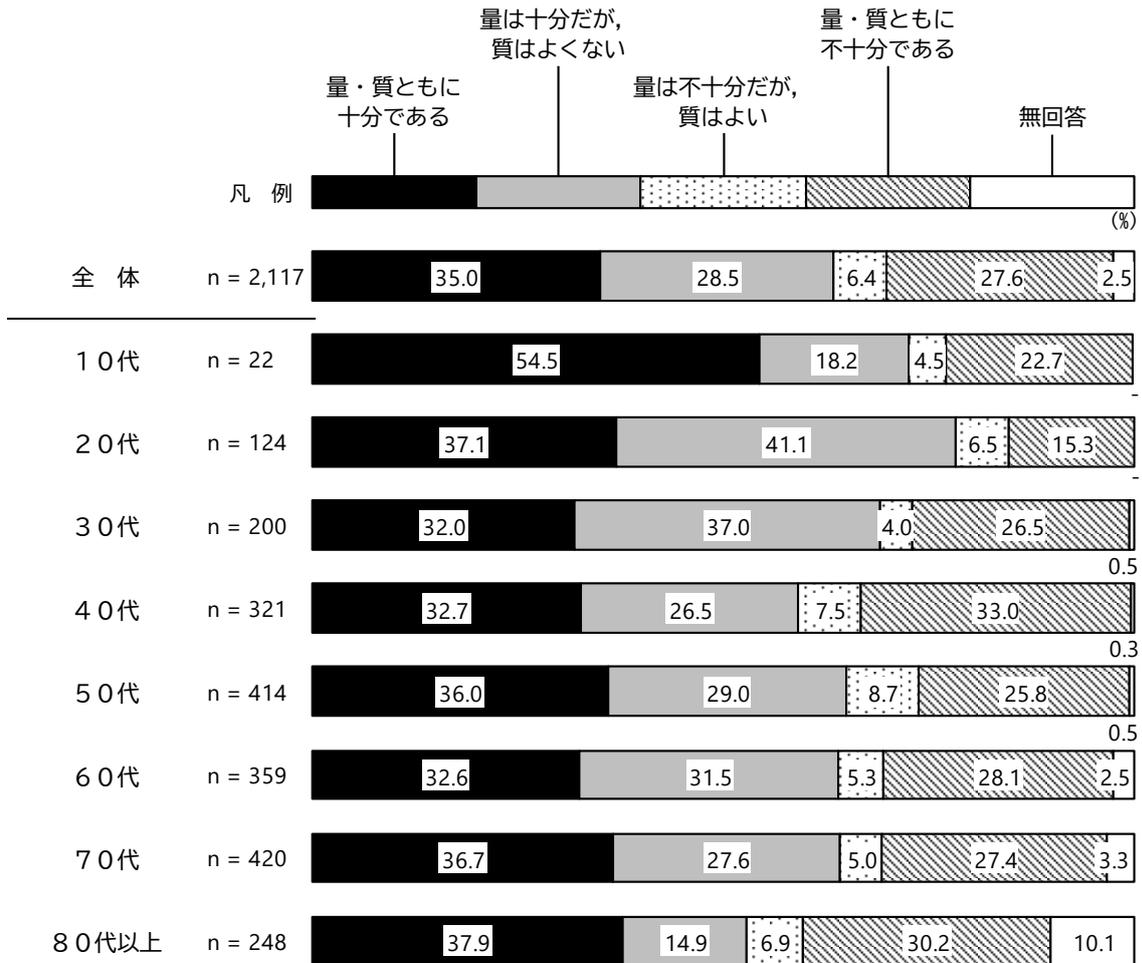


※注釈の「公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や公園の管理・運営の状況のことです。」は、前回調査では「公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や管理の状況のことです。」として聴取

IV 調査結果の分析

【年代別／住まいの近くの公園の満足度】

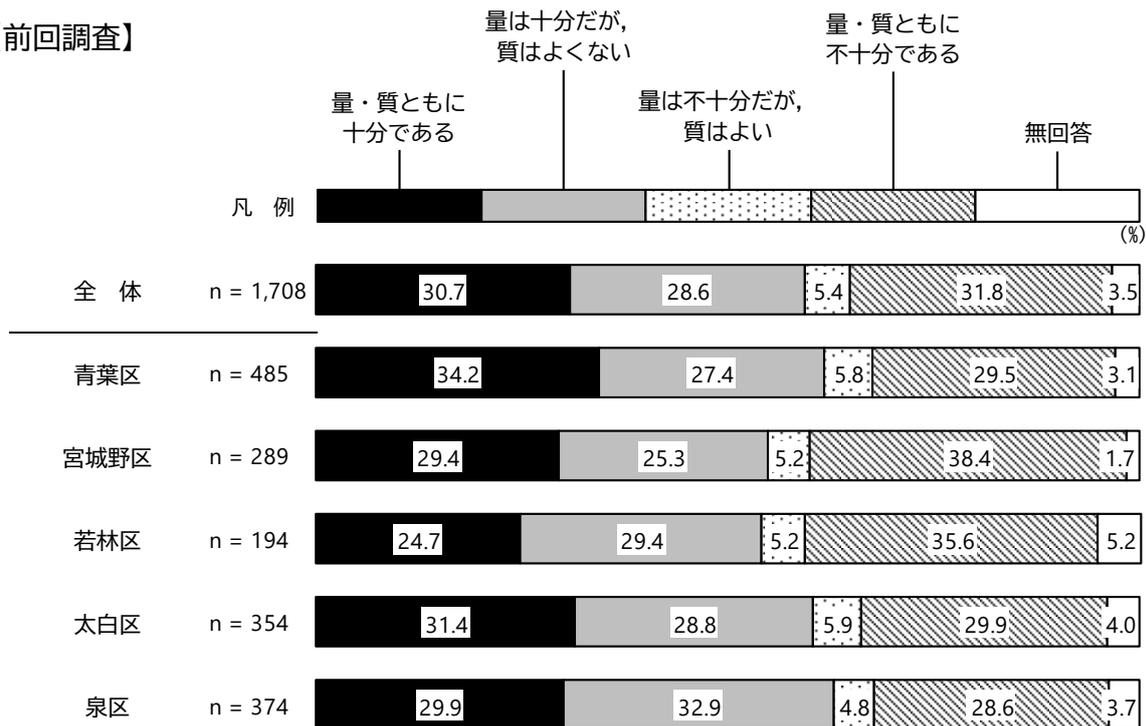
- ▶ 年代別にみると、【10代】では「量・質ともに十分である」(54.5%)が5割以上を占め、他の年代に比べ高くなっている。
【20代】以降では、「量は十分だが、質はよくない」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。



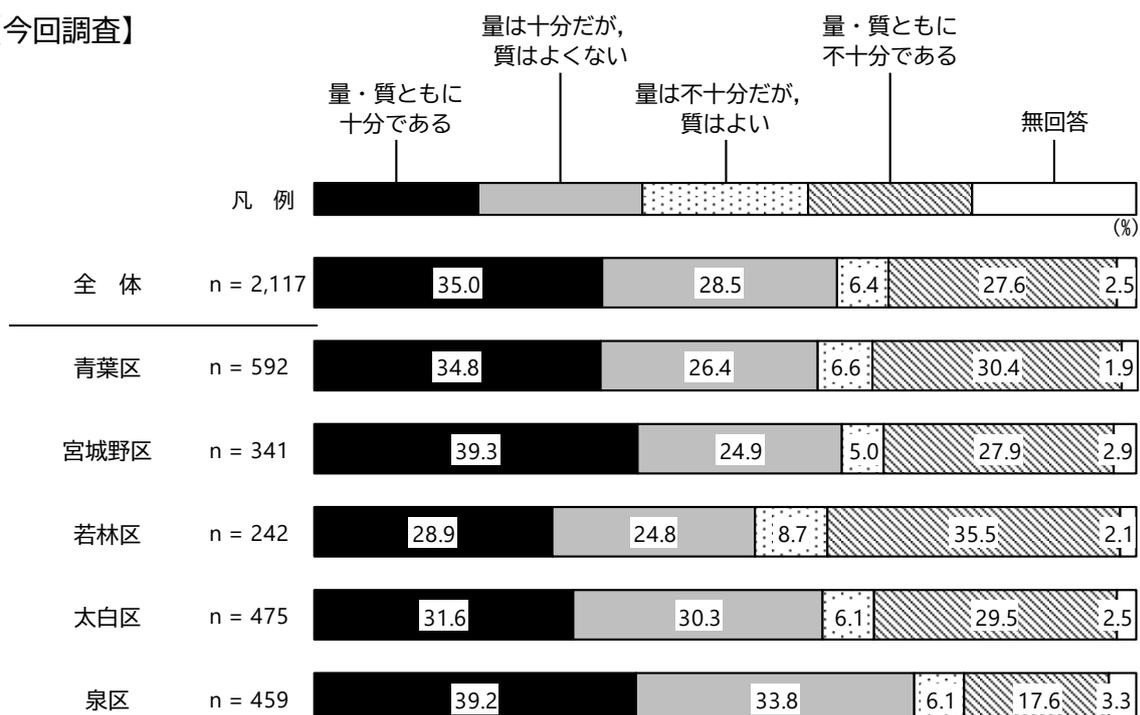
【居住地区別／住まいの近くの公園の満足度】

- ▶ 居住地区別にみると、「量・質ともに十分である」は【宮城野区】及び【泉区】で約4割と、他の区に比べやや高くなっている。【泉区】については「量・質ともに不十分である」が唯一2割を下回っており、満足度が高くなっている。
この結果を前回調査と比較すると、【宮城野区】及び【泉区】では「量・質ともに十分である」が10ポイント程度上昇し、「量・質ともに不十分である」が10ポイント程度下降している。

【前回調査】



【今回調査】



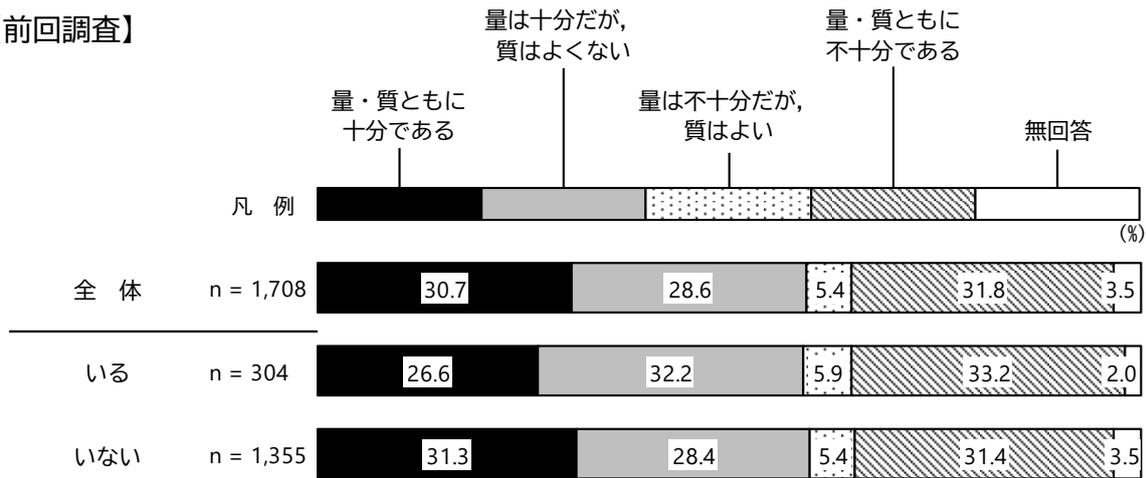
IV 調査結果の分析

【小学生以下の子どもの同居者の有無別／住まいの近くの公園の満足度】

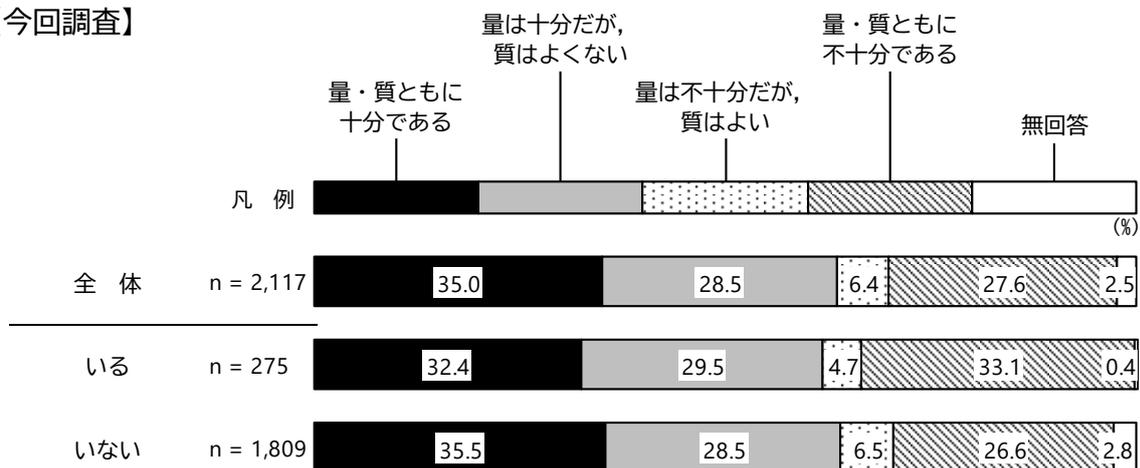
- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、「量・質ともに不十分である」は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 33.1%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人（26.6%）に比べやや高くなっている。

この結果を前回調査と比較すると、【同居者の中に子どもがいる】と答えた人、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人どちらも、「量・質ともに十分である」がやや上昇している。

【前回調査】

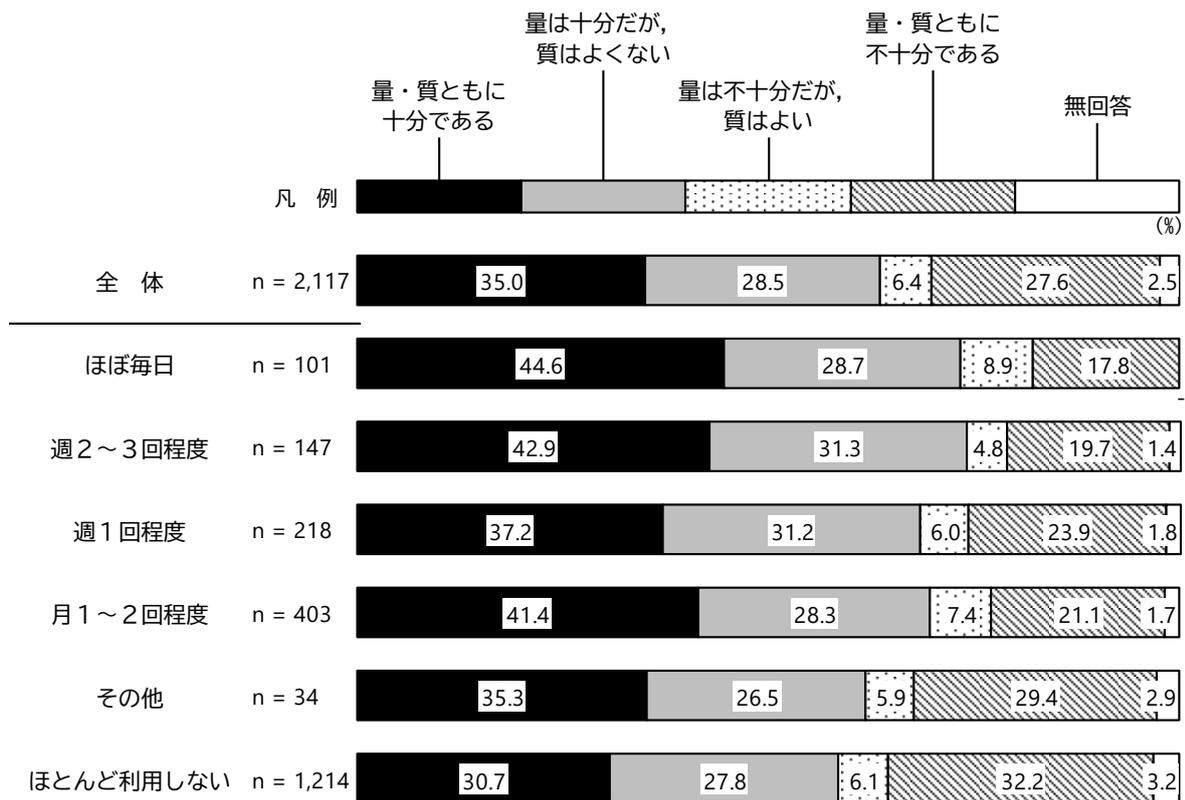


【今回調査】



【住まいの近くの公園の利用頻度（問 22）別／住まいの近くの公園の満足度】

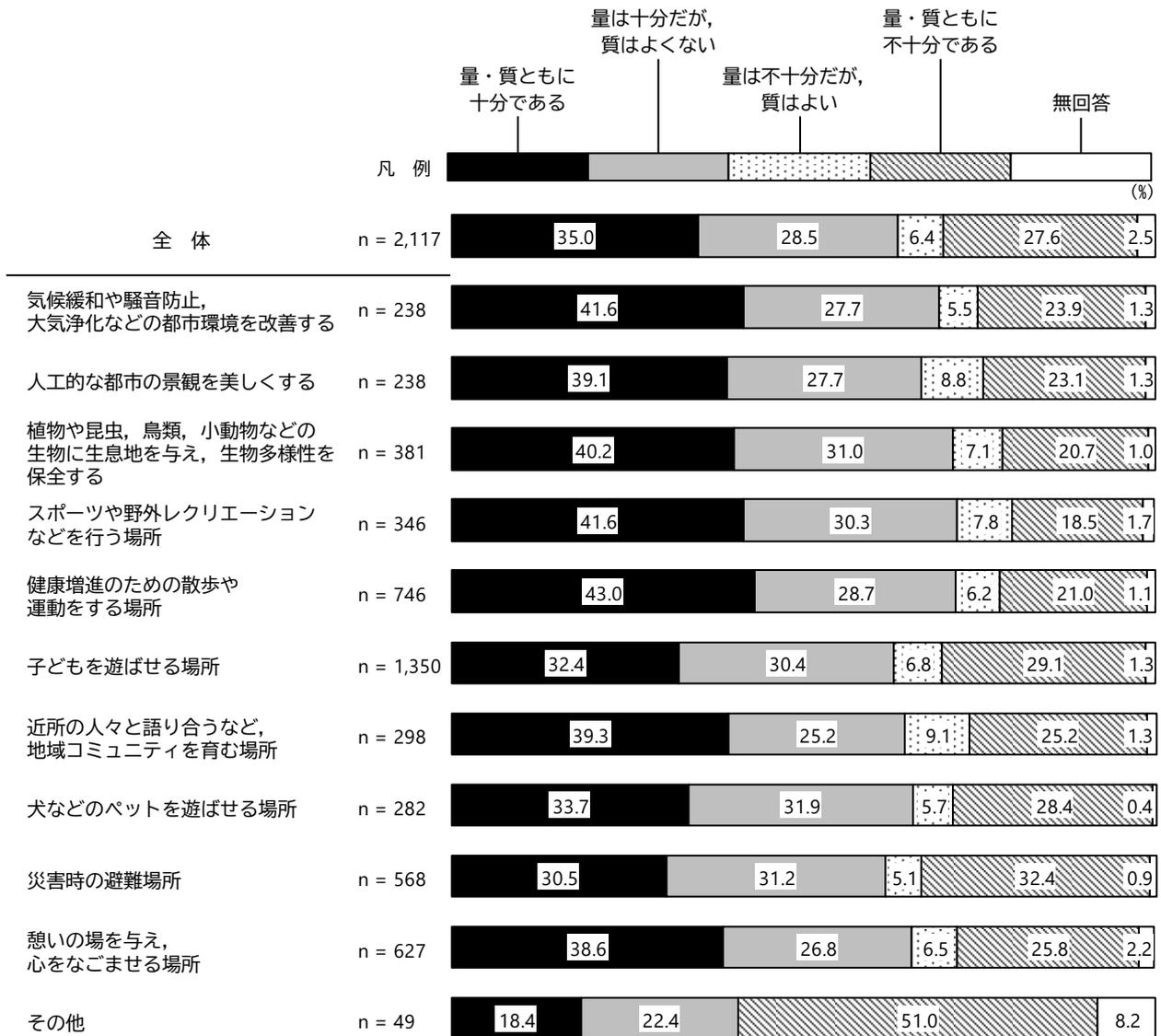
- ▶ 住まいの近くの公園の利用頻度（問 22）別にみると、「量・質ともに十分である」は概ね利用頻度が上がるにつれて回答割合が高くなっている。一方、「量・質ともに不十分である」は概ね利用頻度が下がるにつれて回答割合が高くなり、利用頻度が多い人ほど公園の満足度が高くなる傾向がみられる。



IV 調査結果の分析

【住まいの近くの公園の役割（問 23）別／住まいの近くの公園の満足度】

- ▶ 住まいの近くの公園の役割（問 23）別にみると、「量・質ともに十分である」は多くの項目で約4割となっているが、【子どもを遊ばせる場所】（32.4%）、【犬などのペットを遊ばせる場所】（33.7%）、【災害時の避難場所】（30.5%）では約3割にとどまっている。

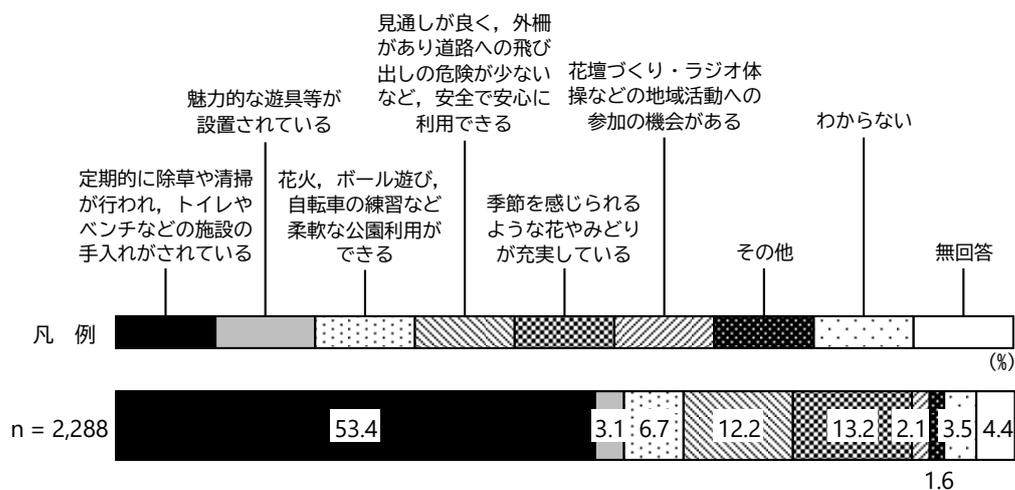


3-3-4 公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと

- ▶ 公園の「質」の向上のために特に必要だと思うことについては、「定期的に除草や清掃が行われ、トイレやベンチなどの施設の手入れがされている」が53.4%と最も高く、次いで、「季節を感じられるような花やみどりが充実している」(13.2%)、「見通しが良く、外柵があり道路への飛び出しの危険が少ないなど、安全で安心して利用できる」(12.2%)、となっている。

問 25 公園の「質」の向上のために特に必要なことは何だと思えますか。

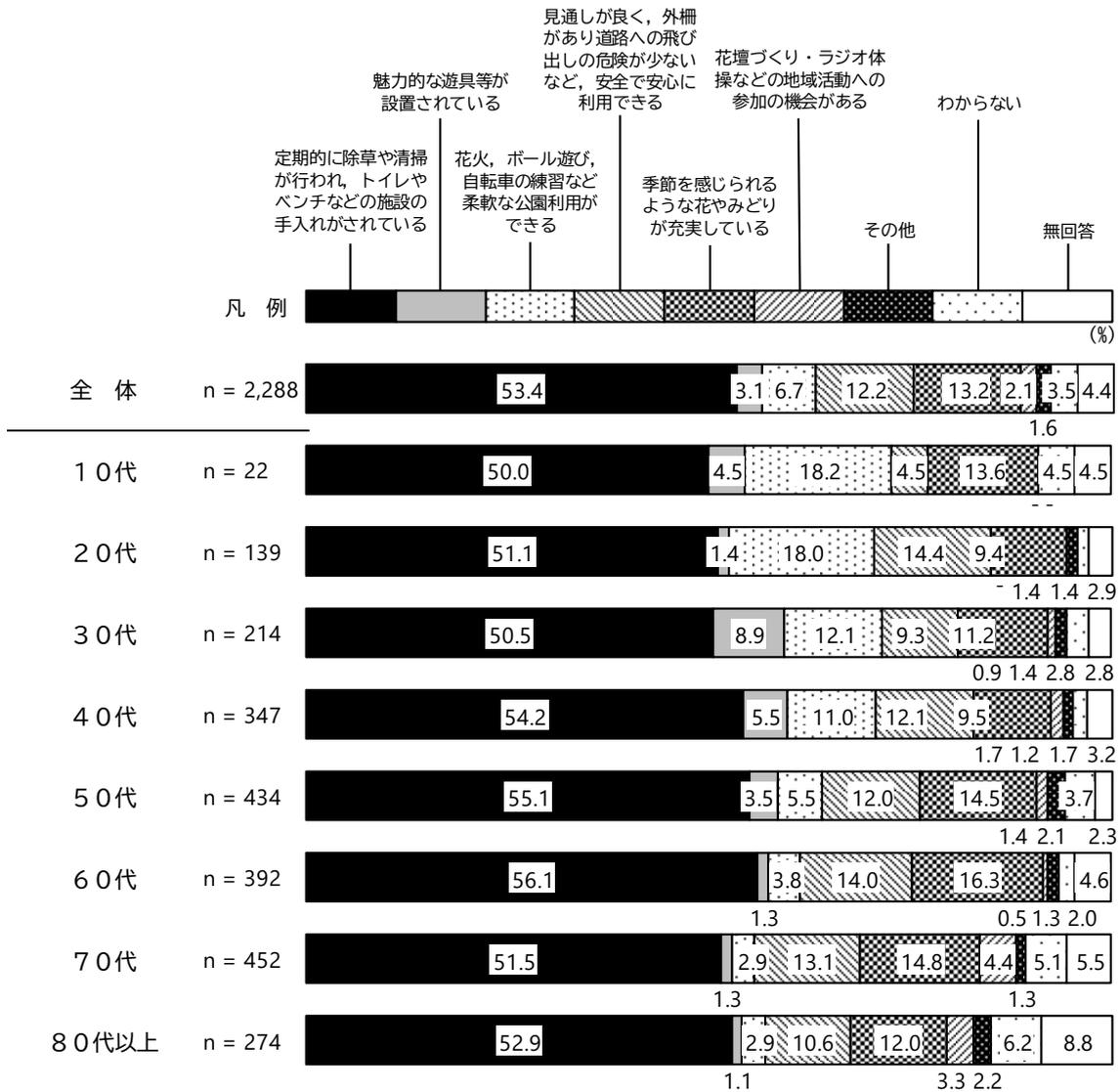
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

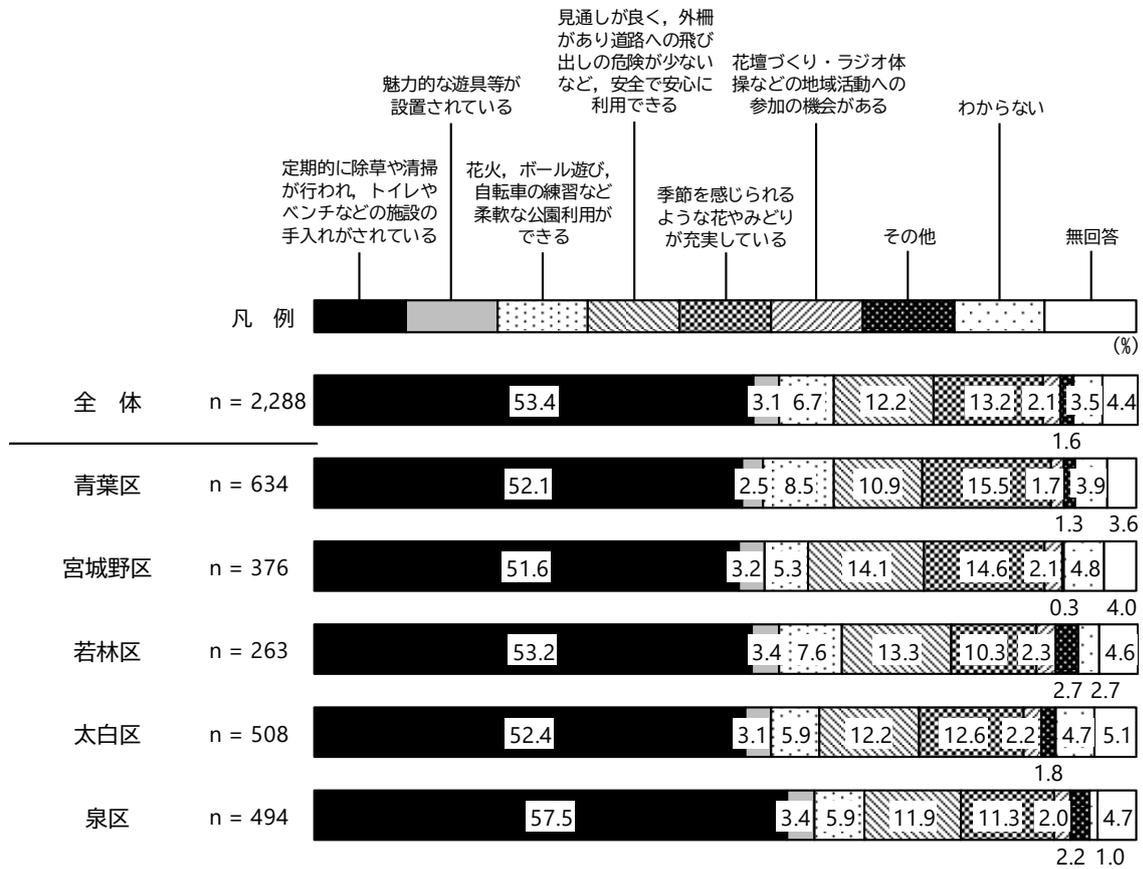
【年代別／公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと】

- ▶ 年代別にみると、「定期的に除草や清掃が行われ、トイレやベンチなどの施設の手入れがされている」はいずれの年代においても5割以上となっている。
また、「花火、ボール遊び、自転車の練習など柔軟な公園利用ができる」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。



【居住地区別／公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと】

- ▶ 居住地区別にみると、いずれの区においても「定期的に除草や清掃が行われ、トイレやベンチなどの施設の手入れがされている」が5割以上を占めている。

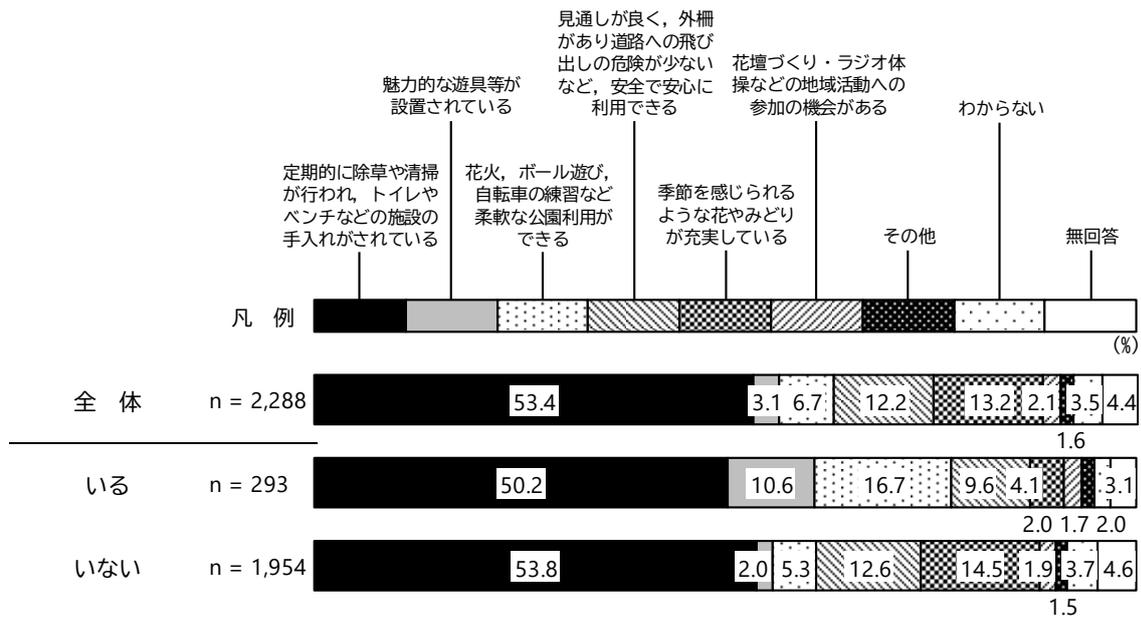


IV 調査結果の分析

【小学生以下の子どもの同居者の有無別

／公園の「質」の向上のために特に必要だと思うこと】

- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、「花火、ボール遊び、自転車の練習など柔軟な公園利用ができる」は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 16.7%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人 (5.3%) に比べ 10 ポイント以上高くなっている。また「魅力的な遊具等が設置されている」も、【同居者の中に子どもがいる】と答えた方が 10.6%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人 (2.0%) に比べやや高くなっている。

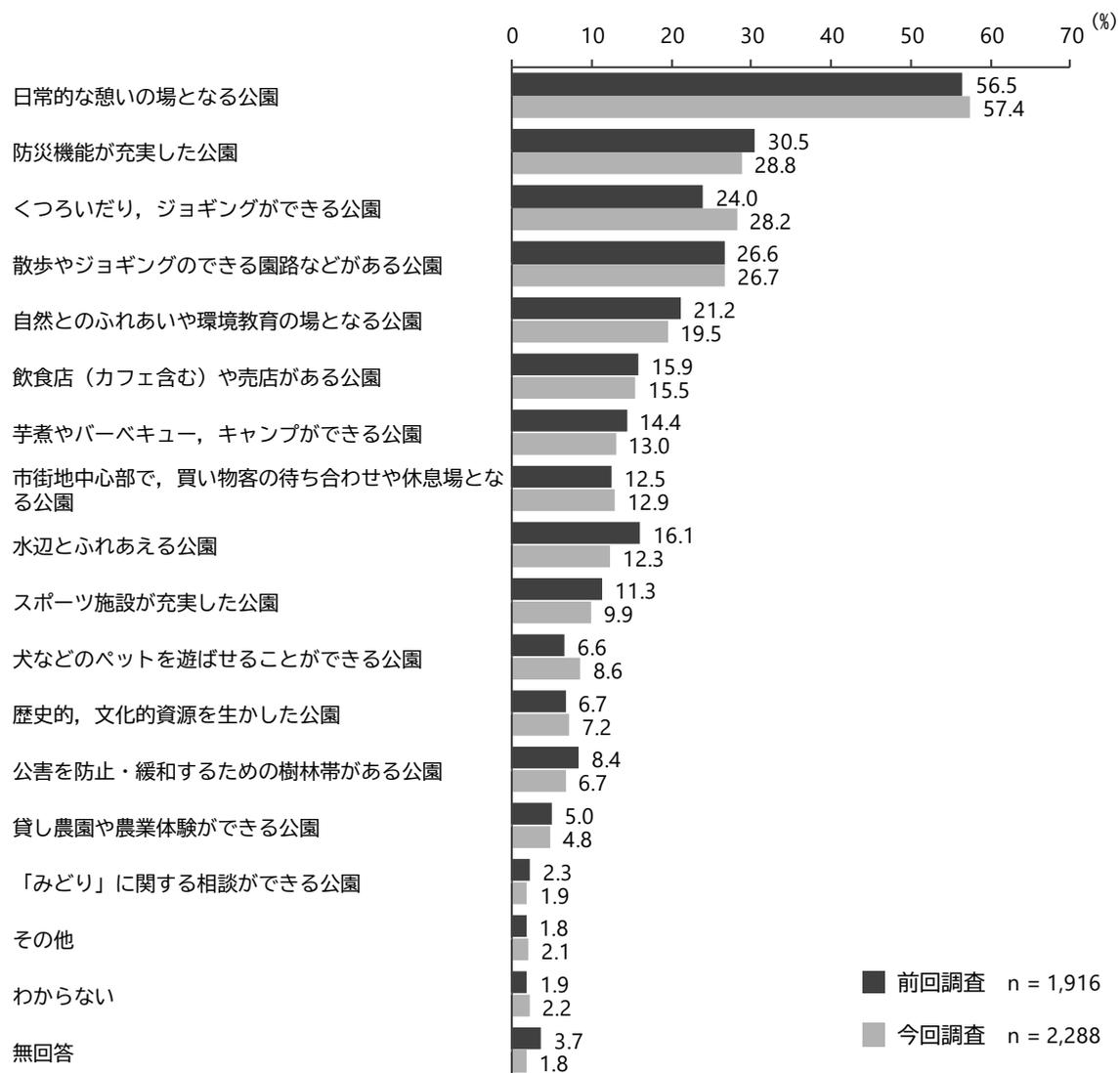


3-3-5 仙台市内で増やして欲しい公園

- ▶ 仙台市内で増やして欲しい公園については、「日常的な憩いの場となる公園」が57.4%と最も高く、次いで、「防災機能が充実した公園」(28.8%)、「くつろいだり、ジョギングができる公園」(28.2%)、「散歩やジョギングのできる園路などがある公園」(26.7%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問26 仙台市内で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)



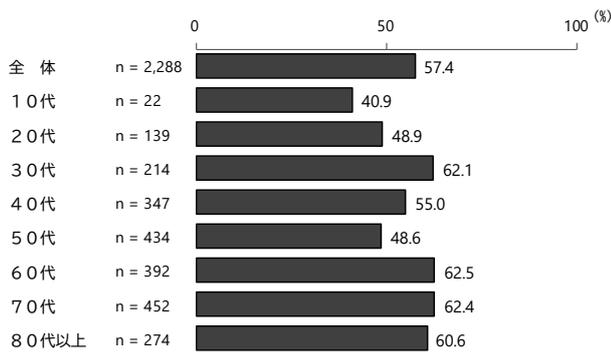
IV 調査結果の分析

【年代別／仙台市内で増やして欲しい公園】

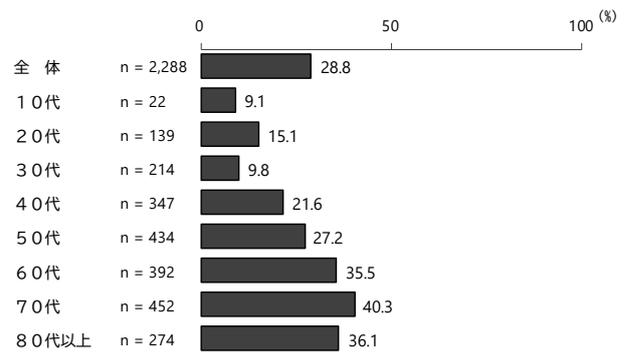
- ▶ 年代別にみると、「防災機能が充実した公園」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。一方、「芋煮やバーベキュー、キャンプができる公園」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

このほか、【10代】では「スポーツ施設が充実した公園」(50.0%)が全体(9.9%)に比べ40ポイント以上高く、【30代】では「水辺とふれあえる公園」(27.6%)が全体(12.3%)に比べ15ポイント以上高くなっている。

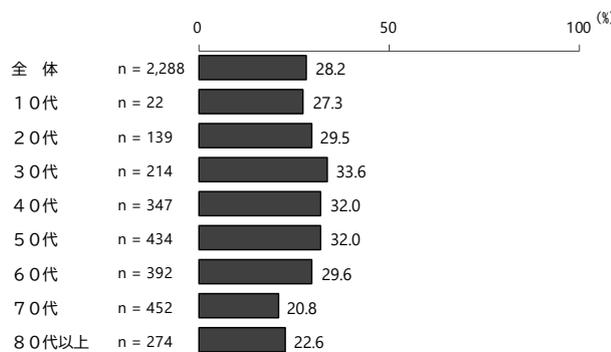
〈日常的な憩いの場となる公園〉



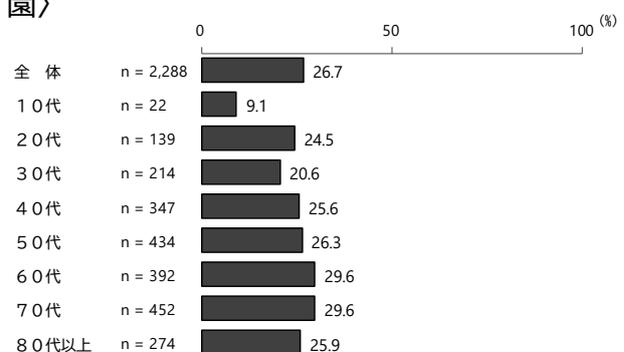
〈防災機能が充実した公園〉



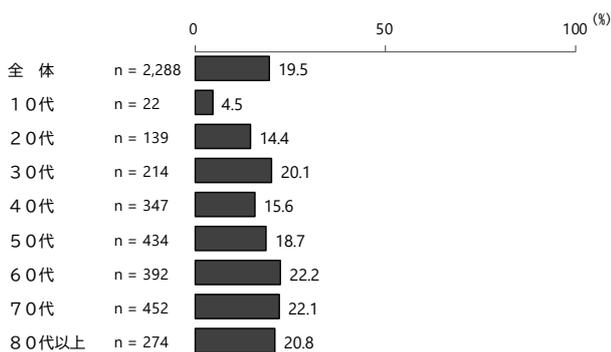
〈くつろいだり、ジョギングができる公園〉



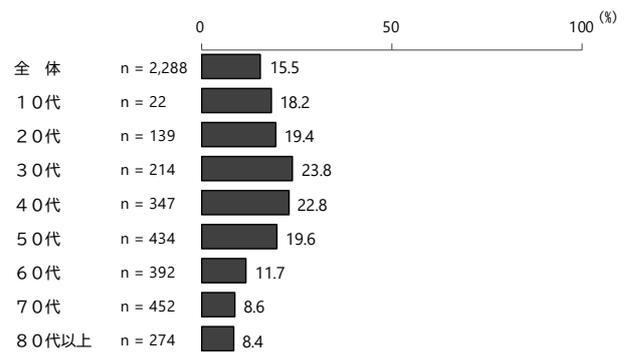
〈散歩やジョギングのできる園路などがある公園〉



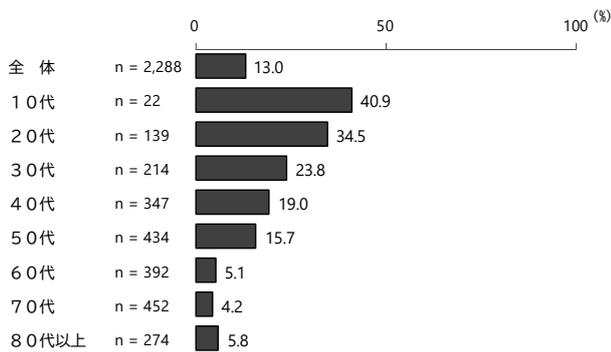
〈自然とのふれあいや環境教育の場となる公園〉



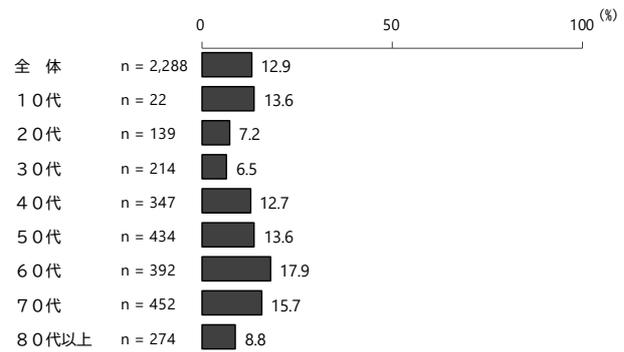
〈飲食店（カフェ含む）や売店がある公園〉



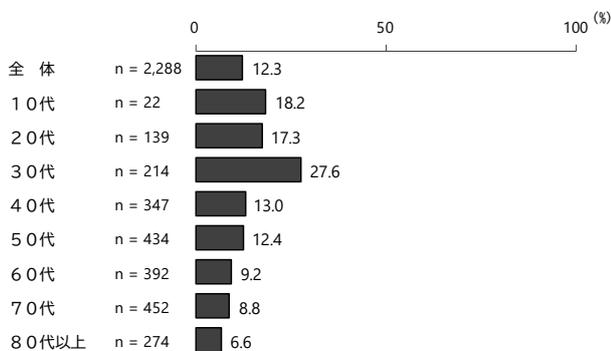
〈芋煮やバーベキュー、キャンプができる公園〉



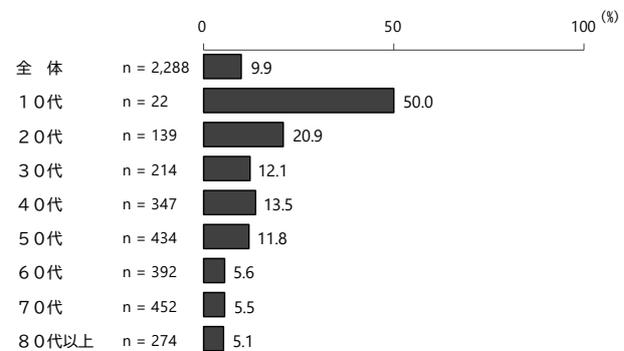
〈市街地中心部で、買い物客の待ち合わせや休息場となる公園〉



〈水辺とふれあえる公園〉



〈スポーツ施設が充実した公園〉



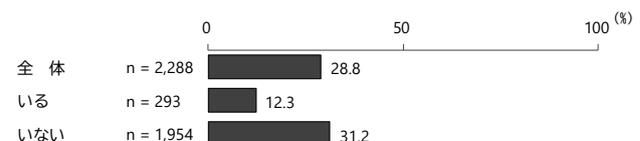
【小学生以下の子どもの同居者の有無別／住まいの近くの公園の役割】

- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、「日常的な憩いの場となる公園」は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 74.4%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人 (54.8%) に比べ 20 ポイント近く高くなっている。
- また、「水辺とふれあえる公園」も、【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 23.2%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人が (10.6%) に比べ 10 ポイント以上高くなっている。

〈日常的な憩いの場となる公園〉

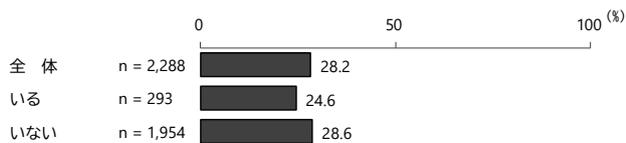


〈防災機能が充実した公園〉

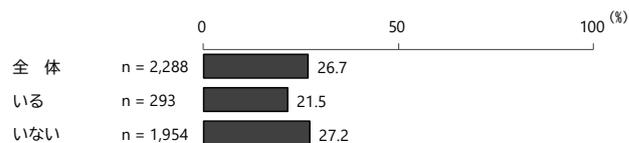


IV 調査結果の分析

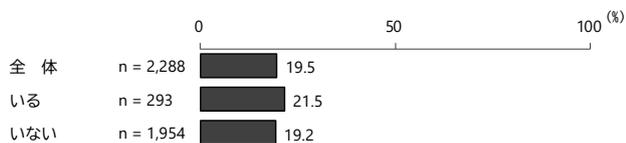
〈くつろいだり、ジョギングができる公園〉



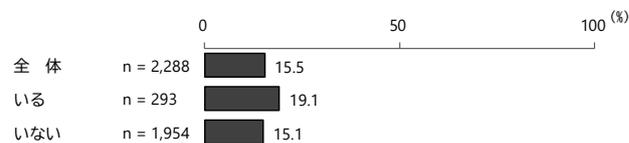
〈散歩やジョギングのできる園路などがある公園〉



〈自然とのふれあいや環境教育の場となる公園〉



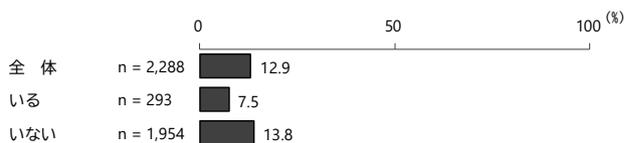
〈飲食店（カフェ含む）や売店がある公園〉



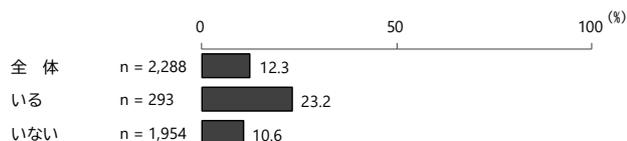
〈芋煮やバーベキュー、キャンプができる公園〉



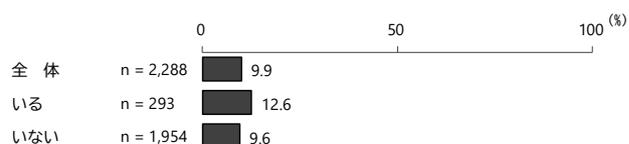
〈市街地中心部で、買い物客の待ち合わせや休息場となる公園〉



〈水辺とふれあえる公園〉



〈スポーツ施設が充実した公園〉

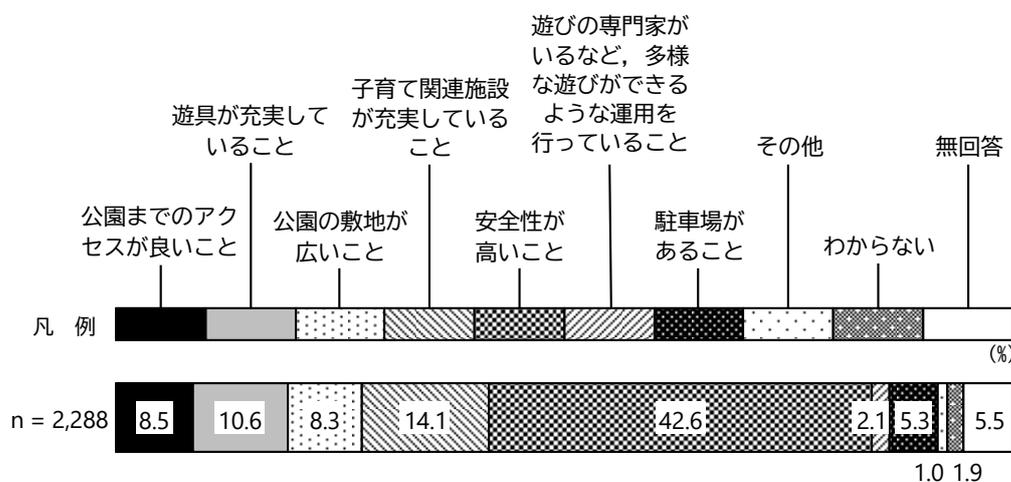


3-3-6 公園が子どもの遊び場として利用されるために特に重要だと思うこと

- ▶ 公園が子どもの遊び場として利用されるために特に重要だと思うことは、「安全性が高いこと」が42.6%と最も高く、次いで、「子育て関連施設が充実していること」(14.1%)、「遊具が充実していること」(10.6%)、「公園までのアクセスが良いこと」(8.5%)となっている。

問27 公園が子どもの遊び場としてより利用されるために、特に重要なことは何だと思えますか。

(あてはまる番号1つに○)

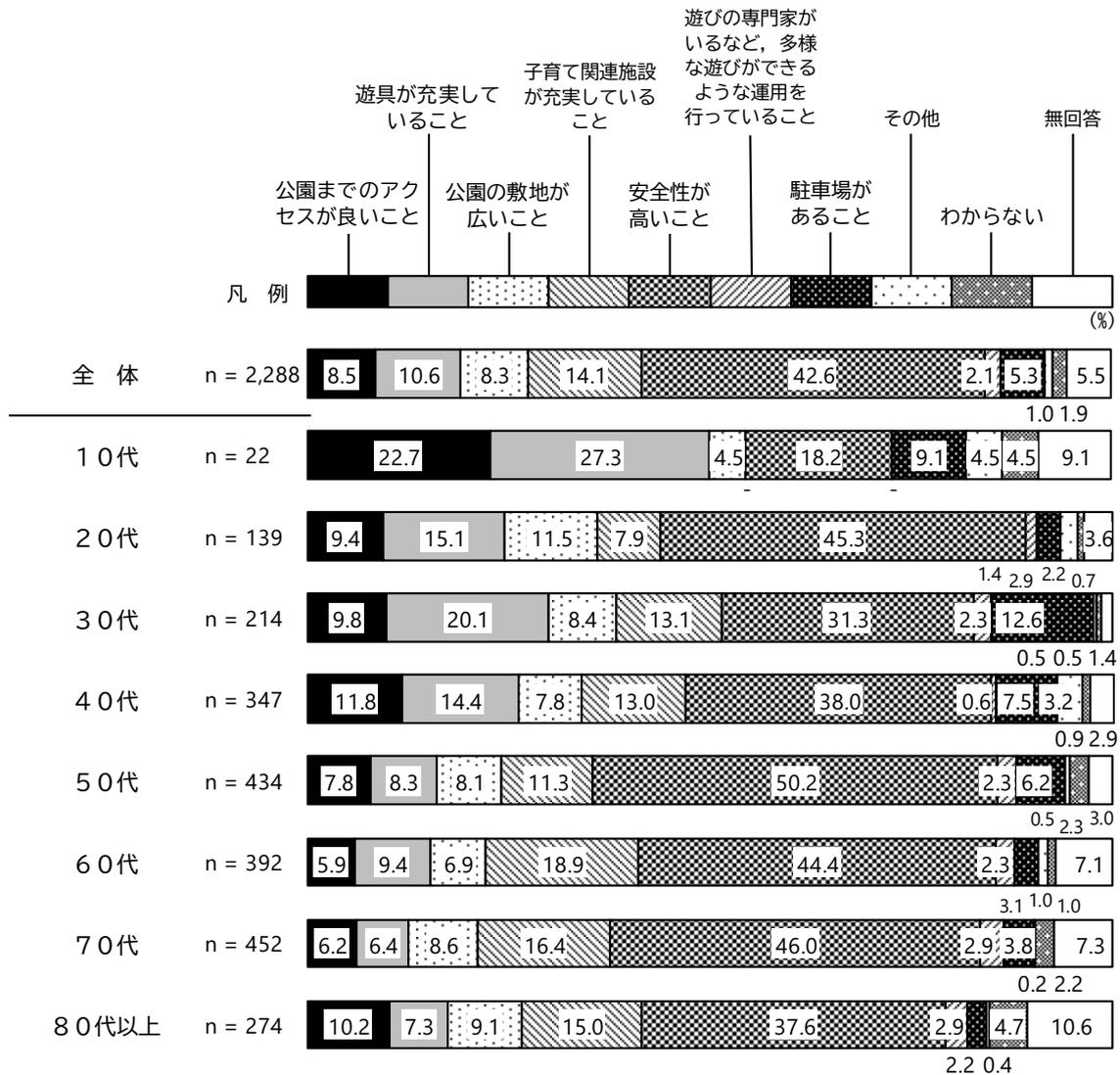


IV 調査結果の分析

【年代別／公園が子どもの遊び場として利用されるために重要だと思うこと】

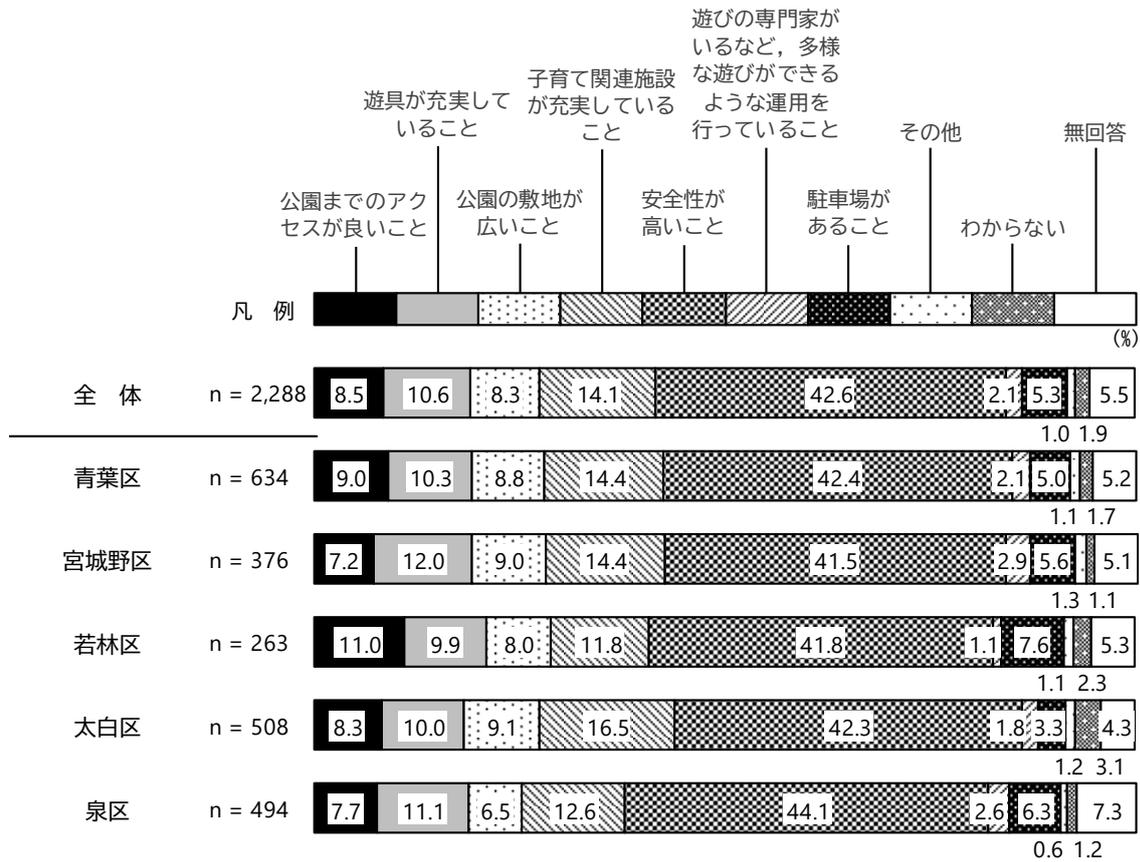
▶ 年代別にみると、【10代】では「公園までのアクセスが良いこと」(22.7%)、「遊具が充実していること」(27.3%)が全体(8.5%、10.6%)に比べ大幅に高い一方、「安全性が高いこと」(18.2%)は全体(42.6%)に比べ大幅に低くなっている。

【20代】以降では、いずれの年代においても「安全性が高いこと」が最も高くなっている。



【居住地区別／公園が子どもの遊び場として利用されるために重要だと思うこと】

- ▶ 居住地区別にみると、いずれの区においても概ね全体に近い回答傾向となっている。ほとんどの区では「安全性が高いこと」が最も高く、次いで、「子育て関連施設が充実していること」、「遊具が充実していること」となっているが、【若林区】では「公園までのアクセスが良いこと」(11.0%)が「遊具が充実していること」(9.9%)を上回っている。

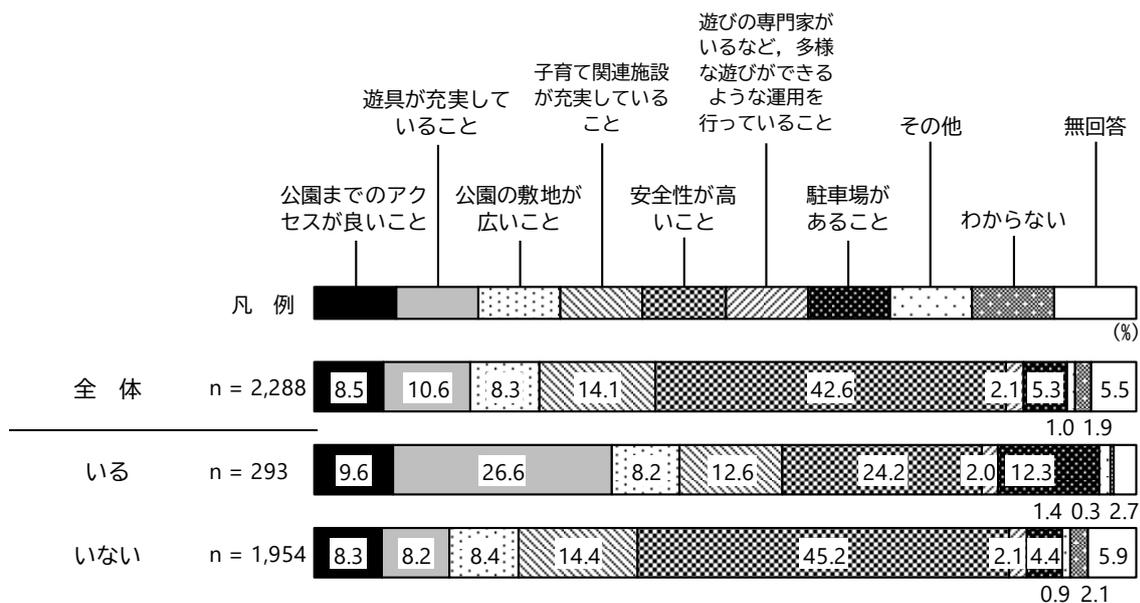


IV 調査結果の分析

【小学生以下の子どもの同居者の有無別

／公園が子どもの遊び場として利用されるために重要だと思うこと】

- ▶ 小学生以下の子どもの同居者の有無別にみると、「遊具が充実していること」は【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 26.6%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人（8.2%）に比べ 20 ポイント近く高くなっている。また、「駐車場があること」も、【同居者の中に子どもがいる】と答えた人が 12.3%と、【同居者の中に子どもはいない】と答えた人（5.3%）に比べやや高くなっている。



3-4 「都心部」と「住宅地」の街路樹について

3-4-1 街路樹の満足度

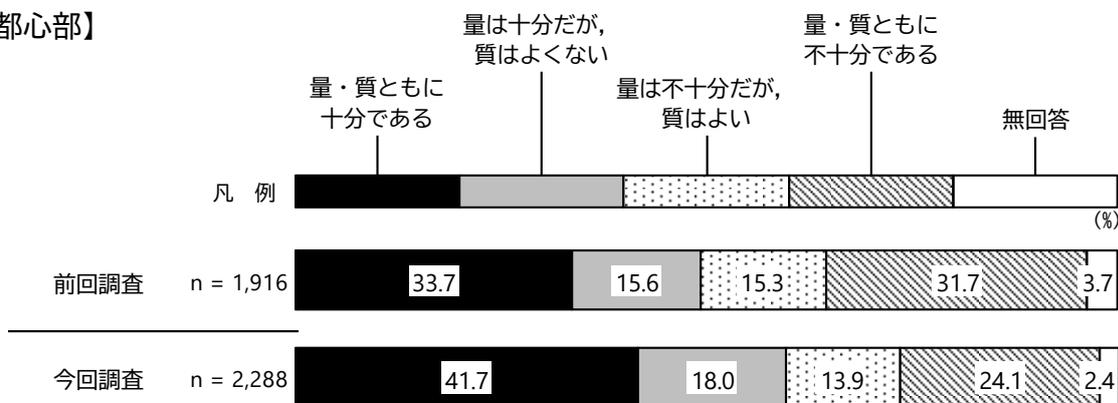
- ▶ 街路樹の満足度について、【都心部】では「量・質ともに十分である」が41.7%と最も高く、次いで、「量・質ともに不十分である」(24.1%)、「量は十分だが、質はよくない」(18.0%)、「量は不十分だが、質はよい」(13.9%)となっている。
【住宅地】では「量・質ともに十分である」が34.0%と最も高く、次いで、「量・質ともに不十分である」(32.7%)、「量は十分だが、質はよくない」(23.1%)、「量は不十分だが、質はよい」(7.9%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、【都心部】、【住宅地】ともに、「量・質ともに十分である」が約7~8ポイント上昇、「量・質ともに不十分である」が約6~8ポイント下降しており、街路樹の満足度が上昇していることがうかがえる。

問28 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

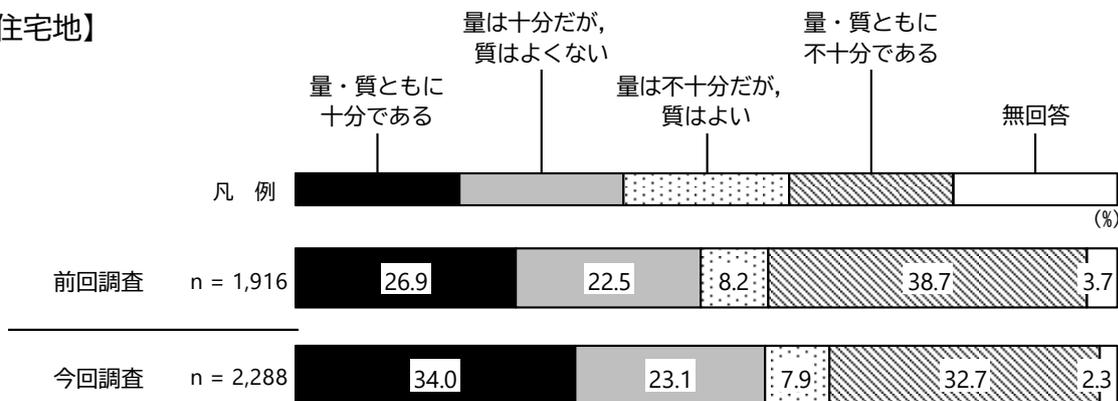
※街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し(いやし)を与える機能などのことです。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

【都心部】



【住宅地】

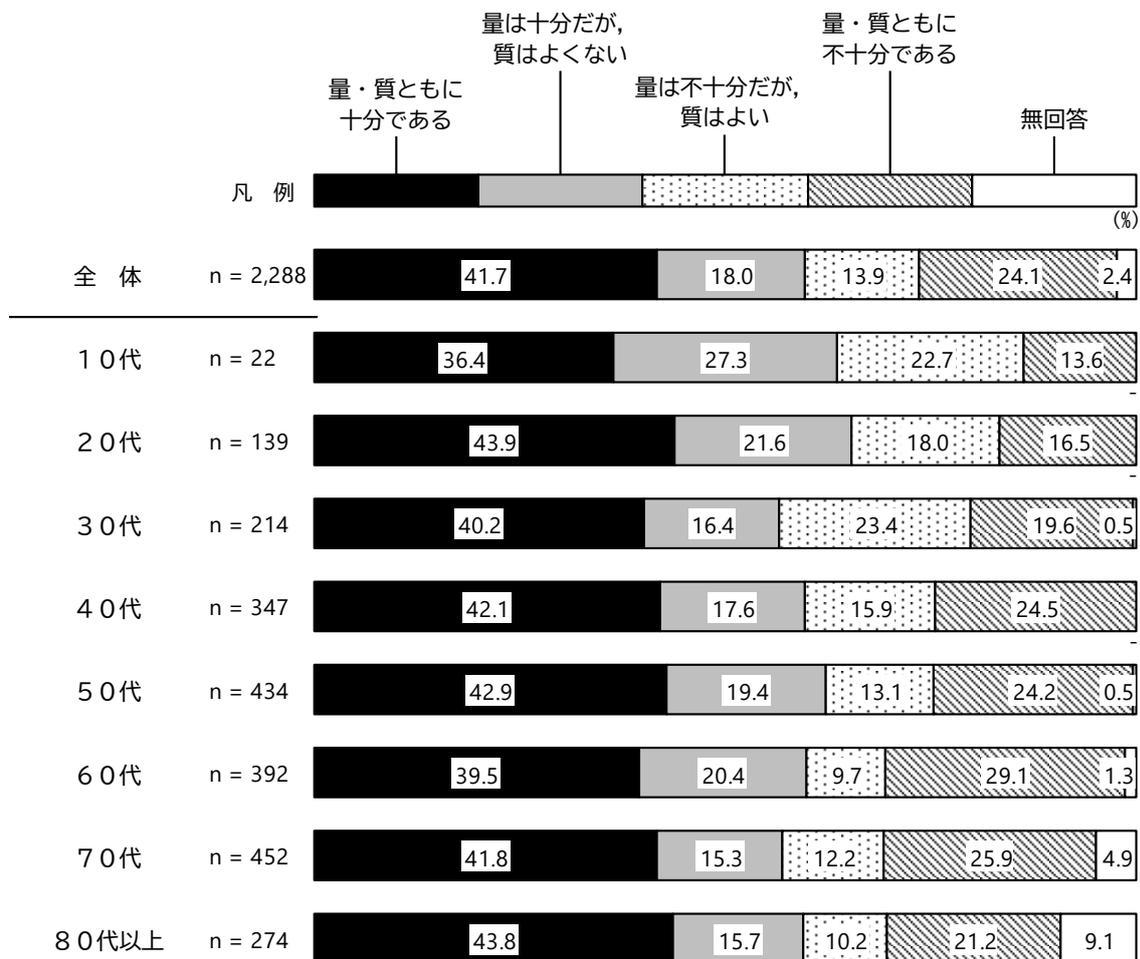


※都心部：仙台駅を中心とした地区のことで、定禅寺通や青葉通、東二番丁通などが含まれる
住宅地：都心部以外の一般的な住居地のこと

IV 調査結果の分析

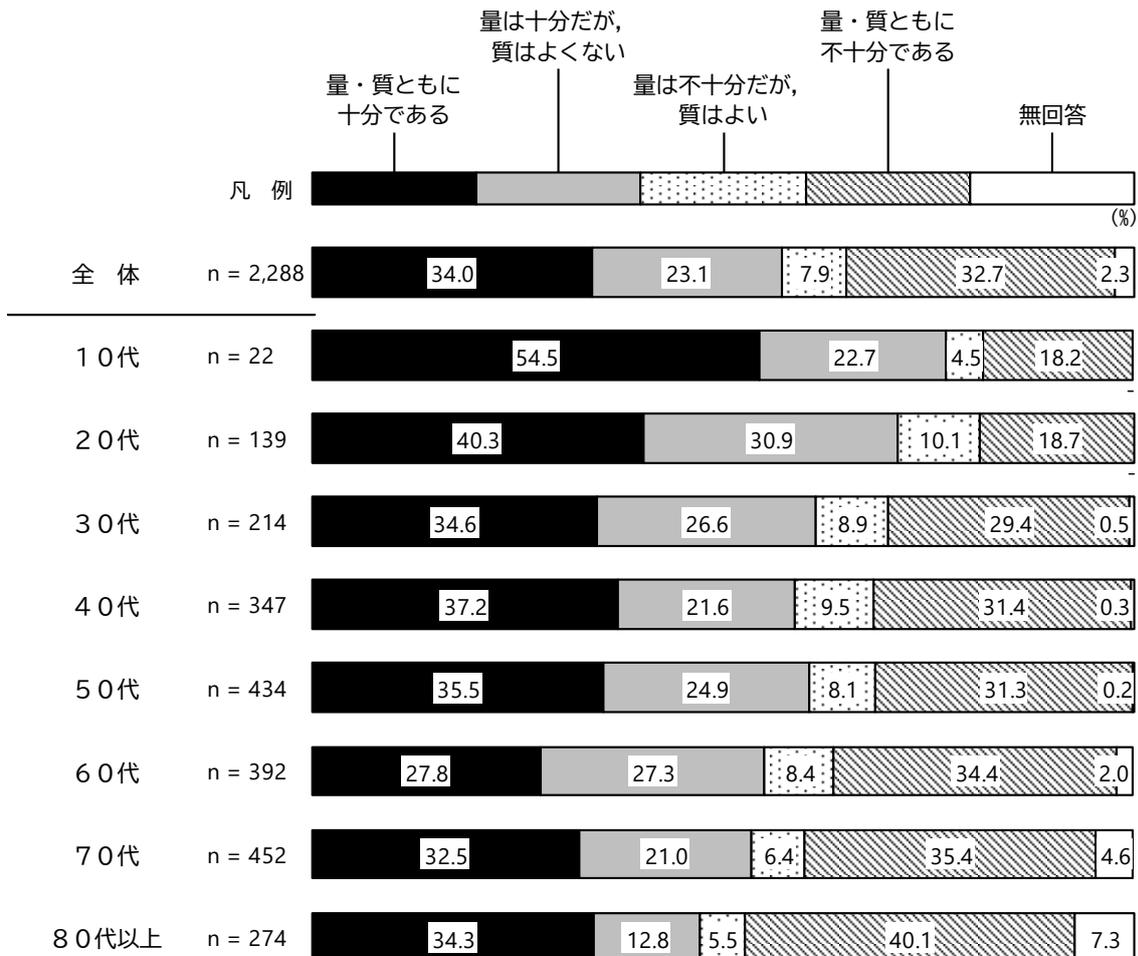
【年代別／街路樹の満足度（都心部）】

- ▶ 【都心部】について年代別にみると、いずれの年代においても「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を上回っているが、【10代】～【60代】では「量・質ともに不十分である」が概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。



【年代別／街路樹の満足度（住宅地）】

- ▶ 【住宅地】について年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「量・質ともに不十分である」が高く、「量・質ともに十分である」が低くなっている。【10代】～【50代】では「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を上回っているが、【60代】以上では逆転し、「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を下回っている。

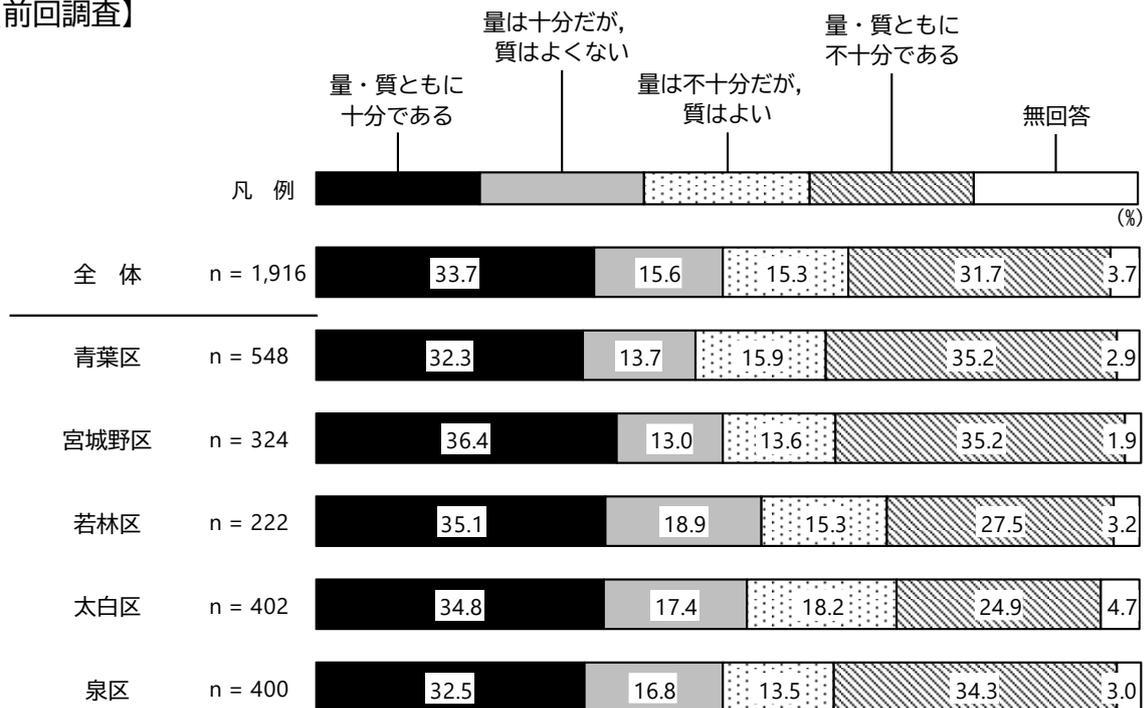


IV 調査結果の分析

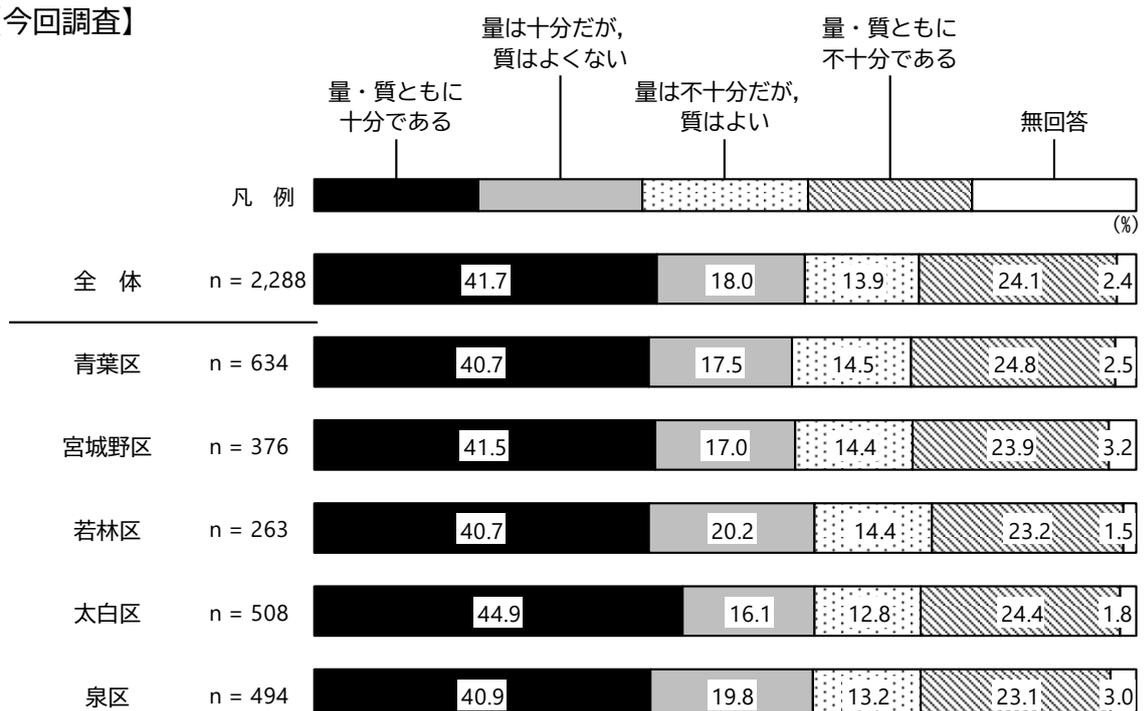
【居住地区別／街路樹の満足度（都心部）】

- ▶ 【都心部】について居住地区別にみると、いずれの区においても概ね全体に近い回答傾向となり、「量・質ともに十分である」が「量・質ともに不十分である」を上回っている。
- ▶ この結果を前回調査と比較すると、いずれの区においても「量・質ともに十分である」が上昇、「量・質ともに不十分である」が下降している。特に、【青葉区】、【宮城野区】、【泉区】では「量・質ともに不十分である」が10ポイント以上下降している。

【前回調査】



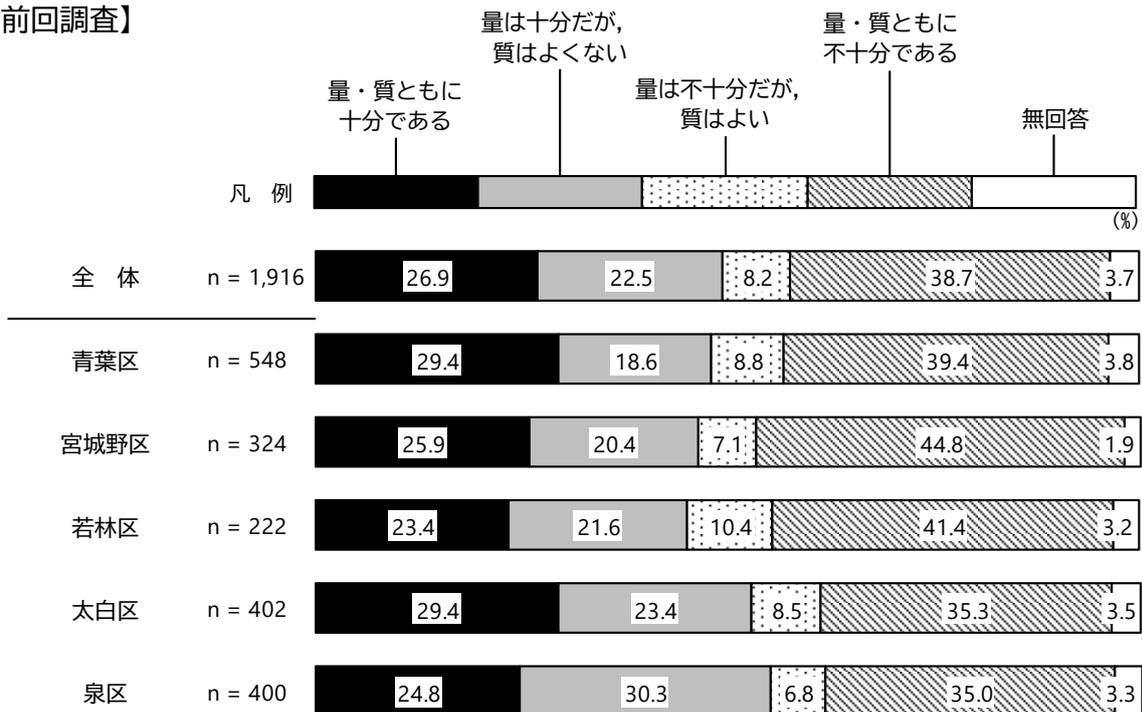
【今回調査】



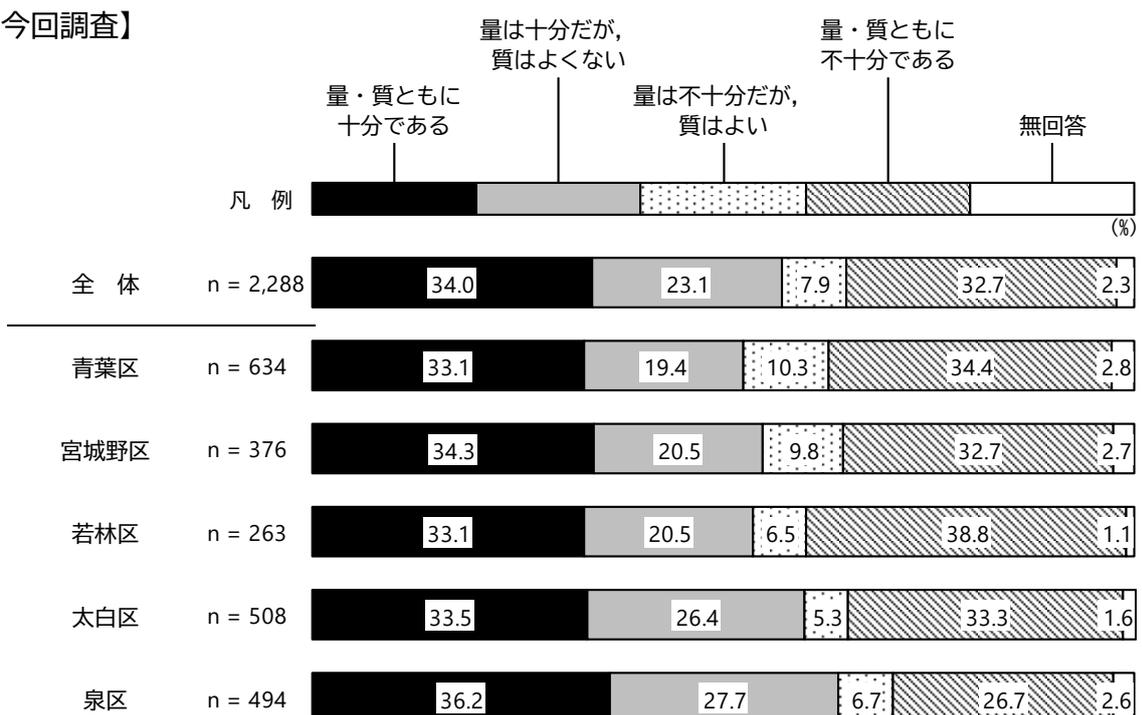
【居住地区別／街路樹の満足度（住宅地）】

- ▶ 【住宅地】について居住地区別にみると、【若林区】では「量・質ともに不十分である」（38.8%）が約4割と、他の区に比べやや高くなっている。
- ▶ この結果を前回調査と比較すると、いずれの区においても「量・質ともに十分である」が上昇、「量・質ともに不十分である」が下降している。特に、【宮城野区】では「量・質ともに不十分である」が約12ポイント下降している。

【前回調査】



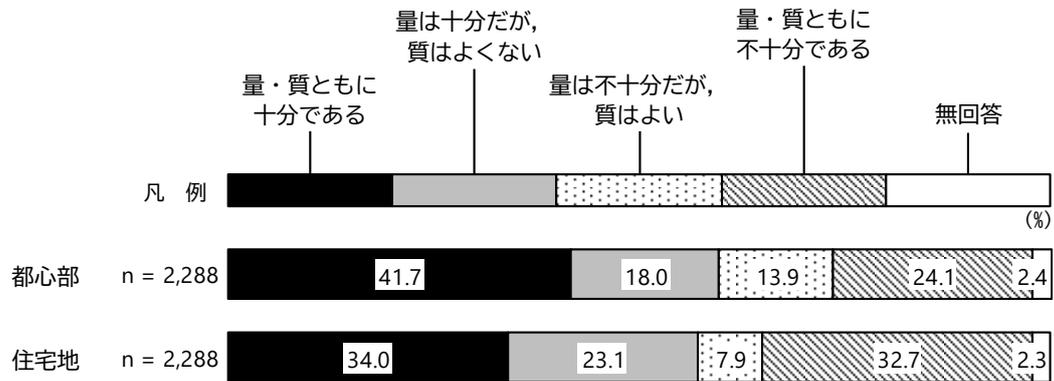
【今回調査】



IV 調査結果の分析

【街路樹の満足度（都心部と住宅地の比較）】

- ▶ 【都心部】と【住宅地】を比較すると、【都心部】では【住宅地】と比べて「量・質ともに十分である」が約8ポイント高く、「量・質ともに不十分である」が約9ポイント低くなっており、【都心部】の方が街路樹の満足度がやや高くなっている。



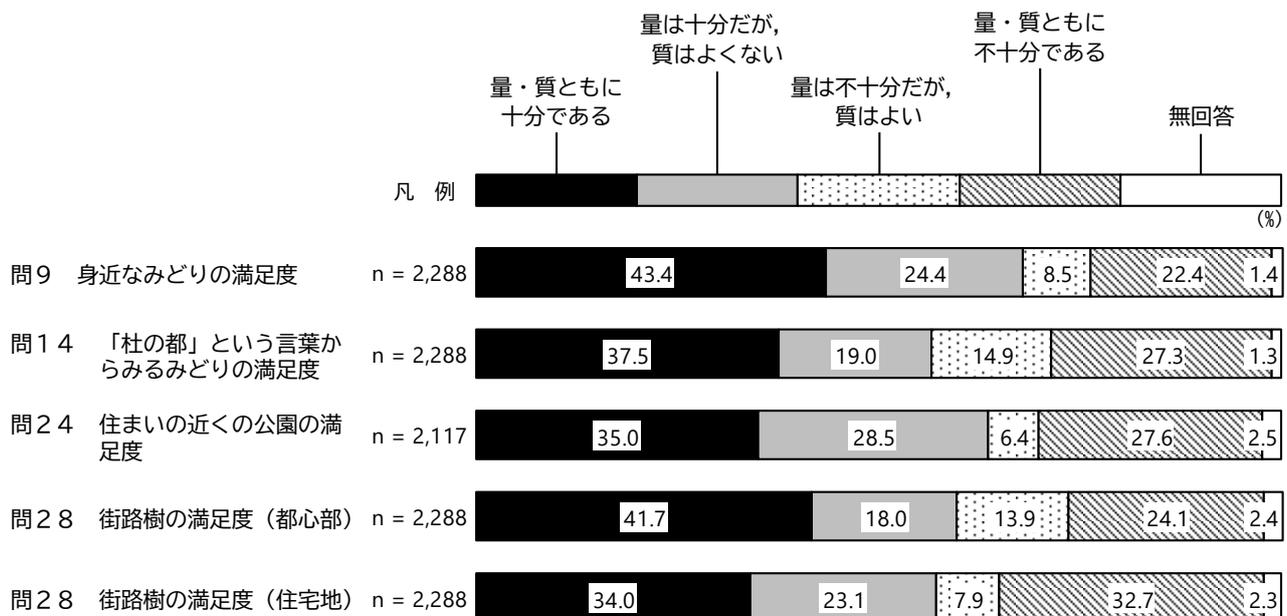
【満足度の比較】

- ▶ 【身近なみどりの満足度】（問9）、【「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度】（問14）、【住まいの近くの公園の満足度】（問24）、【街路樹の満足度（都心部）】、【街路樹の満足度（住宅地）】（ともに問28）を比較すると、いずれの設問においても「量・質ともに十分である」が最も高く、特に、【身近なみどりの満足度】、【街路樹の満足度（都心部）】では4割以上となっている。

「量は十分だが、質はよくない」は、【住まいの近くの公園の満足度】（28.5%）が約3割と、他の設問に比べてやや高くなっている。

「量は不十分だが、質はよい」は、【「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度】（14.9%）、【街路樹の満足度（都心部）】（13.9%）が1割以上と、他の設問に比べてやや高くなっている。

「量・質ともに不十分である」は、【街路樹の満足度（都心部）】（32.7%）が3割以上と、他の設問に比べてやや高くなっている。



IV 調査結果の分析

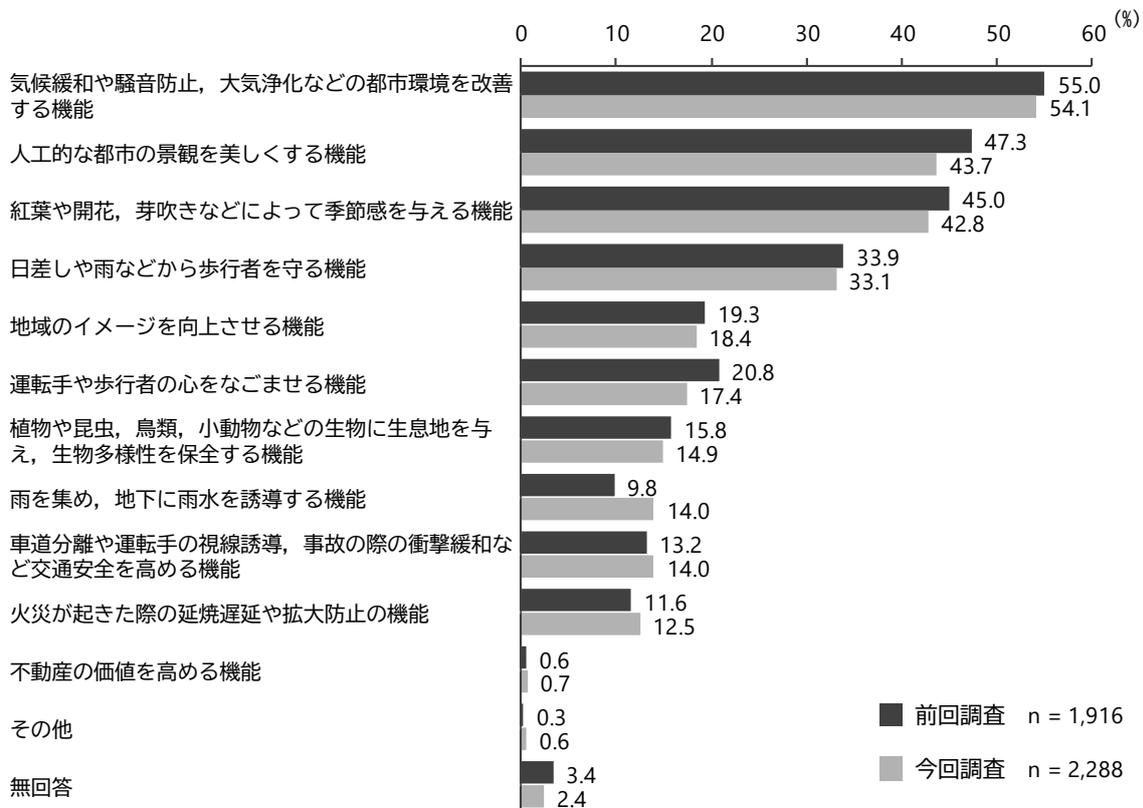
3-4-2 街路樹に期待する機能

- ▶ 街路樹に期待する機能について、【都心部】では「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」が 54.1%と最も高く、次いで、「人工的な都市の景観を美しくする機能」(43.7%)、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(42.8%)、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」(33.1%)となっている。
【住宅地】では「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」が 50.3%と最も高く、次いで、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(41.4%)、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」(29.2%)、「地域のイメージを向上させる機能」(25.5%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、【都心部】、【住宅地】どちらも、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

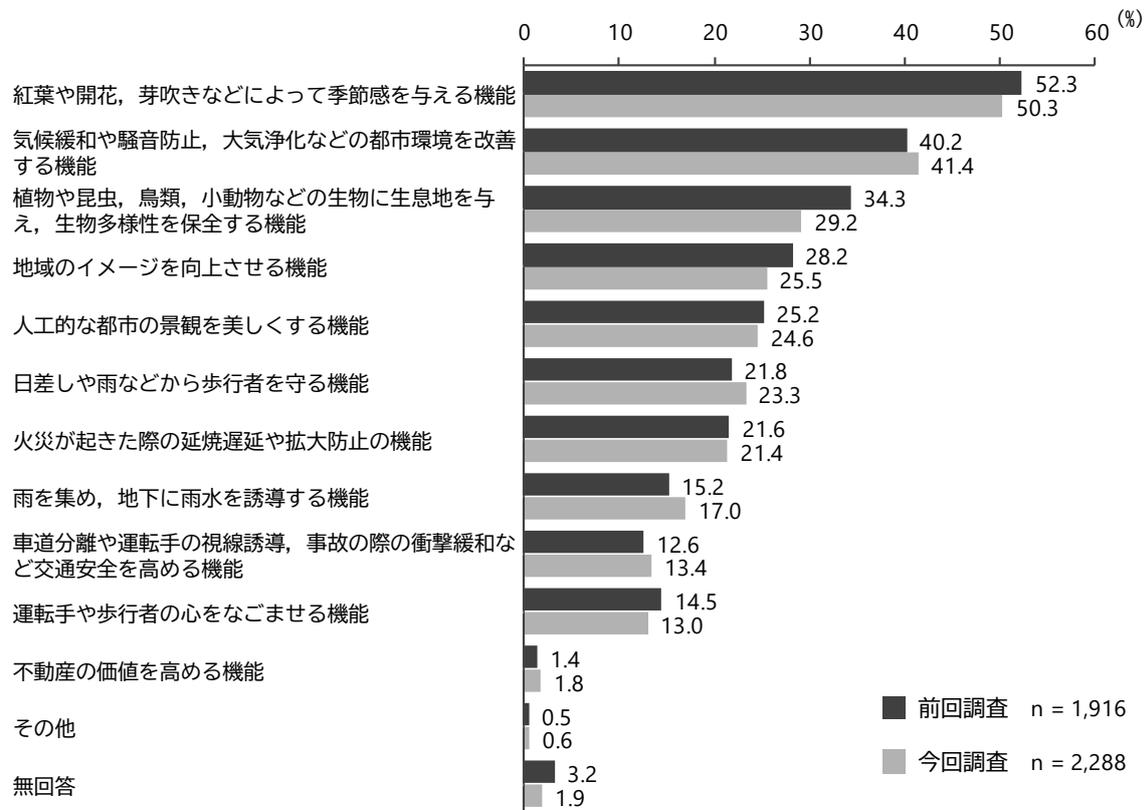
問 29 街路樹には、皆さんの生活の質を高めるための様々な機能があります。あなたが都心部、住宅地で街路樹に期待する機能として、特に重要なものは何ですか。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、主にあてはまる番号3つまでに○)

【都心部】



【住宅地】

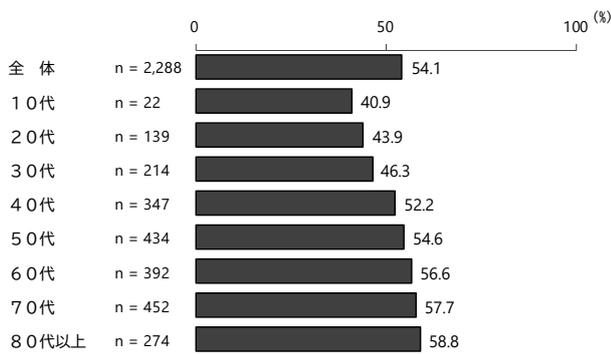


IV 調査結果の分析

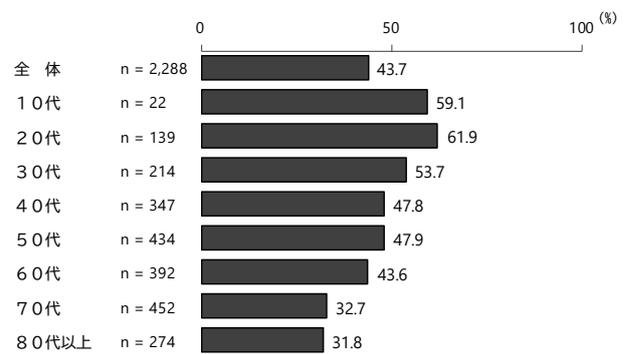
【年代別／街路樹に期待する機能（都心部）】

- ▶ 【都心部】について年代別にみると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。一方、「人工的な都市の景観を美しくする機能」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。また、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」は【10代】及び【30代】～【60代】で3割台半ば～4割と、他の年代に比べ高くなっている。

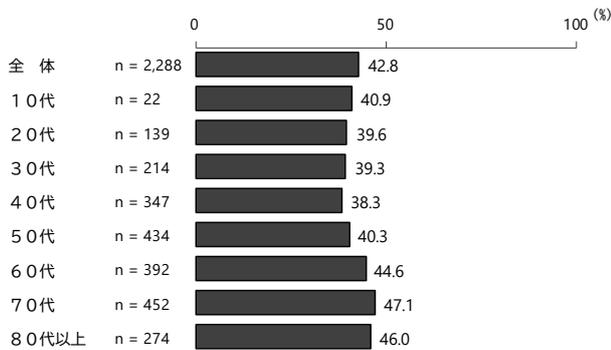
〈気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能〉



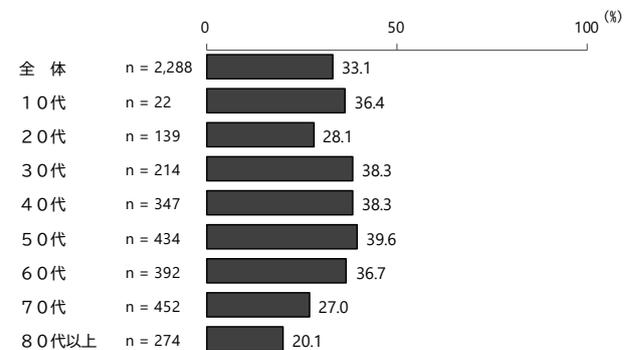
〈人工的な都市の景観を美しくする機能〉



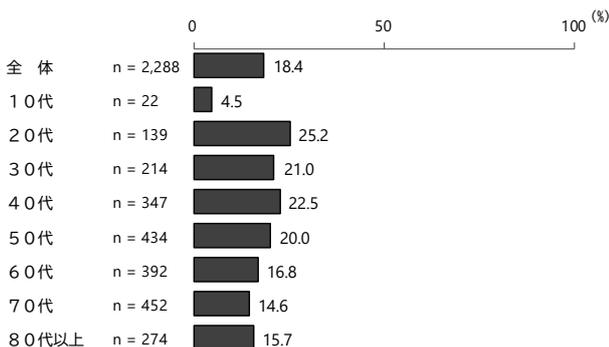
〈紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能〉



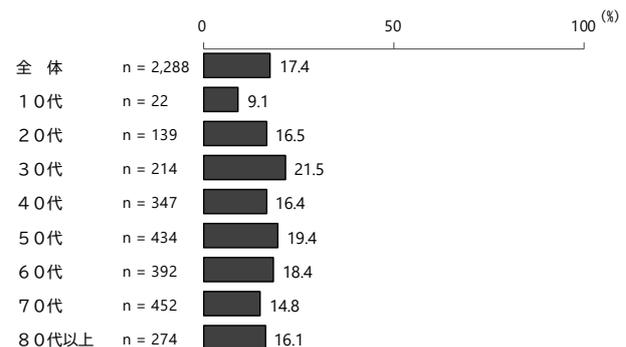
〈日差しや雨などから歩行者を守る機能〉



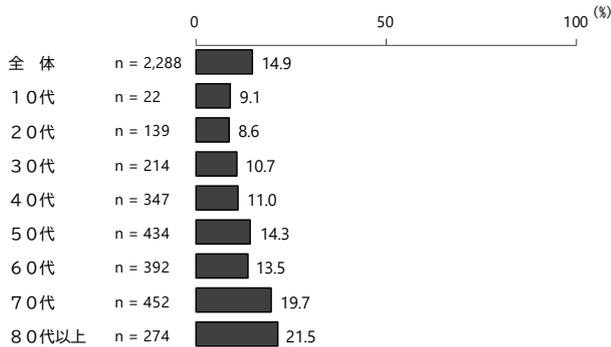
〈地域のイメージを向上させる機能〉



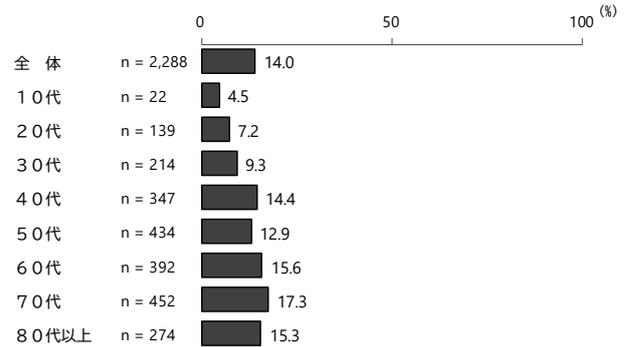
〈運転手や歩行者の心をなごませる機能〉



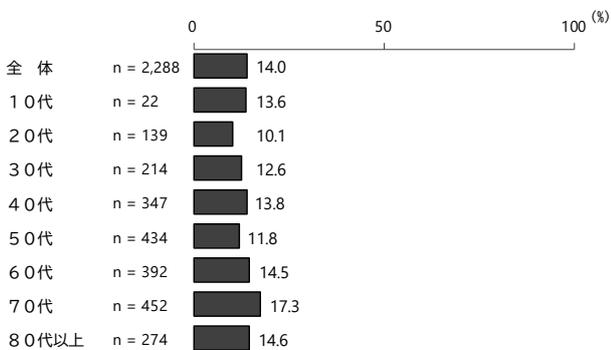
〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能〉



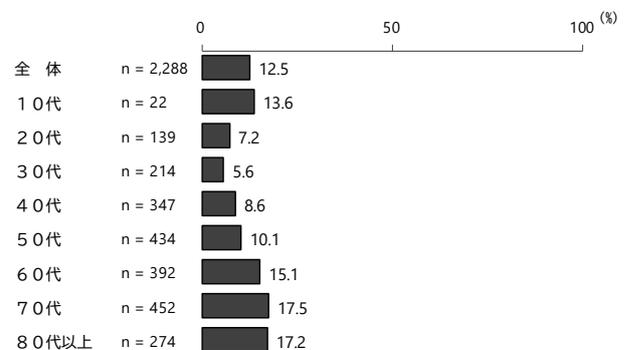
〈雨を集め、地下に雨水を誘導する機能〉



〈車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能〉



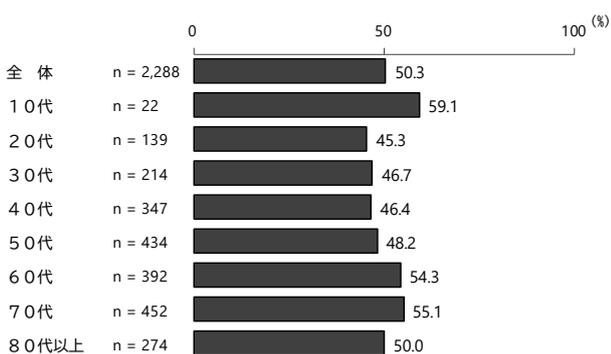
〈火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能〉



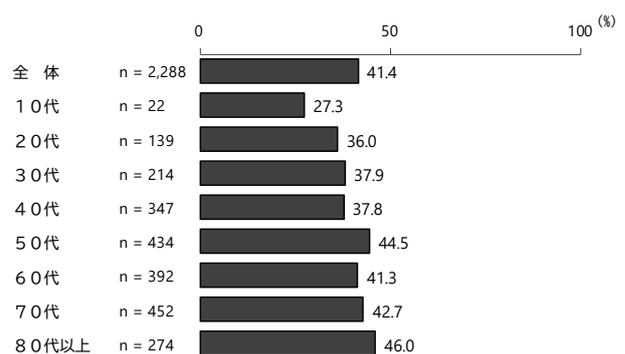
【年代別／街路樹に期待する機能（住宅地）】

- ▶ 【住宅地】について年代別にみると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」、「植物や昆虫鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」、「火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。一方、「地域のイメージを向上させる機能」、「人工的な都市の景観を美しくする機能」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

〈紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能〉

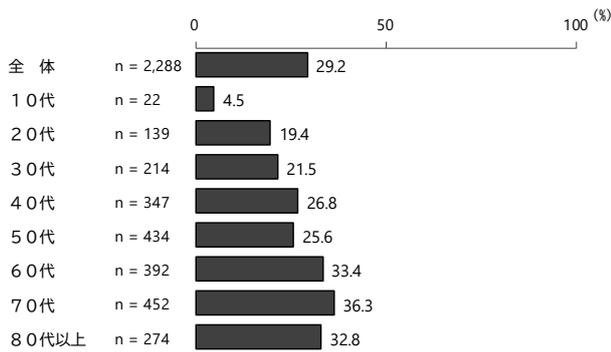


〈気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能〉

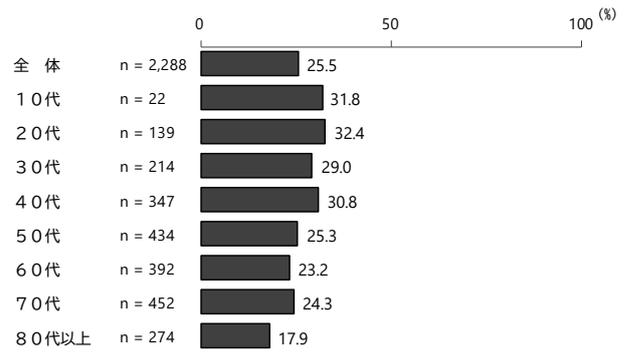


IV 調査結果の分析

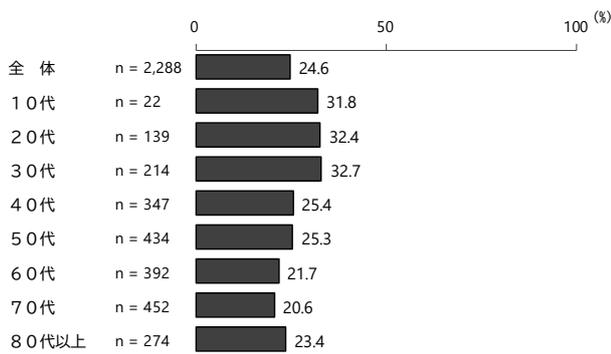
〈植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能〉



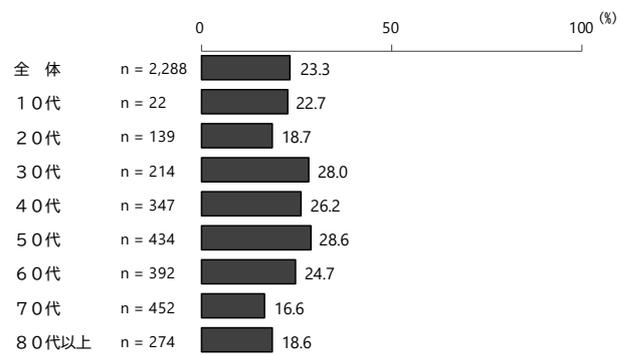
〈地域のイメージを向上させる機能〉



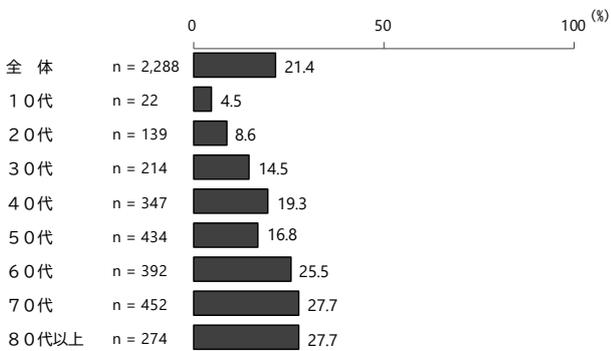
〈人工的な都市の景観を美しくする機能〉



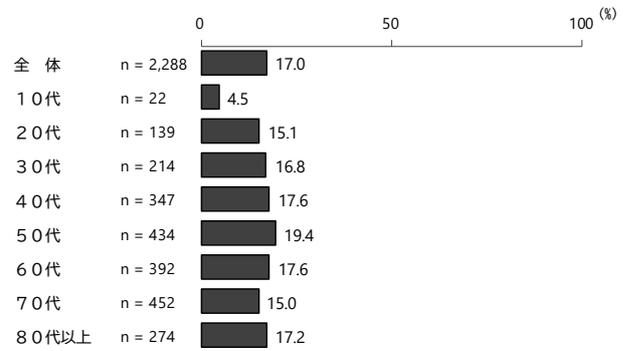
〈日差しや雨などから歩行者を守る機能〉



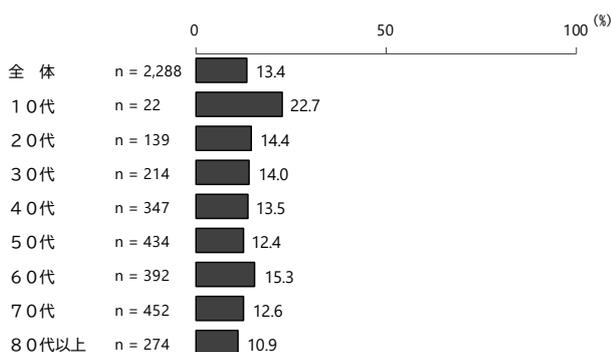
〈火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能〉



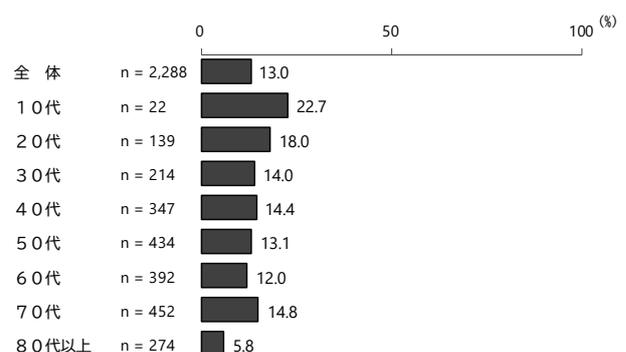
〈雨を集め、地下に雨水を誘導する機能〉



〈車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能〉

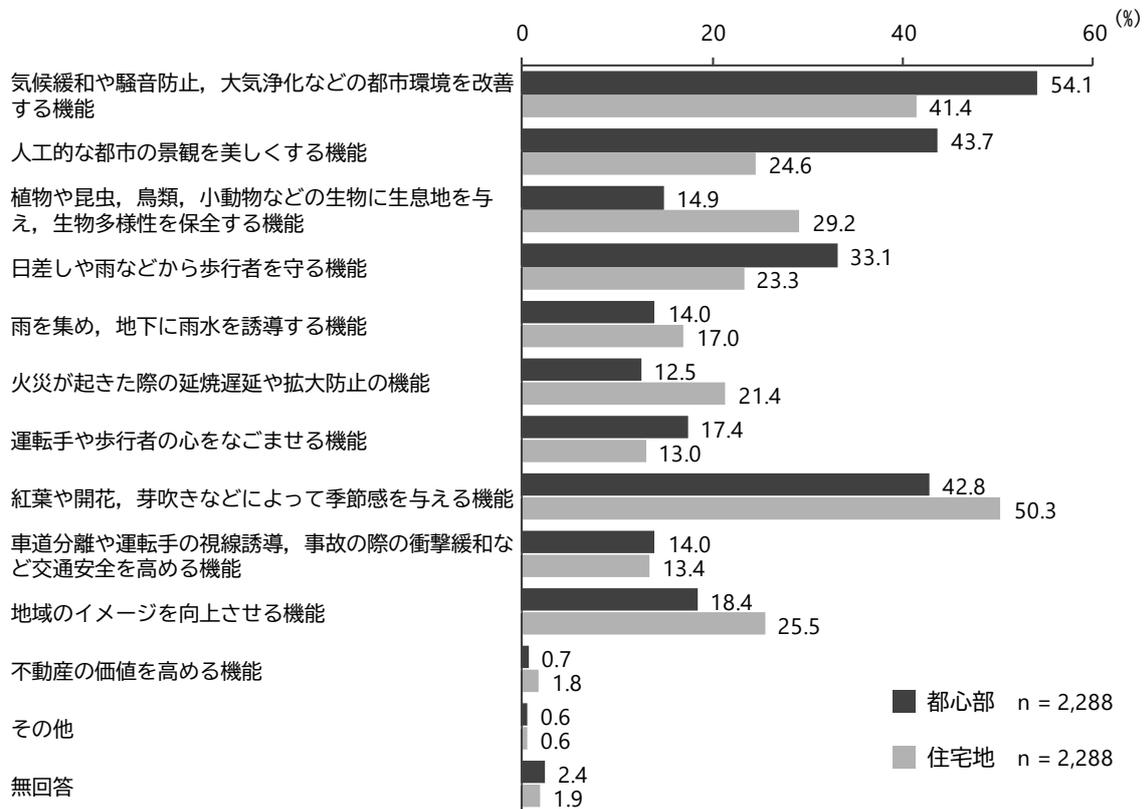


〈運転手や歩行者の心をなごませる機能〉



【街路樹に期待する機能（都心部と住宅地の比較）】

- ▶ 【都心部】と【住宅地】を比較すると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」及び「人工的な都市の景観を美しくする機能」では【都心部】の方が10ポイント以上高く、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」では【住宅地】の方が10ポイント以上高くなっている。

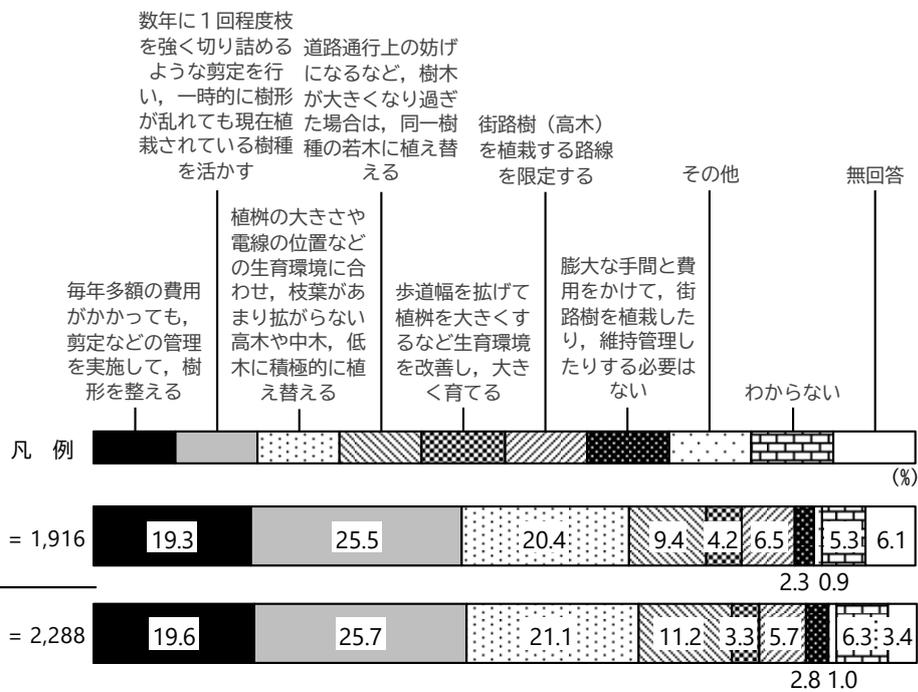


3-4-3 高木の街路樹の管理

- ▶ 高木の街路樹の管理については、「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」が25.7%と最も高く、次いで、「^{うえます}植栽の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」(21.1%)、「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」(19.6%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問 30 高木（樹高 3m以上）の街路樹の管理について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

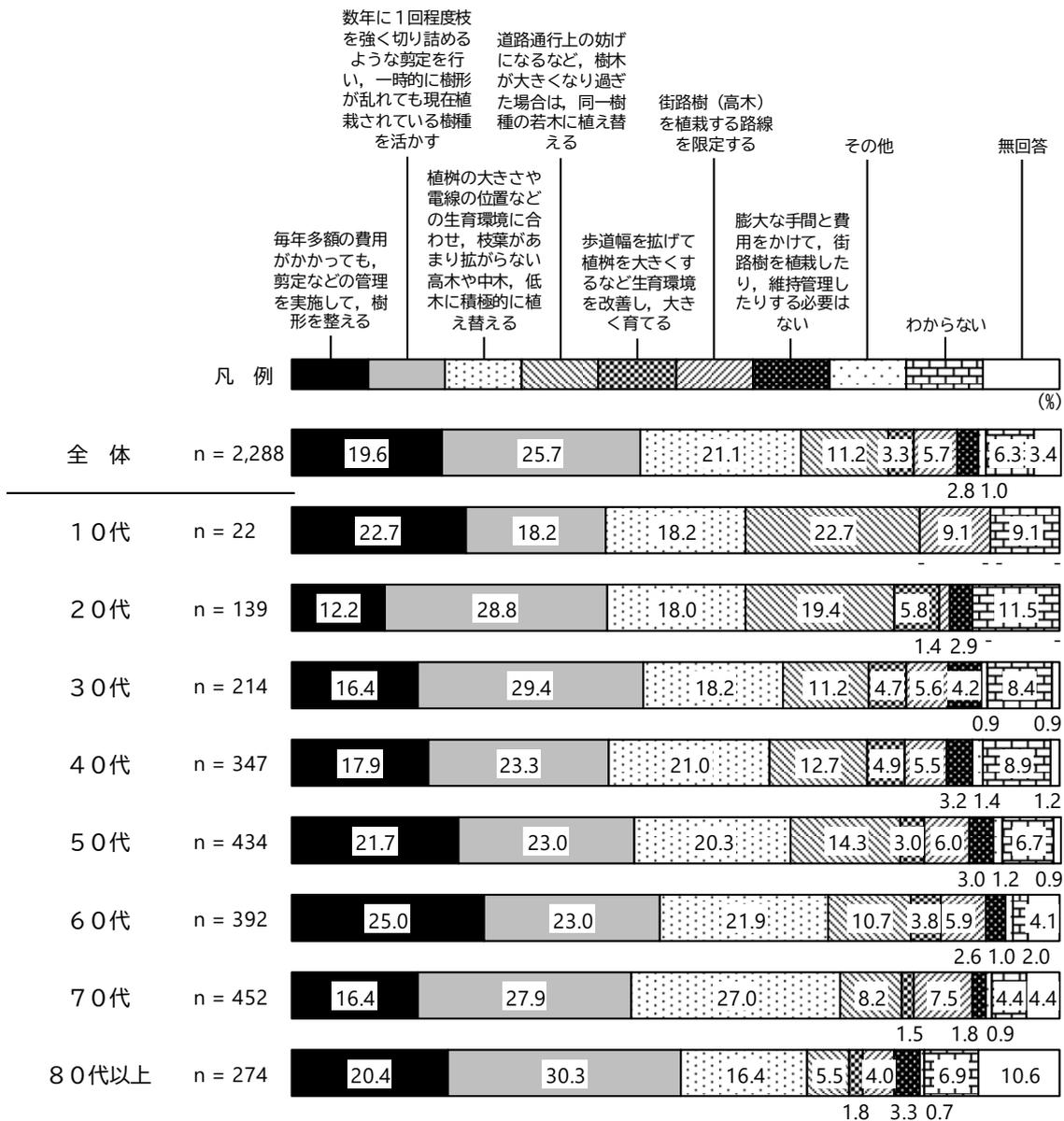
(あてはまる番号1つに○)



※ ^{うえます}植栽：樹木を植える場所

【年代別／高木の街路樹の管理】

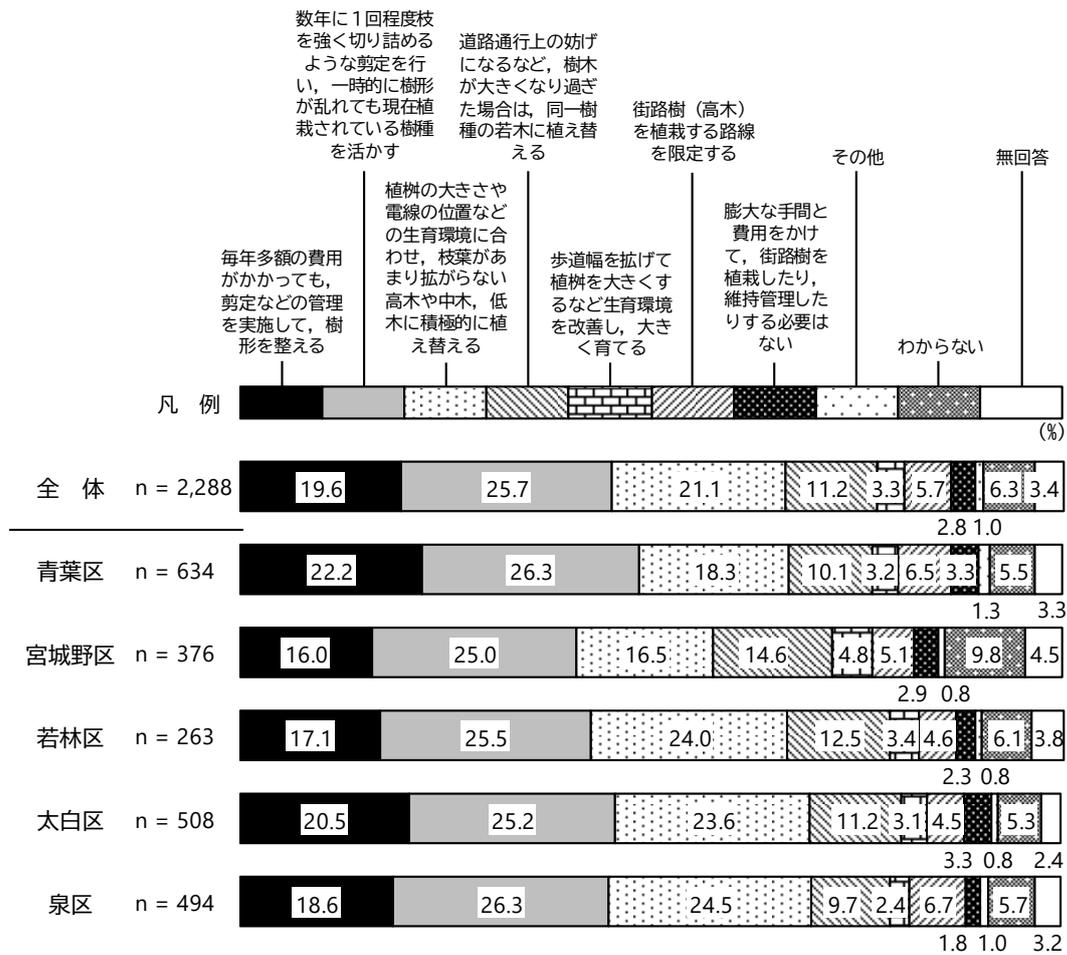
- ▶ 年代別にみると、【20代】～【50代】及び【70代】～【80代以上】では「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」が最も高くなっている。
- 一方、【10代】では「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」、「道路通行上の妨げになるなど、樹木が大きくなり過ぎた場合は、同一樹種の若木に植え替える」が、【60代】では「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」が、最も高くなっている。



IV 調査結果の分析

【居住地区別／高木の街路樹の管理】

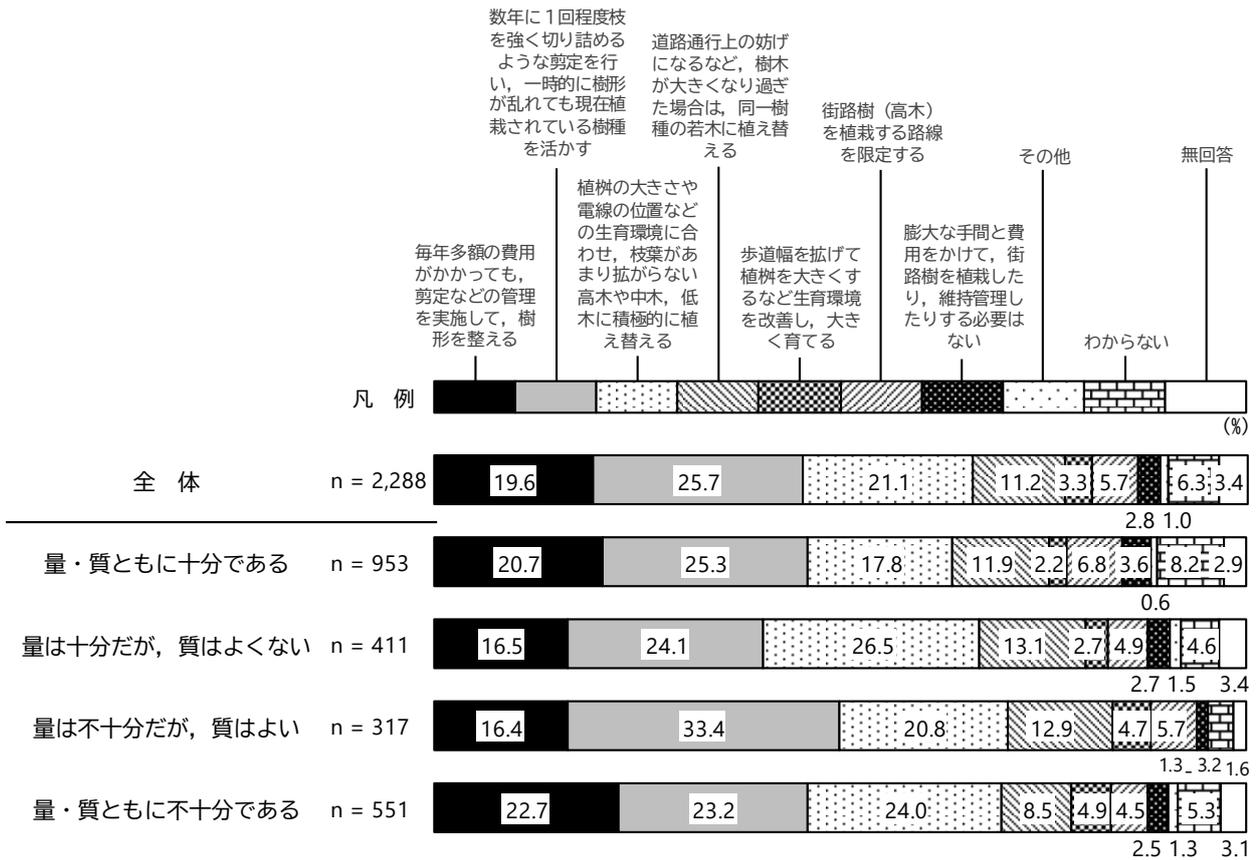
- ▶ 居住地区別にみると、いずれの区においても概ね全体に近い回答傾向となっている。ほとんどの区では、「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」が最も高く、次いで、「植木の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」、「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」となっているが、【青葉区】では「毎年多額の費用がかかっても、剪定などの管理を実施して、樹形を整える」(22.2%)が「植木の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、枝葉があまり広がらない高木や中木、低木に積極的に植え替える」(18.3%)を上回っている。



【街路樹の満足度（都心部）（問 28）別／高木の街路樹の管理】

▶ 街路樹の満足度（都心部）（問 28）別にみると、【量・質ともに十分である】、【量は十分だが、質はよくない】、【量・質ともに不十分である】では、多少のポイント差はあるものの、概ね全体に近い回答傾向となっている。

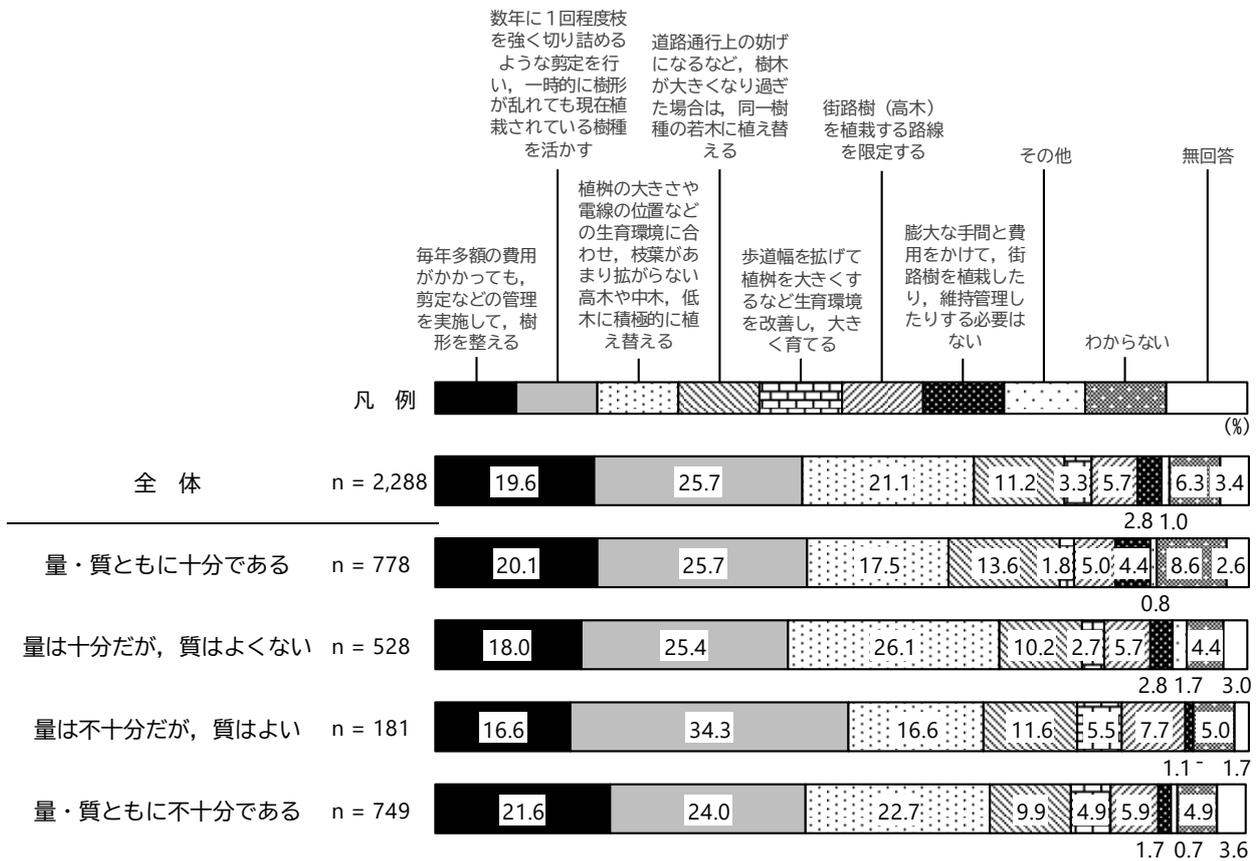
【量は不十分だが、質はよい】では「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」（33.4%）が3割以上と、他の満足度に比べやや高くなっている。



IV 調査結果の分析

【街路樹の満足度（住宅地）（問 28）別／高木の街路樹の管理】

- ▶ 街路樹の満足度（住宅地）（問 28）別にみると、前頁の都心部の結果と類似した傾向がみられ、【量は不十分だが、質はよい】では「数年に1回程度枝を強く切り詰めるような剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かす」（34.3%）が3割以上と、他の満足度に比べやや高くなっている。



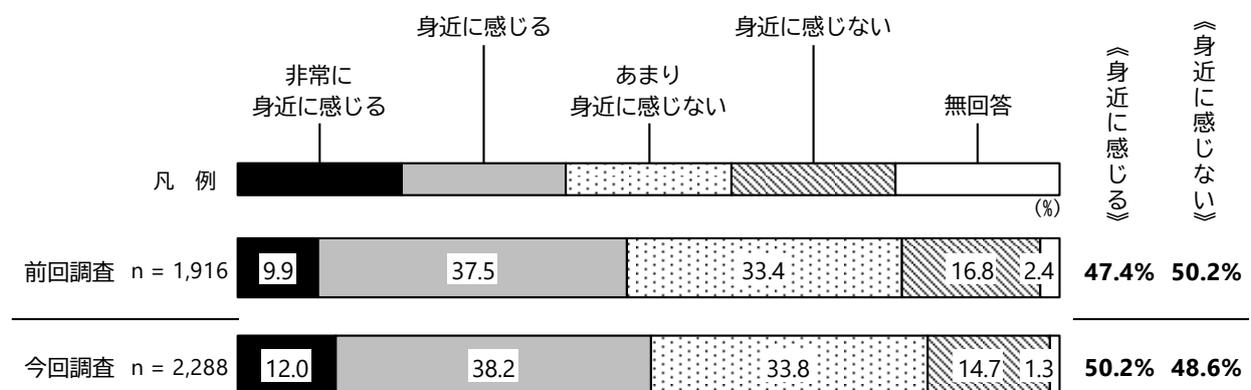
3-5 河川について

3-5-1 河川の身近さ

- ▶ 河川の身近さについては、「非常に身近に感じる」と「身近に感じる」を合算した《身近に感じる》が50.2%、「身近に感じない」と「あまり身近に感じない」を合算した《身近に感じない》が48.6%と、どちらも概ね5割前後となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられない。

問31 現在の仙台市内の河川について、身近に感じますか。

(あてはまる番号1つに○)



※グラフ右の割合は、以下のとおり二つの選択肢の回答割合を合算したもの

《身近に感じる》 = 「非常に身近に感じる」 + 「身近に感じる」

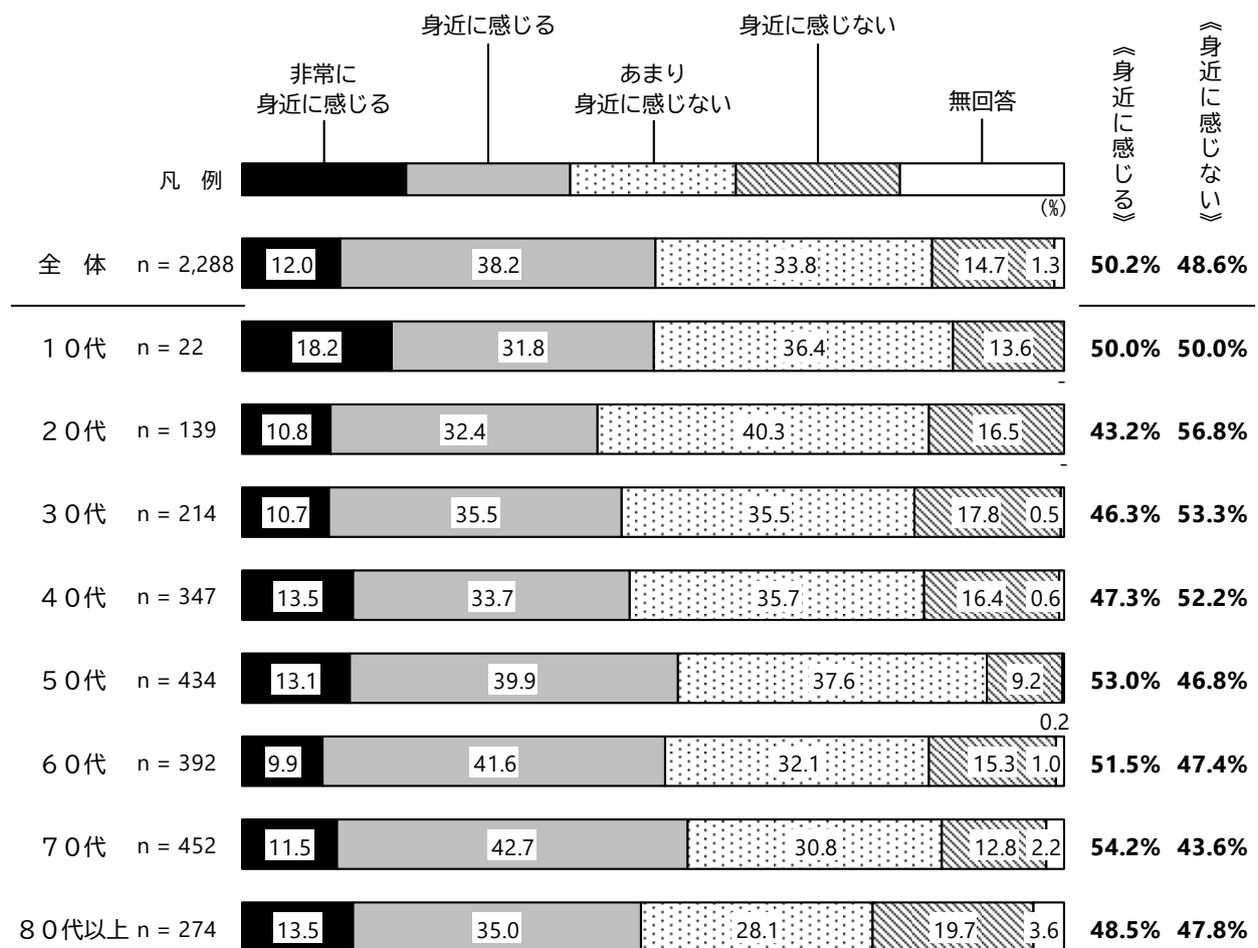
《身近に感じない》 = 「あまり身近に感じない」 + 「身近に感じない」

図表及びコメント内における回答割合の合算値は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

IV 調査結果の分析

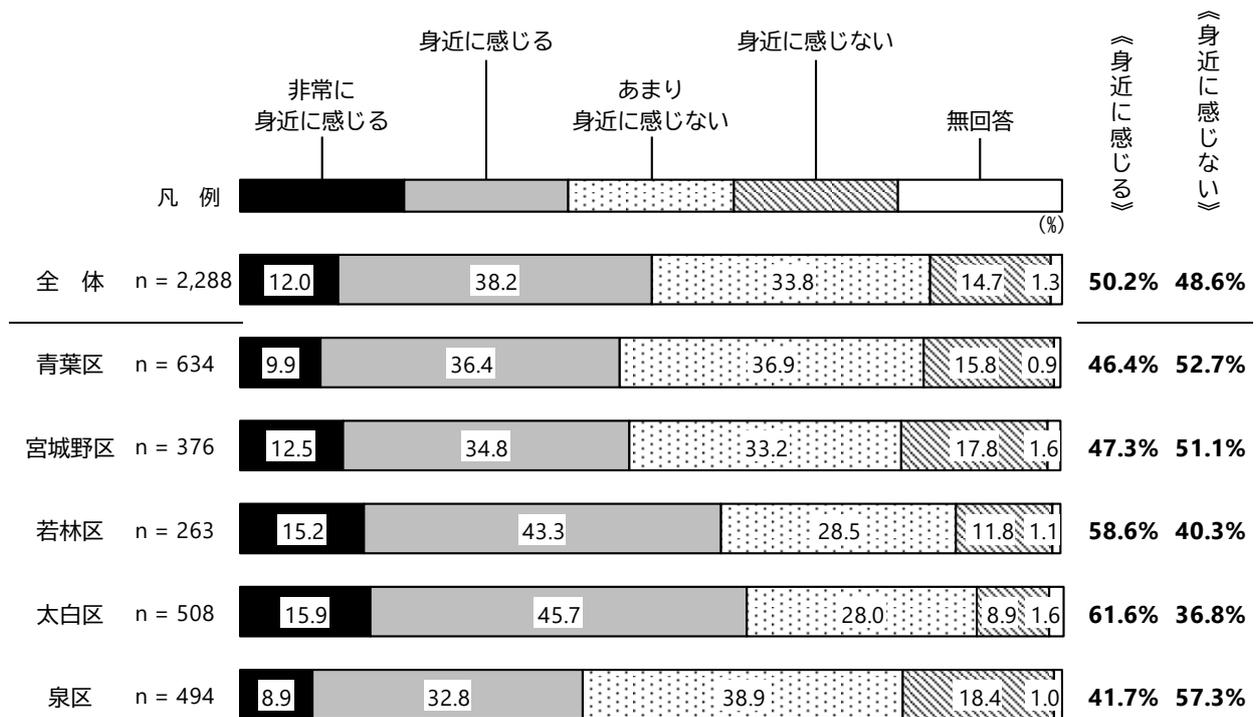
【年代別／河川の身近さ】

- ▶ 年代別にみると、どの年代においても《身近に感じる》と《身近に感じない》がどちらも概ね5割前後となっているが、【70代】では《身近に感じる》(54.2%)が《身近に感じない》(43.6%)を約11ポイント上回っている。一方、【20代】では《身近に感じる》(43.2%)が《身近に感じない》(56.8%)を約14ポイント下回っている。



【居住地区別／河川の身近さ】

- ▶ 居住地区別にみると、【若林区】及び【太白区】では《身近に感じる》が、《身近に感じない》を大幅に上回っており、【若林区】では《身近に感じる》が約18ポイント、【太白区】では約25ポイント高くなっている。
- 一方、【泉区】では《身近に感じる》(41.7%)が《身近に感じない》(57.3%)を約16ポイント下回っている。

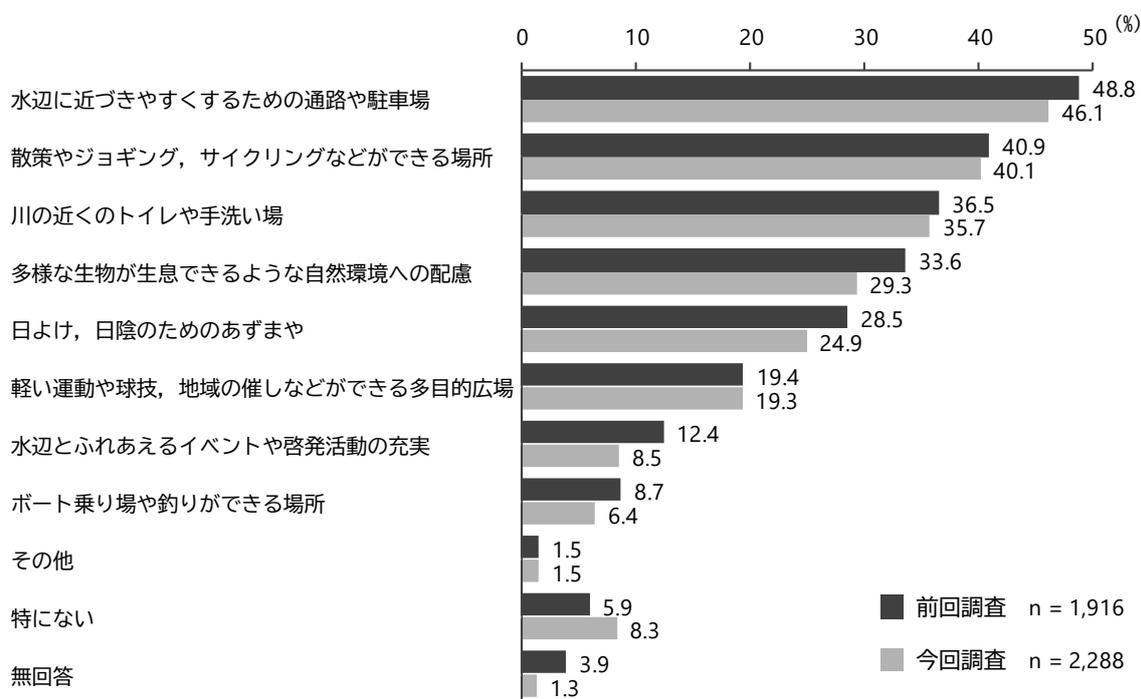


3-5-2 水辺空間の利用に特に必要なもの

- ▶ 水辺空間の利用に特に必要なものについては、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場」が46.1%と最も高く、次いで、「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」(40.1%)、「川の近くのトイレや手洗い場」(35.7%)、「多様な生物が生息できるような自然環境への配慮」(29.3%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられないが、ほぼ全ての項目で回答割合が下降している。

問 32 あなたが、水辺の空間を利用するために特に必要なものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

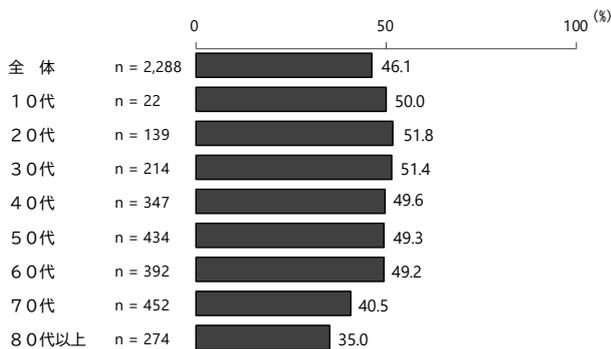


【年代別／水辺空間の利用に特に必要なもの】

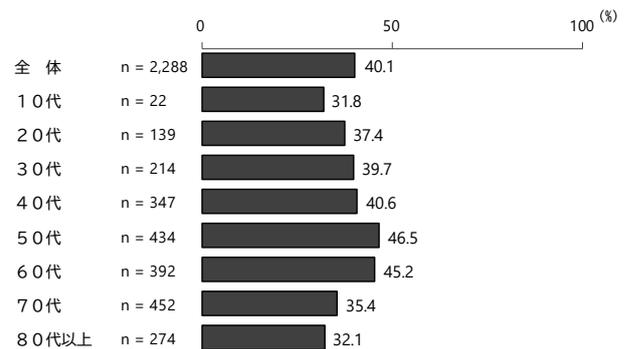
- ▶ 年代別にみると、「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」、「多様な生物が生息できるような自然環境への配慮」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなってきているが、「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」では【70代】以降は下降している。

このほか、【10代】では「軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場」(36.4%)が、他の年代に比べ高くなっている。

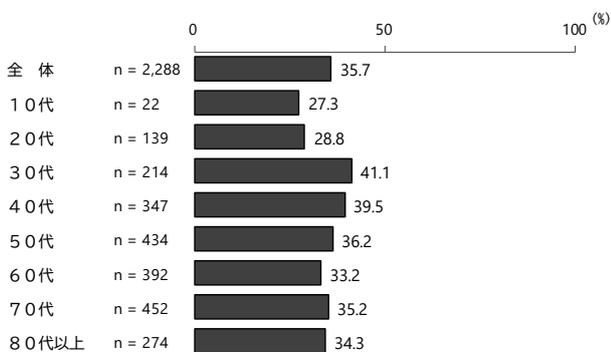
〈水辺に近づきやすくするための通路や駐車場〉



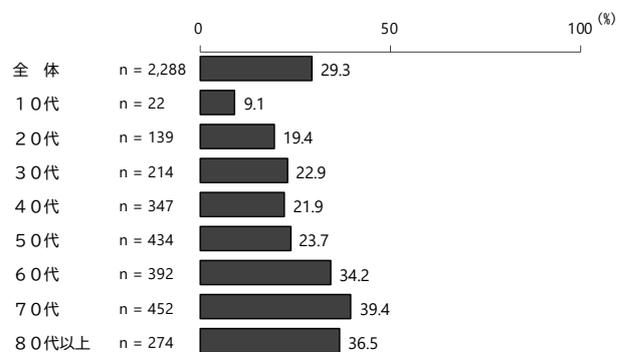
〈散策やジョギング、サイクリングなどができる場所〉



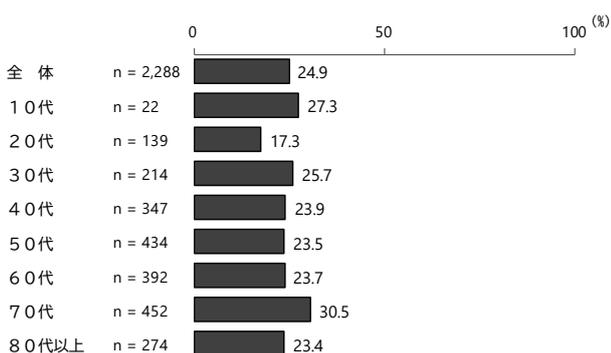
〈川の近くのトイレや手洗い場〉



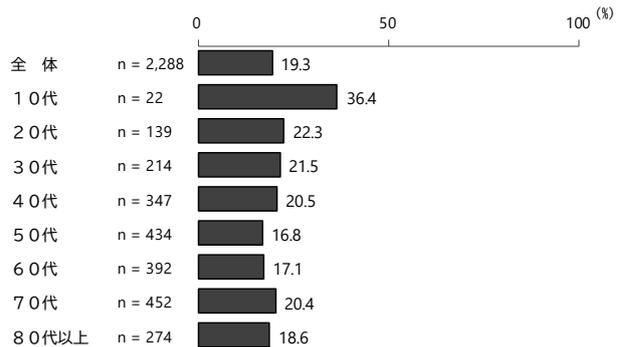
〈多様な生物が生息できるような自然環境への配慮〉



〈日よけ、日陰のためのあずまや〉

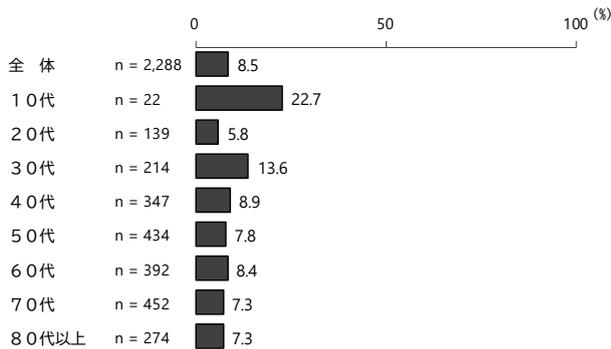


〈軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場〉

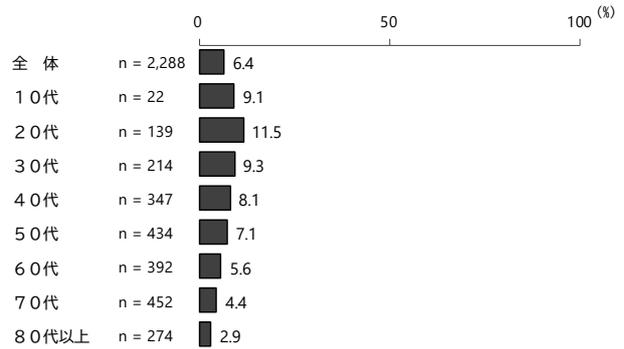


IV 調査結果の分析

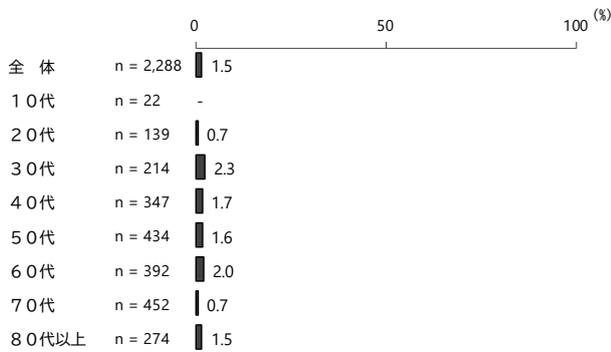
〈水辺とふれあえるイベントや啓発活動の充実〉



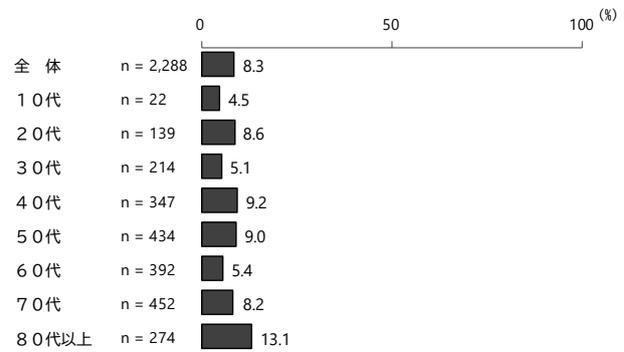
〈ボート乗り場や釣りができる場所〉



〈その他〉



〈特にない〉

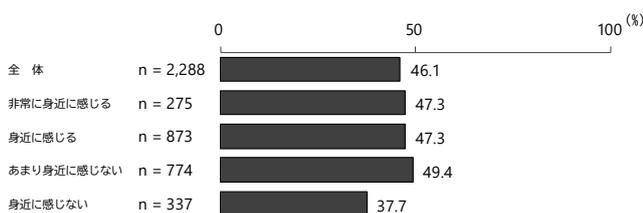


【河川の身近さ（問 31）別／水辺空間の利用に特に必要なもの】

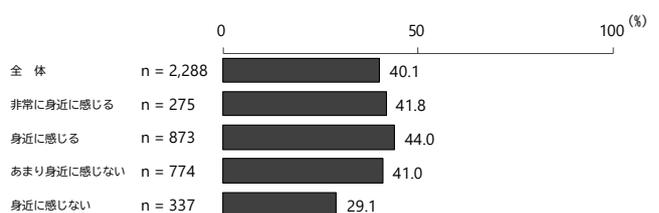
- ▶ 河川の身近さ（問 31）別にみると、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場」、「散策やジョギング、サイクリングなどができる場所」は【身近に感じない】のみ回答割合が低くなっている。

また、「多様な生物が生息できるような自然環境への配慮」は河川を身近に感じるほど回答割合が高くなっており、【非常に身近に感じる】（36.0％）と【身近に感じない】（19.9％）で約 16 ポイントの差がみられる。

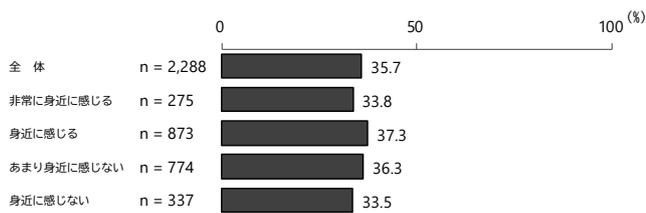
〈水辺に近づきやすくするための通路や駐車場〉



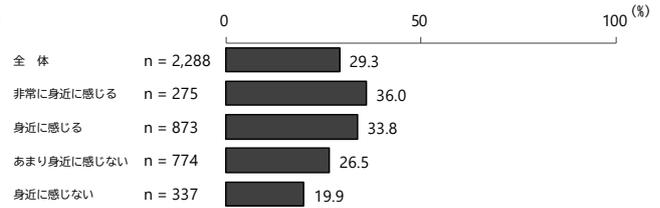
〈散策やジョギング、サイクリングなどができる場所〉



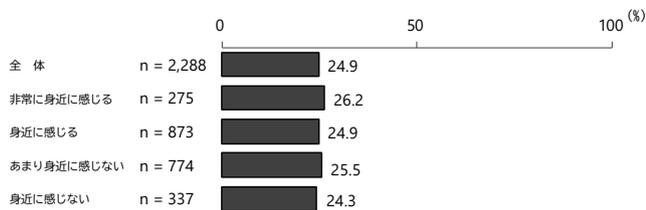
〈川の近くのトイレや手洗い場〉



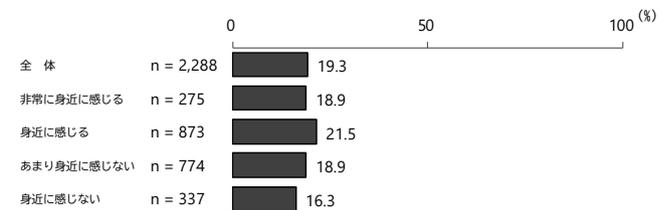
〈多様な生物が生息できるような自然環境への配慮〉



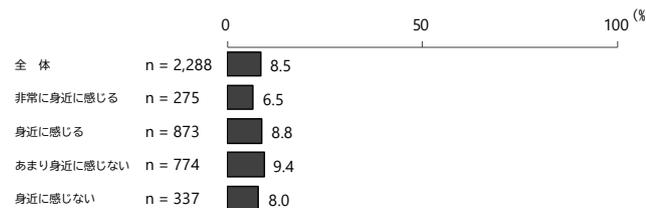
〈日よけ、日陰のためのあずまや〉



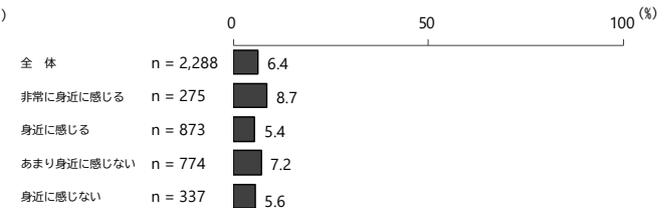
〈軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場〉



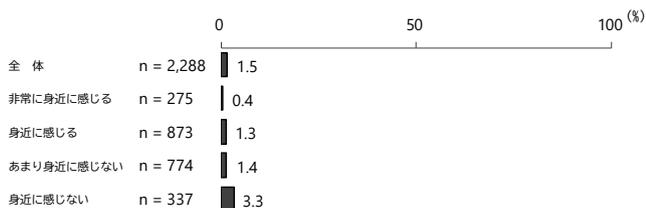
〈水辺とふれあえるイベントや啓発活動の充実〉



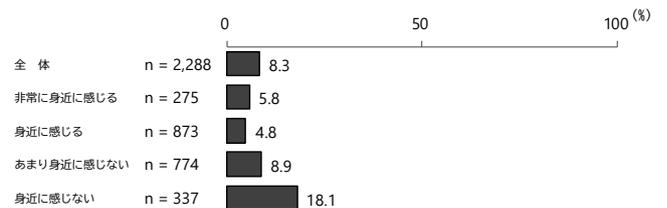
〈ボート乗り場や釣りができる場所〉



〈その他〉



〈特にない〉



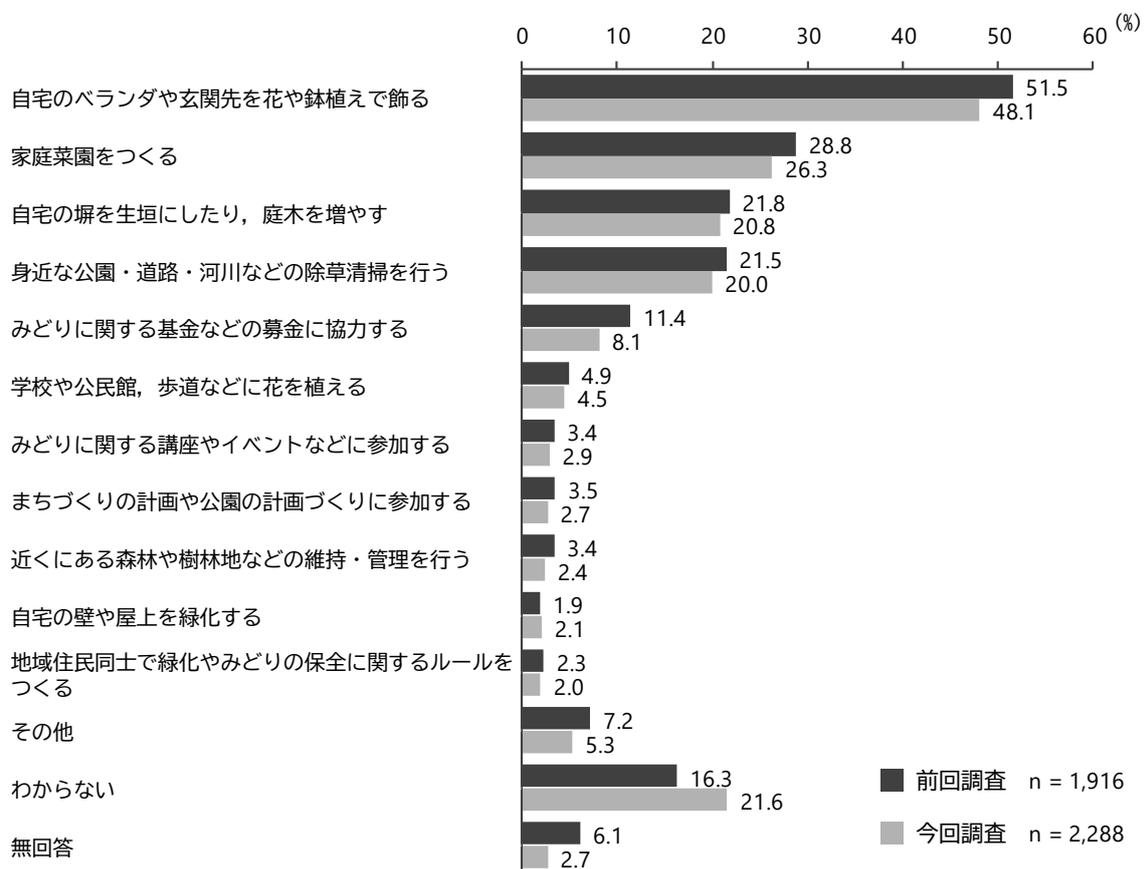
4 みどり豊かなまちづくりへの参加について

4-1 みどり豊かなまちづくりのために実践している活動

- ▶ みどり豊かなまちづくりのために実践している活動については、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」が48.1%と最も高く、次いで、「家庭菜園をつくる」(26.3%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(20.8%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」(20.0%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられないが、ほぼ全ての項目で回答割合が下降している。

問 33 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。

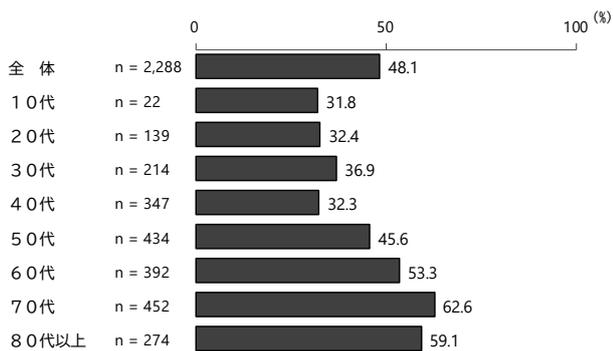
(あてはまる番号すべてに○)



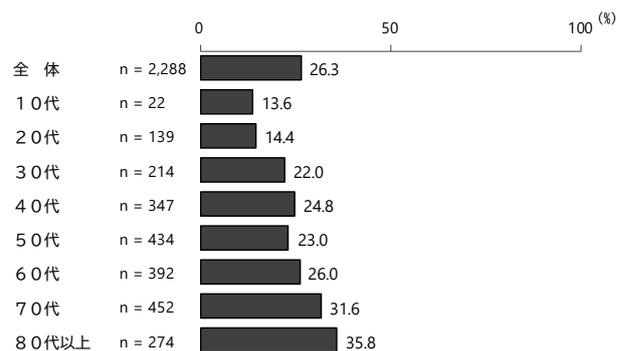
【年代別／みどり豊かなまちづくりのために実践している活動】

- ▶ 年代別にみると、全体の上位項目である「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」はいずれも、概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

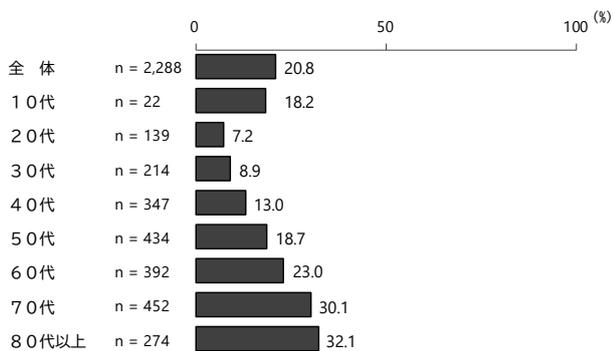
〈自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る〉



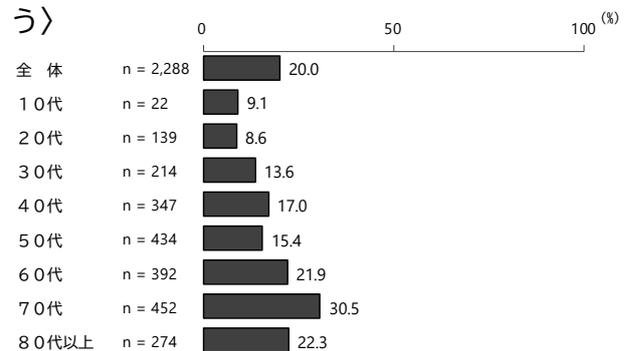
〈家庭菜園をつくる〉



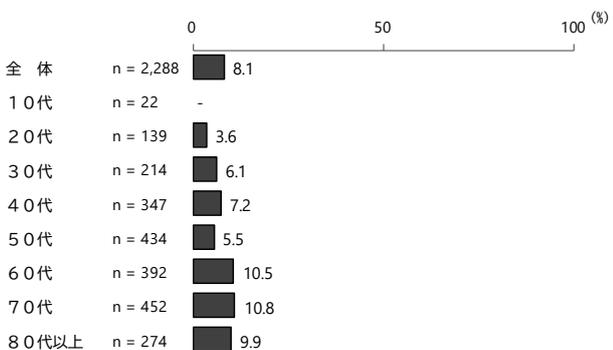
〈自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす〉



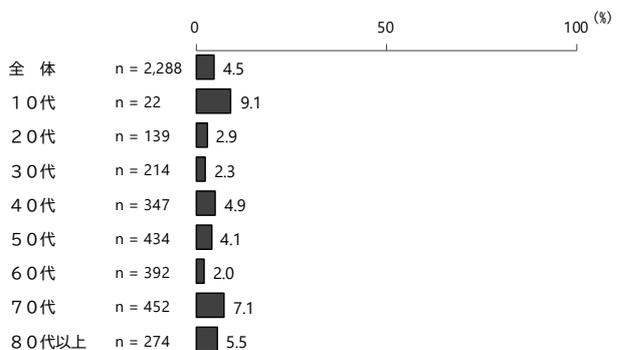
〈身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う〉



〈みどりに関する基金などの募金に協力する〉

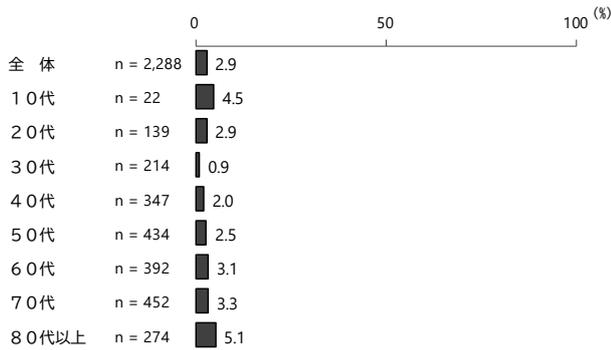


〈学校や公民館、歩道などに花を植える〉

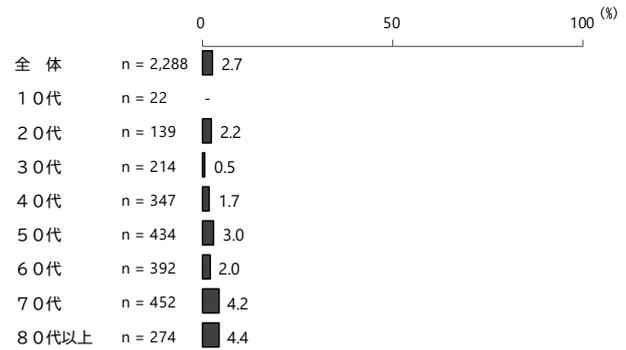


IV 調査結果の分析

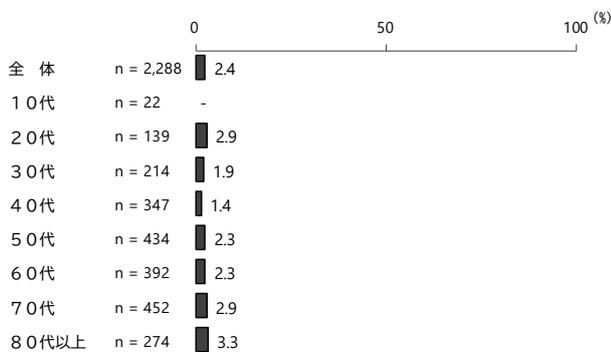
〈みどりに関する講座やイベントなどに参加する〉



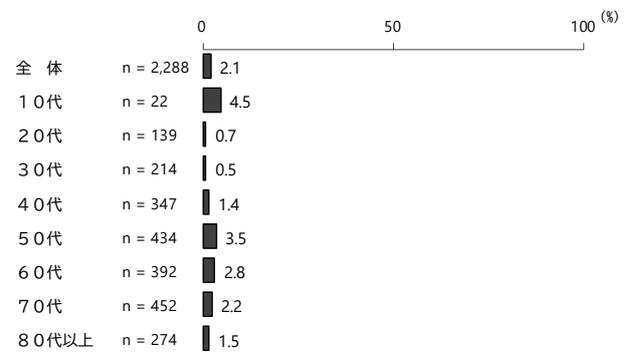
〈まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する〉



〈近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う〉



〈自宅の壁や屋上を緑化する〉

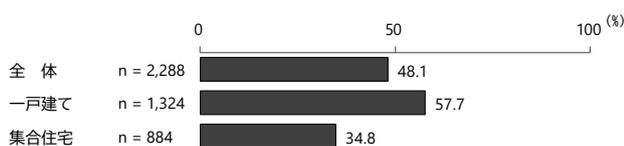


【現在の住まい別／みどり豊かなまちづくりのために実践している活動】

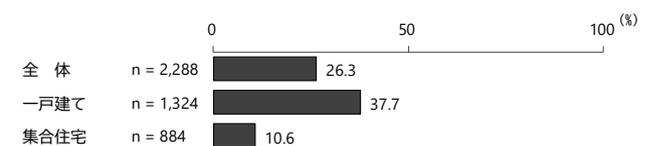
- ▶ 現在の住まい別にみると、全体の上位項目のうち自宅に関連する項目である「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」は、【一戸建て】が【集合住宅】に比べ高く、いずれも 20 ポイント以上の差がみられる。

また、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」についても同様に、【一戸建て】が【集合住宅】に比べ高くなっており、【一戸建て】の方が何らかの活動に取り組んでいる人の割合が高い傾向がある。

〈自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る〉



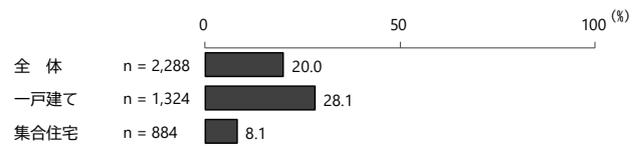
〈家庭菜園をつくる〉



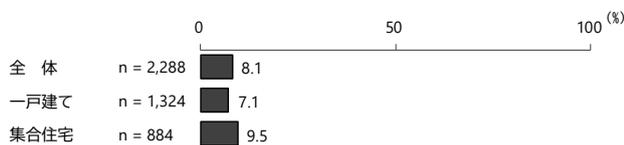
〈自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす〉



〈身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う〉



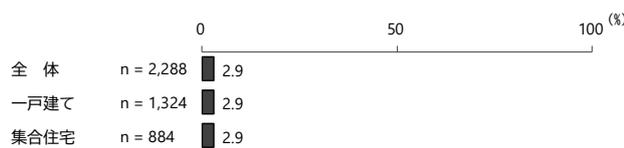
〈みどりに関する基金などの募金に協力する〉



〈学校や公民館、歩道などに花を植える〉



〈みどりに関する講座やイベントなどに参加する〉



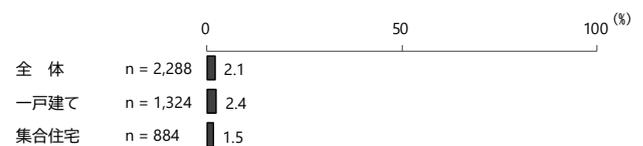
〈まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する〉



〈近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う〉



〈自宅の壁や屋上を緑化する〉



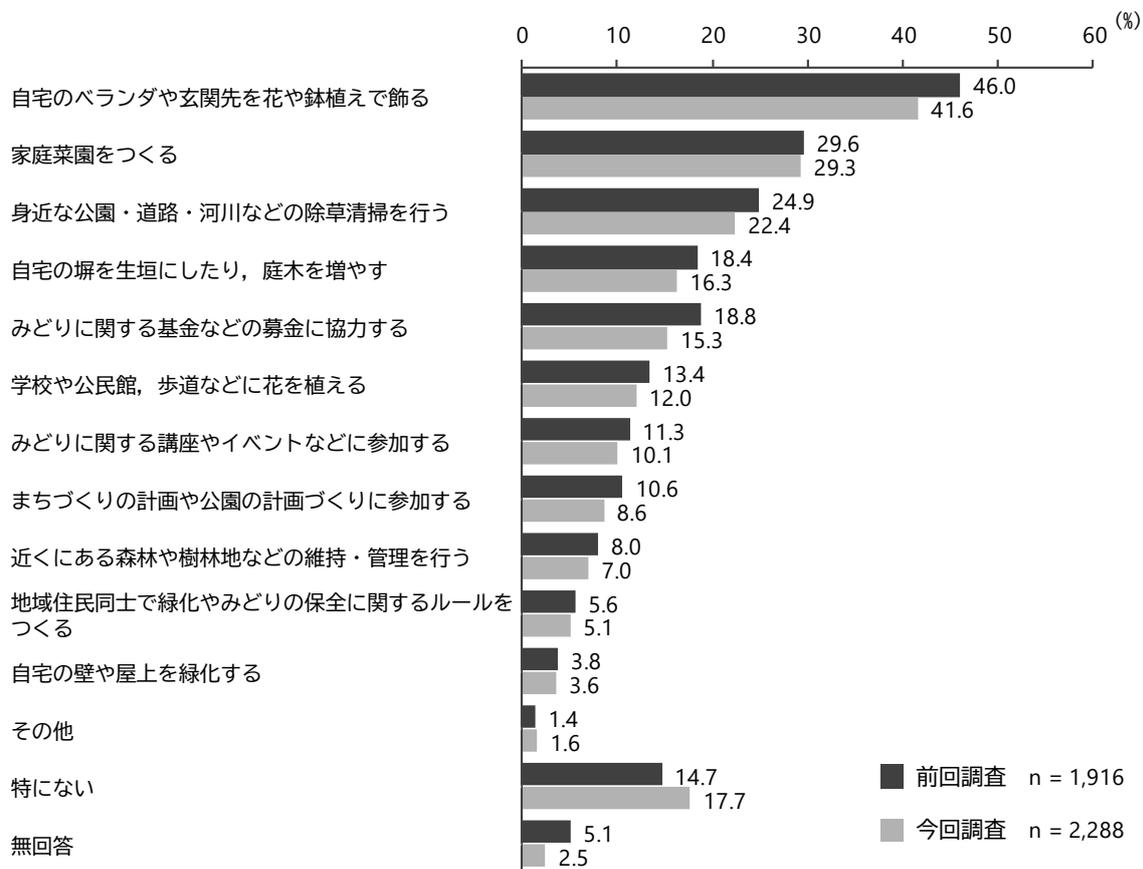
IV 調査結果の分析

4-2 みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動

- ▶ みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動については、「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」が41.6%と最も高く、次いで、「家庭菜園をつくる」(29.3%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」(22.4%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(16.3%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較しても、全体的に大きな傾向の変化はみられないが、ほぼ全ての項目で回答割合が下降している。

問 34 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践したい活動は何ですか。

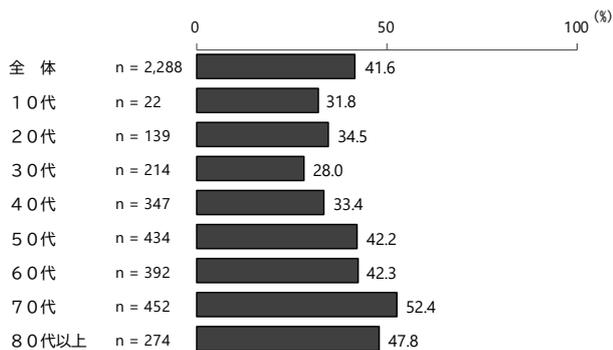
(あてはまる番号すべてに○)



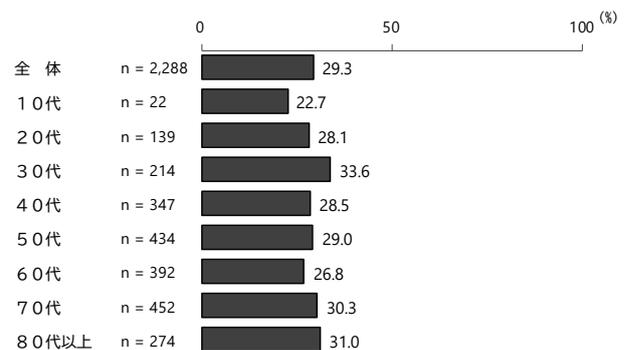
【年代別／みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動】

- ▶ 年代別にみると、「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

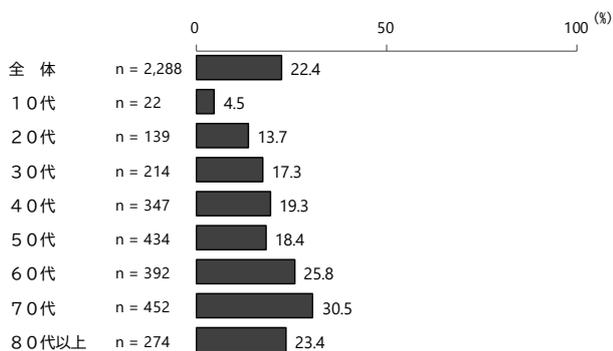
〈自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る〉



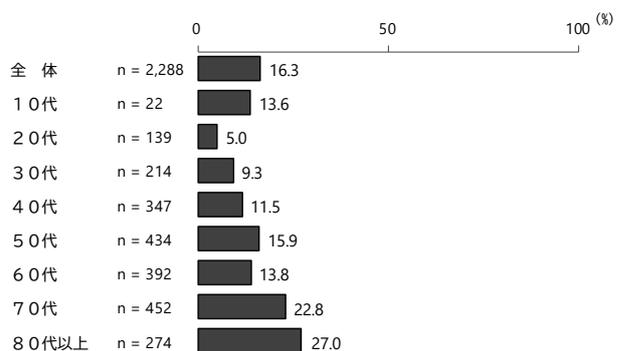
〈家庭菜園をつくる〉



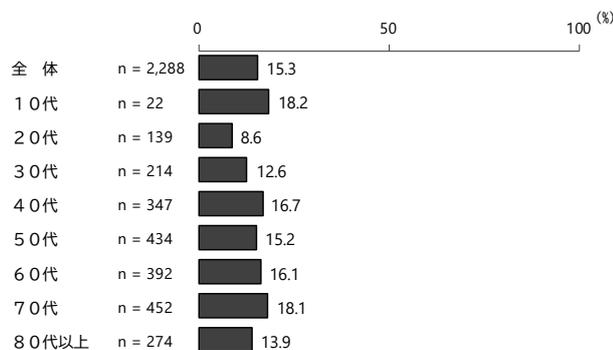
〈身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う〉



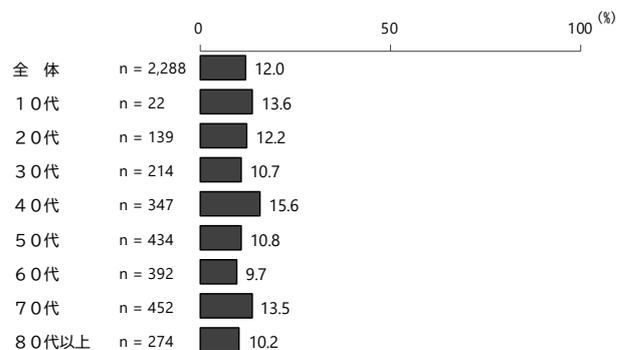
〈自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす〉



〈みどりに関する基金などの募金に協力する〉

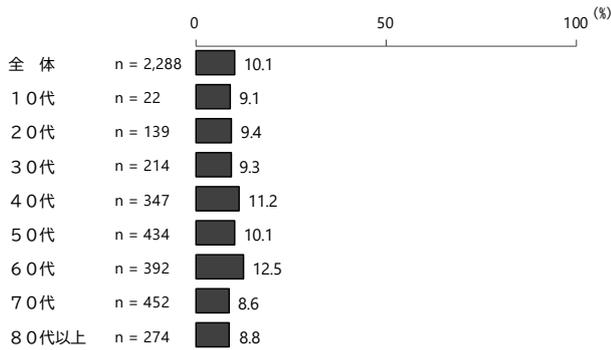


〈学校や公民館、歩道などに花を植える〉

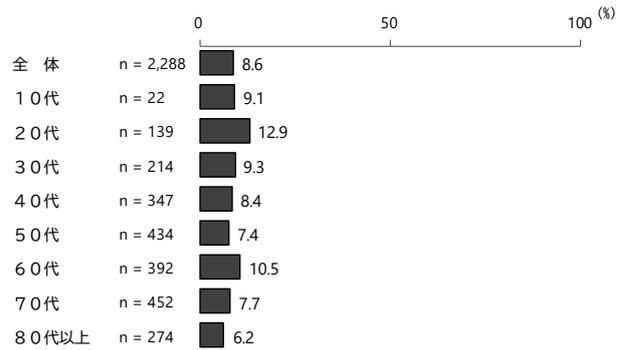


IV 調査結果の分析

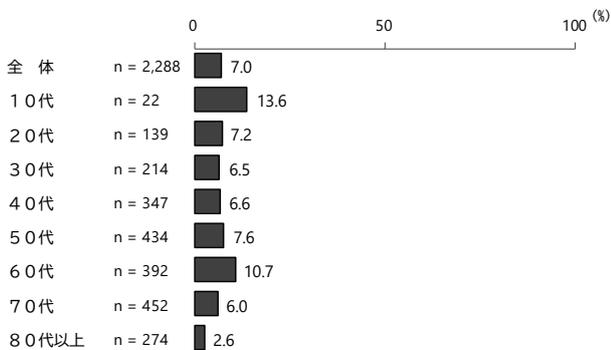
〈みどりに関する講座やイベントなどに参加する〉



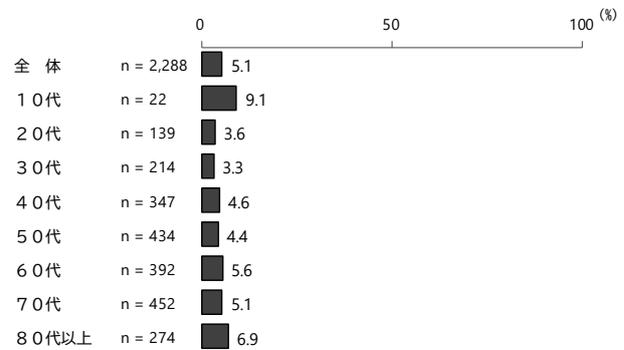
〈まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する〉



〈近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う〉



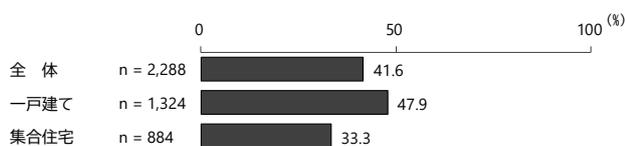
〈地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる〉



【現在の住まい別／みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動】

- ▶ 現在の住まい別にみると、全体の上位項目のうち自宅に関連する項目である「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」はいずれも、【一戸建て】が【集合住宅】に比べ高く、特に「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」は20ポイント近くの差がみられる。また、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う」についても同様に、【一戸建て】が【集合住宅】に比べ高くなっており、【一戸建て】の方が何らかの活動に取り組みたい人の割合が高い傾向がある。

〈自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る〉



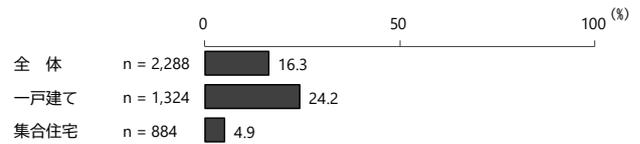
〈家庭菜園をつくる〉



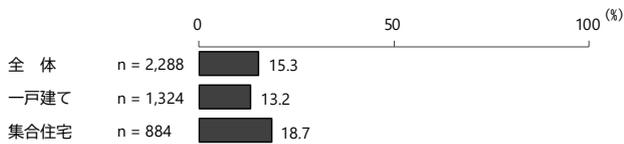
〈身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う〉



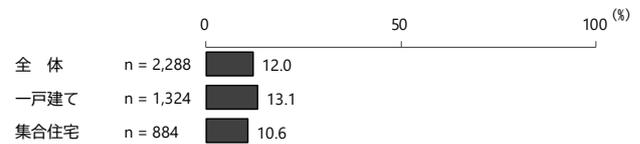
〈自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす〉



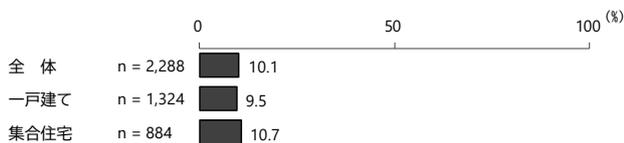
〈みどりに関する基金などの募金に協力する〉



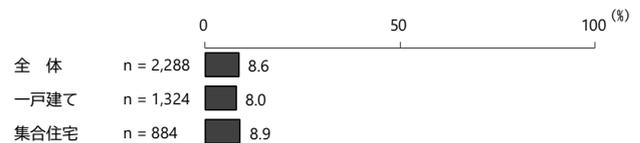
〈学校や公民館、歩道などに花を植える〉



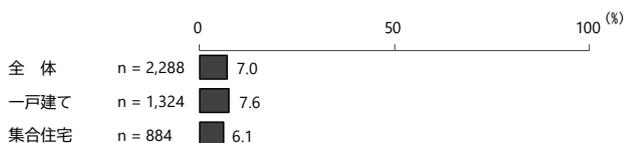
〈みどりに関する講座やイベントなどに参加する〉



〈まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する〉



〈近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う〉



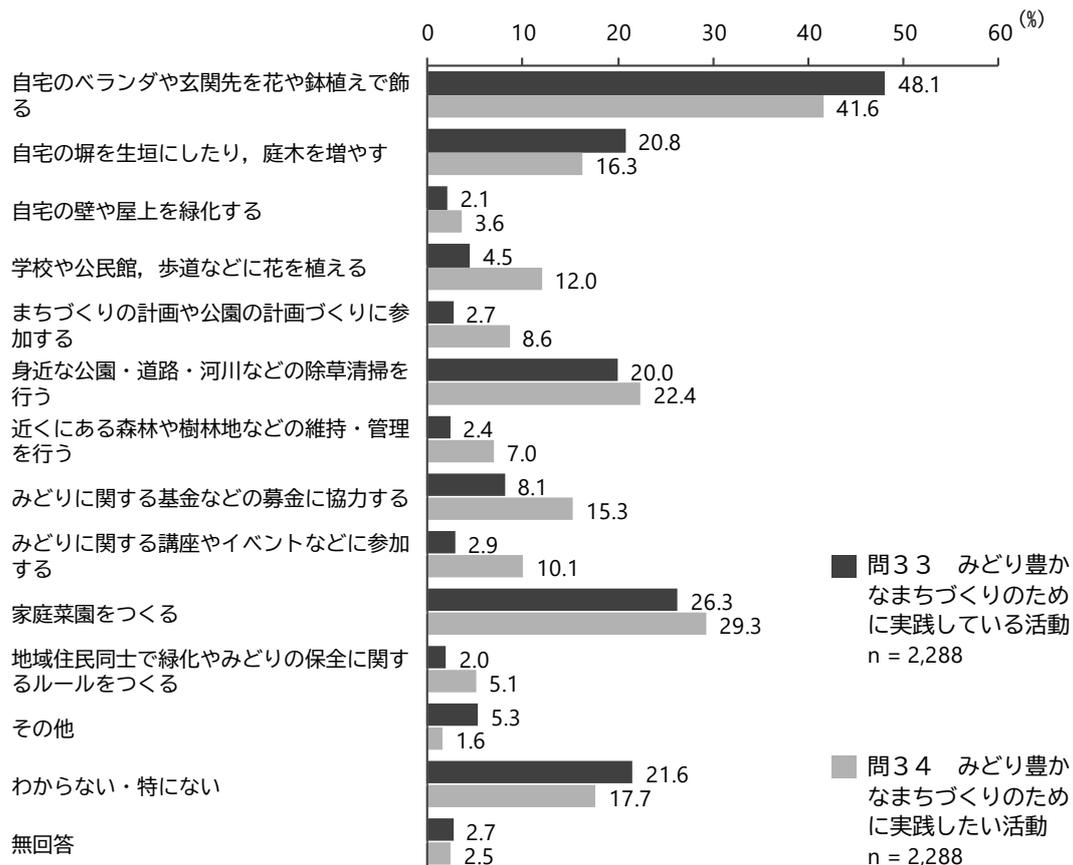
〈地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる〉



IV 調査結果の分析

【実践している活動と実践したい活動の比較】

- ▶ 【みどり豊かなまちづくりのために実践している活動】（問 33）と【みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動】（問 34）を比較すると、「自宅のバルコニーや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」以外の項目では【実践したい活動】が【実践している活動】を上回っており、特に「学校や公民館、歩道などに花を植える」、「みどりに関する基金などの募金に協力する」、「みどりに関する講座やイベントなどに参加する」では7ポイント程度の差がみられる。



※「わからない・特になし」は、問33では「わからない」、問34では「特になし」の結果を掲載

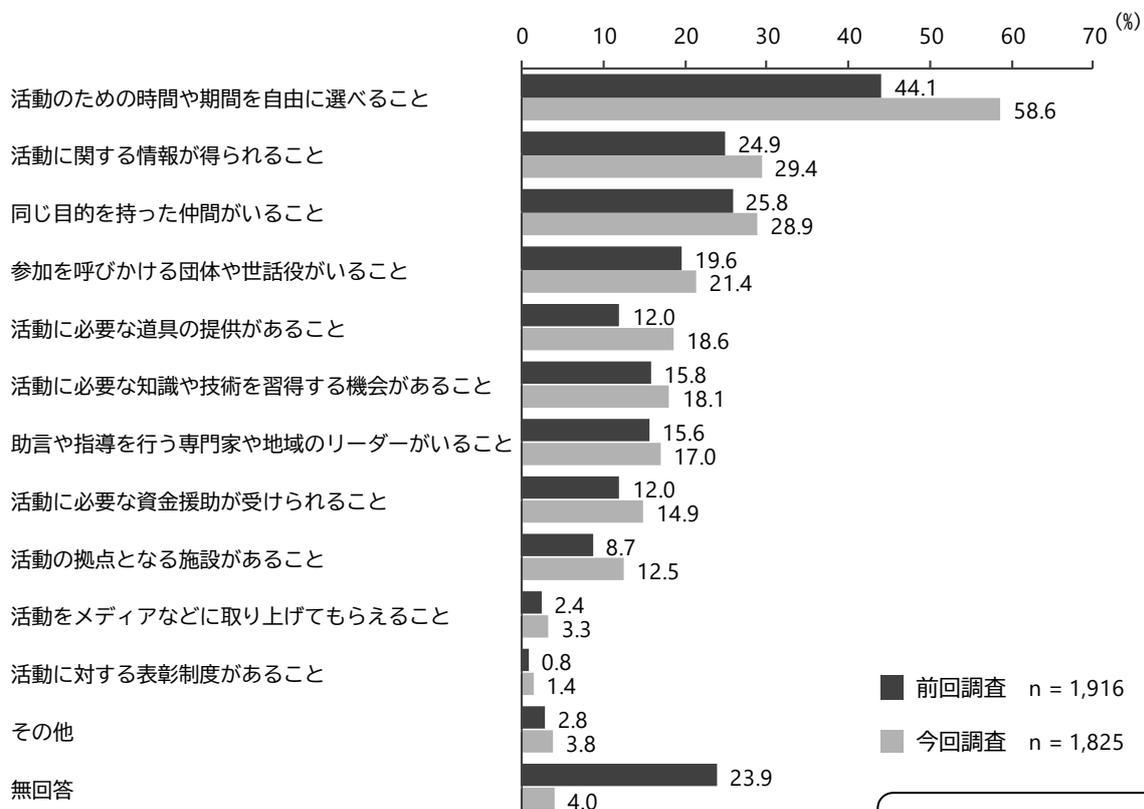
4-3 みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件

- ▶ みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件については、「活動のための時間や期間を自由に選べること」が 58.6%と最も高く、次いで、「活動に関する情報が得られること」(29.4%)、「同じ目的を持った仲間がいること」(28.9%)、「参加を呼びかける団体や世話役がいること」(21.4%)となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、「活動のための時間や期間を自由に選べること」が約 15 ポイント上昇しているほか、「活動に必要な道具の提供があること」も約 7 ポイント上昇している。

【問 34 で「特にない」以外を選択した方におたずねします。】

問 35 あなたが、みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)



※前回調査でも、今回調査の問 34 にあたる設問で「特にない」以外を選択した方が回答の対象となっているが、回答者制限が集計に反映されていない

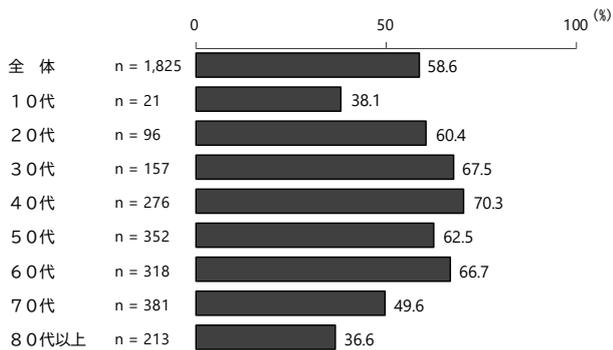
IV 調査結果の分析

【年代別／みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件】

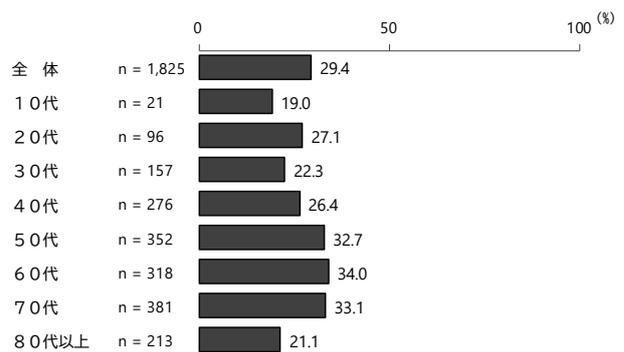
▶ 年代別にみると、「活動のための時間や期間を自由に選べること」は【20代】～【60代】で約6～7割と、他の年代に比べ高くなっている。

また、「活動に必要な道具の提供があること」、「活動に必要な資金援助が受けられること」は【10代】～【40代】の回答割合が高い傾向があり、「活動に関する情報が得られること」、「同じ目的を持った仲間がいること」は【50代】以上の回答割合が高い傾向がある。

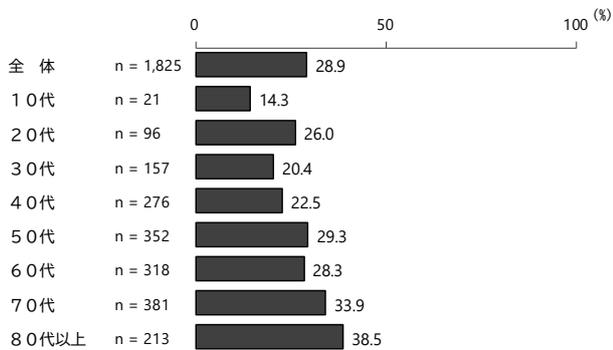
〈活動のための時間や期間を自由に選べること〉



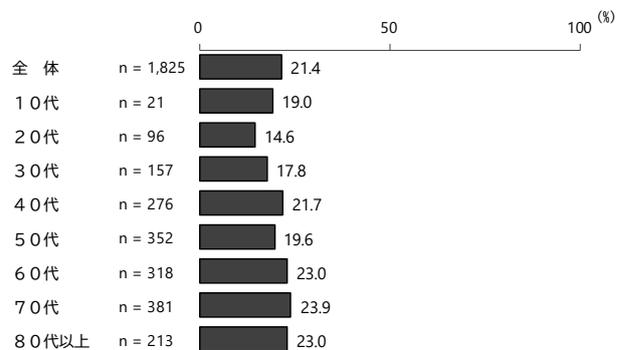
〈活動に関する情報が得られること〉



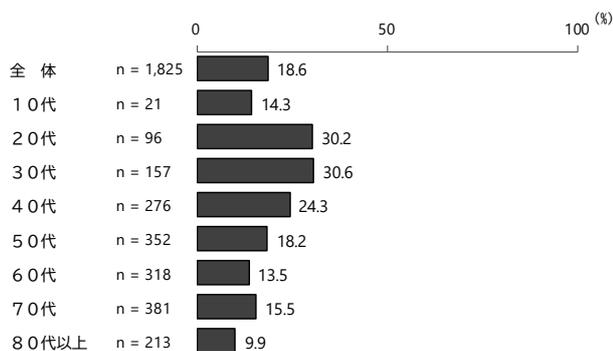
〈同じ目的を持った仲間がいること〉



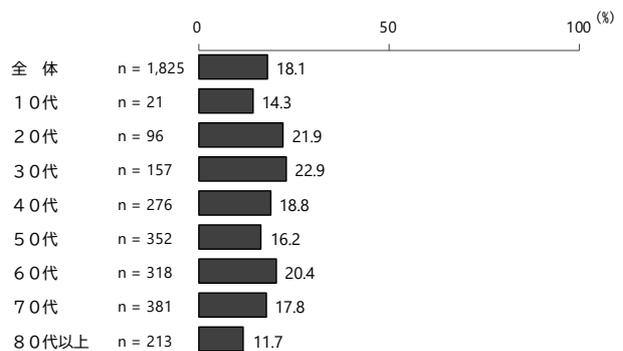
〈参加を呼びかける団体や世話役がいること〉



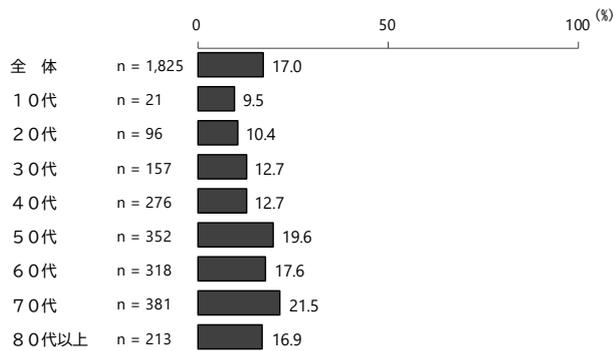
〈活動に必要な道具の提供があること〉



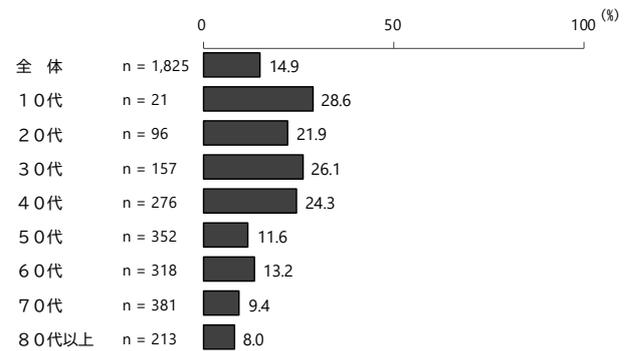
〈活動に必要な知識や技術を習得する機会があること〉



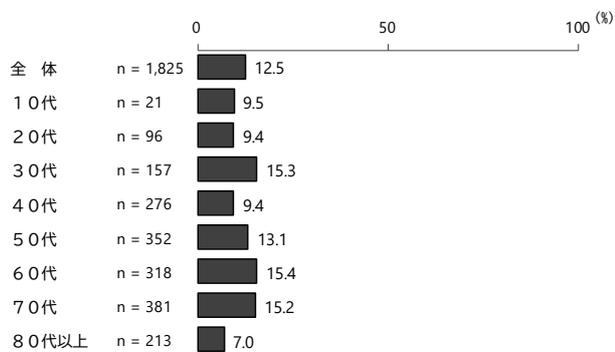
〈助言や指導を行う専門家や地域のリーダーがいること〉



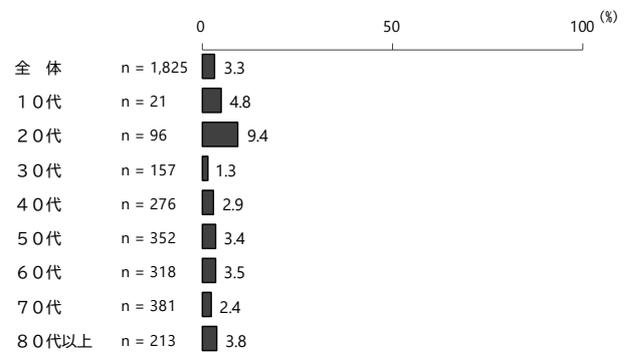
〈活動に必要な資金援助が受けられること〉



〈活動の拠点となる施設があること〉



〈活動をメディアなどに取り上げてもらえること〉



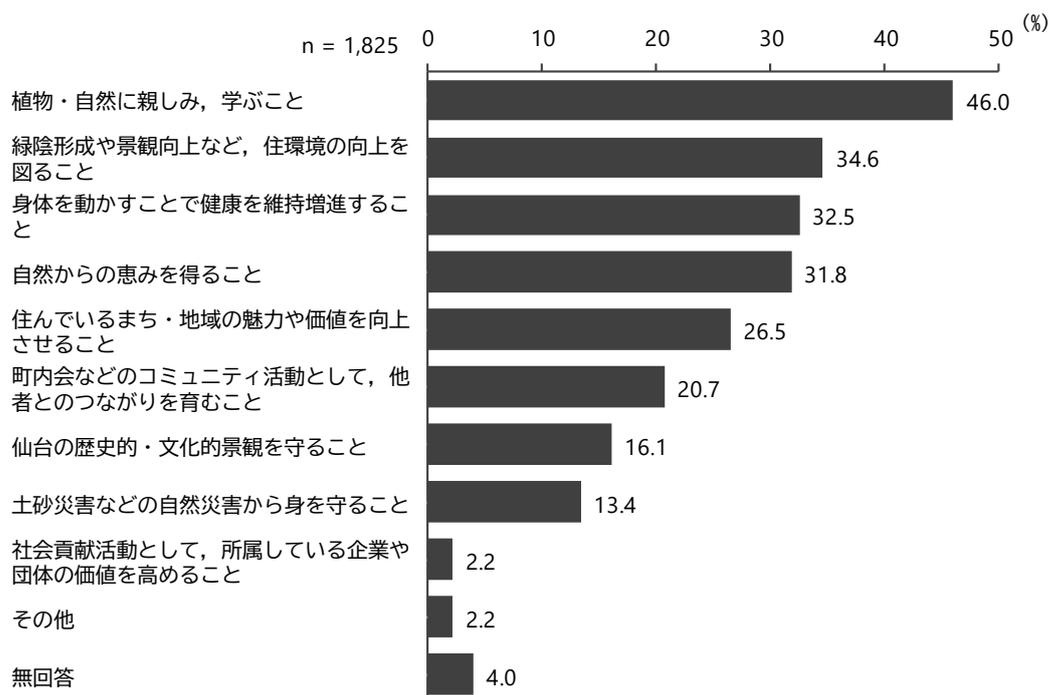
4-4 みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的

- ▶ みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的については、「植物・自然に親しみ、学ぶこと」が46.0%と最も高く、次いで、「緑陰形成や景観向上など、住環境の向上を図ること」(34.6%)、「身体を動かすことで健康を維持増進すること」(32.5%)、「自然からの恵みを得ること」(31.8%)となっている。

【問34で「特になし」以外を選択した方におたずねします。】

問36 あなたが、みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的は何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

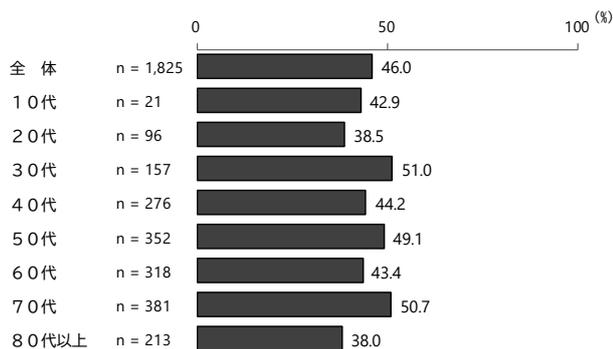


【年代別／みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的】

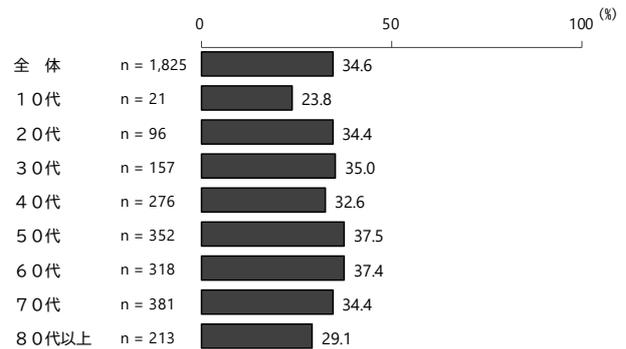
- ▶ 年代別にみると、「自然からの恵みを得ること」、「住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること」は【10代】を除き、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっていく。

また、「身体を動かすことで健康を維持増進すること」、「町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと」は【60代】以上の回答割合が高い傾向がある。

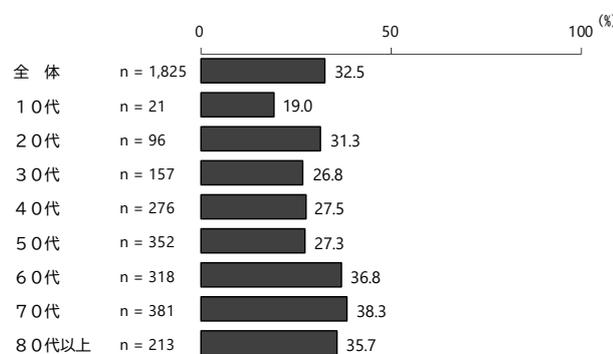
〈植物・自然に親しみ、学ぶこと〉



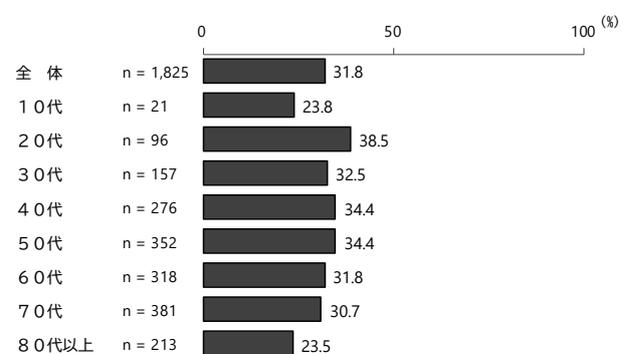
〈緑陰形成や景観向上など、住環境の向上を図ること〉



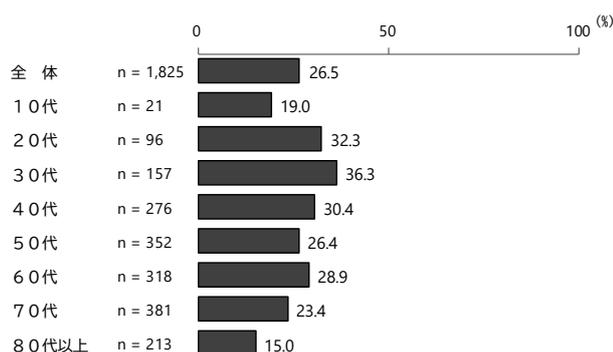
〈身体を動かすことで健康を維持増進すること〉



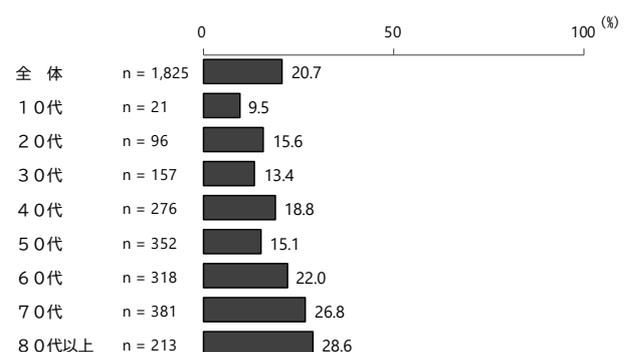
〈自然からの恵みを得ること〉



〈住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること〉

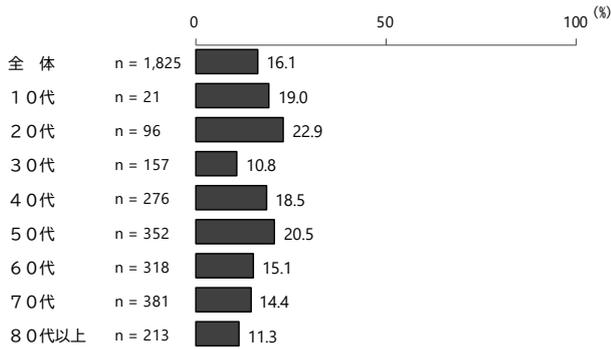


〈町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと〉

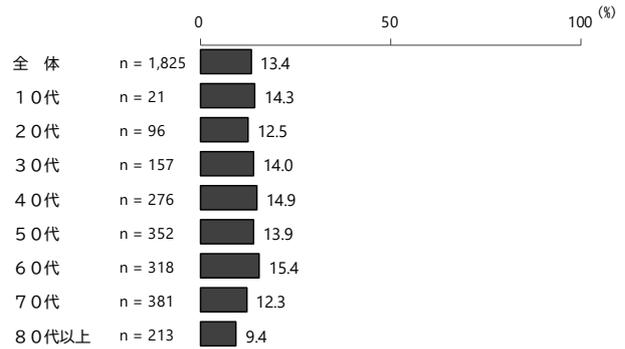


IV 調査結果の分析

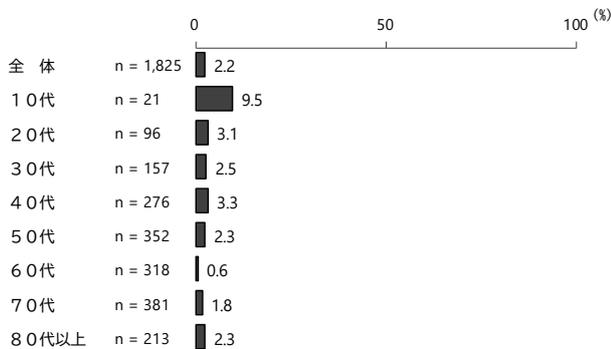
〈仙台の歴史的・文化的景観を守ること〉



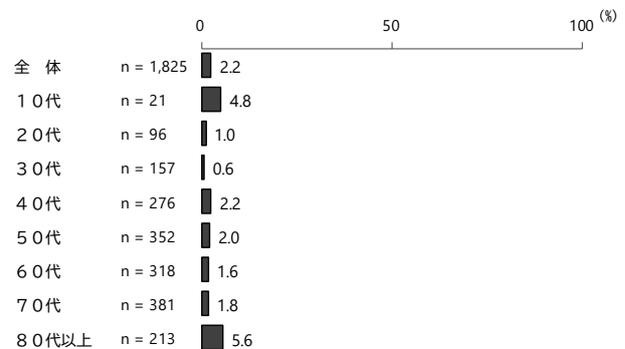
〈土砂災害などの自然災害から身を守ること〉



〈社会貢献活動として、所属している企業や団体の価値を高めること〉



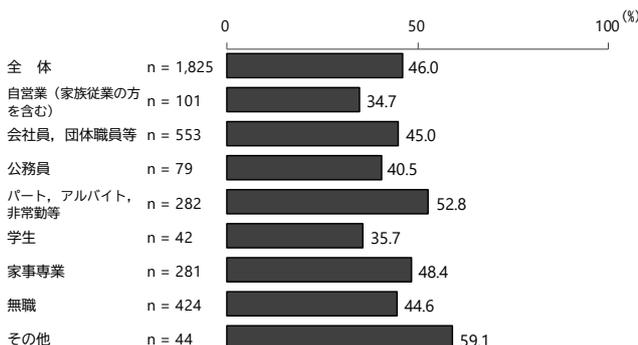
〈その他〉



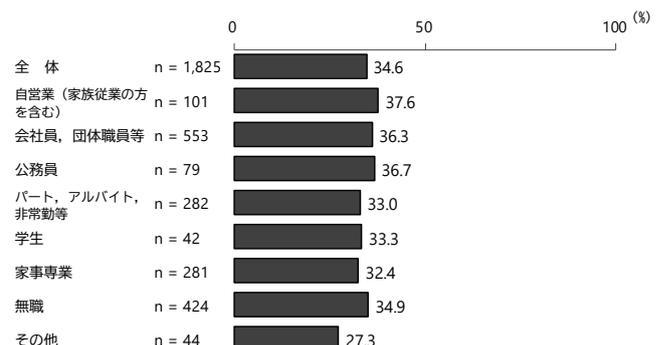
【職業等別／みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的】

- ▶ 職業等別にみると、「植物・自然に親しみ、学ぶこと」は【パート、アルバイト、非常勤等】(52.8%)が5割以上と他の職業に比べてやや高い一方、【自営業】(34.7%)及び【学生】(35.7%)が3割台とやや低くなっている。
- ▶ 「住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること」は【公務員】(36.7%)及び【学生】(35.7%)が3割台半ばとやや高くなっている。「仙台の歴史的・文化的景観を守ること」は【学生】(26.2%)が2割台半ばとやや高くなっている。

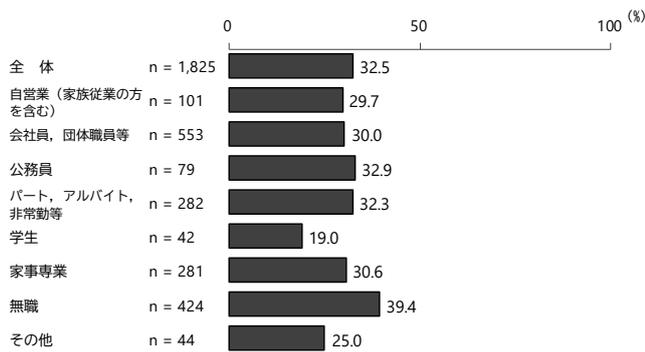
〈植物・自然に親しみ、学ぶこと〉



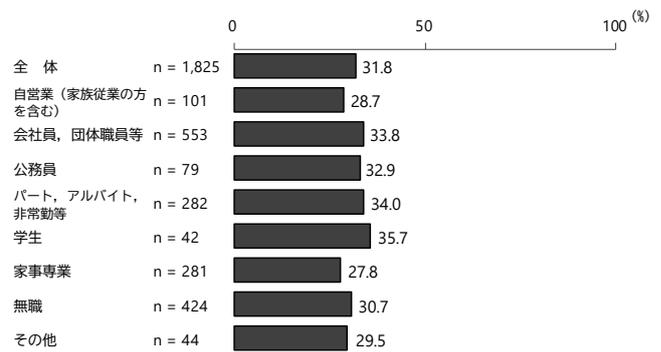
〈緑陰形成や景観向上など、住環境の向上を図ること〉



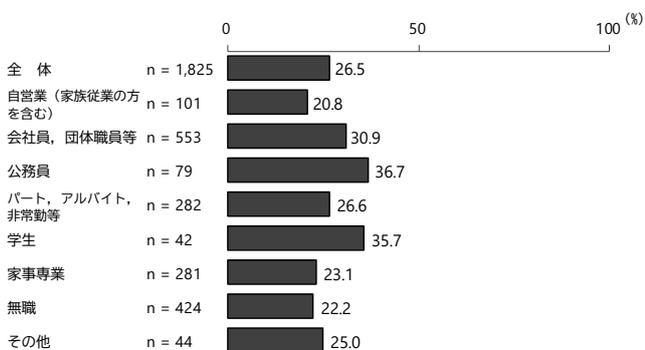
〈身体を動かすことで健康を維持増進すること〉



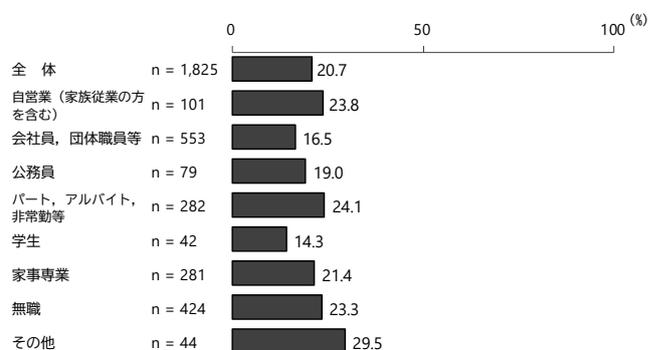
〈自然からの恵みを得ること〉



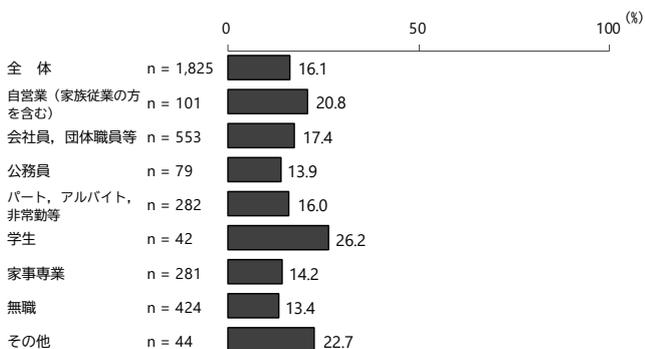
〈住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること〉



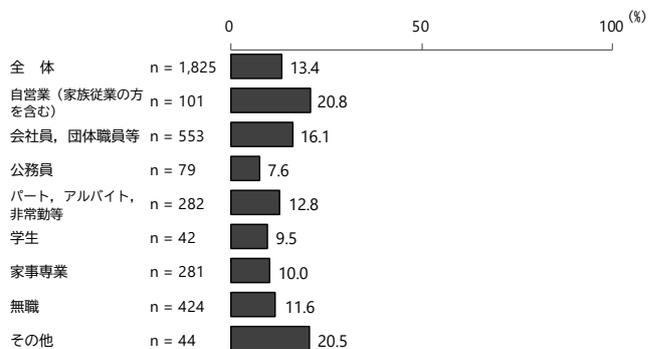
〈町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと〉



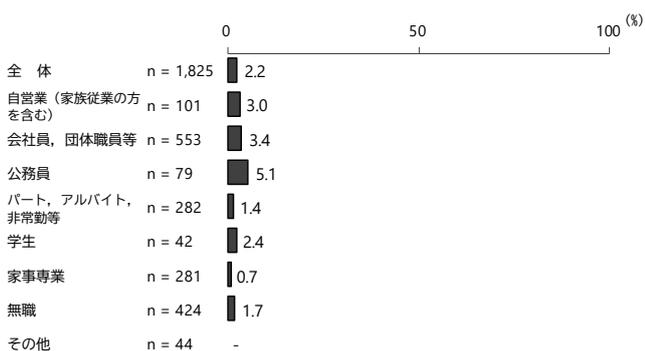
〈仙台の歴史的・文化的景観を守ること〉



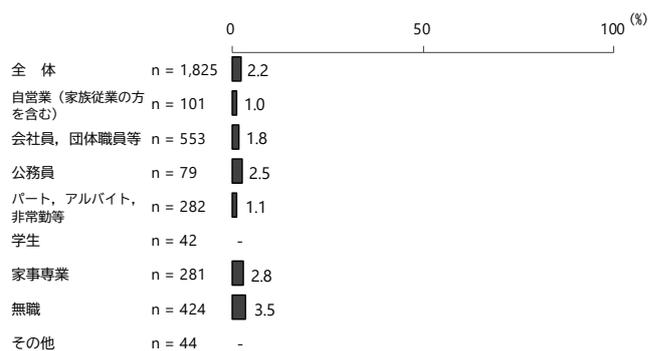
〈土砂災害などの自然災害から身を守ること〉



〈社会貢献活動として、所属している企業や団体の価値を高めること〉



〈その他〉

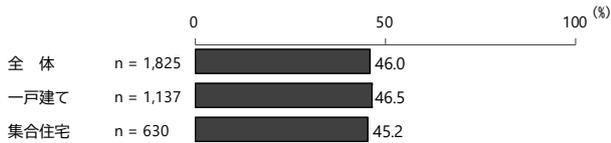


IV 調査結果の分析

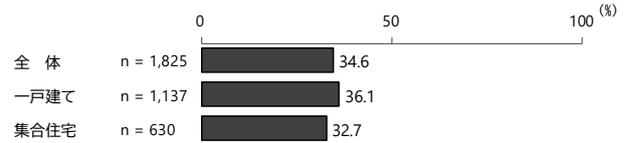
【現在の住まい別／みどり豊かなまちづくりの活動に参加する目的】

- ▶ 現在の住まい別にみると、「町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと」は【一戸建て】が23.8%と、【集合住宅】(16.0%)に比べやや高くなっている。

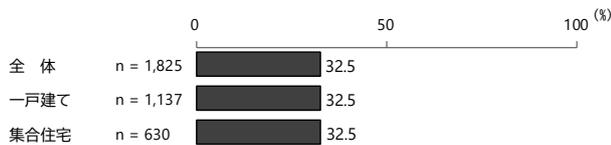
〈植物・自然に親しみ、学ぶこと〉



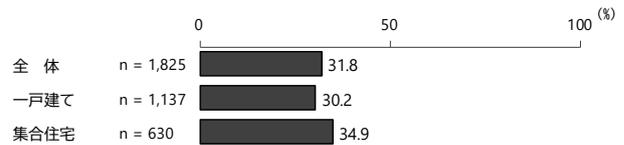
〈緑陰形成や景観向上など、住環境の向上を図ること〉



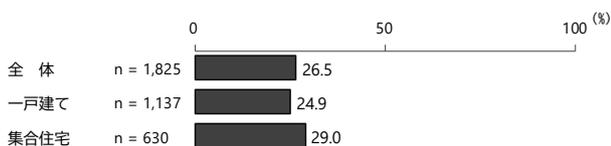
〈身体を動かすことで健康を維持増進すること〉



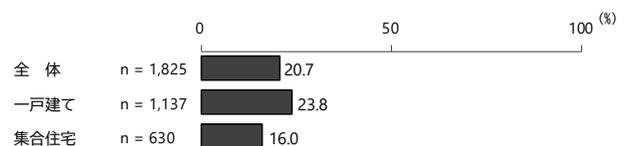
〈自然からの恵みを得ること〉



〈住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること〉



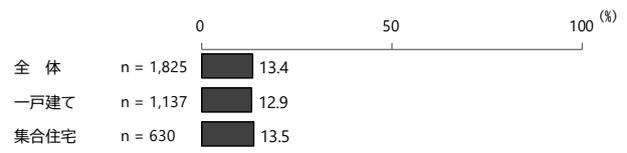
〈町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと〉



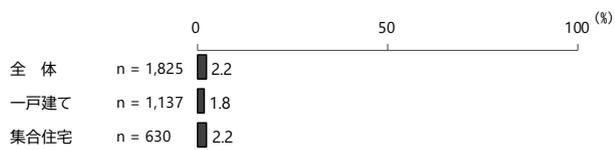
〈仙台の歴史的・文化的景観を守ること〉



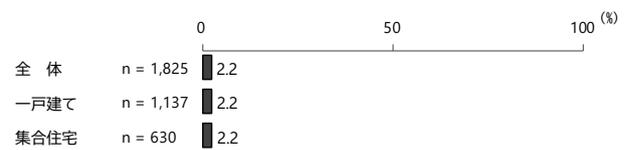
〈土砂災害などの自然災害から身を守ること〉



〈社会貢献活動として、所属している企業や団体の価値を高めること〉



〈その他〉

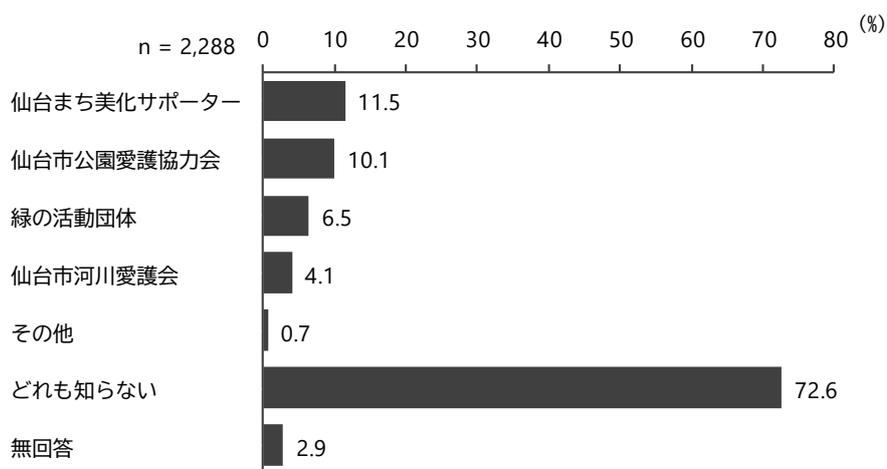


4-5 みどりに関する活動団体の認知度

- ▶ みどりに関する活動団体の認知度については、「仙台まち美化サポーター」が11.5%と最も高く、次いで、「仙台市公園愛護協力会」(10.1%)、「緑の活動団体」(6.5%)、「仙台市河川愛護会」(4.1%)となっている。なお、「どれも知らない」は72.6%となっている。

問 37 みどり豊かなまちづくりのために、仙台市内にみどりに関する様々な活動団体が結成されています。あなたが知っている、みどりに関する活動団体はどれですか。

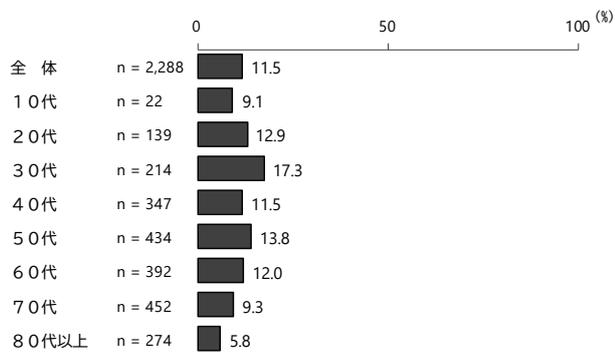
(あてはまる番号すべてに○)



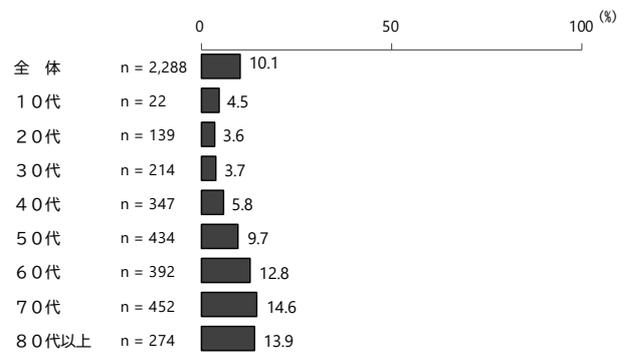
【年代別／みどりに関する活動団体の認知度】

- ▶ 年代別にみると、「仙台まち美化サポーター」は【20代】～【60代】で1割以上の認知度となっている。
また、「仙台市公園愛護協力会」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなっている。

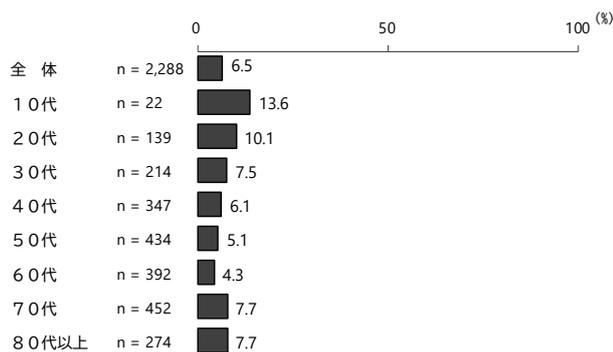
〈仙台まち美化サポーター〉



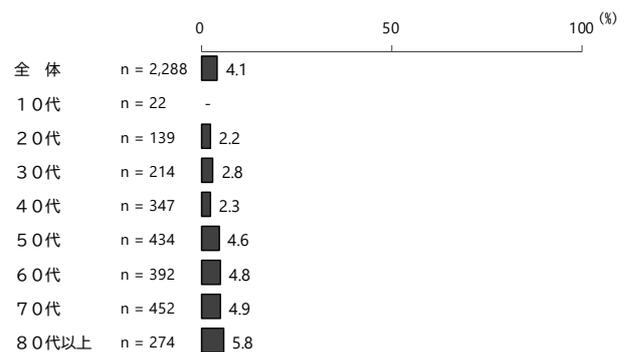
〈仙台市公園愛護協力会〉



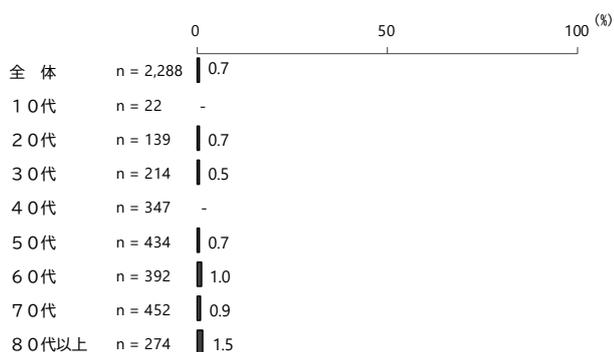
〈緑の活動団体〉



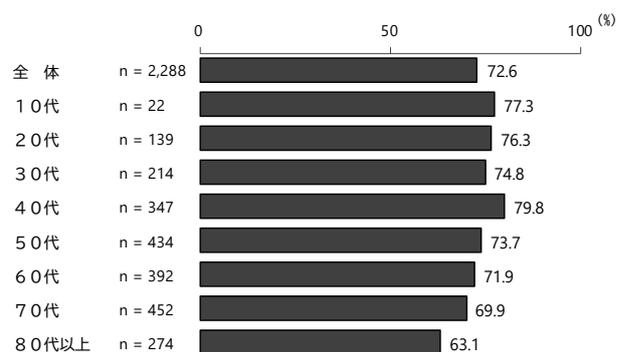
〈仙台市河川愛護会〉



〈その他〉

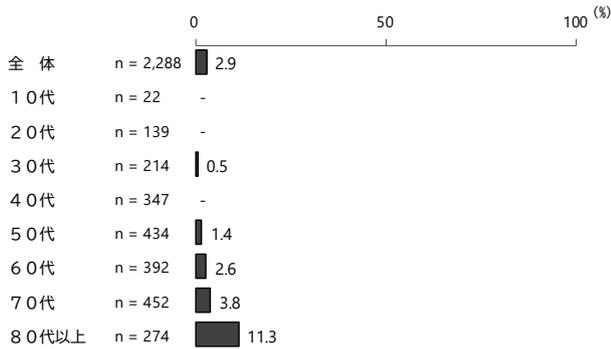


〈どれも知らない〉



IV 調査結果の分析

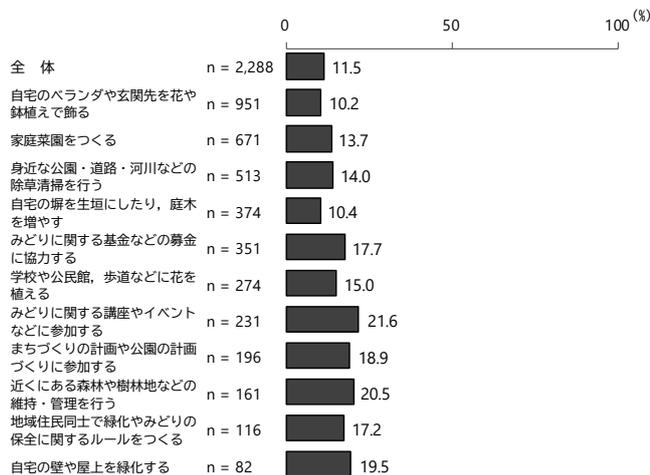
〈無回答〉



【みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動（問 34）別 ／みどりに関する活動団体の認知度】

- ▶ みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動（問 34）別にみると、「仙台市公園愛護協会」は【地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる】人（23.3%）及び【身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う】人（19.9%）が約2割と他の項目に比べやや高くなっている。また、「緑の活動団体」は【まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する】人（16.3%）が1割台半ばとやや高くなっている。なお、「どれも知らない」はいずれも全体（72.6%）を下回っている。

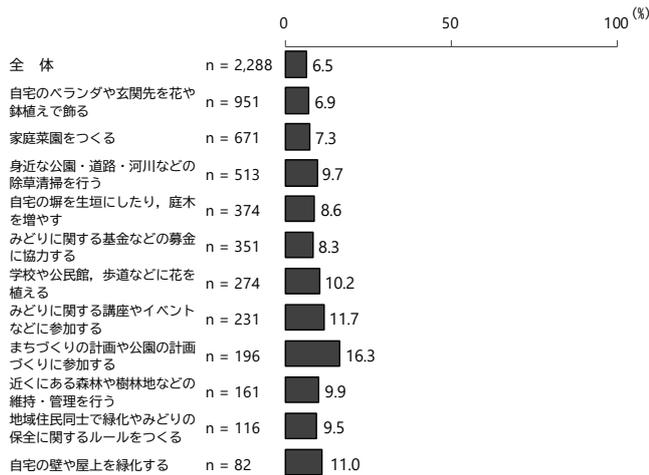
〈仙台まち美化サポーター〉



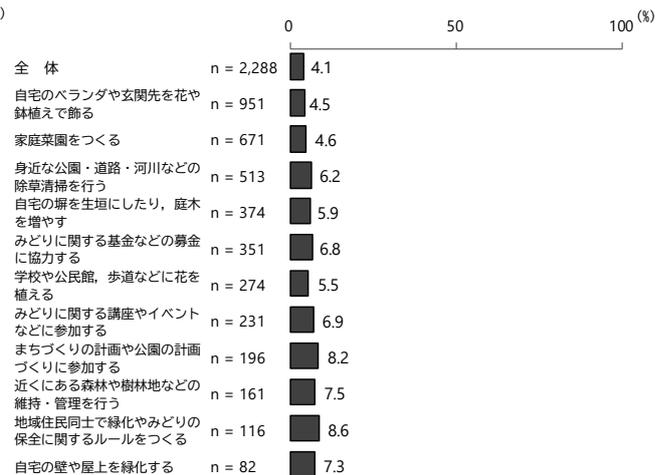
〈仙台市公園愛護協会〉



〈緑の活動団体〉



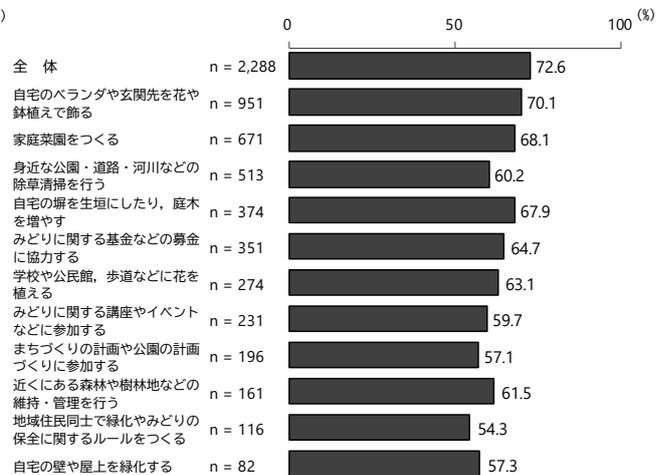
〈仙台市河川愛護会〉



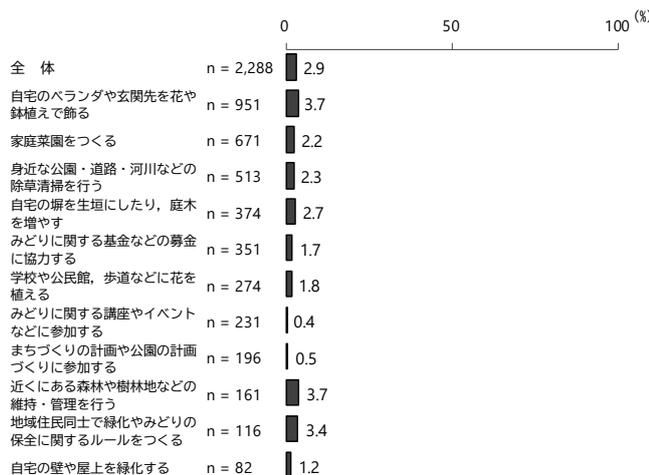
〈その他〉



〈どれも知らない〉



〈無回答〉



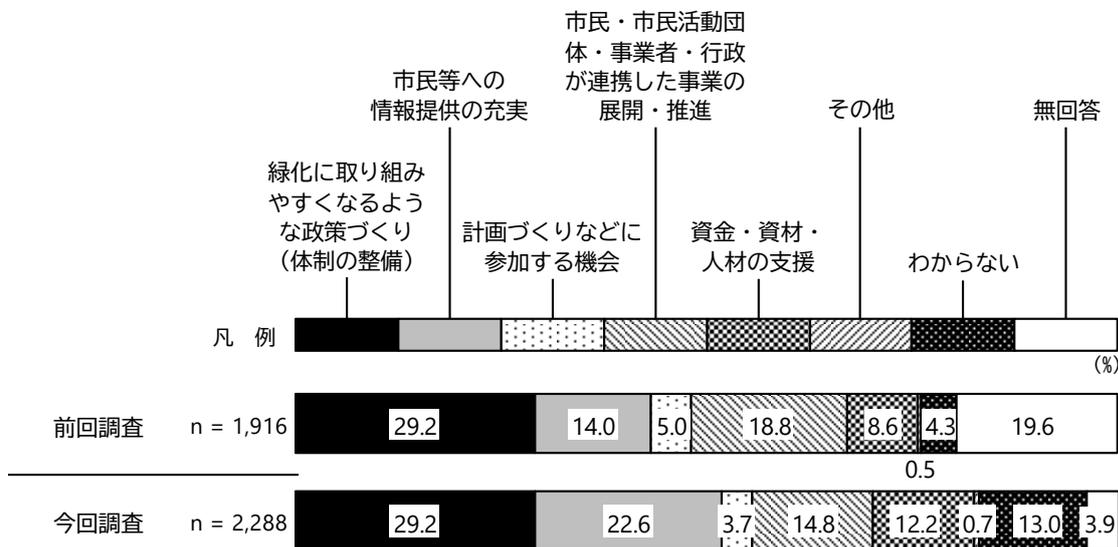
IV 調査結果の分析

4-6 みどり豊かなまちづくりのために最も必要なこと

- ▶ みどり豊かなまちづくりのために最も必要なことについては、「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり（体制の整備）」が29.2%と最も高く、次いで、「市民等への情報提供の充実」（22.6%）、「市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進」（14.8%）、「資金・資材・人材の支援」（12.2%）となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、「市民等への情報提供の充実」が約9ポイント上昇している。

問 38 みどり豊かなまちづくりのためには、市民・市民活動団体・事業者・行政、それぞれの役割をはっきりとさせ、お互いが協力していくことが重要です。そのために最も必要なことは何だと思えますか。

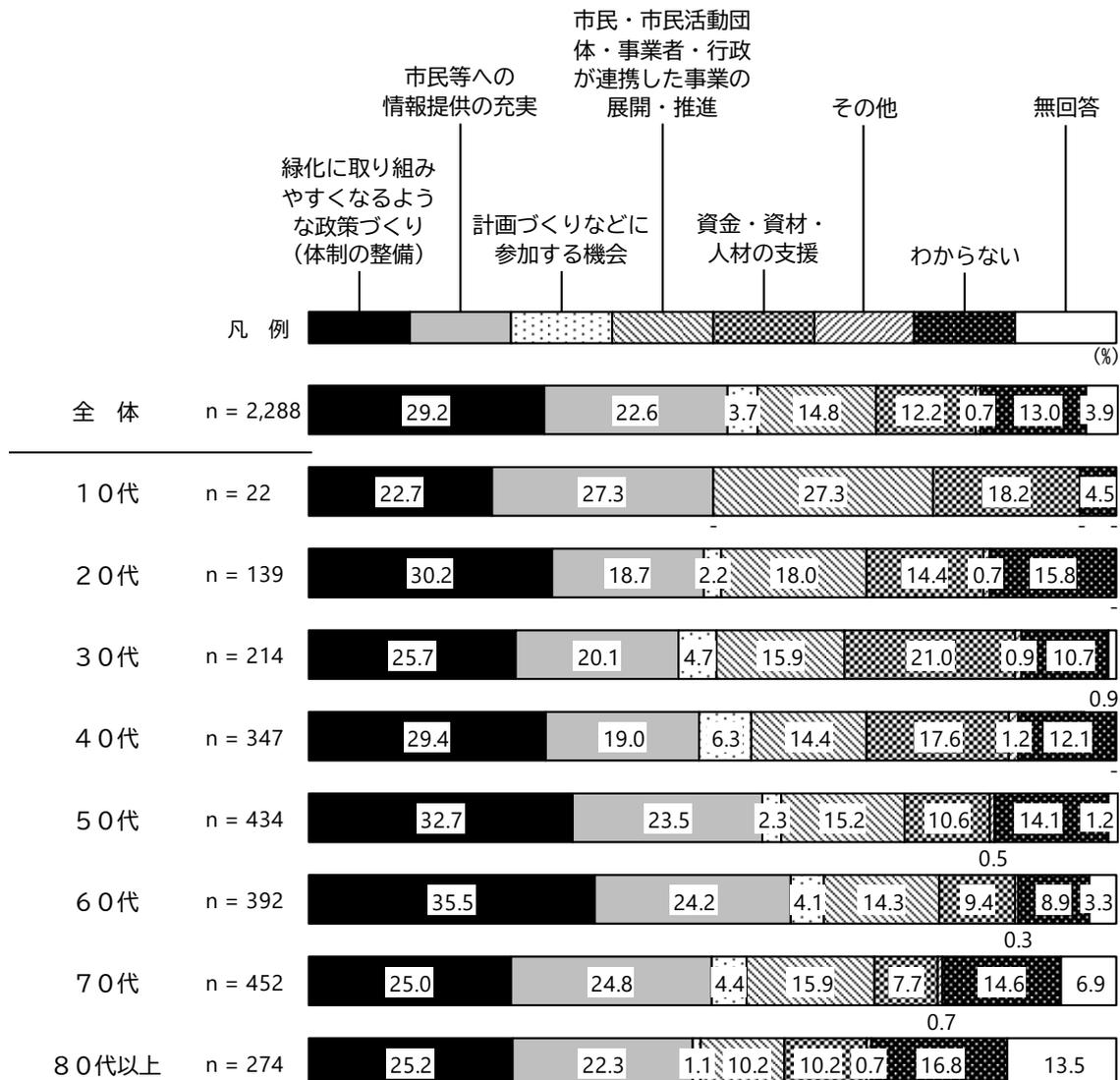
（あてはまる番号1つに○）



※今回調査ではすべての方が回答の対象となっているが、前回調査では、今回調査の間34にあたる設問で「特になし」以外を選択した方が回答の対象となっている
 なお、前回調査では回答者制限が集計に反映されていない

【年代別／みどり豊かなまちづくりのために最も必要なこと】

- ▶ 年代別にみると、【10代】では「市民等への情報提供の充実」、「市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進」がともに27.3%と最も高くなっている。
【20代】以降では、いずれの年代においても「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり（体制の整備）」が最も高くなっている。



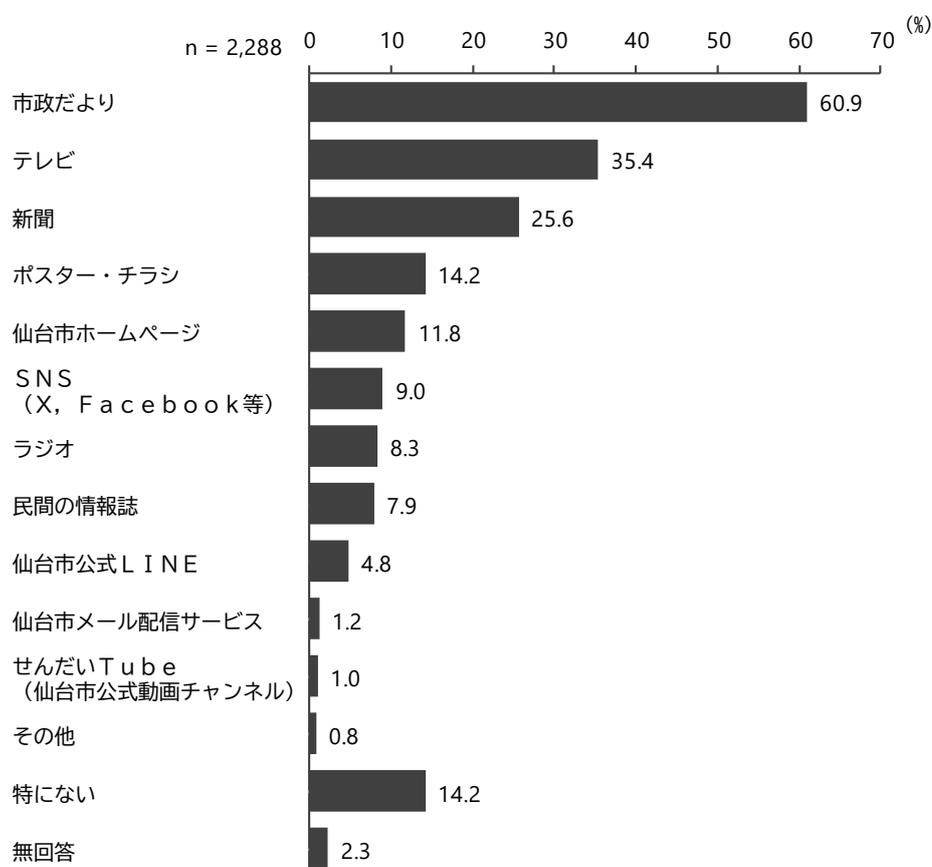
IV 調査結果の分析

4-7 市の施策やイベントについて活用している情報源

- ▶ 市の施策やイベントについて活用している情報源については、「市政だより」が60.9%と最も高く、次いで、「テレビ」(35.4%)、「新聞」(25.6%)、「ポスター・チラシ」(14.2%)となっている。

問 39 皆さんにみどり豊かなまちづくりに参加していただくため、仙台市では様々な媒体を用いてみどりに関する情報発信を行っています。あなたは普段、仙台市が実施している施策やイベント等の情報を得るために何を活用していますか。

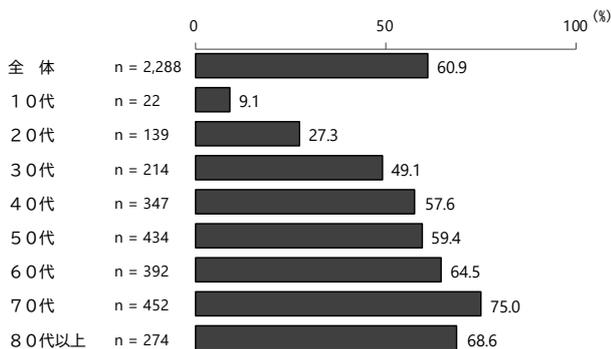
(主にあてはまる番号3つまでに○)



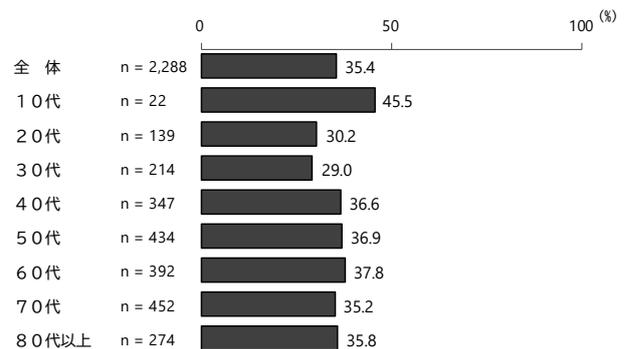
【年代別／みどりに関する情報を得るために活用している媒体】

- ▶ 年代別にみると、「市政だより」、「新聞」は概ね年代が上がるにつれて回答割合が高くなり、「市政だより」は【40代】以上で約6～8割であるのに対し【10代】～【20代】では3割以下、「新聞」は【60代】以上で約3～4割であるのに対し【10代】～【40代】では1割程度と、年代間の差が大きくなっている。
- 一方、「SNS（X、Facebook等）」は概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなっている。

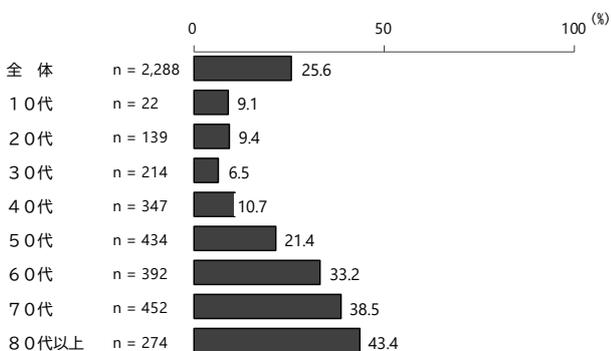
〈市政だより〉



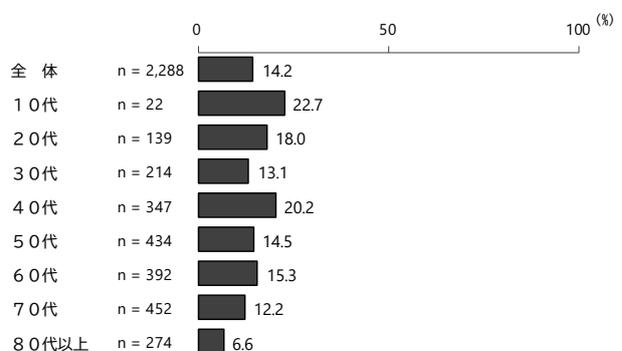
〈テレビ〉



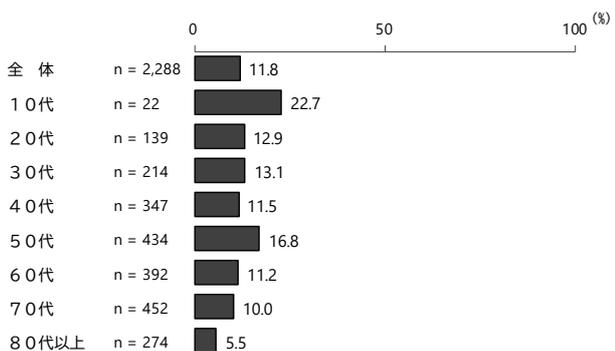
〈新聞〉



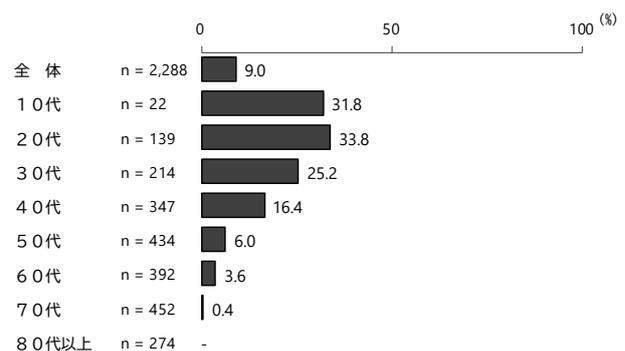
〈ポスター・チラシ〉



〈仙台市ホームページ〉

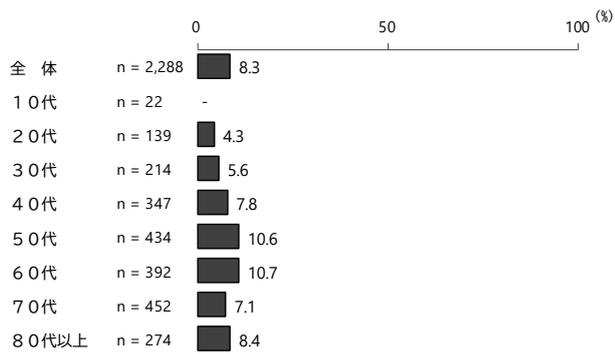


〈SNS (X、Facebook等)〉

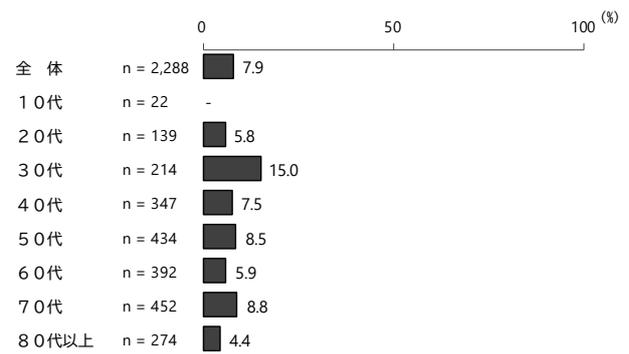


IV 調査結果の分析

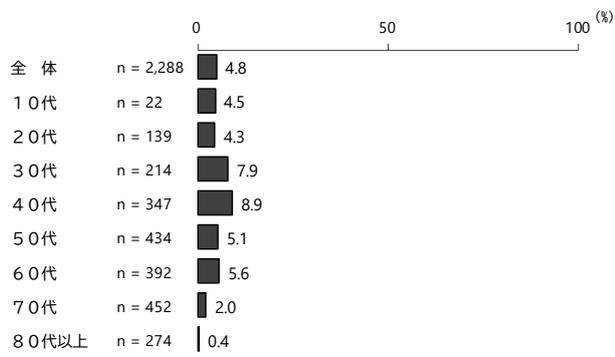
〈ラジオ〉



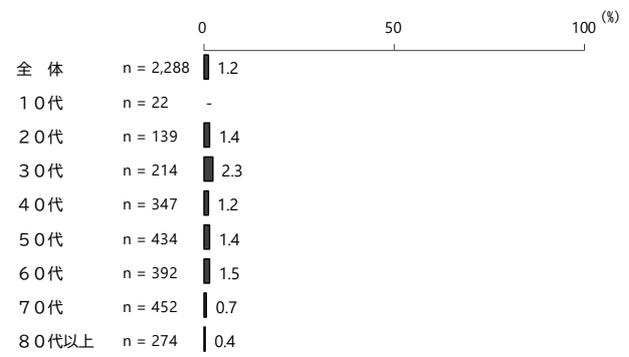
〈民間の情報誌〉



〈仙台市公式LINE〉



〈仙台市メール配信サービス〉



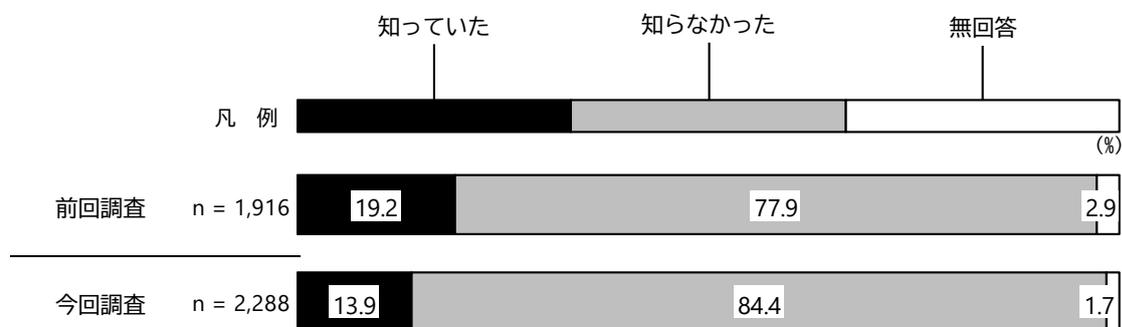
5 「グリーンインフラ」について

5-1 グリーンインフラという言葉の認知度

- ▶ グリーンインフラという言葉の認知度については、「知っていた」が13.9%、「知らなかった」が84.4%となっている。
- ▶ 前回調査と比較すると、「知っていた」が約5ポイントとやや下降しており、認知度の低下がうかがえる。

問 40 あなたはグリーンインフラという言葉を知っていましたか。

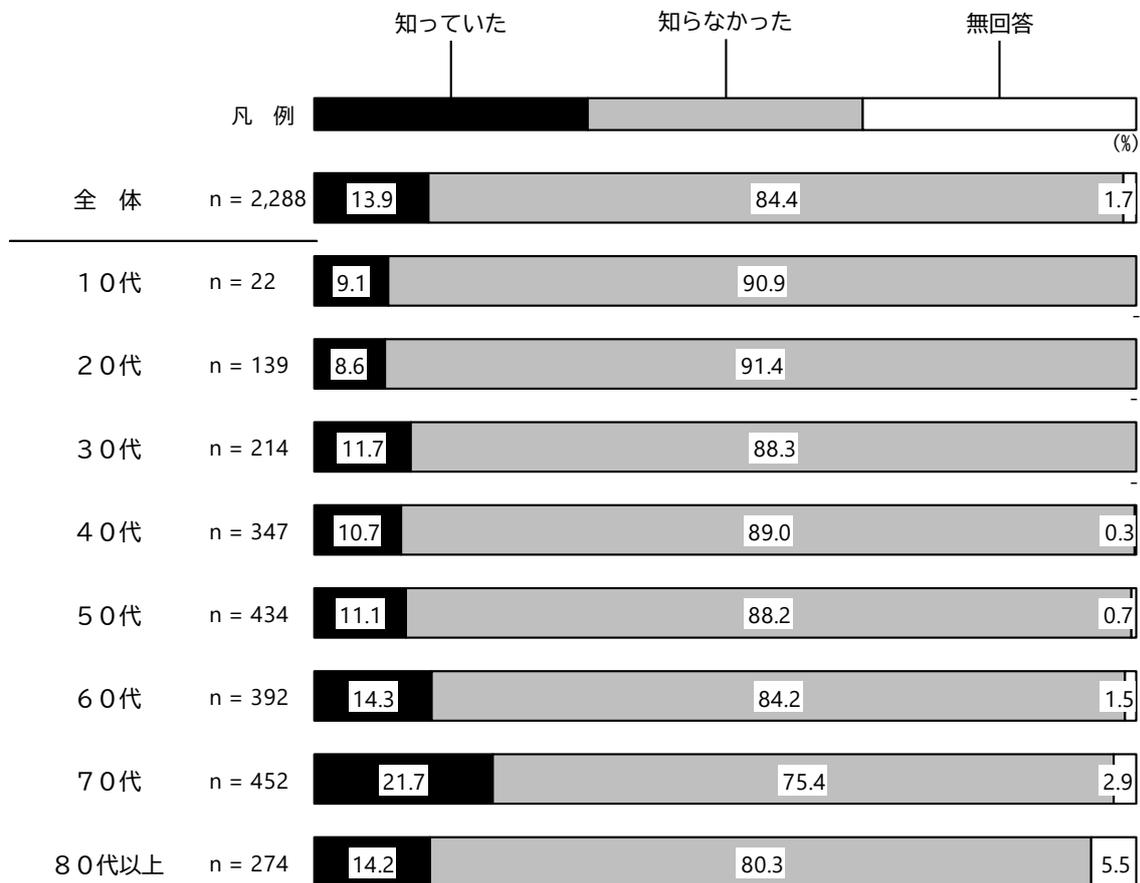
(あてはまる番号1つに○)



IV 調査結果の分析

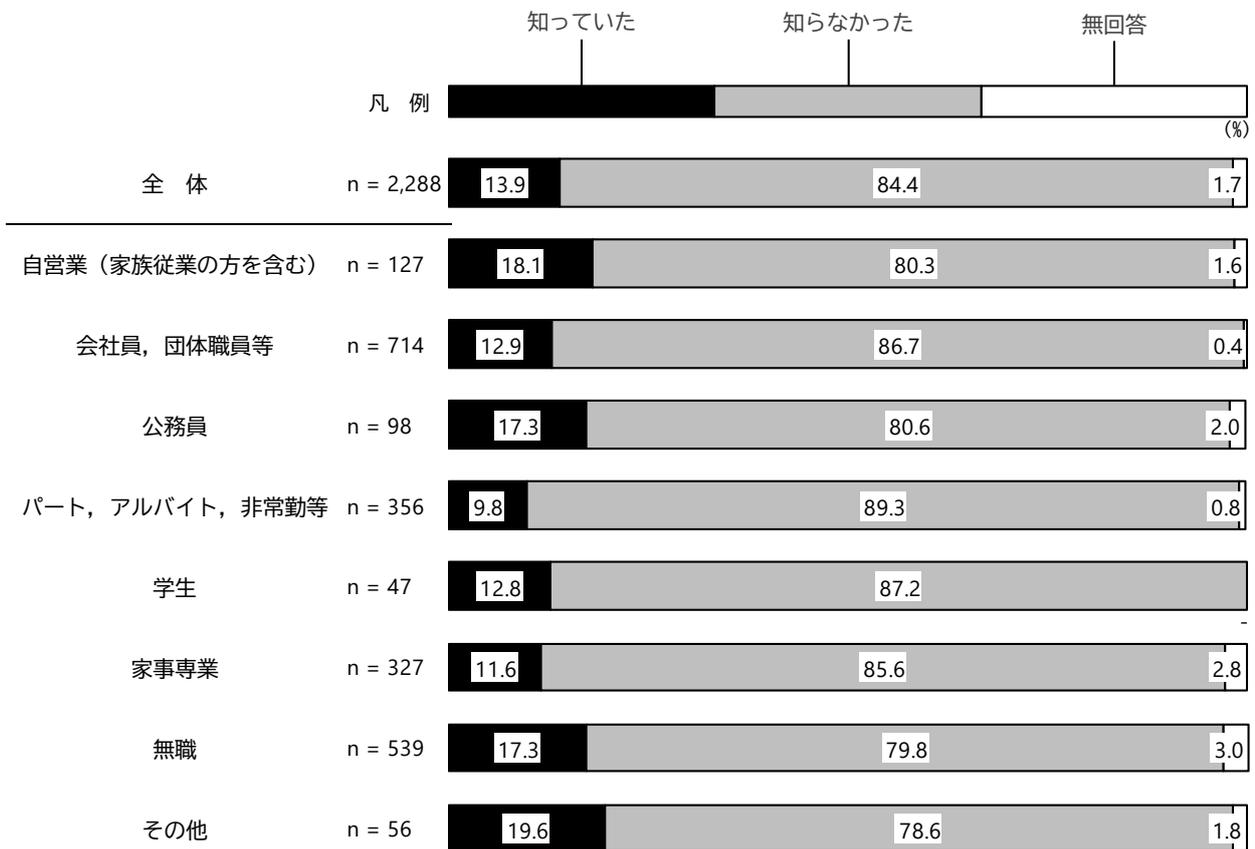
【年代別／グリーンインフラという言葉の認知度】

- ▶ 年代別にみると、ほとんどの年代で「知らなかった」が約8～9割を占めるが、【70代】では「知っていた」(21.7%)が2割以上と、他の年代に比べやや高くなっている。



【職業等別／グリーンインフラという言葉の認知度】

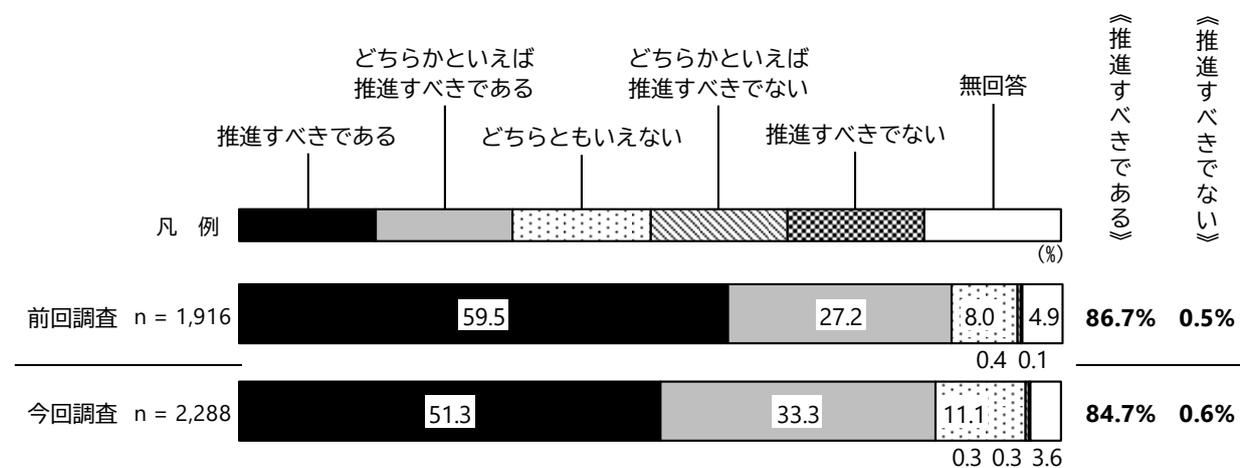
- ▶ 職業等別にみると、「知っていた」は【自営業】(18.1%)、【公務員】(17.3%)及び【無職】(17.3%)が約2割と、他の職業等に比べやや高くなっている。



5-2 グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり

- ▶ グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくりについては、「推進すべきである」と「どちらかといえば推進すべきである」を合算した《推進すべきである》が8割以上を占めている。
- ▶ 前回調査と比較すると、《推進すべきである》の割合に大きな変化はみられないが、より肯定的な選択肢である「推進すべきである」が約8ポイント下降している。

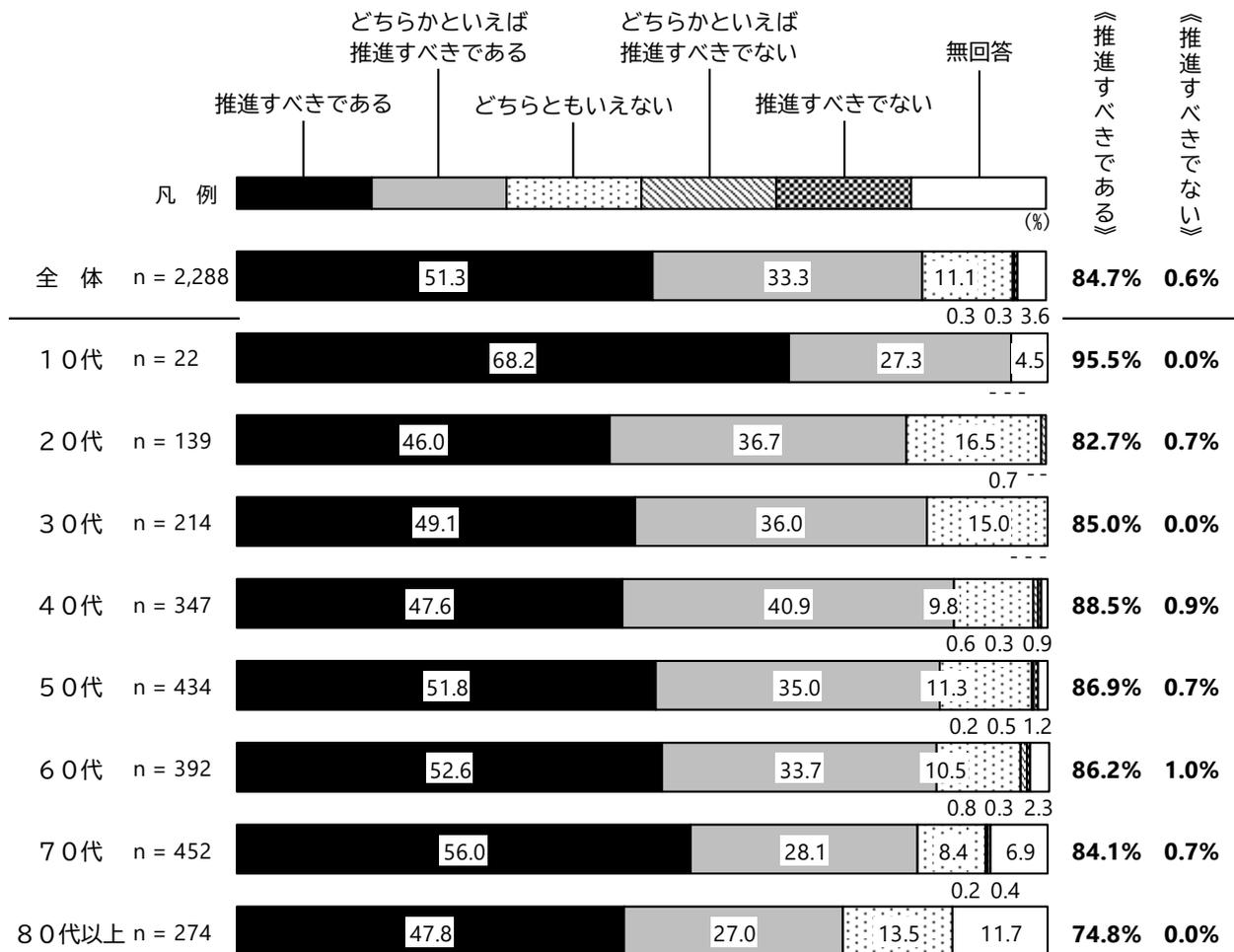
問41 あなたはグリーンインフラの考え方を取り入れたまちづくりについて、どう思いますか。
(あてはまる番号1つに○)



※グラフ右の割合は、以下のとおり二つの選択肢の回答割合を合算したもの
 《推進すべきである》 = 「推進すべきである」 + 「どちらかといえば推進すべきである」
 《推進すべきでない》 = 「どちらかといえば推進すべきでない」 + 「推進すべきでない」
 図表及びコメント内における回答割合の合算値は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合がある

【年代別／グリーンインフラの考えを取り入れたまちづくり】

▶ 年代別にみると、《推進すべきである》はいずれの年代においても7割以上を占め、《推進すべきでない》との回答は0～1%程度とごく僅かとなっている。



6 「みどり」に関する意見・要望

- ▶ 「みどり」に関するご意見・ご要望などを記入していただいたところ、478 名の方から回答があり、記述内容に応じて以下の項目に分類すると、各項目の意見の合計件数は 667 件となった。
- ▶ 「街路樹について（みどりの質）」では、運転する際に街路樹で視界がさえぎられる場所がある、街路樹周辺の落ち葉等の手入れを充実してほしい、といった意見が多くみられた。
- ▶ 「整備・管理などハード面に関することについて」では、駐車場や通路に生い茂る草木を管理してほしい、といった意見が多くみられた。
- ▶ 「仙台のイメージ、「杜の都」という言葉について」では、みどり豊かなまちを誇りに思うとの意見や、観光資源としての魅力を高めて発信するべき、といった意見が多くみられた。

その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば、自由にご記入してください。

(n=478)

	内容	件数
1	街路樹について（みどりの質）	90
2	整備・管理などハード面に関することについて	85
3	仙台のイメージ、「杜の都」という言葉について	78
4	公園について（みどりの質）	51
5	市民協働によるみどりのまちづくりについて	48
6	取組み方針、体制づくりなどのソフト面に関することについて	28
7	財政、事業コストについて	27
8	大規模開発等によるみどりの喪失について	22
8	住宅地のみどりについて	22
10	河川や海浜などの水辺について	17
10	みどりの保全について	17
12	欲しいと思うみどり	15
13	みどりに関するPRについて	14
14	安心安全、防災のみどりについて	13
14	その他の仙台市のまちづくり・市政について	13
14	公園について（みどりの量）	13
14	都心部のみどりについて	13
14	グリーンインフラについて	13
19	みどりの必要性について	12
20	みどり全般	11
20	市民意識の醸成について	11
22	みどりの保全と都市開発との調和について	10
22	アンケートについて	10
24	街路樹について（みどりの量）	9
25	みどりを意識した教育について	7
25	生態系の保全について	7
27	街路樹（その他）	6
28	公園（その他）	3
29	その他	2
	合計	667

V 資料

1 調査票

令和6年度「みどりの市民意識調査」へのご協力をお願い

市民の皆さまへ

日頃より仙台市政の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、仙台市では令和3年6月に、みどりのまちづくりの総合的な計画である「仙台しみどりの基本計画 2021-2030」を策定し、みどりで選ばれる新たな杜の都を実現するために、様々な取り組みを進めております。本計画は、令和7年度に中間見直しを行うため、その基礎資料となる「みどりの市民意識調査」を行います。

このアンケートは、地域の実情に応じたみどりのまちづくりを進めていくために、施策や具体的な事業の検討にあたりまして、市民の皆さまのみどりに関するご意見などを反映させるために行うものです。

つきましては、大変お手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は区ごとの人数などを考慮した上で、住民基本台帳から18歳以上の男女5,000名を無作為に抽出して送付させていただきました。また、本アンケートは無記名でお答えいただくものであり、回答は統計的に集計いたします。皆さまの個人情報が公表されることはありませんので、重ねてご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年9月
仙台市

◇◇ ご記入にあたってのお願い ◇◇

- アンケートの回答は、必ず**ご本人**がご記入してください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、番号を「○」で囲んでください。
質問によって、「1つ」や「3つまで」、「あてはまるものすべて」を選んでいただくものがありますので、ご注意ください。また、「その他」を選んだ場合や、自由にご記入いただく質問については、具体的な内容をご記入ください。
- 回答が終わりましたら、**同封の返信用封筒（切手不要）に、本調査票を封入し、令和6年10月18日（金）**までにご投函ください。

※ **本調査票はパソコンやスマートフォンからでもご回答いただけます。**

以下の二次元コードを読み取るか、URLから回答ページにアクセスし、下記に記載されている「WEB回答用ID」をご入力の上、画面の指示に従ってご回答ください。

※WEBにてご回答いただいた場合、郵送でのご返送は不要です。

■二次元コード



■WEB回答用ID

※重複回答を防ぐための番号です。個人を特定する番号ではありません。

■URL : https://src2.webcas.net/form/pub/src1/sendai_midori

- 回答の際、不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問合せ先

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課 緑化推進係 中川・岩月

電話:022-214-8389(直通) FAX:022-216-0637 E-mail:ken010240@city.sendai.jp

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 | 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上 |

問2 あなたの職業等を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 自営業 (家族従業の方を含む) | 2. 会社員, 団体職員等 |
| 3. 公務員 | 4. パート, アルバイト, 非常勤等 |
| 5. 学生 | 6. 家事専業 |
| 7. 無職 | 8. その他 () |

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1. 青葉区 | 2. 宮城野区 | 3. 若林区 |
| 4. 太白区 | 5. 泉区 | |

問4 あなたの現在のお住まいについて教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (集合住宅) |
| 3. 賃貸住宅 (一戸建て) | 4. 賃貸住宅 (集合住宅) |
| 5. 社宅, 官舎, 寮 | 6. その他 () |

問5 仙台市にお住まいになってからの年数について教えてください。一度市外に転出して、また転入した方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問6 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯世帯 (あなたの世代と子供) | 4. 二世帯世帯 (あなたの世代と親) |
| 5. 三世帯世帯 (あなたを含めて三世代) | 6. その他 () |

問7 あなたと同居している方で、小学生以下の子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

あなたの身近なみどりについておたずねします

「みどり」について

本調査で対象とする「みどり」には、樹林地、草地、農地、単独で生育する樹木や草花の他、河川・海浜などの水辺、公園緑地、広場・グラウンドなどのオープンスペースを含めており、表現として広がりを持つひらがなで「みどり」と表記しております。これは、仙台市が令和3年度に策定した「仙台しみどりの基本計画 2021-2030」と共通した表現となっています。

問8 あなたにとっての身近なみどりとは何ですか。

※「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなたが身近だと感じているみどりも含めます。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林(居久根) |
| 17. その他 () | |

※「16. 屋敷林(居久根)」: 屋敷の周囲に防風や防火のために植えた林。

問9 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

問10 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林 (居久根) |
| 17. その他 () | 18. 特にない |

問11 身近なみどりは皆さんの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- | |
|---------------------------------------------|
| 1. 都市の気温上昇 (ヒートアイランド現象など) をやわらげる機能 |
| 2. 大気を浄化したり, 騒音をやわらげたりする機能 |
| 3. 建築物や道路など, 施設周辺の景色を整える機能 |
| 4. まちに風格や落ち着きを与える機能 |
| 5. 植物や昆虫, 鳥類, 小動物などの生物に生息地を与え, 生物多様性を保全する機能 |
| 6. スポーツや野外レクリエーション, 環境教育などの活動の場を提供する機能 |
| 7. 休憩などの場所を提供する機能 |
| 8. 散歩などの場を提供する機能 |
| 9. 洪水やがけ崩れなどの災害を防止する機能 |
| 10. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止をする機能 |
| 11. 災害時の避難場所を提供する機能 |
| 12. 生活にうるおいを与え, 心をなごませる機能 |
| 13. 不動産 (マンション, 家屋, ビルなど) の価値 (賃料など) を高める機能 |
| 14. コミュニティ形成の場を提供する機能 |
| 15. その他 () |

「杜の都」という言葉について、あなたの意見をおたずねします

問12 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|--------------------------------------------|---------------------------|
| 1. 青葉山 | 2. 泉ヶ岳 |
| 3. 太白山 <small>たいはくさん</small> | 4. 蕃山 <small>ばんざん</small> |
| 5. 奥羽山脈 | 6. 海岸公園 (海岸林含む) |
| 7. 青葉山公園 (仙台城跡など) <small>せんたいじょうあと</small> | 8. 勾当台公園 |
| 9. 台原森林公園 | 10. 西公園 |
| 11. 榴岡公園 | 12. 七北田公園 |
| 13. 青葉通 | 14. 定禅寺通 |
| 15. 名取川 | 16. 広瀬川 |
| 17. 七北田川 | 18. その他 () |

問13 「杜の都」という言葉からどのようなみどりが沢山ある街を思い描きますか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 1. 戸建てなどの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林 (居久根) <small>いぐね</small> |
| 17. その他 () | |

問14 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

※「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し (いやし) になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

これから先の仙台市のみどりのまちづくりについておたずねします

◆樹林地などの自然のみどりの保全について

問15 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする
2. これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる
3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せるのがよい
4. その他 ()
5. わからない

問16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する
2. 他の行政サービスが減ったり、市民の負担が増えたりしても、行政(税金)で土地を買い取って保全する
3. 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつくる
4. 所有者の意向を踏まえながら、町内会や市民活動団体などが保全活動に参加する
5. 個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志に任せる
6. その他 ()
7. わからない

問17 市街地や田園地帯に点在する屋敷林(居久根)や社寺林の保全について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく
2. 現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる
3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる
4. その他 ()
5. わからない

問18 市街地周辺にある自然のみどり(森・川・公園や緑地)とふれあい、自然のみどりを活用するために、特に必要なことは何だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 歩きやすく安全な散策路の整備
2. 案内図や解説サインの充実
3. ベンチやあずまや、トイレなどの施設の充実
4. 自然や生き物とふれあいができる体験施設の整備
5. レンジャーなどによるガイド案内
6. 自然について学べる講座の開催
7. 樹木の間伐やクラフト制作、オリエンテーリングなど体験型イベントの開催
8. SNSなどを活用した、みどりの見頃やイベントの広報
9. その他 ()
10. 特になし

◆市街地の緑化について

問19 市街地の緑化を進めるにあたり、どこの緑化に重点を置くべきだと思いますか。
(主にあてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 戸建てなどの住宅 | 2. マンションなどの集合住宅 |
| 3. 商店街やオフィス街 | 4. 学校などの公共施設 |
| 5. 郊外の大型商業施設 | 6. 工場 |
| 7. 道路(街路樹など) | 8. 公園や緑地 |
| 9. 駅周辺などの人が集まる場所 | 10. 河川敷や堤防 |
| 11. 駐車場 | 12. その他() |
| 13. 特になし | |

問20 公園や街路樹等の整備の他に、都市の緑化を進めるにあたり、行政の取り組みで特に必要なものは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化 | 2. 補助金支給や苗木配布などの助成制度 |
| 3. イベントや表彰などの普及啓発 | 4. ホームページや情報誌などの情報提供 |
| 5. 市民活動団体への支援 | 6. その他() |
| 7. 特になし | |

問21 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 緑化や園芸の講習会の開催 | 2. 緑化技術や緑化制度などの情報の提供 |
| 3. 緑の専門家に質問や相談ができる窓口の設置 | 4. 優れたみどりなどに対する表彰 |
| 5. 新緑祭などの緑化イベントの開催 | 6. みどりに関する情報誌やホームページの充実 |
| 7. その他() | 8. 特になし |

◆公園について

問22 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。

※「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて10分以内の場所にある公園のことです。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2～3回程度 |
| 3. 週1回程度 | 4. 月1～2回程度 |
| 5. その他() | 6. ほとんど利用しない |
| 7. 近くに公園がない → 問25へ進んでください | |

問23 あなたのお住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていると思いますか。
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 気候緩和や騒音防止, 大気浄化などの都市環境を改善する
2. 人工的な都市の景観を美しくする
3. 植物や昆虫, 鳥類, 小動物などの生物に生息地を与え, 生物多様性を保全する
4. スポーツや野外レクリエーションなどを行う場所
5. 健康増進のための散歩や運動をする場所
6. 子どもを遊ばせる場所
7. 近所の人々と語り合うなど, 地域コミュニティを育む場所
8. 犬などのペットを遊ばせる場所
9. 災害時の避難場所
10. 憩いの場を与え, 心をなごませる場所
11. その他 ()

問24 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

※公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や公園の管理・運営の状況のことです。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが, 質はよくない |
| 3. 量は不十分だが, 質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

問25 公園の「質」の向上のために特に必要なことは何だと思えますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 定期的除草や清掃が行われ, トイレやベンチなどの施設の手入れがされている
2. 魅力的な遊具等が設置されている
3. 花火, ボール遊び, 自転車の練習など柔軟な公園利用ができる
4. 見通しが良く, 外柵があり道路への飛び出しの危険が少ないなど, 安全で安心に利用できる
5. 季節を感じられるような花やみどりが充実している
6. 花壇づくり・ラジオ体操などの地域活動への参加の機会がある
7. その他 ()
8. わからない

問26 仙台市内で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。

(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 日常的な憩いの場となる公園 (散策の場, 子どもの遊び場)
2. くつろいだり, ジョギングができる公園
3. スポーツ施設が充実した公園
4. 防災機能が充実した公園 (災害時の避難場所, 救援活動の拠点場所)
5. 自然とのふれあいや環境教育の場となる公園
6. 「みどり」に関する相談ができる公園 (樹木の見本園や園芸講習会の開催場所)
7. 歴史的, 文化的資源を生かした公園
8. 水辺とふれあえる公園
9. 市街地中心部で, 買い物客の待ち合わせや休息場となる公園
10. 芋煮やバーベキュー, キャンプができる公園
11. 貸し農園や農業体験ができる公園
12. 犬などのペットを遊ばせることができる公園
13. 公害を防止・緩和するための樹林帯がある公園
14. 散歩やジョギングのできる園路などがある公園
15. 飲食店 (カフェ含む) や売店がある公園
16. その他 ()
17. わからない

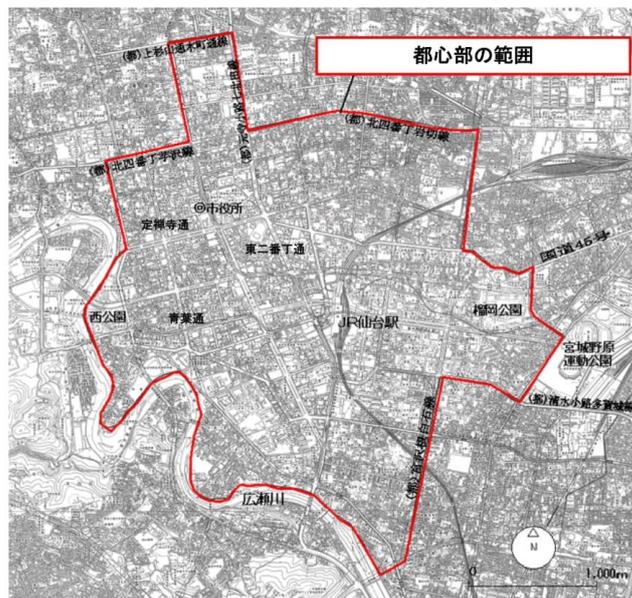
問27 公園が子どもの遊び場としてより利用されるために、特に重要なことは何だと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 公園までのアクセスが良いこと
2. 遊具が充実していること
3. 公園の敷地が広いこと
4. 子育て関連施設 (休憩スペース, トイレや授乳室などの設備) が充実していること
5. 安全性が高いこと
6. 遊びの専門家がいるなど, 多様な遊びができるような運用を行っていること
7. 駐車場があること
8. その他 ()
9. わからない

◆「都心部」と「住宅地」の街路樹について

「都心部」とは下図に示す仙台駅を中心とした地区のことで、定禅寺通や青葉通、東二番丁通などが含まれます。また「住宅地」とは都心部以外の一般的な住居地のことです。



問28 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

※街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し（いやし）を与える機能などのことです。

（「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

【都心部】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

【住宅地】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

みどり豊かなまちづくりへの参加についておたずねします

問33 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ()
13. わからない

問34 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践したい活動は何ですか。
(現在、実践している活動で、今後も継続したい活動も含めてお答えください)
(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理を行う
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ()
13. 特になし → 問 37 へ進んでください

問35 あなたが、**みどり**豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は何ですか。
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 活動のための時間や期間を自由に選べること
2. 同じ目的を持った仲間がいること
3. 活動に関する情報が得られること
4. 参加を呼びかける団体や世話役がいること
5. 活動に必要な知識や技術を習得する機会があること
6. 活動に必要な道具の提供があること
7. 活動に必要な資金援助が受けられること
8. 助言や指導を行う専門家や地域のリーダーがいること
9. 活動の拠点となる施設があること
10. 活動をメディアなどに取り上げてもらえること
11. 活動に対する表彰制度があること
12. その他 ()

問36 あなたが、**みどり**豊かなまちづくりの活動に参加する目的は何ですか。
(主にあてはまる番号3つまでに○)

1. 緑陰形成や景観向上など、住環境の向上を図ること
2. 植物・自然に親しみ、学ぶこと
3. 身体を動かすことで健康を維持増進すること
4. 自然からの恵みを得ること
5. 町内会などのコミュニティ活動として、他者とのつながりを育むこと
6. 住んでいるまち・地域の魅力や価値を向上させること
7. 仙台の歴史的・文化的景観を守ること
8. 土砂災害などの自然災害から身を守ること
9. 社会貢献活動として、所属している企業や団体の価値を高めること
10. その他 ()

問37 **みどり**豊かなまちづくりのために、仙台市内に**みどり**に関する様々な活動団体が結成されています。あなたが知っている、**みどり**に関する活動団体はどれですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 仙台市公園愛護協力会 | 2. 仙台市河川愛護会 |
| 3. 緑の活動団体 | 4. 仙台まち美化サポーター |
| 5. その他 () | 6. どれも知らない |

問38 みどり豊かなまちづくりのためには、市民・市民活動団体・事業者・行政、それぞれの役割をはっきりとさせ、お互いが協力していくことが重要です。そのために最も必要なことは何だと思えますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 緑化に取り組みやすくなるような政策づくり (体制の整備) |
| 2. 市民等への情報提供の充実 |
| 3. 計画づくりなどに参加する機会 |
| 4. 市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進 |
| 5. 資金・資材・人材の支援 |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

問39 皆さんにみどり豊かなまちづくりに参加していただくため、仙台市では様々な媒体を用いてみどりに関する情報発信を行っています。あなたは普段、仙台市が実施している施策やイベント等の情報を得るために何を活用していますか。 (主にあてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. ラジオ | 4. 市政だより |
| 5. 民間の情報誌 | 6. ポスター・チラシ |
| 7. 仙台市ホームページ | 8. 仙台市メール配信サービス |
| 9. 仙台市公式LINE | 10. SNS (X, Facebook等) |
| 11. せんだいTube (仙台市公式動画チャンネル) | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

「グリーンインフラ」についておたずねします

現在、仙台市では、自然が持つ多様な機能を利用して暮らしの基盤を築くグリーンインフラ*を充実させ、自然環境と調和したまちづくりを進めています。グリーンインフラの例としては以下のようなものが考えられます。

〈グリーンインフラの例〉

- ・ 海岸林による津波への減災効果
- ・ 透水性舗装の歩道や公園の芝生広場などにおける雨水の貯留
- ・ 都心部における建築物の屋上緑化・壁面緑化によるヒートアイランド現象の緩和
- ・ 街路樹の木かげによる気温低減
- ・ 石や樹木、空隙のあるコンクリートブロックを使用する護岸整備をした多自然型河川による多様な生きものが棲みやすい環境の創出
- ・ 公園などの維持管理作業を通じたコミュニティの創出、健康増進

※グリーンインフラ：コンクリートなどの人工構造物による従来型の都市基盤（グレーインフラ）に対して、良好な景観形成やヒートアイランド現象の緩和、水害リスクの低減など、自然環境が持つ多様な機能に着目し、それを都市基盤として活用するという考え方（取組み）（仙台市基本計画（令和3年3月））。

問40 あなたはグリーンインフラという言葉を知っていましたか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 41 あなたはグリーンインフラの考え方を取り入れたまちづくりについて、どう思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 推進すべきである | 2. どちらかといえば推進すべきである |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば推進すべきでない |
| 5. 推進すべきでない | |

その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば、自由にご記入してください。

調査は以上で終了です。

ご協力誠にありがとうございました。

ご記入が終わりました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、ご投函ください。

令和6年度みどりの市民意識調査 －調査結果報告書－

発行年月：令和7年1月

発行：仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
電話 022-214-8389 FAX 022-216-0637